

大和市 高齢者保健福祉計画
介護保険事業計画(第 10 期)策定のための
実態調査

報 告 書

令和 8 年 8 月
大 和 市

■ 目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象・方法・期間	1
3 回収状況	1
4 注意事項	2
II 調査の結果（高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定のための実態調査）	3
1 家族や生活状況について	14
2 からだを動かすことについて	22
3 食えることについて	32
4 毎日の生活について	38
5 地域での活動について	57
6 たすけあいについて	73
7 健康について	79
8 介護保険制度等について	89
9 ひとり暮らしの方への施策について	112
10 認知症施策等について	114
11 介護保険サービス等について	122
12 介護の状況について	139
III 調査の結果（在宅介護実態調査）	157
1 【A票】認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目	157
2 【B票】主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目	168
IV 調査の結果（介護保険サービス供給量調査）	173
1 法人の概要について	173
2 法人の事業展開について	174
3 事業所の経営状況について	199
4 介護ロボット・ICTの導入について	208
5 高齢者施策等について	212
V 調査の結果（居宅介護支援事業所調査）	214
1 事業所の概要について	214
2 ケアプラン作成について	215
3 高齢者施策等について	219
4 本市の介護サービスについて	221
5 医療・介護関係者との情報共有について	224
6 介護ロボット（自動排泄処理装置）について	233
7 生活期リハビリテーション対象者への重度化防止に向けた取り組みについて	236
VI 調査の結果（居所変更実態調査）	238
VII 資料編	260

I 調査の概要

1 調査の目的

第10期大和市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画の策定のため、高齢者保健福祉及び介護保険に関連する業務について、市民の意識・ニーズ等の実態調査を行った。本報告書は、その調査結果をとりまとめたものである。

2 調査対象・方法・期間

調査名	対象者
高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 策定のための実態調査	【一般高齢者対象調査】 65歳以上の無作為抽出の高齢者 (介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者、要介護認定者を除く)
	【要支援認定者等対象調査】 無作為抽出の介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者
	【要介護認定者対象調査】 無作為抽出の要介護認定者
在宅介護実態調査	在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、調査期間中に、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方
介護保険サービス 供給量調査	市内に事業所を置く介護保険サービス事業者（法人ごと） (居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター除く)
居宅介護支援事業所調査	市内の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター（事業所ごと）
居所変更実態調査	市内の住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

調査方法：郵送配布・郵送回収（在宅介護実態調査以外）
対象者宅を訪問し、その場で聞き取り（在宅介護実態調査）

抽出方法：母集団の日常生活圏域ごとの構成割合を加味した人数を無作為で抽出

調査期間：令和8年2月6日～令和8年5月8日（在宅介護実態調査以外）
令和7年12月4日～令和8年4月27日（在宅介護実態調査）

3 回収状況

調査名		対象数	回収数	回収率	集計対象数※		対象外・無効	有効回収率
高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定のための 実態調査	一般 高齢者	5,000	3,328	66.5%	国モデル	3,322	3	66.4%
					市独自	3,325		66.5%
	要支援 認定者等	2,000	1,461	73.1%	国モデル	1,459	0	73.0%
					市独自	1,461		73.1%
	要介護 認定者	2,500	1,302	52.0%	国モデル	1,143	4	45.7%
					市独自	1,298		51.9%
在宅介護実態調査		600	600	100.0%	600		0	100.0%
介護保険サービス供給量調査		152	83	54.6%	83		0	54.6%
居宅介護支援事業所調査		63	50	79.4%	50		0	79.4%
居所変更実態調査		37	24	64.9%	24		0	64.9%

※国モデルの設問は国の指針に基づいて施設入所者を除外して集計、市独自の設問は施設入所者を含めて集計

4 注意事項

※回答は設問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100％にならないことがある。

※1つの設問に2つ以上答えられる“複数回答可”の場合は、回答比率の合計が100％を超える場合がある。

※基本属性等のクロス集計については、特徴的な結果がみられるものを中心に記載してある。

※高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定のための実態調査（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）では、サンプル数が20以下の場合はコメントを掲載していない。

※クロス集計のグラフでは、分析軸の回答が「無回答」の結果は表記していない。

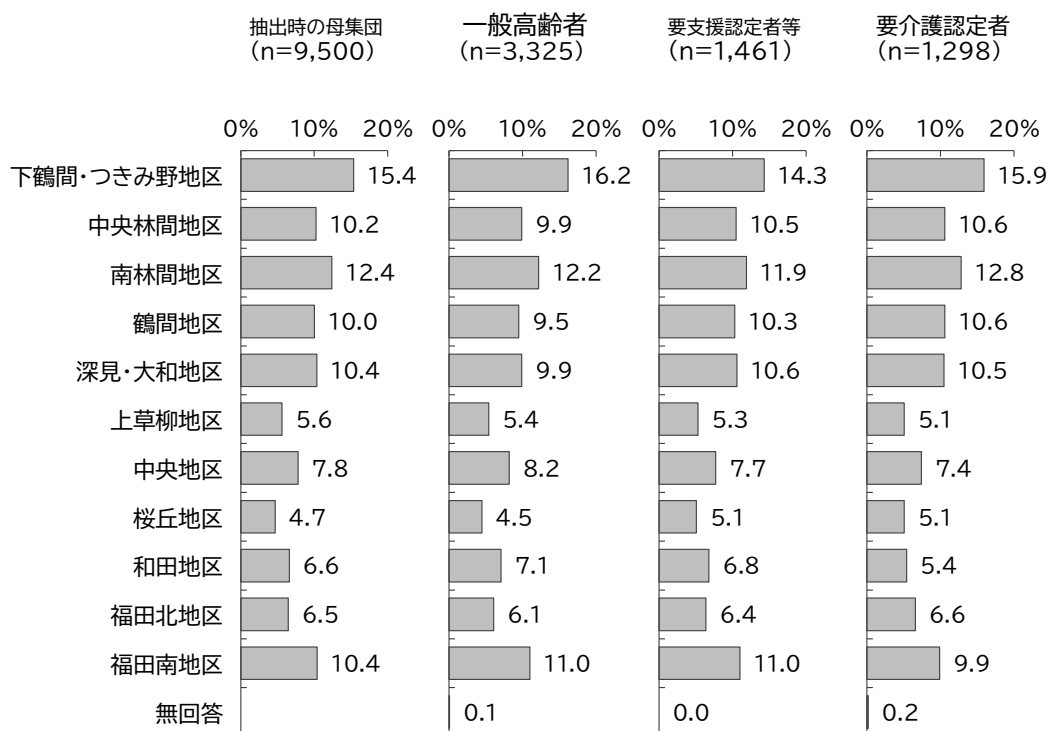
※スペースの関係上、一部設問、選択肢の文言を省略している箇所がある。

Ⅱ 調査の結果（高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定のための実態調査）

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

調査対象者の居住地区（日常生活圏域）（単数回答）

【単純集計】

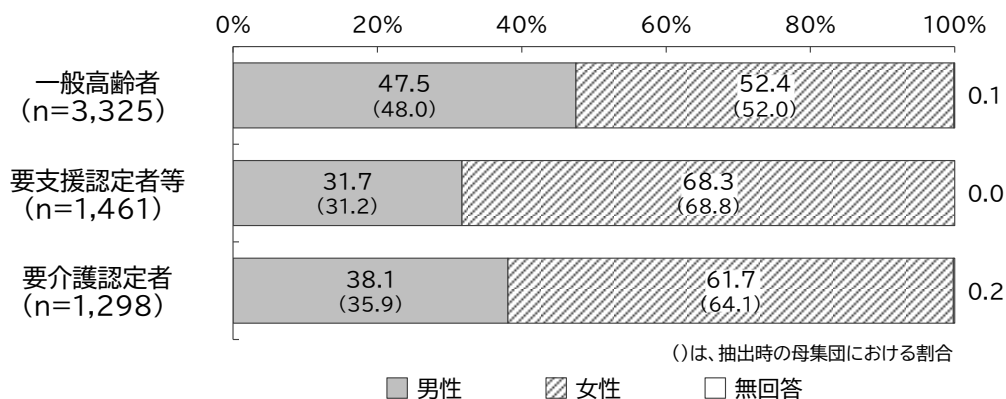


調査対象者の居住地区（日常生活圏域）を、抽出時の母集団における構成割合と比較すると、要支援認定者等における「下鶴間・つきみ野地区」、要介護認定者における「和田地区」で1.1～1.2ポイントの差がみられるものの、日常生活圏域別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

調査対象者の性別（単数回答）

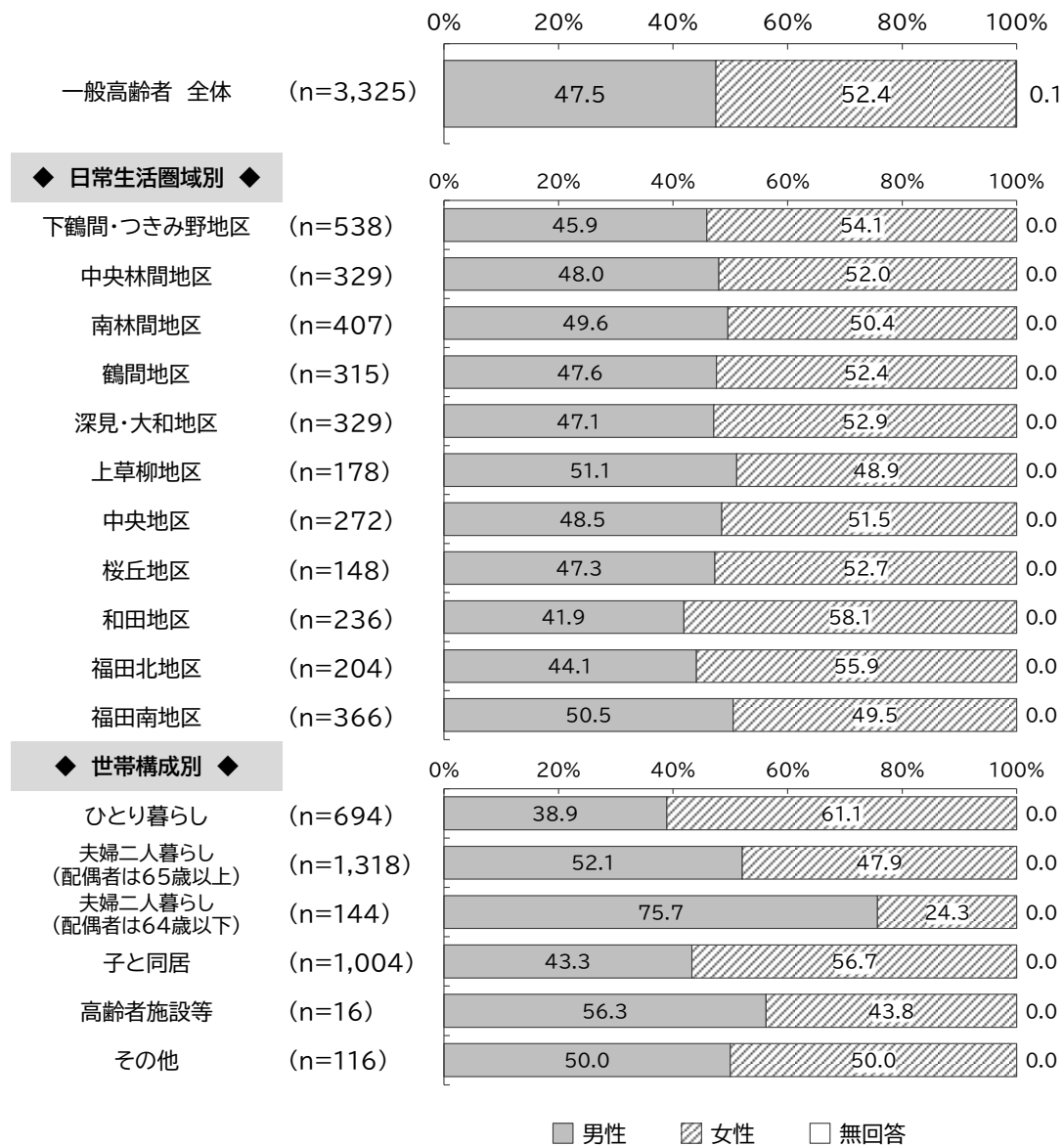
【単純集計】



調査対象者の性別は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「女性」が多くなっている。

抽出時の母集団における構成割合と比較すると、要介護認定者において2ポイント程度の差がみられるものの、性別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・世帯構成別】

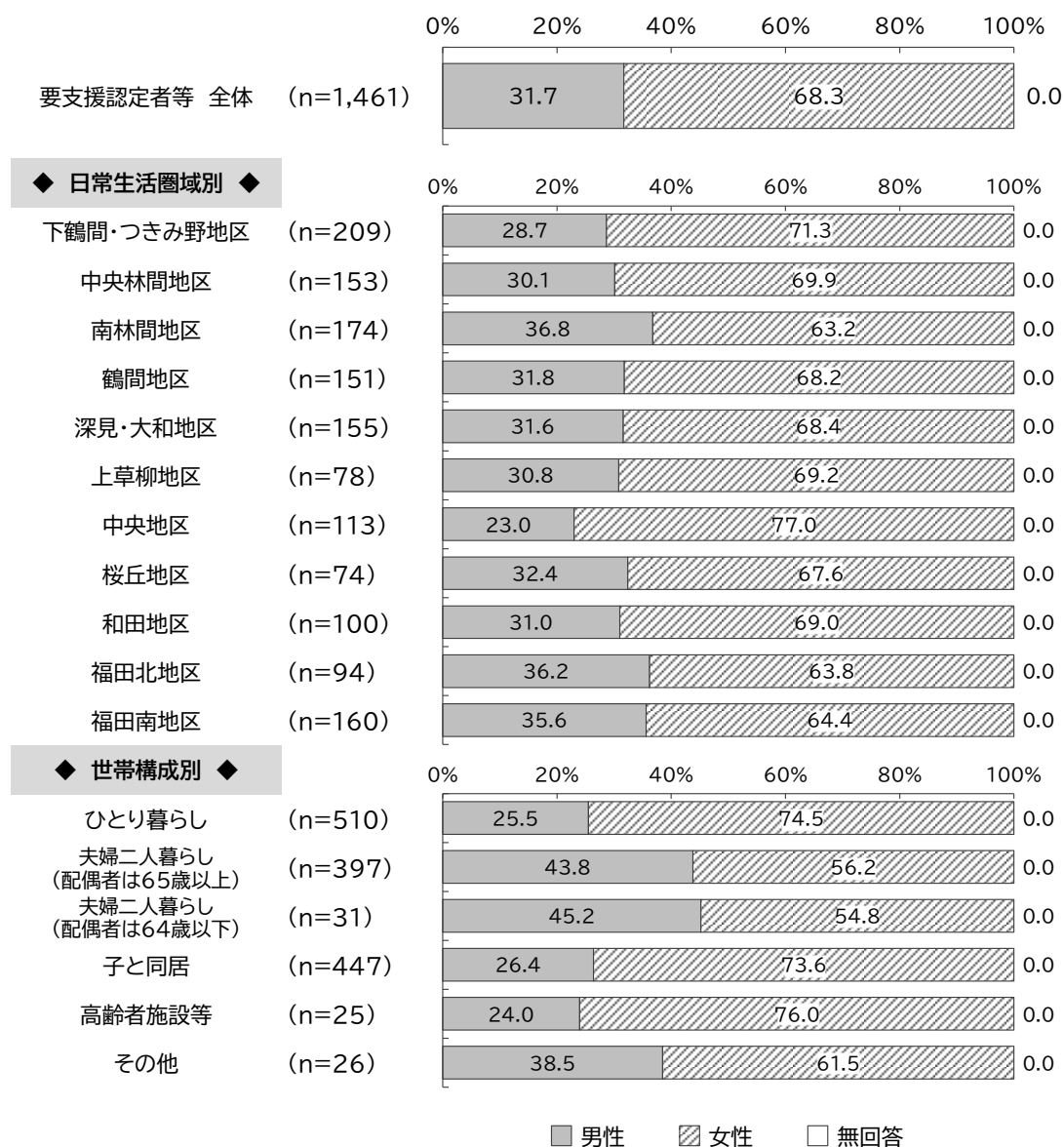


【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》・《福田南地区》で「男性」が「女性」をわずかに上回っている。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》・《子と同居》で「女性」が半数以上を占めて多くになっている一方で、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》では「男性」が75.7%と7割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】

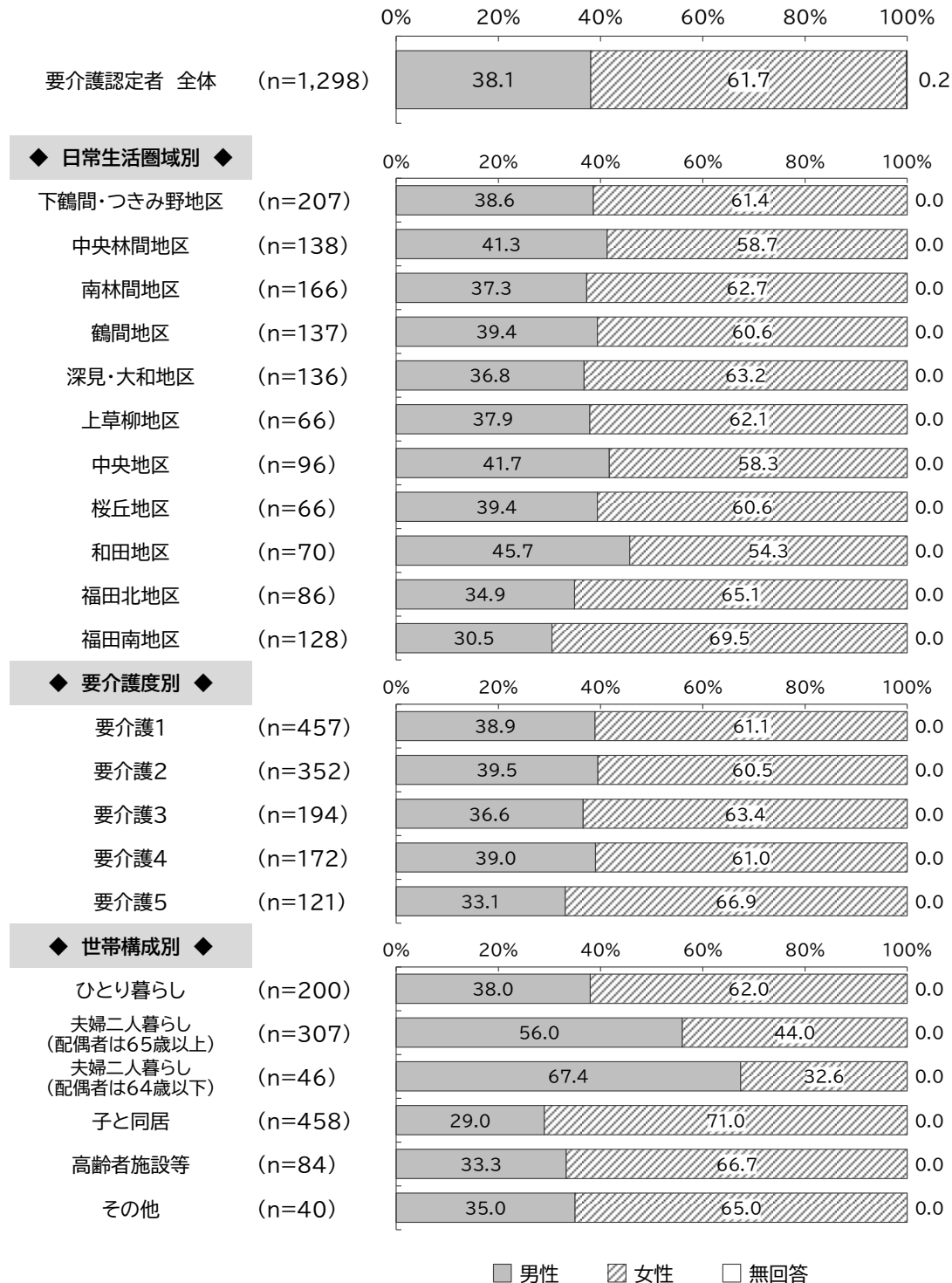


【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《中央地区》で「男性」が3割を下回って他の日常生活圏域より少なく、「女性」が7割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「男性」が4割を超えて他の世帯構成より多く、「女性」が6割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》・《中央地区》・《和田地区》で「男性」が4割を超えて他の日常生活圏域より多く、「女性」が6割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

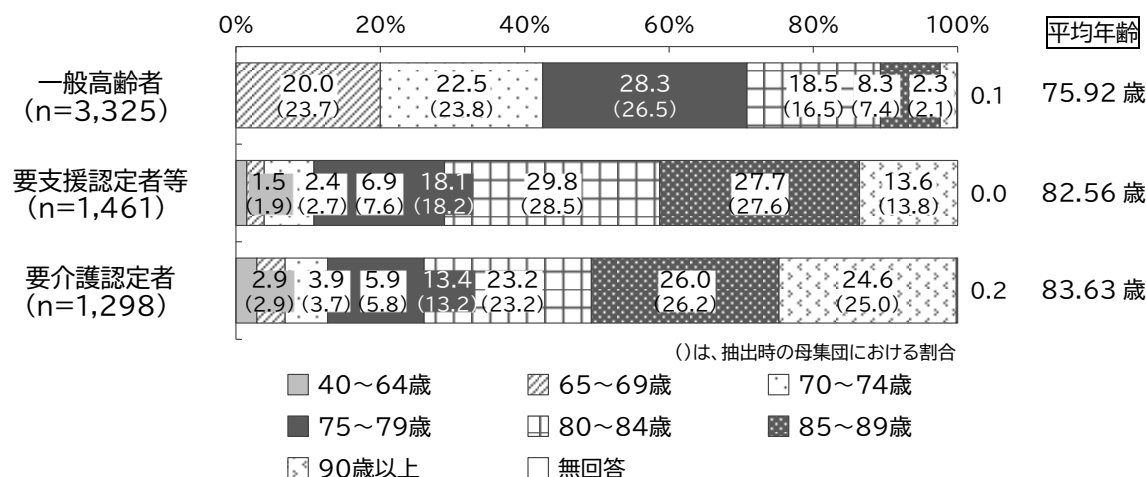
要介護度別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「男性」が67.4%と6割を超えて他の世帯構成より多く、「女性」が32.6%と4割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

調査対象者の年齢層（単数回答）

【単純集計】



調査対象者の年齢層は、一般高齢者において「75～79 歳」が 28.3%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等において「80～84 歳」(29.8%)、要介護認定者において「85～89 歳」(26.0%)が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「90 歳以上」が多くなっている。さらに、『後期高齢者 (75 歳以上)』は、一般高齢者で 57.4%、要支援認定者等で 89.2%、要介護認定者で 87.2%と、いずれも半数以上を占めて多くなっている。特に要支援認定者等・要介護認定者で 9 割近くと大半を占め、『80 歳以上』が 7 割以上となっている。平均年齢は、一般高齢者で 75.92 歳、要支援認定者等で 82.56 歳、要介護認定者で 83.63 歳と、一般高齢者で低くなっている。

抽出時の母集団における構成割合と比較すると、一般高齢者における「65～69 歳」で 3.7 ポイントの差がみられるものの、年齢別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者		調査数 (人)	年齢層 (%)							
			65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 歳以上	無回答	平均年齢
全体		3,325	20.0	22.5	28.3	18.5	8.3	2.3	0.1	75.92
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	23.0	21.9	26.8	16.7	8.7	2.8	0.0	75.63
	中央林間地区	329	24.0	24.6	29.5	13.7	6.7	1.5	0.0	74.82
	南林間地区	407	23.6	23.8	22.9	19.4	7.9	2.5	0.0	75.45
	鶴間地区	315	21.0	25.4	30.5	16.5	5.4	1.3	0.0	75.13
	深見・大和地区	329	19.1	23.1	29.8	17.6	8.5	1.8	0.0	75.96
	上草柳地区	178	19.1	25.3	28.7	15.2	10.7	1.1	0.0	75.98
	中央地区	272	19.1	18.4	33.1	20.6	6.3	2.6	0.0	76.10
	桜丘地区	148	15.5	18.2	31.1	21.6	10.8	2.7	0.0	77.01
	和田地区	236	10.6	23.7	27.5	21.6	12.7	3.8	0.0	77.65
	福田北地区	204	14.2	24.0	29.9	21.6	6.4	3.9	0.0	76.70
福田南地区	366	20.2	18.6	27.6	22.4	9.8	1.4	0.0	76.38	

要支援認定者等	調査数（人）	年齢層（％）							無回答	平均年齢	
		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上			
全体	1,461	1.5	2.4	6.9	18.1	29.8	27.7	13.6	0.0	82.56	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	209	2.9	1.4	4.8	22.5	32.1	23.9	12.4	0.0	82.25
	中央林間地区	153	2.0	4.6	9.2	14.4	29.4	29.4	11.1	0.0	81.93
	南林間地区	174	1.7	1.1	8.0	18.4	30.5	27.0	13.2	0.0	82.54
	鶴間地区	151	2.0	2.0	8.6	18.5	23.8	30.5	14.6	0.0	82.44
	深見・大和地区	155	0.6	3.2	10.3	23.9	19.4	31.0	11.6	0.0	81.86
	上草柳地区	78	1.3	2.6	7.7	21.8	25.6	25.6	15.4	0.0	82.37
	中央地区	113	0.0	1.8	4.4	16.8	34.5	25.7	16.8	0.0	83.58
	桜丘地区	74	2.7	2.7	6.8	10.8	32.4	36.5	8.1	0.0	82.64
	和田地区	100	0.0	4.0	9.0	18.0	33.0	21.0	15.0	0.0	82.20
	福田北地区	94	0.0	1.1	6.4	16.0	34.0	24.5	18.1	0.0	83.46
福田南地区	160	1.9	2.5	1.9	13.1	35.0	30.6	15.0	0.0	83.46	

要介護認定者	調査数 (人)	年齢層（％）							無回答	平均年齢	
		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上			
全体	1,298	2.9	3.9	5.9	13.4	23.2	26.0	24.6	0.2	83.63	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	207	1.9	2.9	4.8	15.5	23.2	24.2	27.5	0.0	84.31
	中央林間地区	138	5.1	4.3	7.2	13.8	21.7	20.3	27.5	0.0	82.78
	南林間地区	166	2.4	4.8	4.8	9.0	23.5	27.7	27.7	0.0	84.51
	鶴間地区	137	2.2	3.6	4.4	19.7	27.0	22.6	20.4	0.0	83.02
	深見・大和地区	136	6.6	5.9	8.1	12.5	19.1	22.1	25.7	0.0	82.35
	上草柳地区	66	0.0	4.5	10.6	4.5	25.8	33.3	21.2	0.0	84.06
	中央地区	96	4.2	4.2	7.3	14.6	20.8	26.0	22.9	0.0	82.85
	桜丘地区	66	0.0	1.5	6.1	12.1	18.2	25.8	36.4	0.0	85.88
	和田地区	70	2.9	2.9	4.3	18.6	25.7	32.9	12.9	0.0	82.60
	福田北地区	86	3.5	3.5	5.8	10.5	24.4	30.2	22.1	0.0	83.63
福田南地区	128	1.6	3.1	3.9	13.3	25.8	31.3	21.1	0.0	84.08	

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《深見・大和》・《中央地区》・《桜丘地区》・《和田地区》・《福田北地区》・《福田南地区》で『後期高齢者（75歳以上）』が市全体の割合（57.4％）を超えて多くなっている。また、平均年齢は、《中央林間地区》で74.82歳と最も低く、《和田地区》で77.65歳と最も高くなっている。

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《深見・大和地区》で「80～84歳」が19.4％と2割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。また、平均年齢は、《深見・大和地区》で81.86歳と最も低く、《中央地区》で83.58歳と最も高くなっている。

【要介護認定者】

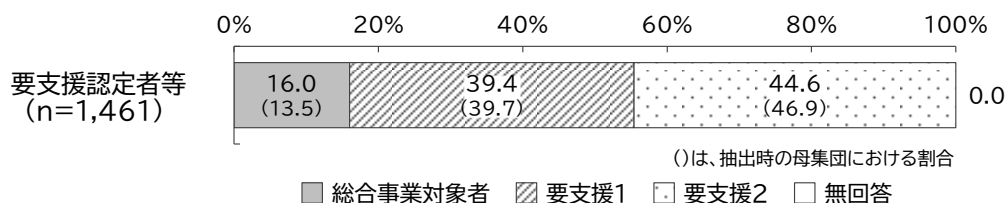
日常生活圏域別にみると、《和田地区》で『後期高齢者（75歳以上）』が90.1％と9割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。また、平均年齢は、《深見・大和地区》で82.35歳と最も低く、《桜丘地区》で85.88歳と最も高くなっている。

<<要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性>>

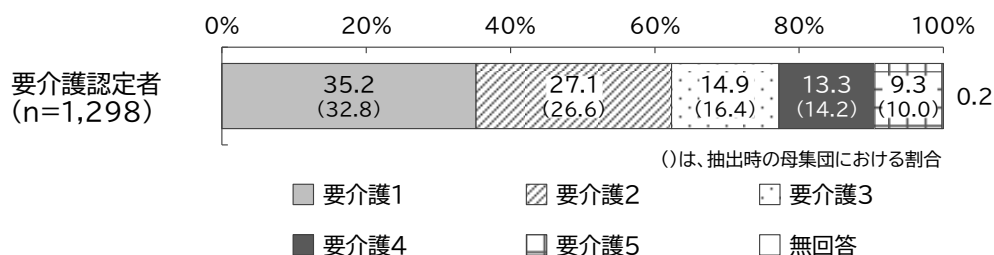
要介護度（単数回答）

【単純集計】

要支援度



要介護度



要支援度は、「要支援2」が44.6%と最も多く、次いで「要支援1」が39.4%、「総合事業対象者」が16.0%となっている。

要介護度は、「要介護1」が35.2%と最も多く、次いで「要介護2」が27.1%、「要介護3」が14.9%などとなっている。また、『要介護1～2』は62.3%と、比較的軽度の方が多い。

抽出時の母集団における構成割合と比較すると、要支援度・要介護度別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、<<桜丘地区>>・<<和田地区>>で「総合事業対象者」が2割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、<<鶴間地区>>・<<桜丘地区>>・<<和田地区>>・<<福田南地区>>で比較的要介護度が高い『要介護3～5』が4割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

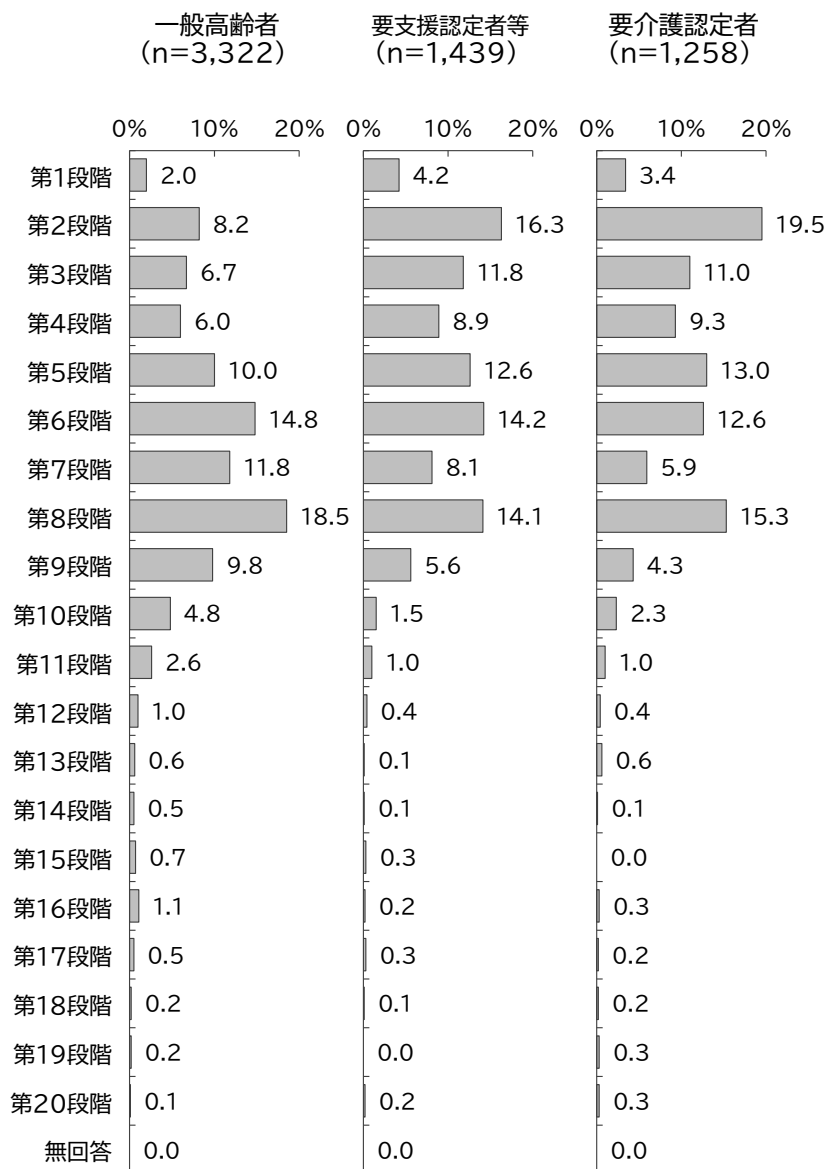
【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】



《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

介護保険料の所得段階

【単純集計】

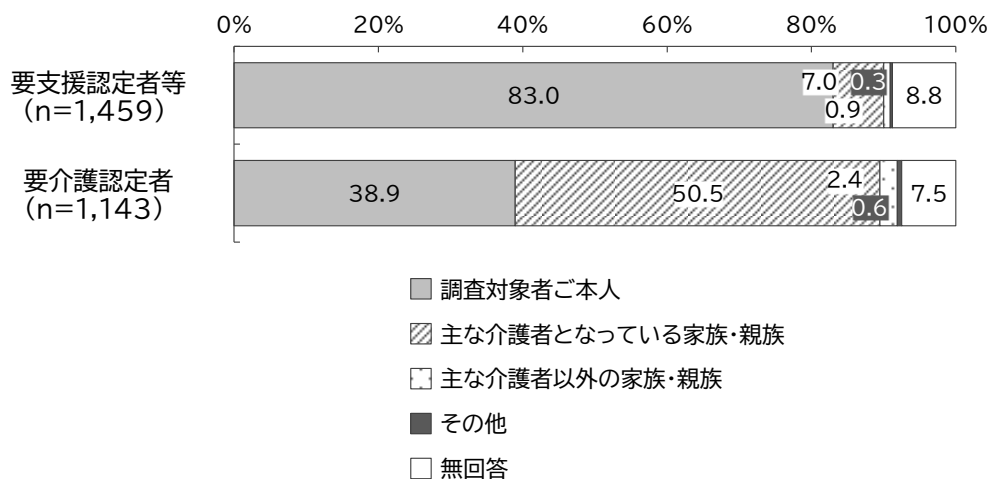


介護保険料の所得段階は、一般高齢者において「第8段階」が18.5%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては「第2段階」が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「第2段階」が多く、「第7段階」、「第8段階」、「第9段階」が少なくなっている。

《要支援認定者等：事前設問・要介護認定者：事前設問》

この調査票に記入される方はどなたですか。（単数回答）

【単純集計】



調査票の記入者は、要支援認定者等において「調査対象者ご本人」が 83.0%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「主な介護者となっている家族・親族」が 50.5%と最も多くなっている。これらの結果より、要介護者は要支援者等と比較して代理記入者の割合が高い傾向にある。この背景には、要介護状態にある方は、身体機能の低下や認知機能の衰えが進んでいる場合も少なくないことから、対象者本人が自力でアンケートに回答することが困難な状況にあるものと推察される。

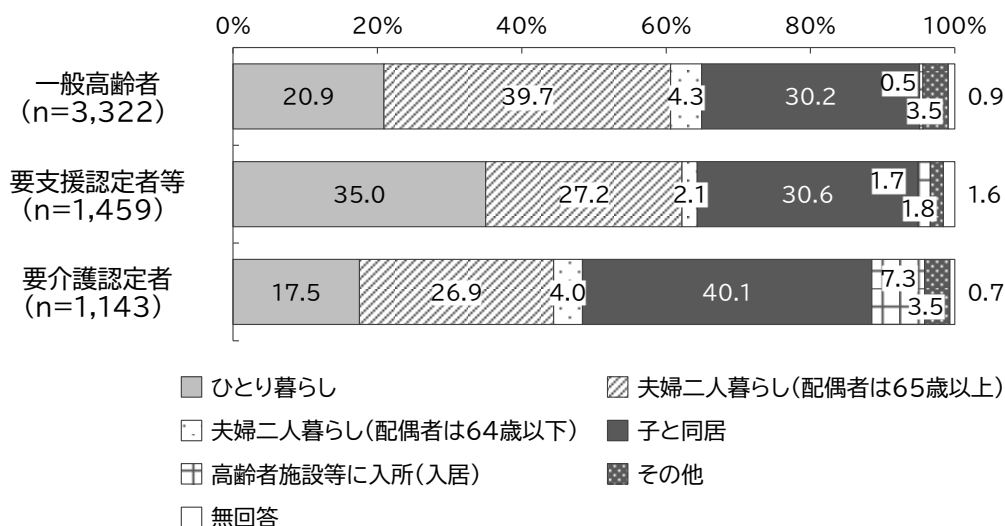
1 家族や生活状況について

《一般高齢者：問1・要支援認定者等：問1・要介護認定者：問1》

ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(単数回答)

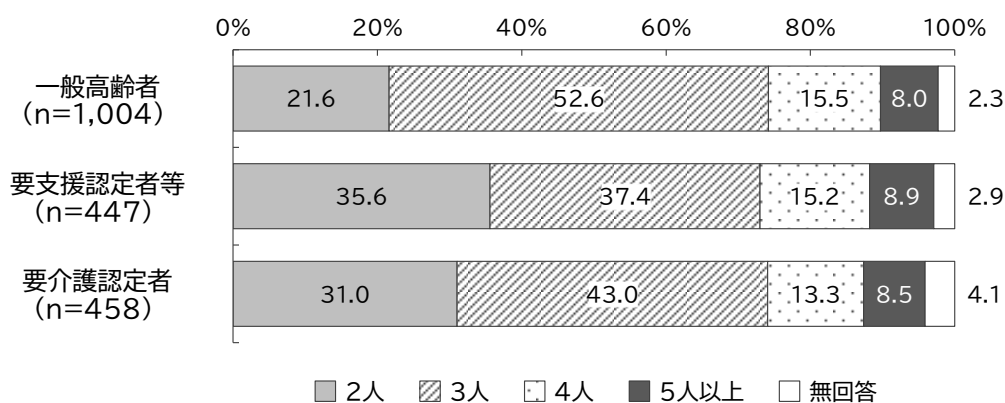
【単純集計】

世帯構成



※「高齢者施設等に入所(入居)」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢である。

本人を含めた同居人数(「子と同居」と回答した方のみ回答)



世帯構成は、一般高齢者において「夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)」が39.7%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者において「ひとり暮らし」(35.0%)、要介護認定者において「子と同居」(40.1%)が最も多くなっている。

子と同居している方の同居人数は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「3人」が最も多く、「2人」、「4人」が続く。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者		調査数（人）	世帯構成（％）						
			ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	高齢者施設等に入所（入居）	その他	無回答
全体		3,322	20.9	39.7	4.3	30.2	0.5	3.5	0.9
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	16.4	42.0	4.5	32.3	0.0	3.5	1.3
	中央林間地区	329	21.6	40.1	7.0	26.1	0.0	3.6	1.5
	南林間地区	407	21.1	42.8	3.7	27.5	0.2	4.2	0.5
	鶴間地区	315	21.6	42.5	4.1	27.9	0.6	2.2	1.0
	深見・大和地区	329	20.1	33.7	3.3	35.6	0.9	5.2	1.2
	上草柳地区	178	17.4	38.2	6.7	29.8	1.1	6.2	0.6
	中央地区	272	19.9	43.8	3.7	28.3	0.4	3.3	0.7
	桜丘地区	148	18.9	41.2	3.4	31.8	0.7	3.4	0.7
	和田地区	236	30.5	33.5	3.8	28.4	2.1	0.8	0.8
	福田北地区	204	24.5	38.2	3.4	31.9	0.0	2.0	0.0
	福田南地区	366	21.9	37.2	4.1	32.2	0.3	3.6	0.8

要支援認定者等		調査数（人）	世帯構成（％）						
			ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	高齢者施設等に入所（入居）	その他	無回答
全体		1,459	35.0	27.2	2.1	30.6	1.7	1.8	1.6
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	208	33.2	29.8	1.0	32.2	1.4	1.4	1.0
	中央林間地区	153	33.3	32.0	0.7	28.1	1.3	2.6	2.0
	南林間地区	174	39.7	29.3	2.9	23.6	0.6	1.1	2.9
	鶴間地区	151	37.1	19.2	3.3	33.1	4.6	1.3	1.3
	深見・大和地区	155	34.8	23.9	3.9	31.0	2.6	1.9	1.9
	上草柳地区	78	30.8	26.9	2.6	34.6	0.0	1.3	3.8
	中央地区	113	30.1	23.9	2.7	37.2	2.7	0.9	2.7
	桜丘地区	74	25.7	29.7	1.4	39.2	0.0	4.1	0.0
	和田地区	100	50.0	21.0	2.0	23.0	1.0	2.0	1.0
	福田北地区	94	39.4	30.9	0.0	27.7	1.1	1.1	0.0
	福田南地区	159	29.6	30.8	2.5	32.1	1.9	2.5	0.6

要介護認定者		調査数（人）	世帯構成（％）						
			ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	高齢者施設等に入所（入居）	その他	無回答
全体		1,143	17.5	26.9	4.0	40.1	7.3	3.5	0.7
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	192	14.1	31.3	3.1	40.1	9.4	1.6	0.5
	中央林間地区	124	16.1	29.8	2.4	40.3	8.9	2.4	0.0
	南林間地区	150	22.0	26.0	6.0	31.3	8.7	4.7	1.3
	鶴間地区	124	24.2	24.2	3.2	40.3	4.0	3.2	0.8
	深見・大和地区	119	16.8	27.7	4.2	41.2	5.0	4.2	0.8
	上草柳地区	55	10.9	30.9	3.6	47.3	3.6	3.6	0.0
	中央地区	81	14.8	29.6	4.9	37.0	9.9	2.5	1.2
	桜丘地区	55	20.0	18.2	5.5	52.7	1.8	1.8	0.0
	和田地区	61	24.6	9.8	0.0	45.9	14.8	4.9	0.0
	福田北地区	71	15.5	33.8	5.6	33.8	4.2	7.0	0.0
	福田南地区	111	13.5	24.3	5.4	43.2	7.2	4.5	1.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「ひとり暮らし」が30.5%と3割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「ひとり暮らし」が50.0%と半数で他の日常生活圏域より多くなっている。

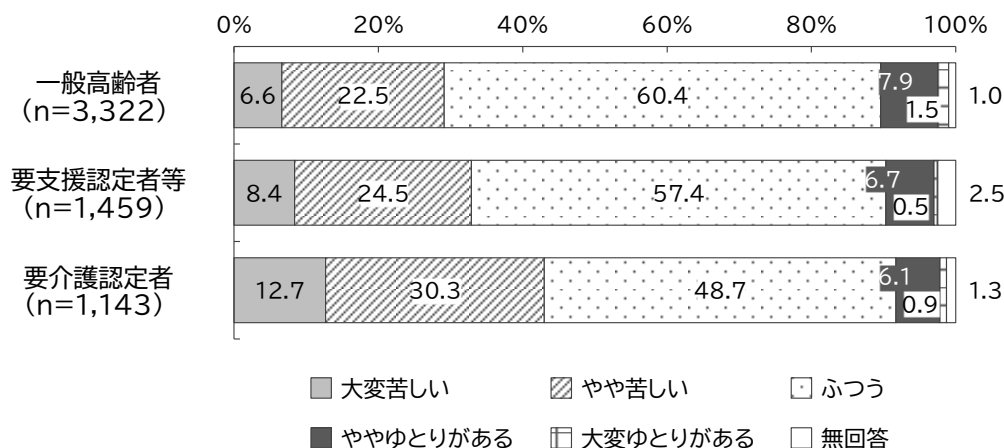
【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《桜丘地区》で「子と同居」が52.7%と半数を超えて他の日常生活圏域より多く、《和田地区》では「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が9.8%と1割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

《一般高齢者：問3・要支援認定者等：問2・要介護認定者：問2》

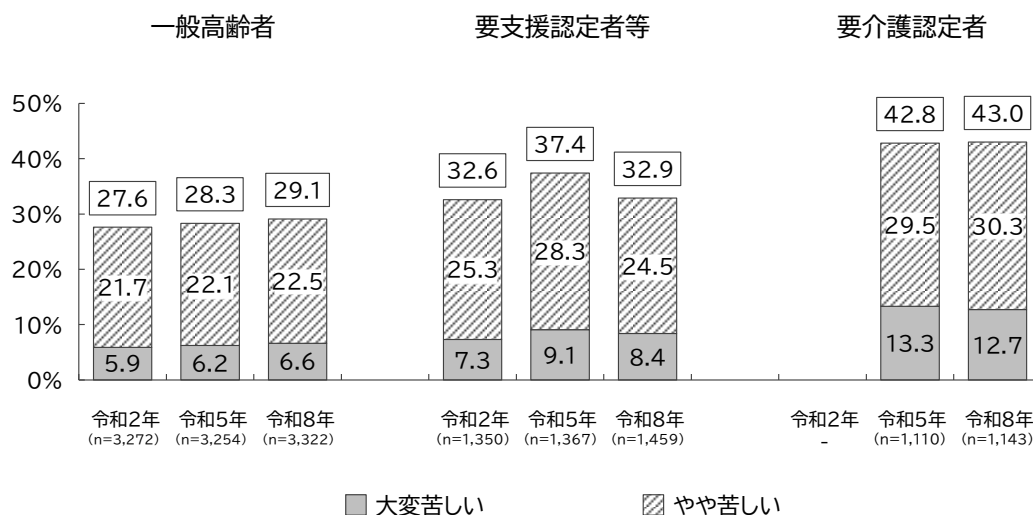
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

【単純集計】



経済的にみた暮らしの状況は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「ふつう」が最も多く、「やや苦しい」が続く。また、介護を必要とするほど『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が多く、「ふつう」が少なくなっている。

【経年比較】



※令和2年調査において、要介護認定者でこの質問は設けていない。

前回、前々回と比較してみると、『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』は一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに大きな推移の差異はみられないものの、要支援認定者等においては令和5年にやや増加、令和8年にやや減少している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢層別・要支援度別・世帯構成別】

一般高齢者	調査数（人）	暮らしの状況（％）						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	3,322	6.6	22.5	60.4	7.9	1.5	1.0	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	6.1	19.9	61.0	9.9	2.4	0.7
	中央林間地区	329	4.0	18.5	61.4	10.9	3.3	1.8
	南林間地区	407	5.9	20.4	63.4	8.4	1.7	0.2
	鶴間地区	315	7.6	26.7	56.5	7.6	0.3	1.3
	深見・大和地区	329	6.4	21.6	62.0	7.6	1.2	1.2
	上草柳地区	178	7.9	23.6	56.7	7.9	2.2	1.7
	中央地区	272	7.7	20.6	63.2	7.0	1.1	0.4
	桜丘地区	148	9.5	23.6	54.7	10.8	0.7	0.7
	和田地区	236	9.7	25.4	59.7	3.4	0.8	0.8
	福田北地区	204	4.4	25.5	59.3	8.3	1.5	1.0
	福田南地区	366	6.3	26.8	60.4	4.9	0.5	1.1
年齢層別								
	65～69歳	665	7.5	23.3	57.9	7.8	3.0	0.5
	70～74歳	747	7.4	25.6	57.3	7.8	1.3	0.7
	75～79歳	942	6.3	24.2	60.1	7.5	1.1	0.8
	80～84歳	616	6.7	20.8	61.9	8.3	1.1	1.3
	85～89歳	277	4.7	14.8	69.3	7.9	1.1	2.2
	90歳以上	75	1.3	8.0	73.3	13.3	1.3	2.7
世帯構成別	ひとり暮らし	694	9.1	21.0	59.2	8.1	1.9	0.7
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	1,318	4.6	22.5	60.8	10.5	1.2	0.4
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	144	7.6	19.4	60.4	9.7	2.8	0.0
	子と同居	1,004	6.6	24.3	61.8	4.7	1.7	1.0
	高齢者施設等	16	18.8	37.5	43.8	0.0	0.0	0.0
その他	116	10.3	22.4	59.5	6.9	0.9	0.0	

要支援認定者等	調査数（人）	暮らしの状況（％）						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	1,459	8.4	24.5	57.4	6.7	0.5	2.5	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	208	10.1	22.6	56.7	8.2	0.5	1.9
	中央林間地区	153	8.5	22.2	56.2	9.2	0.0	3.9
	南林間地区	174	9.2	28.2	53.4	6.3	0.0	2.9
	鶴間地区	151	7.3	24.5	58.3	6.0	0.7	3.3
	深見・大和地区	155	9.0	22.6	61.3	5.2	0.6	1.3
	上草柳地区	78	9.0	20.5	60.3	6.4	0.0	3.8
	中央地区	113	7.1	28.3	54.9	4.4	0.9	4.4
	桜丘地区	74	5.4	18.9	64.9	8.1	0.0	2.7
	和田地区	100	16.0	35.0	46.0	1.0	1.0	1.0
	福田北地区	94	5.3	26.6	54.3	11.7	2.1	0.0
	福田南地区	159	4.4	20.8	64.8	6.9	0.6	2.5
年齢層別	40～64歳	22	18.2	40.9	31.8	4.5	0.0	4.5
	65～69歳	35	28.6	20.0	42.9	5.7	2.9	0.0
	70～74歳	101	20.8	32.7	40.6	3.0	0.0	3.0
	75～79歳	264	8.7	31.1	51.9	5.3	0.8	2.3
	80～84歳	434	9.4	25.1	56.5	7.1	0.0	1.8
	85～89歳	404	3.2	22.0	63.4	7.4	0.5	3.5
	90歳以上	199	5.0	14.1	68.3	8.5	1.5	2.5
要支援度別	総合事業対象者	234	7.7	26.1	55.6	7.3	0.4	3.0
	要支援1	573	6.8	23.4	59.5	7.9	0.7	1.7
	要支援2	652	10.0	24.8	56.1	5.5	0.5	3.1
世帯構成別	ひとり暮らし	510	12.2	25.5	55.5	5.7	0.0	1.2
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	397	4.3	26.4	60.2	7.6	0.5	1.0
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	31	3.2	29.0	54.8	9.7	3.2	0.0
	子と同居	447	8.1	22.6	59.3	7.8	1.1	1.1
	高齢者施設等	25	8.0	28.0	56.0	4.0	0.0	4.0
その他	26	15.4	19.2	65.4	0.0	0.0	0.0	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて－5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「鶴間地区」・「上草柳地区」・「桜丘地区」・「和田地区」・「福田南地区」で『苦しい（大変苦しい＋やや苦しい）』が3割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

年齢層別にみると、「65～69歳」・「70～74歳」・「75～79歳」で『苦しい（大変苦しい＋やや苦しい）』が3割を超えて他の年齢層より多くなっている。

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」・「子と同居」で『苦しい（大変苦しい＋やや苦しい）』が3割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・年齢層別・要介護度別・世帯構成別】

要介護認定者	調査数（人）	暮らしの状況（％）						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	1,143	12.7	30.3	48.7	6.1	0.9	1.3	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	192	10.9	25.0	55.2	5.7	0.5	2.6
	中央林間地区	124	8.9	27.4	51.6	8.1	4.0	0.0
	南林間地区	150	10.7	30.7	48.0	8.0	0.0	2.7
	鶴間地区	124	13.7	41.9	37.1	6.5	0.0	0.8
	深見・大和地区	119	16.0	27.7	47.1	6.7	1.7	0.8
	上草柳地区	55	14.5	30.9	47.3	5.5	1.8	0.0
	中央地区	81	13.6	27.2	50.6	4.9	1.2	2.5
	桜丘地区	55	12.7	34.5	45.5	7.3	0.0	0.0
	和田地区	61	23.0	29.5	42.6	1.6	0.0	3.3
	福田北地区	71	11.3	29.6	57.7	1.4	0.0	0.0
	福田南地区	111	11.7	32.4	48.6	7.2	0.0	0.0
年齢層別	40～64歳	35	25.7	22.9	48.6	2.9	0.0	0.0
	65～69歳	50	26.0	34.0	34.0	4.0	2.0	0.0
	70～74歳	74	20.3	32.4	39.2	5.4	1.4	1.4
	75～79歳	160	17.5	41.9	34.4	6.3	0.0	0.0
	80～84歳	273	10.6	34.8	47.6	4.8	0.7	1.5
	85～89歳	293	13.0	25.6	52.2	7.2	0.3	1.7
	90歳以上	258	5.0	23.3	60.5	7.4	1.9	1.9
要介護度別	要介護1	447	9.2	28.2	54.1	6.7	0.4	1.3
	要介護2	339	14.5	29.5	48.7	5.3	1.2	0.9
	要介護3	161	14.3	32.9	44.1	6.2	0.6	1.9
	要介護4	107	17.8	33.6	40.2	5.6	1.9	0.9
	要介護5	89	14.6	34.8	40.4	6.7	1.1	2.2
世帯構成別	ひとり暮らし	200	13.5	32.5	47.0	5.0	1.5	0.5
	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	307	11.1	30.6	48.2	8.1	1.0	1.0
	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	46	17.4	28.3	47.8	6.5	0.0	0.0
	子と同居	458	10.5	29.7	53.3	5.2	0.4	0.9
	高齢者施設等	84	21.4	28.6	39.3	8.3	1.2	1.2
	その他	40	22.5	35.0	37.5	2.5	2.5	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、
網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の
差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が51.0%と半数を超えて他の日常生活圏域より多く、「ふつう」が46.0%と半数を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

年齢層別にみると、《90歳以上》で『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が19.1%と2割を下回って他の年齢層より少なくなっている。

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「大変苦しい」が1割を超えて他の世帯構成より多く、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》では「ふつう」が6割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《鶴間地区》・《和田地区》で『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が半数を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。また、《鶴間地区》では「ふつう」が37.1%と4割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

年齢層別にみると、《65～69歳》で『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が60.0%と6割で他の年齢層より多くなっている。

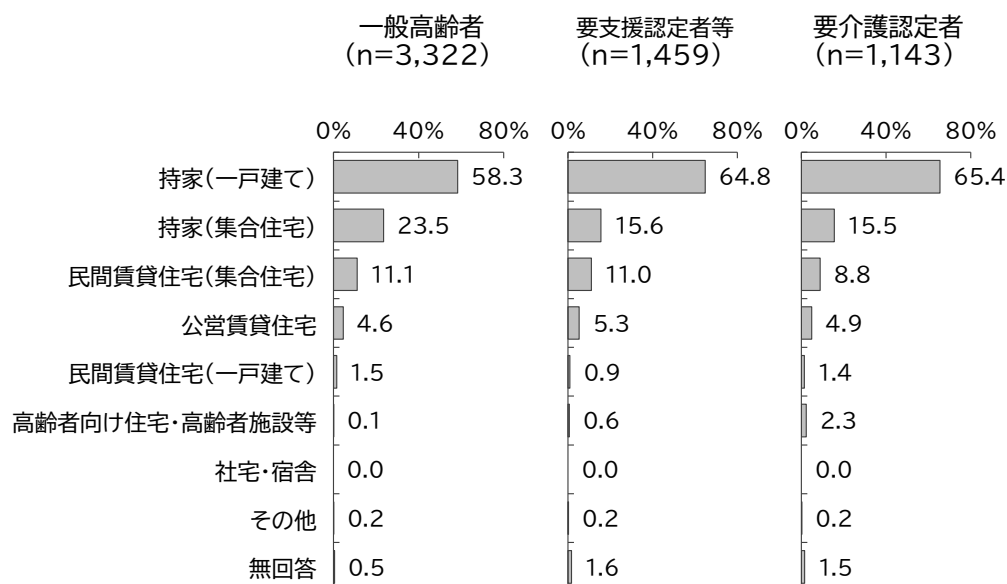
要介護度別にみると、《要介護1》で「ふつう」が54.1%と半数を超えて他の要介護度より多く、《要介護4》では『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が51.4%と半数を超えて他の要介護度より多くなっている。

世帯構成別にみると、《高齢者施設等》で『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が半数を超えて他の世帯構成より多くなっている。また、《子と同居》では「ふつう」が53.3%と半数を超えて他の世帯構成より多く、《高齢者施設等》では「大変苦しい」が2割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

《一般高齢者：問４・要支援認定者等：問３・要介護認定者：問３》

ご自宅は次のどれですか。（単数回答）

【単純集計】



※「高齢者向け住宅・高齢者施設等」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢である。

自宅の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「持家（一戸建て）」が最も多く、「持家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が続く。また、介護を必要とするほど「持家（一戸建て）」が多く、「持家（集合住宅）」が少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢層別・要支援度別・世帯構成別・暮らしの状況別】

一般高齢者	調査数(人)	自宅の種類(%)								
		持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	高齢者向け住宅・高齢者施設等	社宅・宿舍	その他	無回答
全体	3,322	58.3	23.5	11.1	4.6	1.5	0.1	0.0	0.2	0.5
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	51.3	34.0	10.6	1.3	1.9	0.0	0.6	0.4
	中央林間地区	329	48.6	40.1	8.8	0.9	0.6	0.0	0.0	0.9
	南林間地区	407	63.6	20.1	14.7	0.0	1.0	0.0	0.2	0.2
	鶴間地区	315	59.4	24.1	11.4	2.5	1.6	0.0	0.3	0.6
	深見・大和地区	329	55.0	27.1	11.2	3.3	1.5	0.6	0.0	0.6
	上草柳地区	178	63.5	15.7	18.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.1
	中央地区	272	51.5	33.5	11.8	1.5	0.7	0.4	0.0	0.4
	桜丘地区	148	79.1	9.5	6.8	1.4	2.0	0.7	0.0	0.7
	和田地区	236	42.8	0.8	11.0	42.8	1.7	0.0	0.4	0.4
	福田北地区	204	62.7	19.6	10.3	6.4	1.0	0.0	0.0	0.0
	福田南地区	366	75.1	12.3	8.2	0.8	2.7	0.0	0.0	0.8
年齢層別	65～69歳	665	44.5	34.6	17.0	2.3	0.9	0.0	0.3	0.5
	70～74歳	747	49.4	28.8	14.3	4.7	2.0	0.4	0.0	0.4
	75～79歳	942	62.3	20.7	9.2	5.3	1.9	0.0	0.1	0.4
	80～84歳	616	70.5	13.6	7.3	5.8	1.5	0.2	0.2	0.5
	85～89歳	277	71.1	17.0	4.7	5.1	0.4	0.0	0.7	1.1
	90歳以上	75	72.0	14.7	6.7	2.7	1.3	0.0	0.0	2.7
要支援度別	総合事業対象者	234	65.0	19.7	5.6	7.7	0.4	0.0	0.0	1.3
	要支援1	573	65.3	15.2	11.7	4.5	1.0	0.7	0.0	1.4
	要支援2	652	64.3	14.4	12.3	5.2	0.9	0.8	0.0	2.0
世帯構成別	ひとり暮らし	694	41.9	21.2	23.8	9.8	2.7	0.0	0.4	0.1
	夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	1,318	59.3	27.8	7.4	4.4	1.0	0.0	0.1	0.1
	夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)	144	47.2	35.4	13.9	2.8	0.7	0.0	0.0	0.0
	子と同居	1,004	69.6	19.8	7.1	1.6	1.5	0.0	0.2	0.2
	高齢者施設等	16	6.3	0.0	43.8	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	その他	116	72.4	13.8	7.8	1.7	1.7	0.0	0.0	1.7
暮らしの状況別	大変苦しい	219	32.0	16.4	34.7	9.1	5.9	0.5	0.0	0.9
	やや苦しい	749	51.1	21.9	16.4	6.9	2.8	0.3	0.0	0.4
	ふつう	2,007	62.7	24.7	7.8	3.7	0.8	0.0	0.1	0.0
	ややゆとりがある	264	67.8	26.5	4.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	大変ゆとりがある	51	76.5	21.6	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「和田地区」で「公営賃貸住宅」が42.8%と4割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

年齢層別にみると、年齢層が高くなるほど「持家(一戸建て)」が多くなっている。

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「持家(一戸建て)」が41.9%と約4割で他の世帯構成より少なく、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が23.8%と2割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」においては「持ち家(一戸建て)」と「民間賃貸住宅(集合住宅)」がともに3割程度となっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・年齢層別・要介護度別・世帯構成別・暮らしの状況別】

要介護認定者	調査数（人）	自宅の種類（％）								無回答
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	高齢者向け住宅・高齢者施設等	社宅・宿舍	その他	
全体	1,143	65.4	15.5	8.8	4.9	1.4	2.3	0.0	0.2	1.5
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	192	65.6	18.8	6.3	2.6	2.6	3.1	0.0	1.0
	中央林間地区	124	66.1	22.6	5.6	3.2	0.0	1.6	0.0	0.8
	南林間地区	150	61.3	19.3	12.7	0.0	0.7	3.3	0.0	2.7
	鶴間地区	124	64.5	13.7	12.1	3.2	3.2	2.4	0.0	0.8
	深見・大和地区	119	63.9	18.5	12.6	2.5	1.7	0.0	0.0	0.8
	上草柳地区	55	76.4	10.9	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	中央地区	81	55.6	27.2	6.2	6.2	0.0	2.5	1.2	1.2
	桜丘地区	55	78.2	5.5	12.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	和田地区	61	39.3	0.0	4.9	39.3	1.6	9.8	0.0	4.9
	福田北地区	71	67.6	7.0	7.0	14.1	0.0	1.4	1.4	1.4
	福田南地区	111	81.1	8.1	6.3	0.9	0.9	0.9	0.0	1.8
年齢層別	40～64歳	35	54.3	22.9	17.1	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	50	42.0	26.0	26.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	74	44.6	25.7	18.9	4.1	0.0	0.0	0.0	6.8
	75～79歳	160	60.6	19.4	11.9	3.1	1.3	3.1	0.0	0.6
	80～84歳	273	67.4	13.6	7.0	6.2	1.8	2.2	0.4	1.5
	85～89歳	293	68.6	13.7	4.8	7.2	2.4	2.0	0.0	1.4
	90歳以上	258	74.8	11.2	6.2	2.7	0.0	3.5	0.4	1.2
要介護度別	要介護1	447	67.8	13.9	8.7	4.9	1.1	1.3	0.4	1.8
	要介護2	339	63.4	16.8	10.0	4.7	1.2	2.7	0.0	1.2
	要介護3	161	64.6	16.8	6.2	6.2	1.2	3.1	0.0	1.9
	要介護4	107	68.2	14.0	10.3	3.7	2.8	0.9	0.0	0.0
	要介護5	89	59.6	18.0	7.9	4.5	2.2	5.6	0.0	2.2
世帯構成別	ひとり暮らし	200	47.0	15.5	21.5	9.5	3.0	0.0	0.0	3.5
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	307	70.4	18.6	4.6	5.5	1.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	46	47.8	26.1	23.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	子と同居	458	75.3	12.7	6.8	3.7	0.9	0.0	0.0	0.7
	高齢者施設等	84	42.9	21.4	0.0	1.2	0.0	31.0	2.4	1.2
	その他	40	82.5	2.5	5.0	2.5	7.5	0.0	0.0	0.0
暮らしの状況別	大変苦しい	145	44.8	15.2	17.9	9.7	3.4	6.9	0.7	1.4
	やや苦しい	346	59.5	15.0	11.8	7.2	2.3	2.6	0.0	1.4
	ふつう	557	73.2	16.0	5.6	3.1	0.5	1.1	0.2	0.4
	ややゆとりがある	70	80.0	17.1	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大変ゆとりがある	10	80.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「持家（一戸建て）」が37.0%と4割を下回って他の日常生活圏域より少なく、「公営賃貸住宅」が50.0%と半数で他の日常生活圏域より多くなっている。

年齢層別にみると、《65～69歳》・《70～74歳》で「持家（一戸建て）」が半数を下回って他の年齢層より少なくなっている。

要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「持家（集合住宅）」が少なく、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が多くなっている。

世帯構成別にみると、《高齢者施設等》で「持家（一戸建て）」が0.0%と1割を下回って他の世帯構成より少なく、「公営賃貸住宅」、「高齢者向け住宅・高齢者施設等」が他の世帯構成より多くなっている。

暮らしの状況別にみると、暮らしにゆとりがあるほど「持家（一戸建て）」が多く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「公営賃貸住宅」が少なくなっている。

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「持家（一戸建て）」が39.3%と4割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

年齢層別にみると、《90歳以上》で「持家（一戸建て）」が74.8%と7割を超えて他の年齢層より多くなっている。

要介護度別にみると、《要介護5》で「持家（一戸建て）」が59.6%と6割を下回って他の要介護度より少なくなっている。

世帯構成別にみると、《高齢者施設等》で「高齢者向け住宅・高齢者施設等」が31.0%と3割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

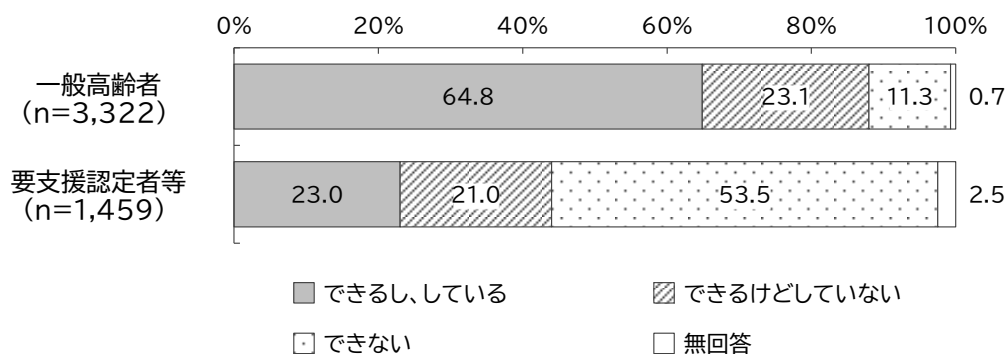
暮らしの状況別にみると、暮らしにゆとりがあるほど「持家（一戸建て）」が多く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が少なくなっている。

2 からだを動かすことについて

《一般高齢者：問5・要支援認定者等：問6》

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

【単純集計】

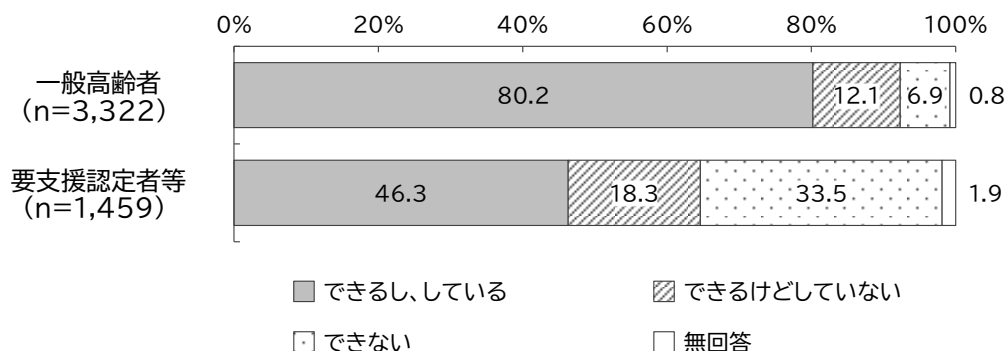


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、一般高齢者において「できるし、している」が64.8%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「できない」が53.5%と最も多くなっている。

《一般高齢者：問6・要支援認定者等：問7》

椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

【単純集計】

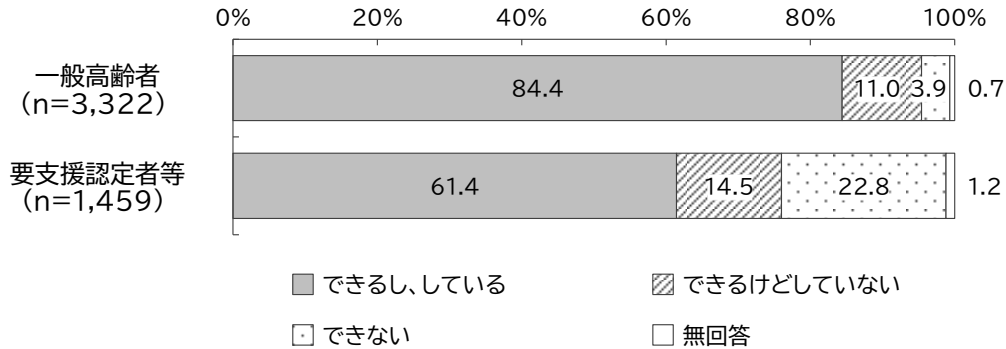


椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多くなっている。一方で、『していない(できるけどしていない+できない)』は、要支援認定者等の方が一般高齢者より32.8ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問7・要支援認定者等：問8》

15分位続けて歩いていますか。（単数回答）

【単純集計】

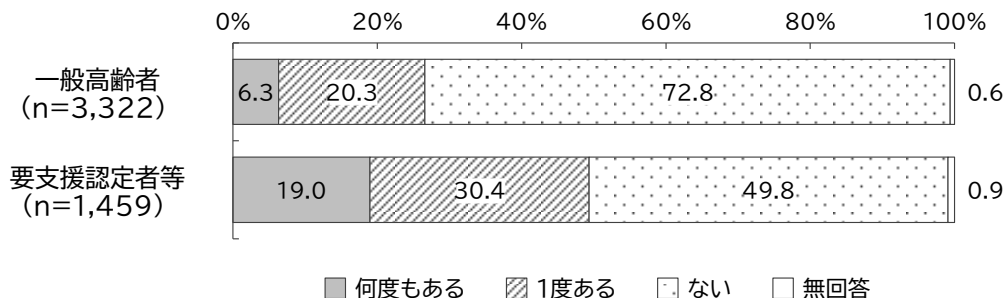


15分位続けて歩いているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多くなっている。一方で、『していない（できるけどしていない+できない）』は、要支援認定者等の方が一般高齢者より22.4ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問8・要支援認定者等：問9》

過去1年間に転んだ経験がありますか。（単数回答）

【単純集計】

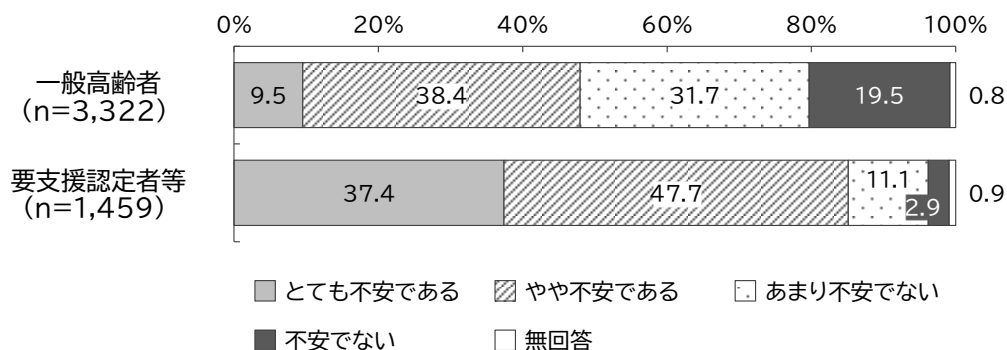


過去1年間に転んだ経験の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「ない」が最も多く、「1度ある」、「何度もある」が続く。一方で、「ない」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より23.0ポイント高くなっている。また、『ある（何度もある+1度ある）』は、一般高齢者で26.6%、要支援認定者等で49.4%と、要支援認定者等の方が一般高齢者より22.8ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問9・要支援認定者等：問10》

転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

【単純集計】



転倒に対する不安は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「やや不安である」が最も多くなっている。また、『不安（とても不安である＋やや不安である）』は、一般高齢者で 47.9%、要支援認定者等で 85.1%と、要支援認定者等の方が一般高齢者より 37.2 ポイント高くなっている。

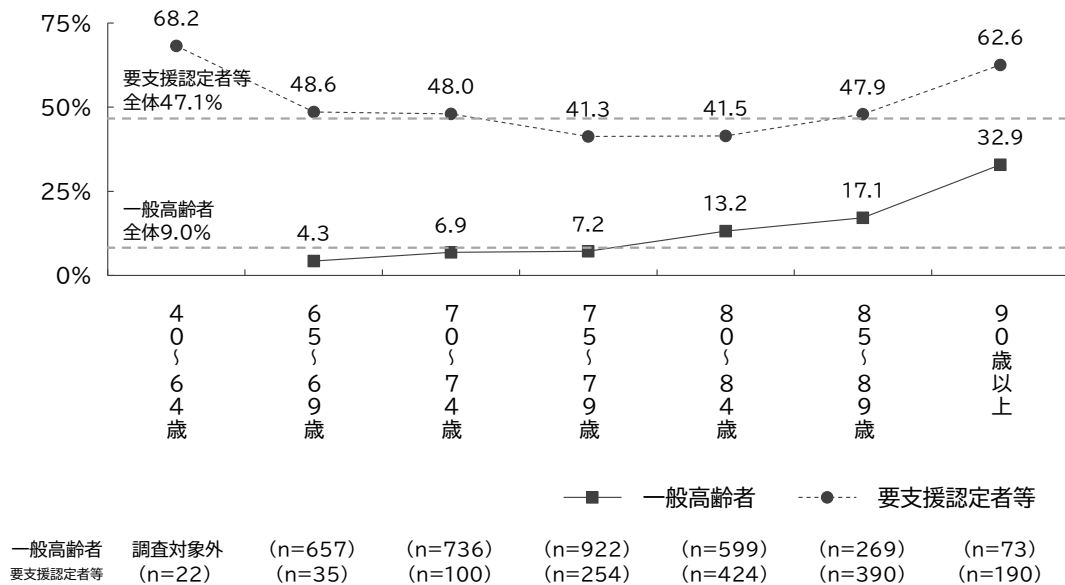
■ 運動器リスク該当者

厚生労働省の基本チェックリスト（運動機能）の手引きをもとに、各調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定した。

<判定設問>

問番号		設 問	該当する選択肢
一般	要支援等		
問5	問6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	・できない
問6	問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	・できない
問7	問8	15分位続けて歩いていますか。	・できない
問8	問9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	・何度もある ・1度ある
問9	問10	転倒に対する不安は大きいですか。	・とても不安である ・やや不安である

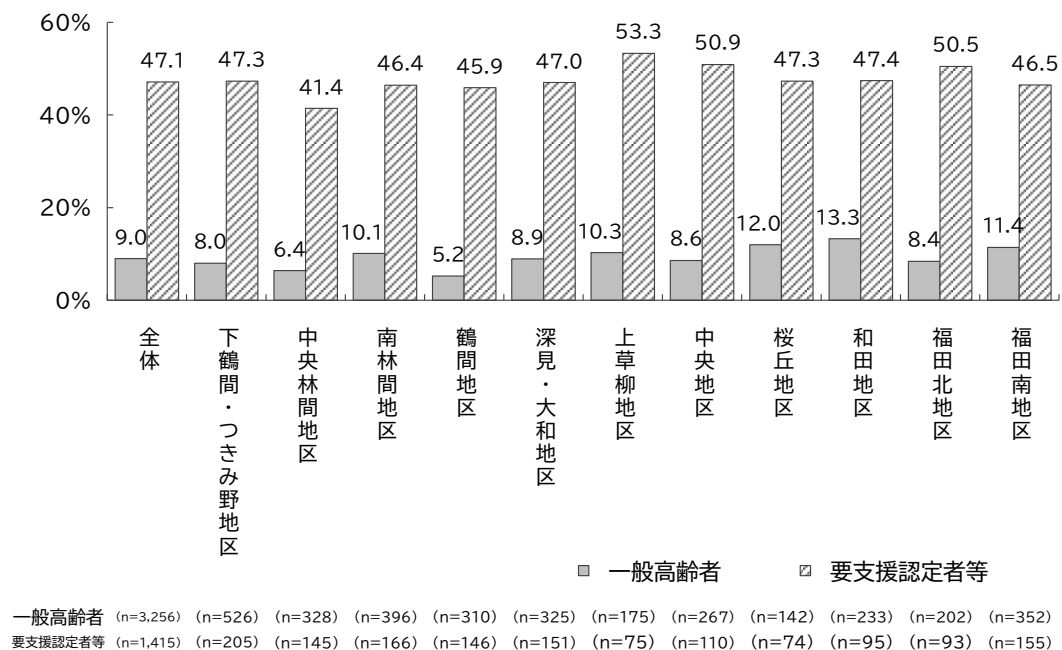
【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別】



国の手引きに基づく運動器の評価結果による運動器の機能低下のリスク該当者は、一般高齢者で9.0%、要支援認定者等で47.1%となっている。

年齢層別にみると、要支援認定者等におけるすべての年齢層で4割以上と多くなっている。また、一般高齢者では「80～84歳」で急増し、その後一般高齢者・要支援認定者等ともに「90歳以上」で大幅に増加している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

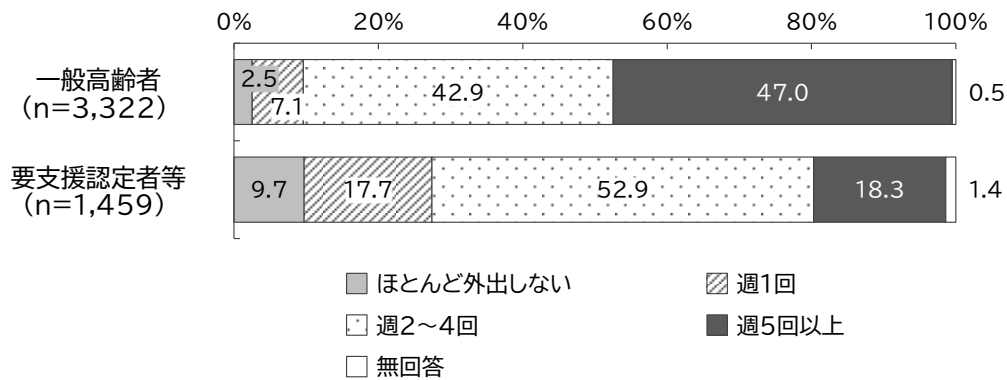


日常生活圏域別にみると、ほとんどの日常生活圏域において一般高齢者で1割前後、要支援認定者等で4割台となっているものの、要支援認定者等の「上草柳地区」・「中央地区」・「福田北地区」では半数を超えて多くなっている。

《一般高齢者：問10・要支援認定者等：問11》

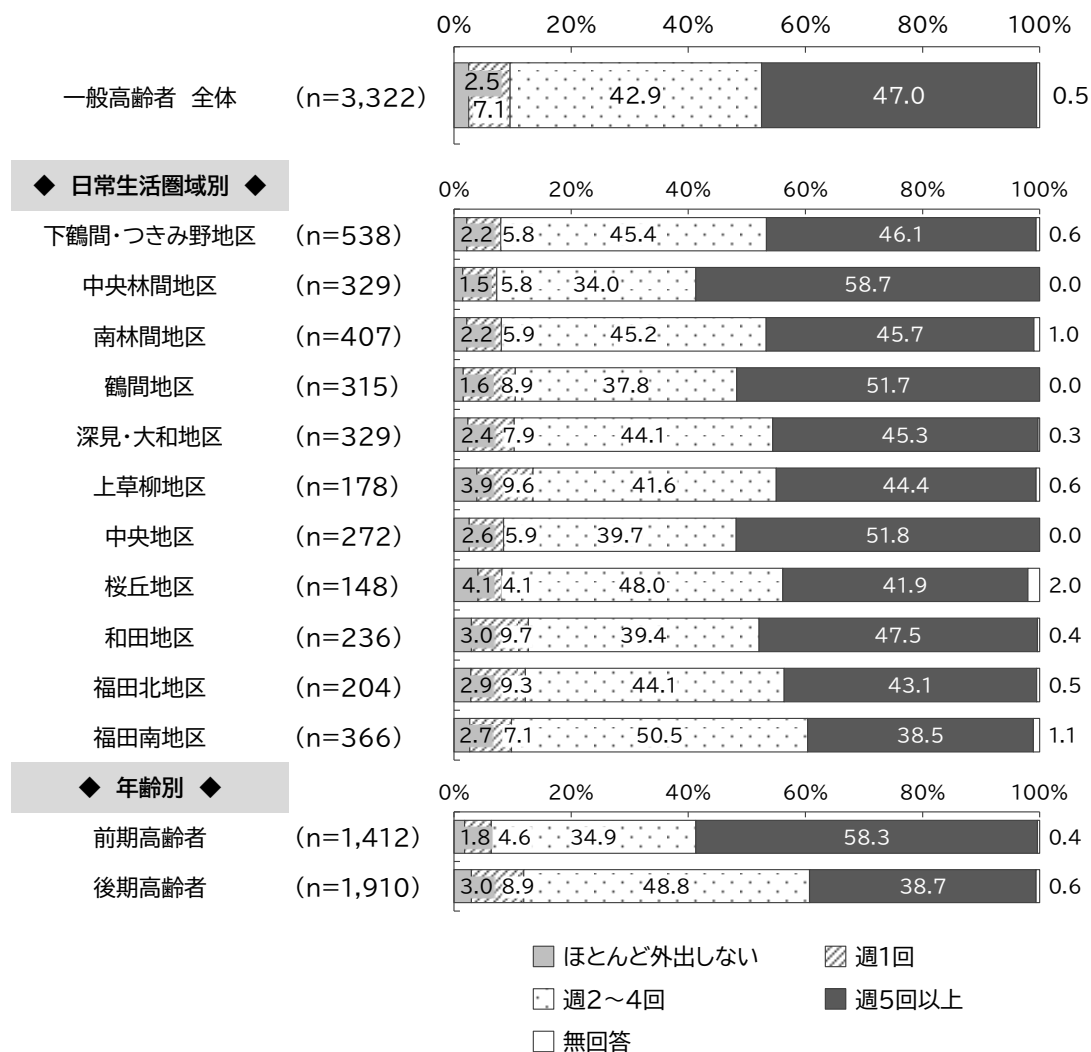
外出の頻度を教えてください。(単数回答)

【単純集計】



外出の頻度は、一般高齢者において「週5回以上」が47.0%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「週2～4回」が52.9%と最も多くなっている。また、『週1回以下(週1回+ほとんど外出しない)』は、一般高齢者で9.6%、要支援認定者等で27.4%と、要支援認定者等の方が一般高齢者より17.8ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・年齢別】

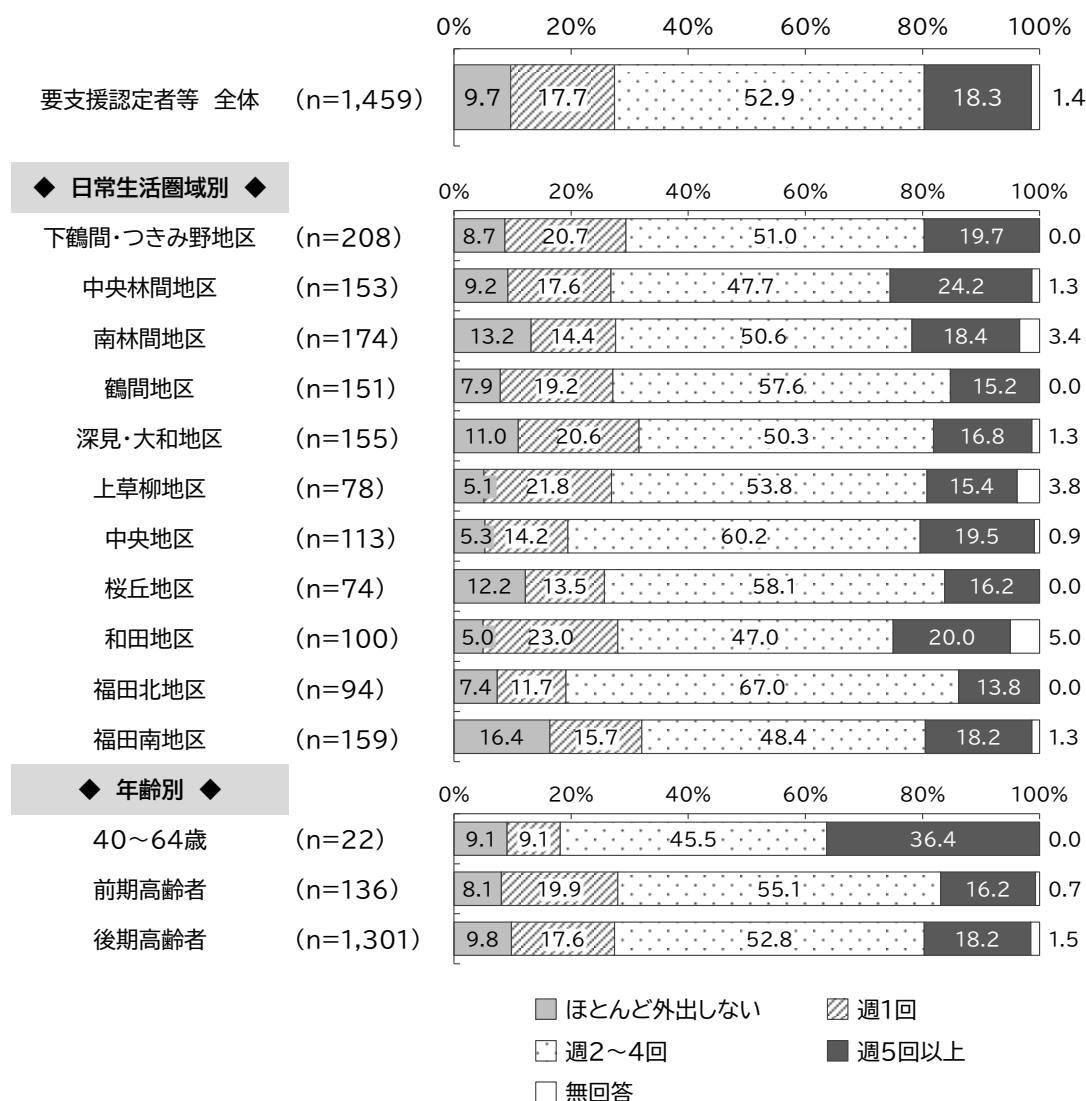


【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において『週1回以上』が9割を超えているものの、《福田南地区》では「週5回以上」が38.5%と4割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「週5回以上」が58.3%と《後期高齢者》より19.6ポイント高くなっている。また、『週1回以下(週1回+ほとんど外出しない)』は《前期高齢者》で6.4%、《後期高齢者》で11.9%と、《後期高齢者》の方が《前期高齢者》より5.5ポイント高く、2倍近くになっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢別】



【要支援認定者等】

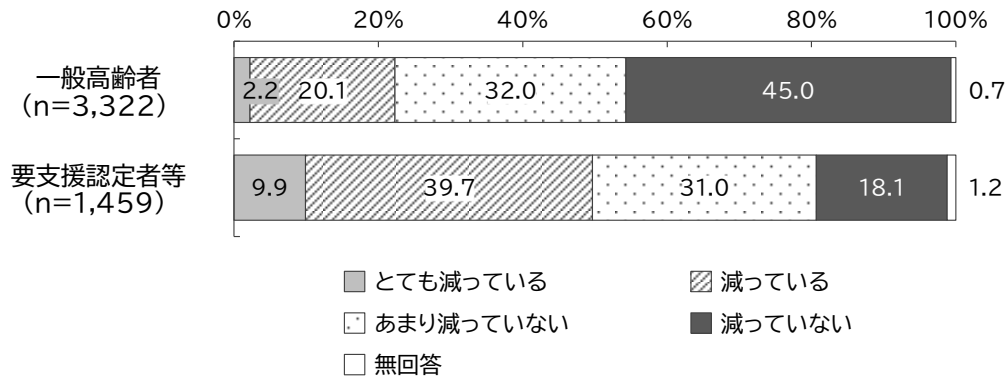
日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において『週1回以上』が8割を超えているものの、《南林間地区》・《深見・大和地区》・《桜丘地区》・《福田南地区》では「ほとんど外出しない」が1割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

年齢別にみると、《40～64歳》で「週5回以上」が36.4%と他の年齢より多くなっている。《前期高齢者》・《後期高齢者》では、大きな差異はみられない。

《一般高齢者：問 11・要支援認定者等：問 12》

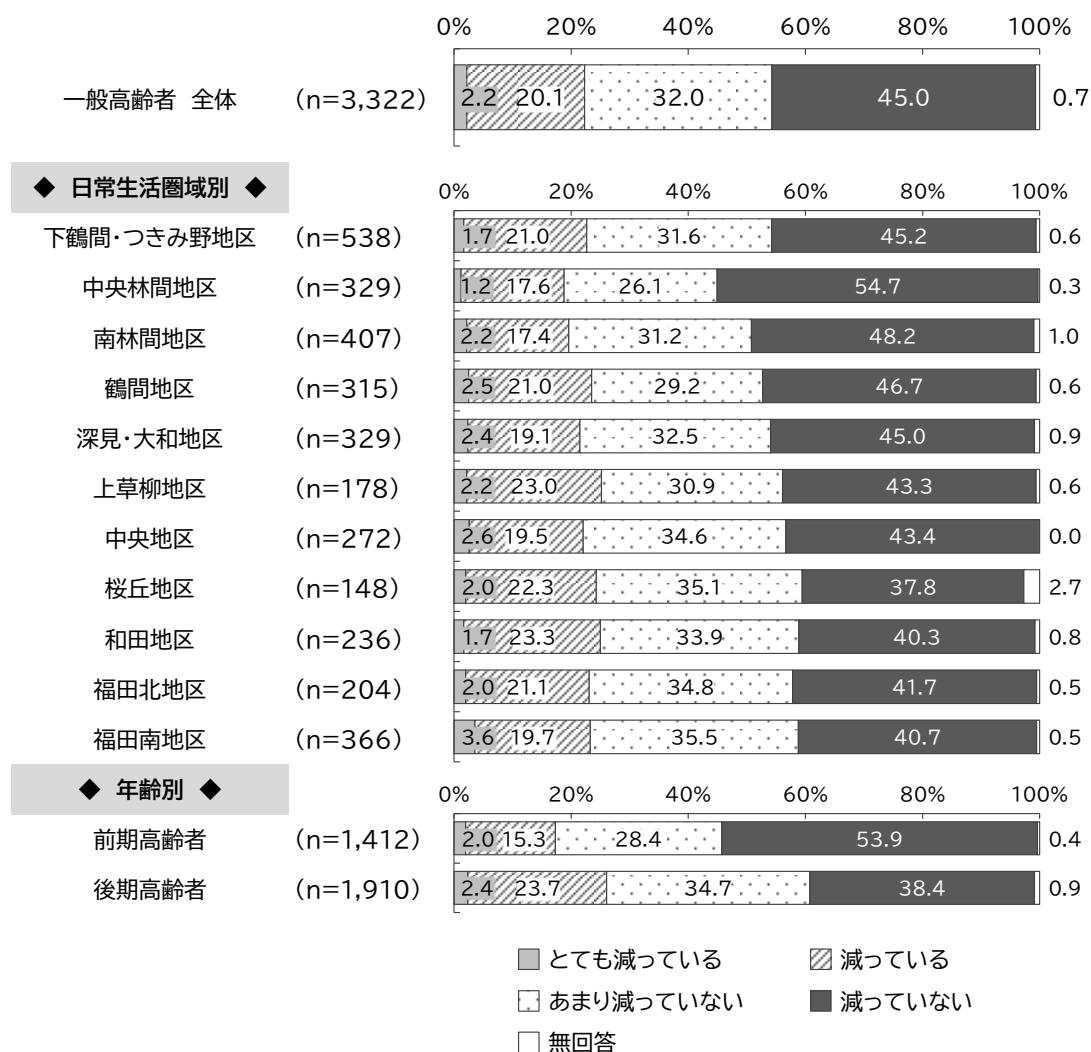
昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。（単数回答）

【単純集計】



昨年と比べて、外出の回数が減っているかは、一般高齢者において「減っていない」が45.0%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「減っている」が39.7%と最も多くなっている。また、「減っていない」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 26.9 ポイント高くなっている。さらに、『減っている（とても減っている＋減っている）』は、一般高齢者で22.3%、要支援認定者等で49.6%と、要支援認定者等の方が一般高齢者より27.3ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・年齢別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「中央林間地区」・「南林間地区」で『減っている（とても減っている＋減っている）』が2割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。また、「中央林間地区」では「減っていない」が54.7%と半数を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「減っていない」が53.9%と「後期高齢者」より15.5ポイント高く、「後期高齢者」では『減っている（とても減っている＋減っている）』が26.1%と「前期高齢者」より8.8ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「南林間地区」・「上草柳地区」・「中央地区」・「和田地区」で『減っている（とても減っている＋減っている）』が半数を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。また、「中央林間地区」・「深見・大和地区」・「上草柳地区」・「福田北地区」では「減っていない」が2割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

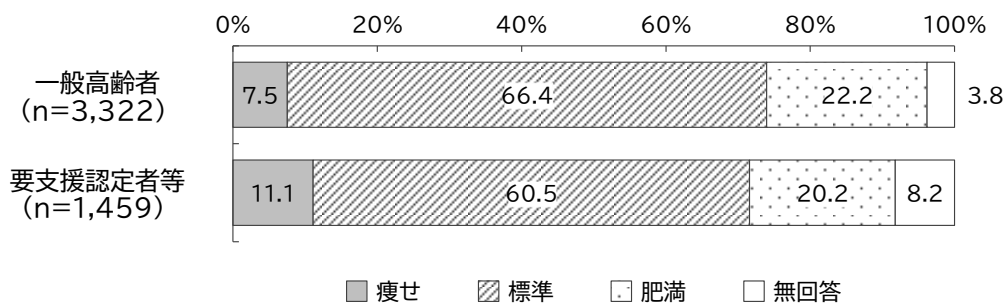
年齢別にみると、年齢が高くなるほど『減っている（とても減っている＋減っている）』が多く、「減っていない」が少なくなっている。

3 食べることについて

《一般高齢者：問12・要支援認定者等：問13》

肥満度（記入された身長と体重からBMIを算出）

【単純集計】



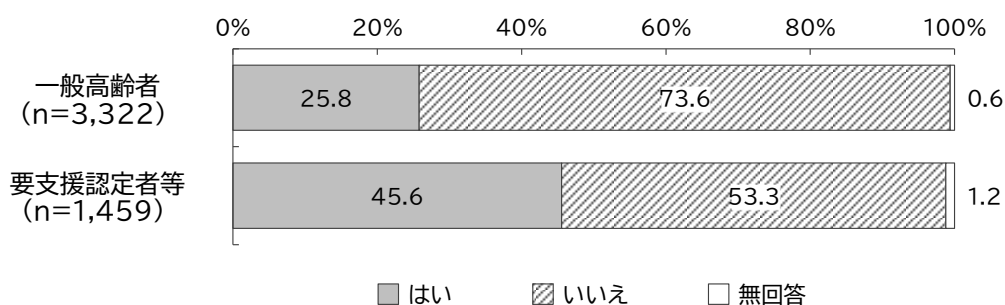
※BMI(Body Mass Index)は体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される肥満度を表す体格指数であり、18.5未満＝痩せ(低体重) / 18.5～25.0未満＝標準 / 25.0以上＝肥満と評価する。

肥満度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「標準」が最も多く、「肥満」、「痩せ」が続く。「痩せ」は、一般高齢者で7.5%、要支援認定者等で11.1%と、1割前後の方に低栄養の傾向がみられる。

《一般高齢者：問13・要支援認定者等：問14》

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

【単純集計】

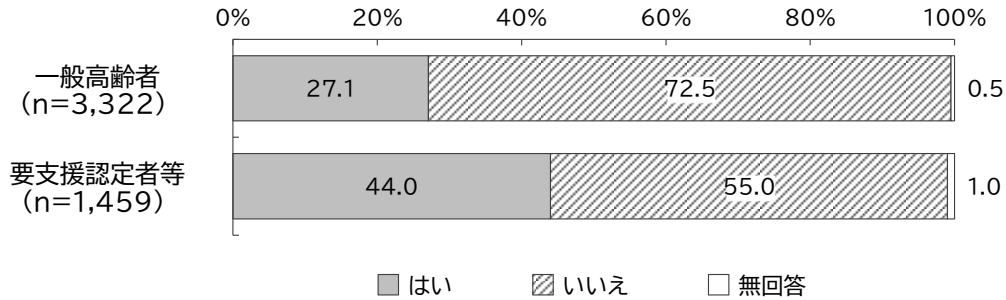


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より19.8ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 14・要支援認定者等：問 15》

お茶や汁物等でむせることがありますか。（単数回答）

【単純集計】

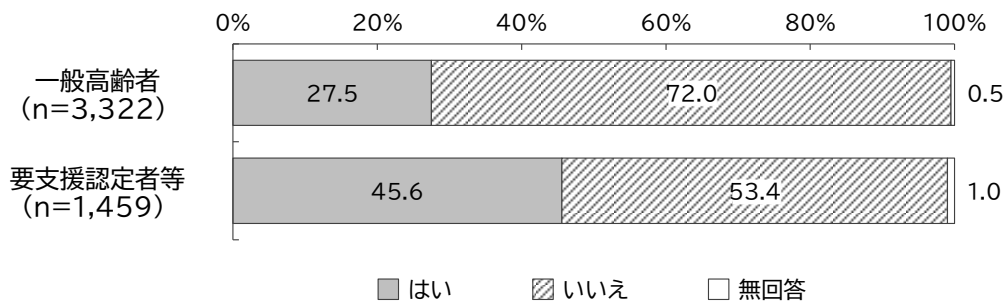


お茶や汁物等でむせることがあるかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より 16.9 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 15・要支援認定者等：問 16》

口の渇きが気になりますか。（単数回答）

【単純集計】

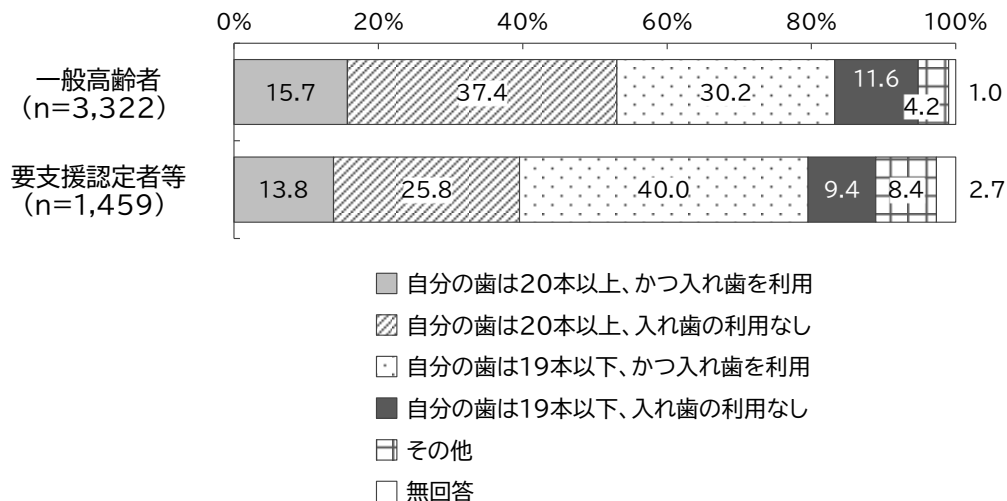


口の渇きが気になるかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より 18.1 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問16・要支援認定者等：問17》

歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(単数回答)

【単純集計】



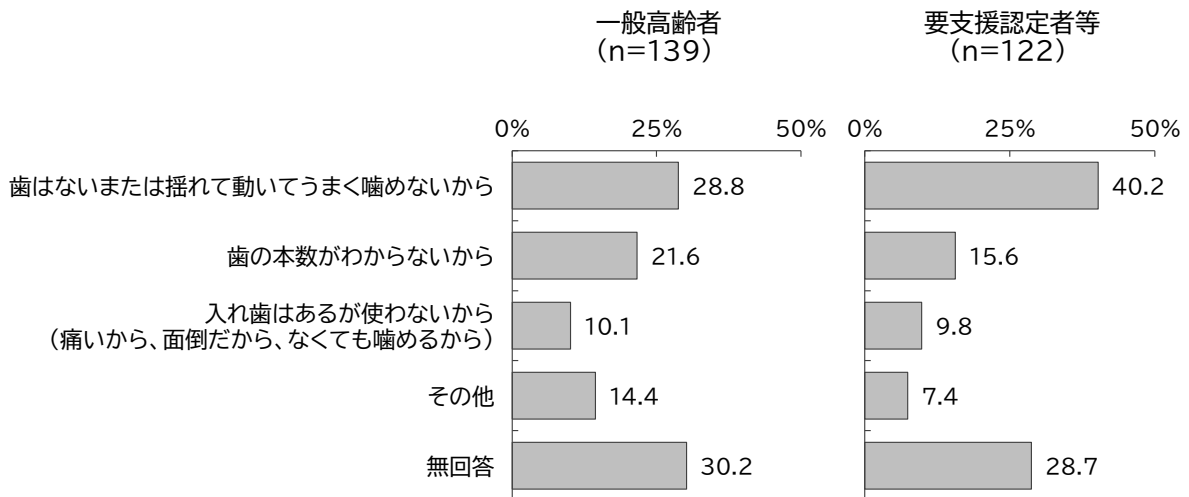
歯の数と入れ歯の利用状況は、一般高齢者において「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.4%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.0%と最も多くなっている。また、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より11.6ポイント低くなっている。

一般高齢者：問 16・要支援認定者等：問 17 で「その他」と回答した方のみ

≪一般高齢者：問 16－1・要支援認定者等：問 17－1≫

その他を選んだ理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



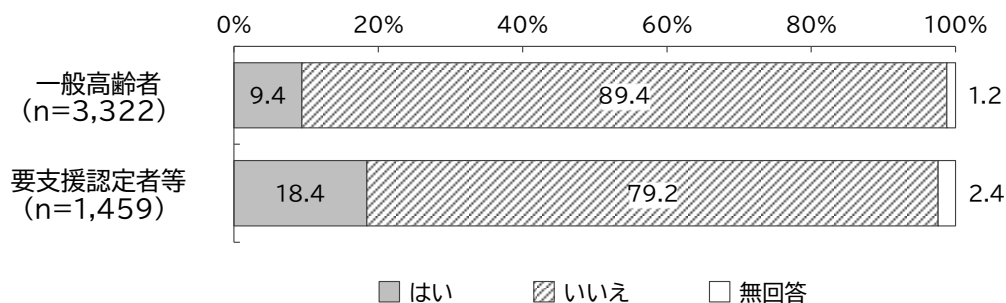
※その他の具体的な内容（抜粋）：インプラント 等

その他を選んだ理由は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「歯はないまたは揺れて動いてうまく噛めないから」が最も多く、「歯の本数がわからないから」が続く。一方で、「歯はないまたは揺れて動いてうまく噛めないから」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より 11.4 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問17・要支援認定者等：問18》

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(単数回答)

【単純集計】

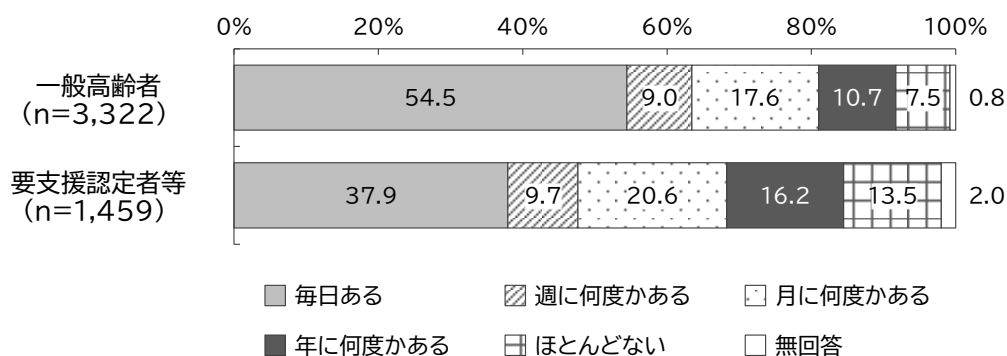


6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より9.0ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問18・要支援認定者等：問19》

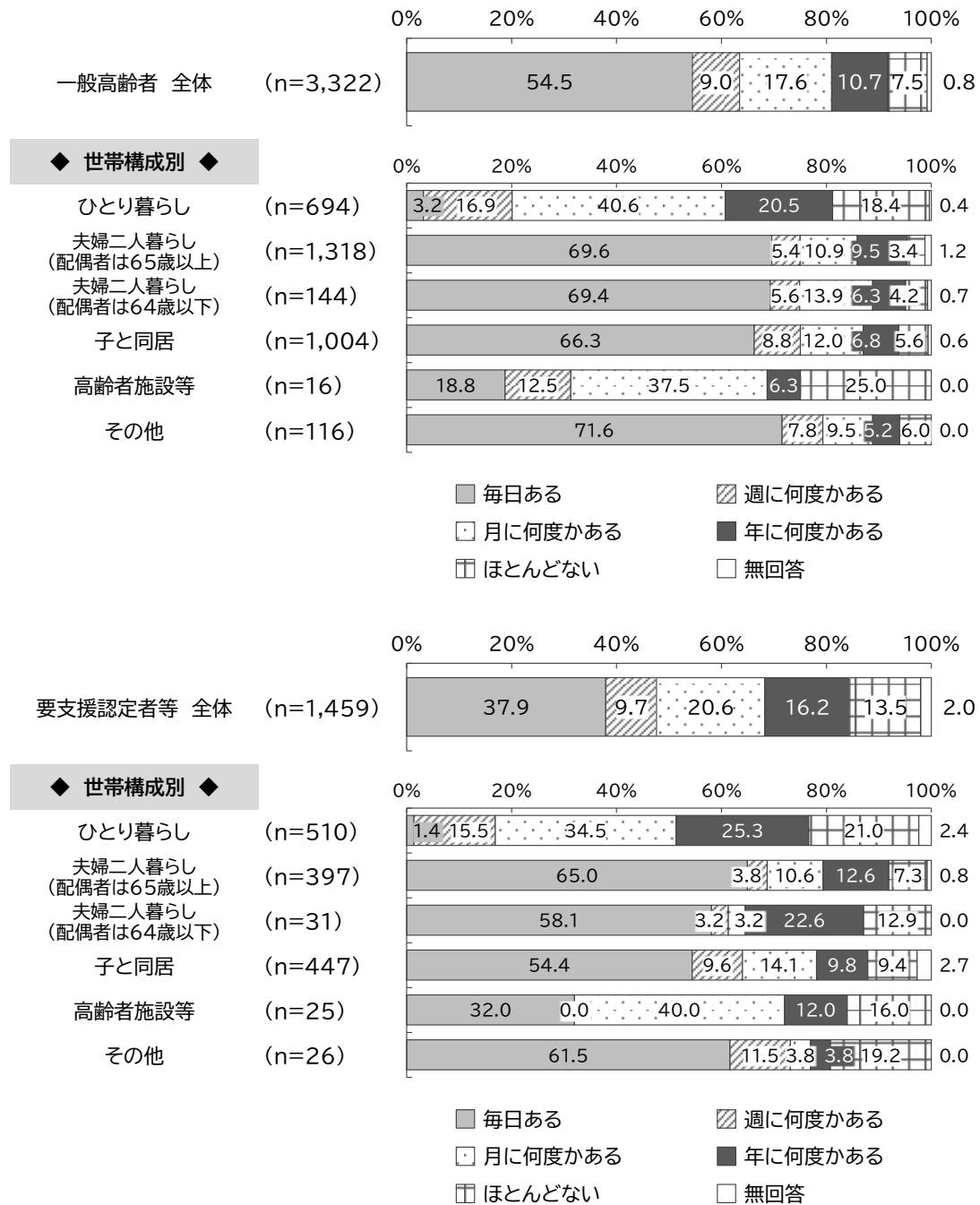
どなたかと食事をする機会がありますか。(単数回答)

【単純集計】



どなたかと食事をする機会の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「毎日ある」が最も多く、「月に何度かある」、「年に何度かある」が続く。一方で、「毎日ある」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より16.6ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：世帯構成別】



【一般高齢者】

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「毎日ある」が3.2%と1割を下回って他の世帯構成より少なく、「週に何度かある」、「月に何度かある」、「年に何度かある」、「ほとんどない」が他の世帯構成より多くなっている。

【要支援認定者等】

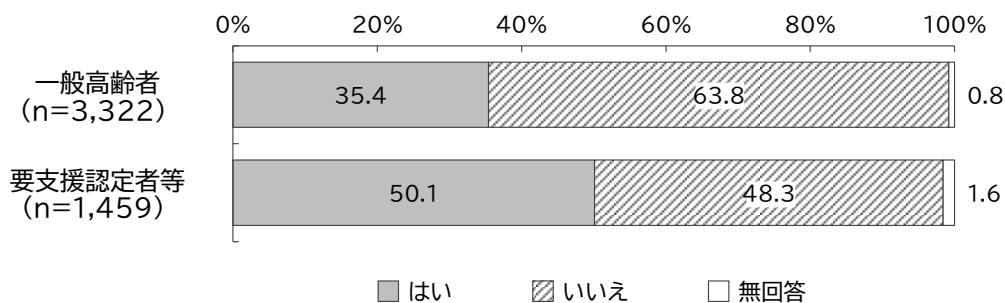
世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「毎日ある」が1.4%と1割を下回って他の世帯構成より少なく、「高齢者施設等」では「月に何度かある」が40.0%と4割で他の世帯構成より多くなっている。

4 毎日の生活について

《一般高齢者：問19・要支援認定者等：問20》

物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

【単純集計】



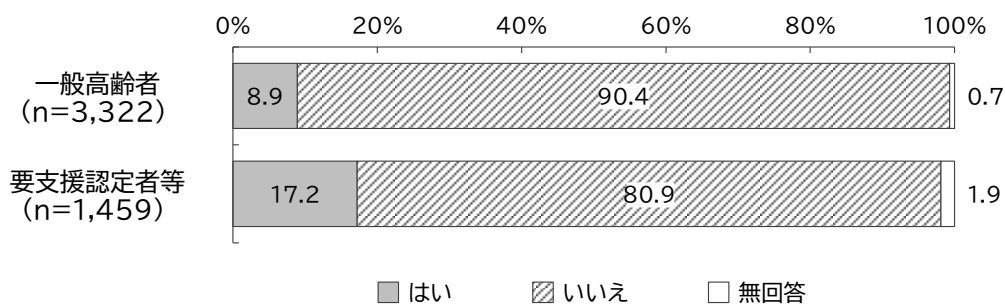
物忘れが多いと感じるかは、一般高齢者において「いいえ」が多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「はい」が多くなっている。

《一般高齢者：問20・要支援認定者等：問21》

周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか。

(単数回答)

【単純集計】

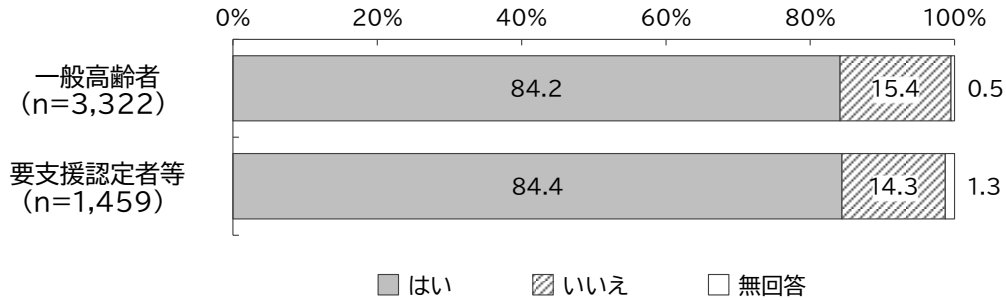


周りの人から『いつも同じことを聞く』などの物忘れがあるといわれるかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より8.3ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 21・要支援認定者等：問 22》

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（単数回答）

【単純集計】

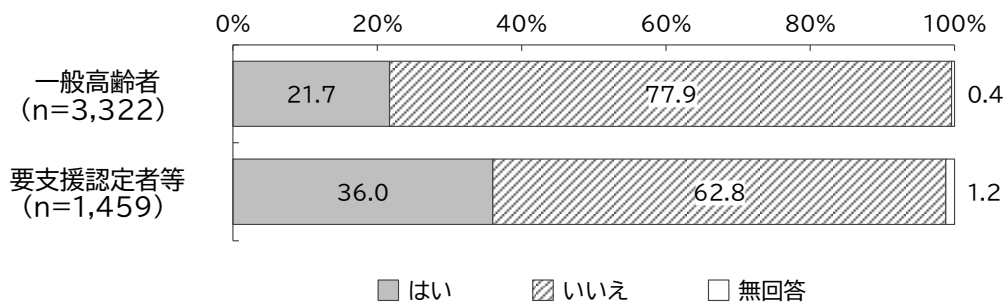


自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「はい」が多くなっている。

《一般高齢者：問 22・要支援認定者等：問 23》

今日が何月何日かわからない時がありますか。（単数回答）

【単純集計】

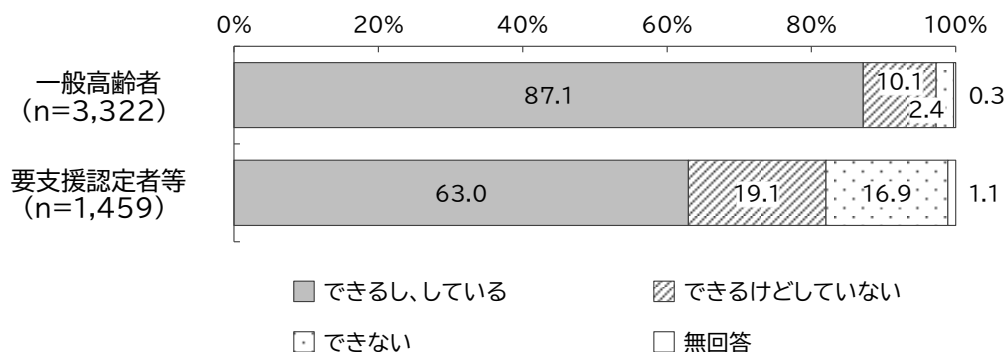


今日が何月何日かわからない時があるかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「はい」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より 14.3 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問23・要支援認定者等：問24》

バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（単数回答）

【単純集計】

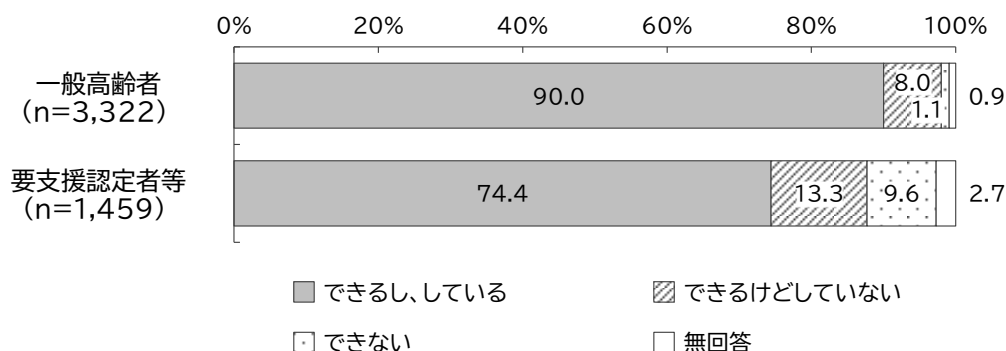


バスや電車を使って1人で外出しているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」、「できない」が続く。一方で、『していない（できるけどしていない+できない）』は、要支援認定者等の方が一般高齢者より23.5ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問24・要支援認定者等：問25》

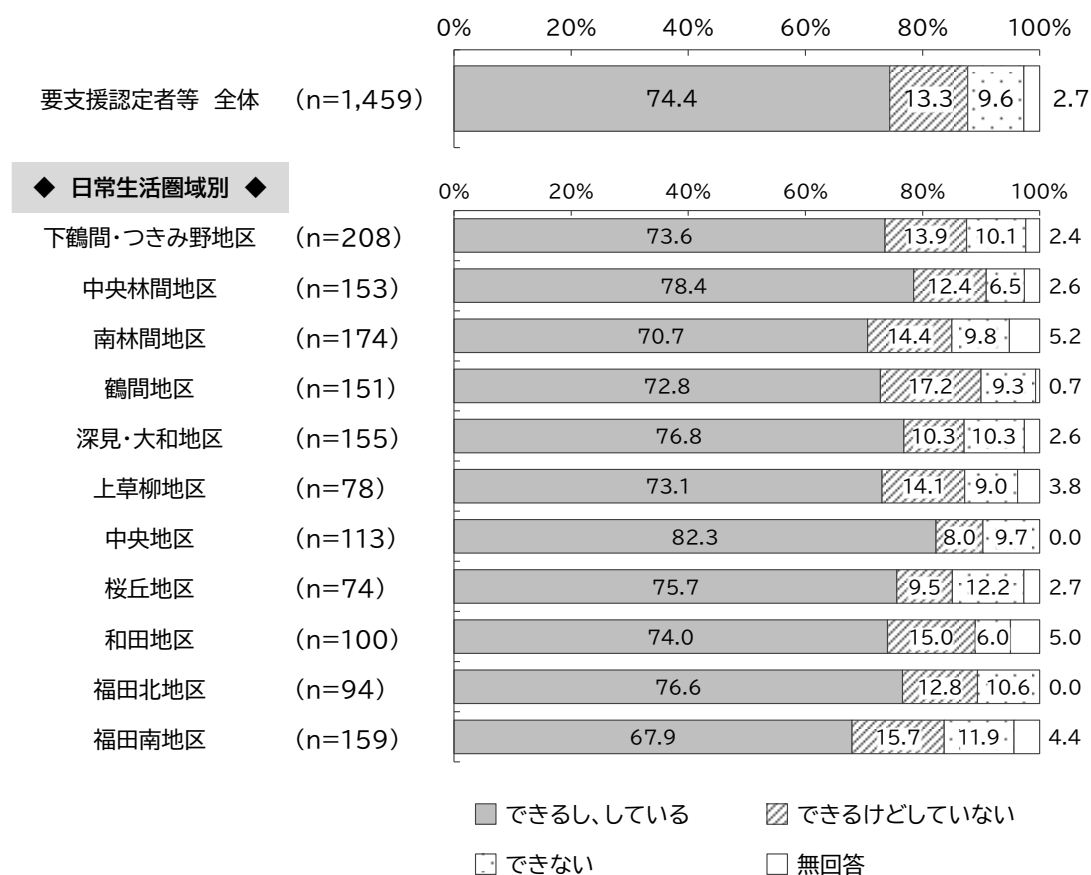
自分で食品・日用品の買物をしていますか。（単数回答）

【単純集計】



自分で食品・日用品の買物をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」、「できない」が続く。一方で、『していない（できるけどしていない+できない）』は、要支援認定者等の方が一般高齢者より13.8ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



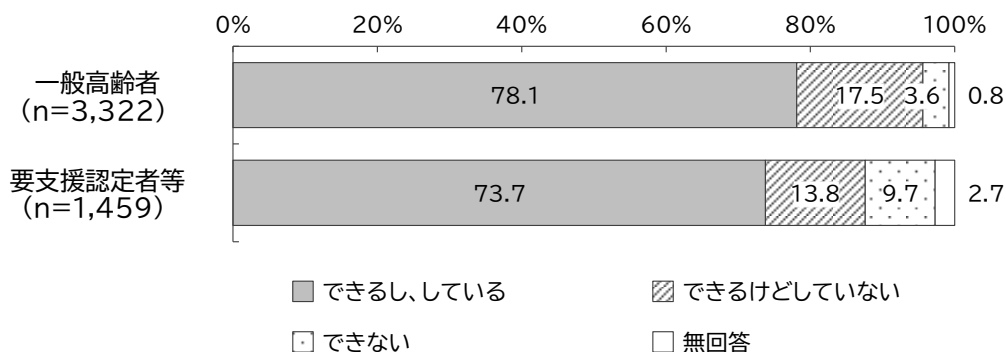
【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《深見・大和地区》・《桜丘地区》・《福田北地区》・《福田南地区》で「できない」が1割を超えて他の日常生活圏域より多く、《中央地区》では「できるし、している」が82.3%と8割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

《一般高齢者：問25・要支援認定者等：問26》

自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

【単純集計】

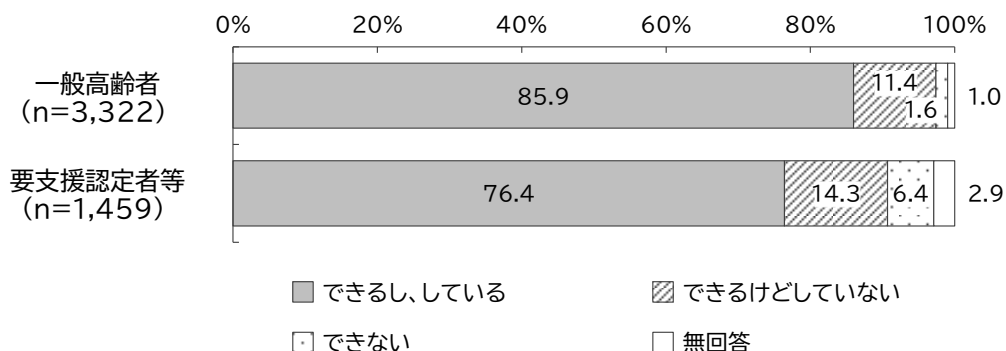


自分で食事の用意をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」、「できない」が続く。一方で、「できない」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より6.1ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問26・要支援認定者等：問27》

自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

【単純集計】

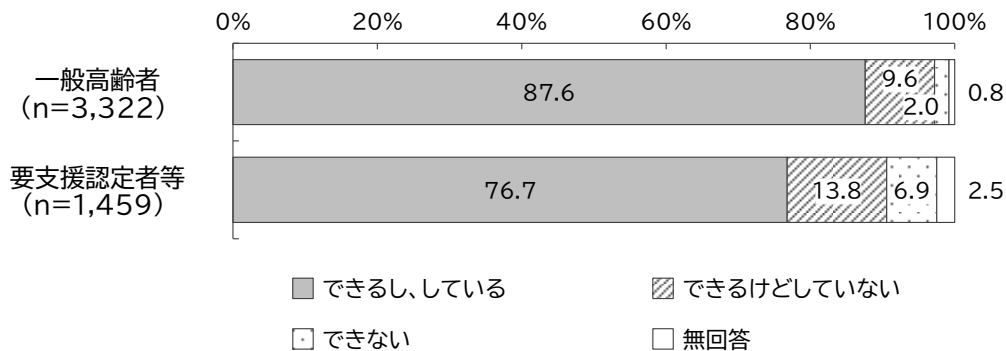


自分で請求書の支払いをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」、「できない」が続く。一方で、「できるし、している」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より9.5ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 27・要支援認定者等：問 28》

自分で預貯金の出し入れをしていますか。（単数回答）

【単純集計】



自分で預貯金の出し入れをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」、「できない」が続く。一方で、「できるし、している」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 10.9 ポイント高くなっている。

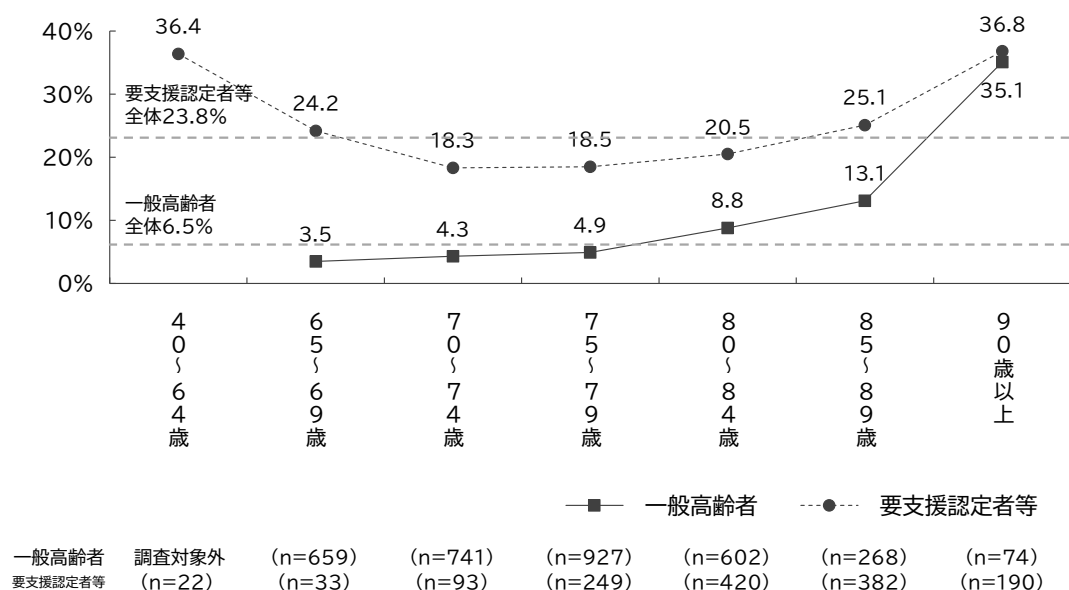
■ 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が 5 問（一般高齢者：問 23～問 27・要支援認定者等：問 24～問 28）あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されている。評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を 1 点として、5 点満点で評価し、5 点を「高い」、4 点を「やや低い」、3 点以下を「低い」と評価しており、4 点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示している。

＜判定設問＞

問番号		設 問	該当する選択肢
一般	要支援等		
問 23	問 24	バスや電車を使って 1 人で外出していますか。	・できるし、している：1 点 ・できるけどしていない：1 点 ・できない：0 点
問 24	問 25	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 25	問 26	自分で食事の用意をしていますか。	
問 26	問 27	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 27	問 28	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

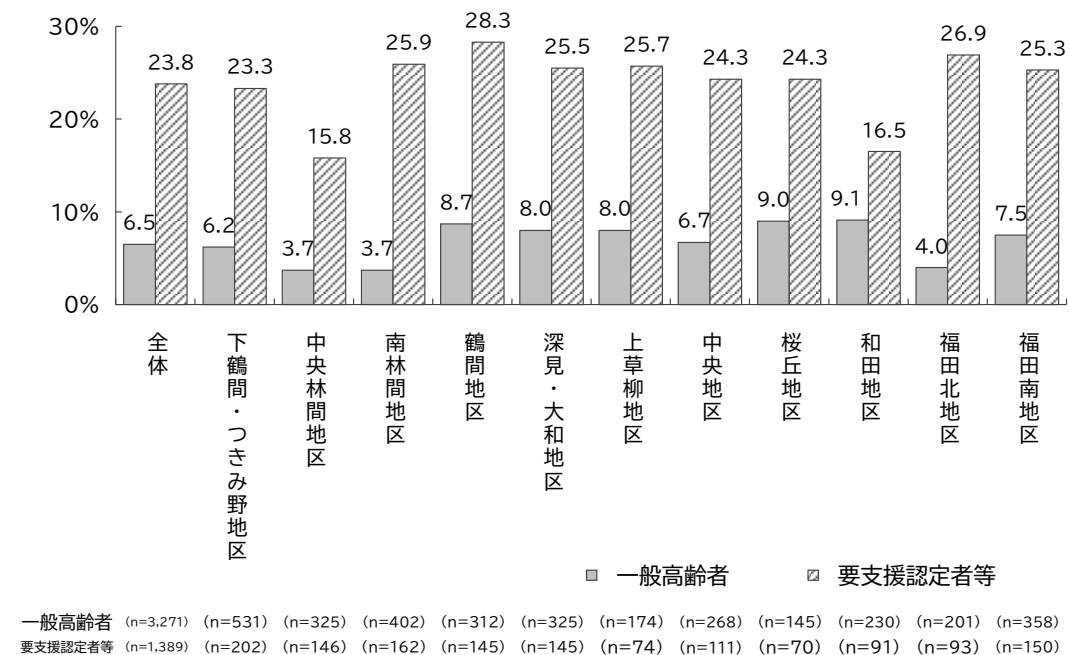
【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別】



老研式活動能力指標の評価結果にもとづく手段的自立度（IADL）の低下該当者は、一般高齢者で6.5%、要支援認定者等で23.8%となっている。

年齢層別にみると、一般高齢者において年齢層が高くなるほど増加傾向がみられ、《65～69歳》の3.5%に対し、《90歳以上》では35.1%と10倍以上となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

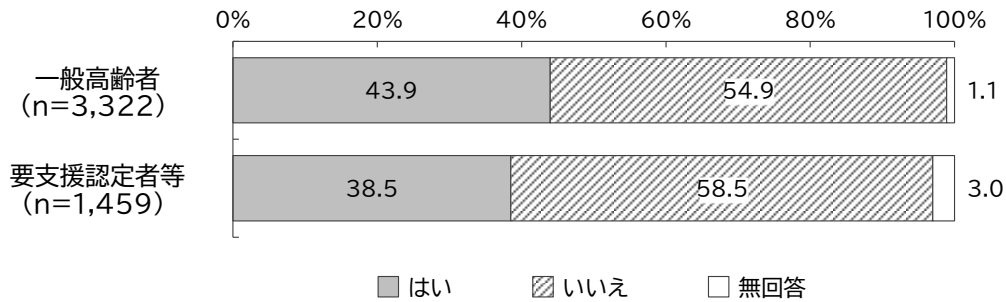


日常生活圏域別にみると、ほとんどの日常生活圏域において一般高齢者で1割未満、要支援認定者等で2割台となっているのに対し、《中央林間地区》では一般高齢者・要支援認定者等ともに他の日常生活圏域より少なくなっている。

《一般高齢者：問 28・要支援認定者等：問 29》

友人の家を訪ねていますか。（単数回答）

【単純集計】

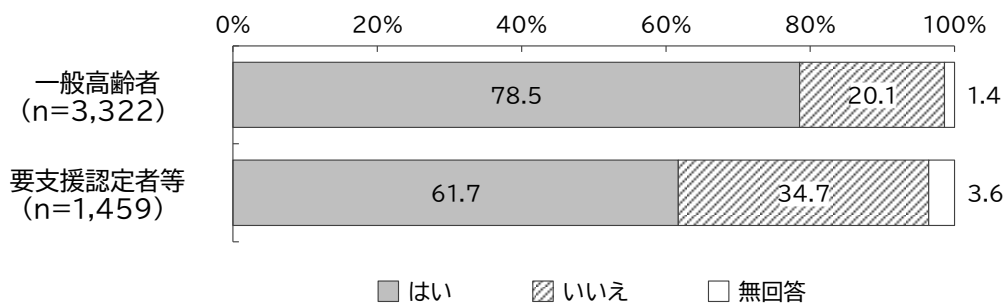


友人の家を訪ねているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。また、「はい」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 5.4 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 29・要支援認定者等：問 30》

家族や友人の相談に乗っていますか。（単数回答）

【単純集計】

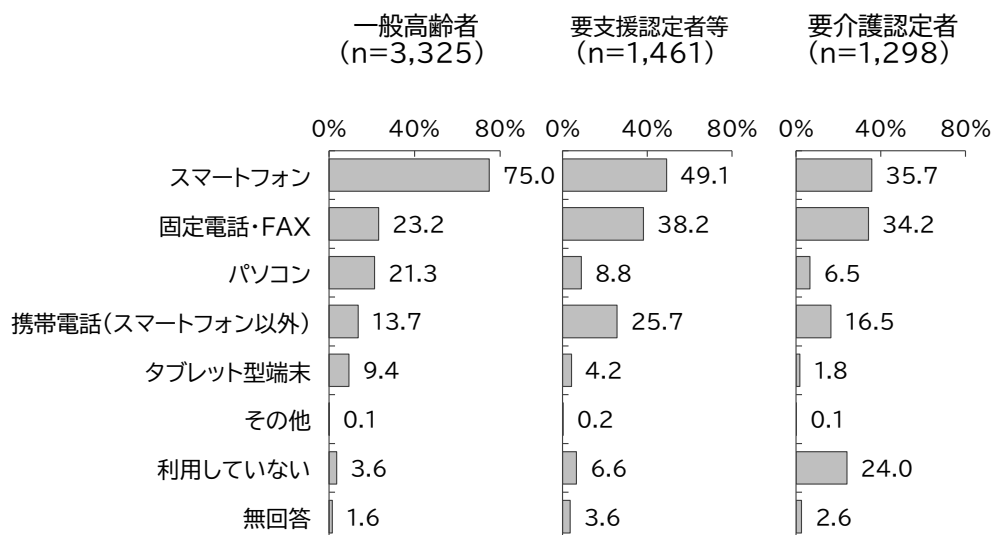


家族や友人の相談に乗っているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「はい」が多くなっている。一方で、「はい」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 16.8 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問30・要支援認定者等：問31・要介護認定者：問6》

連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。
(複数回答可)

【単純集計】



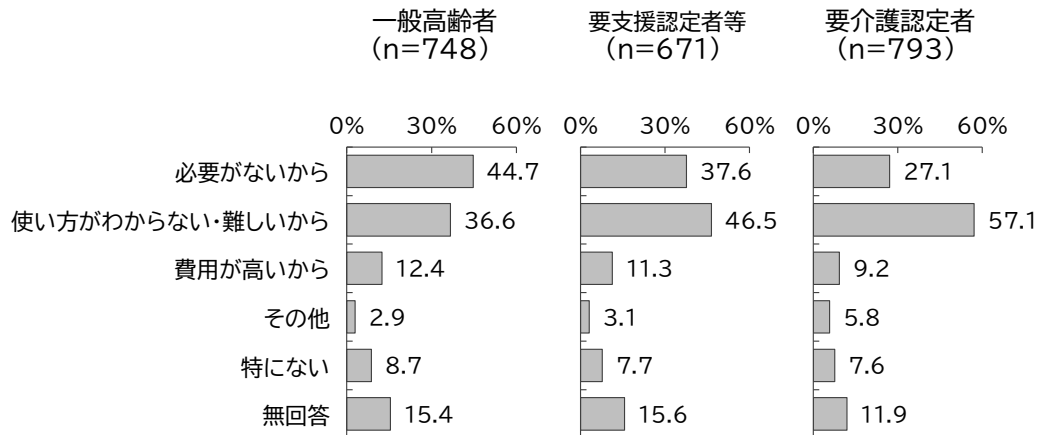
連絡や相談、情報を得るときなどに利用している情報通信機器は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてに「スマートフォン」が最も多く、「固定電話・FAX」が続く。また、介護を必要とするほど「スマートフォン」、「パソコン」、「タブレット型端末」が少なく、「利用していない」が多くなっている。

一般高齢者：問 30・要支援認定者等：問 31・要介護認定者：問 6 に回答した方の中で「スマートフォン」、「タブレット型端末」を選んでいない方のみ

《一般高齢者：問 30－1・要支援認定者等：問 31－1・要介護認定者：問 6－1》

スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】

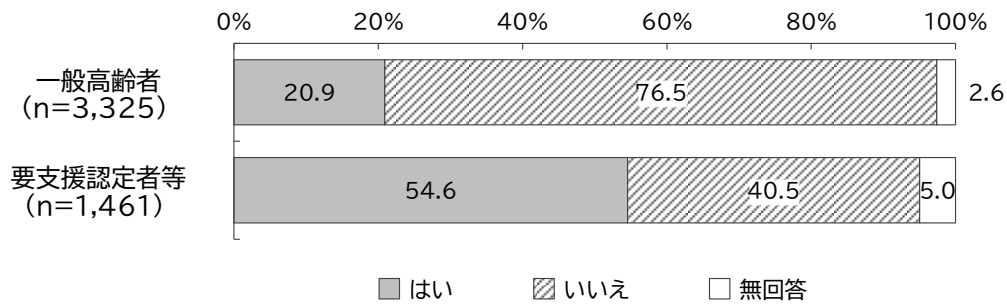


スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は、一般高齢者において「必要がないから」が 44.7%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては「使い方がわからない・難しいから」が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「必要がないから」が少なく、「使い方がわからない・難しいから」が多くなっている。

《一般高齢者：問31・要支援認定者等：問32》

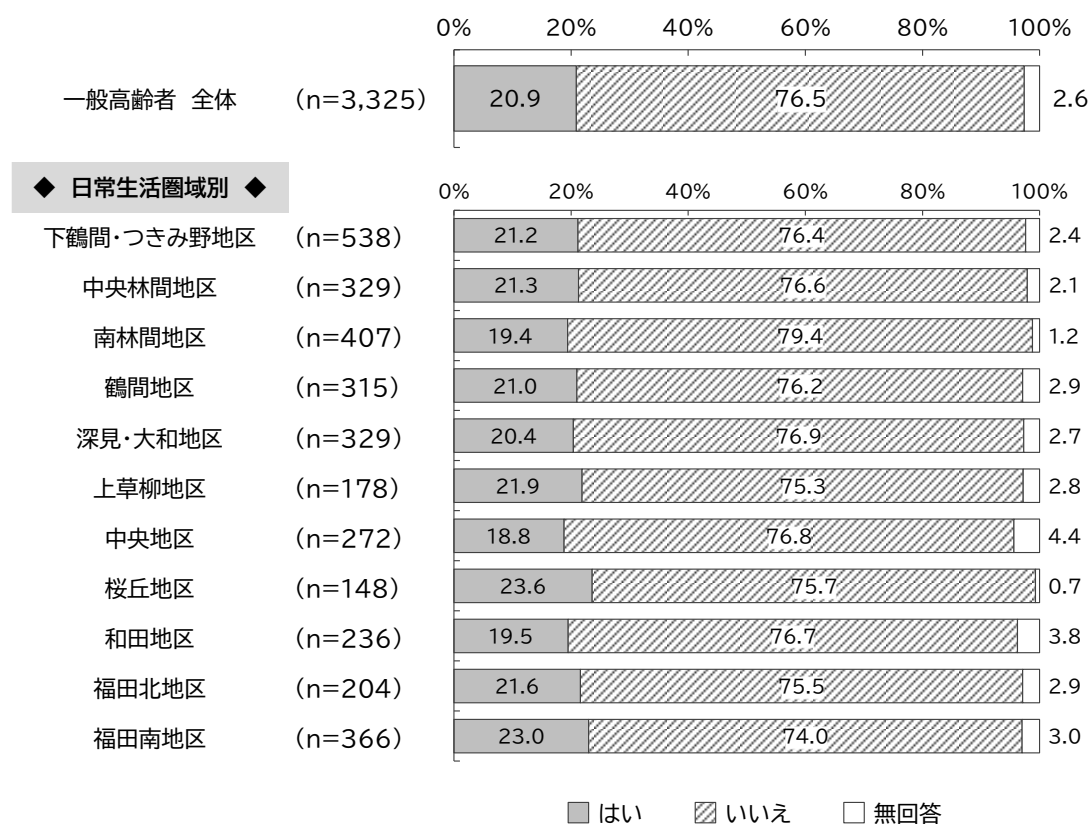
日常生活で困っていることや不安に感じていることはありますか。(単数回答)

【単純集計】



日常生活で困っていることや不安に感じていることの有無は、一般高齢者において「いいえ」が多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「はい」が多くなっている。

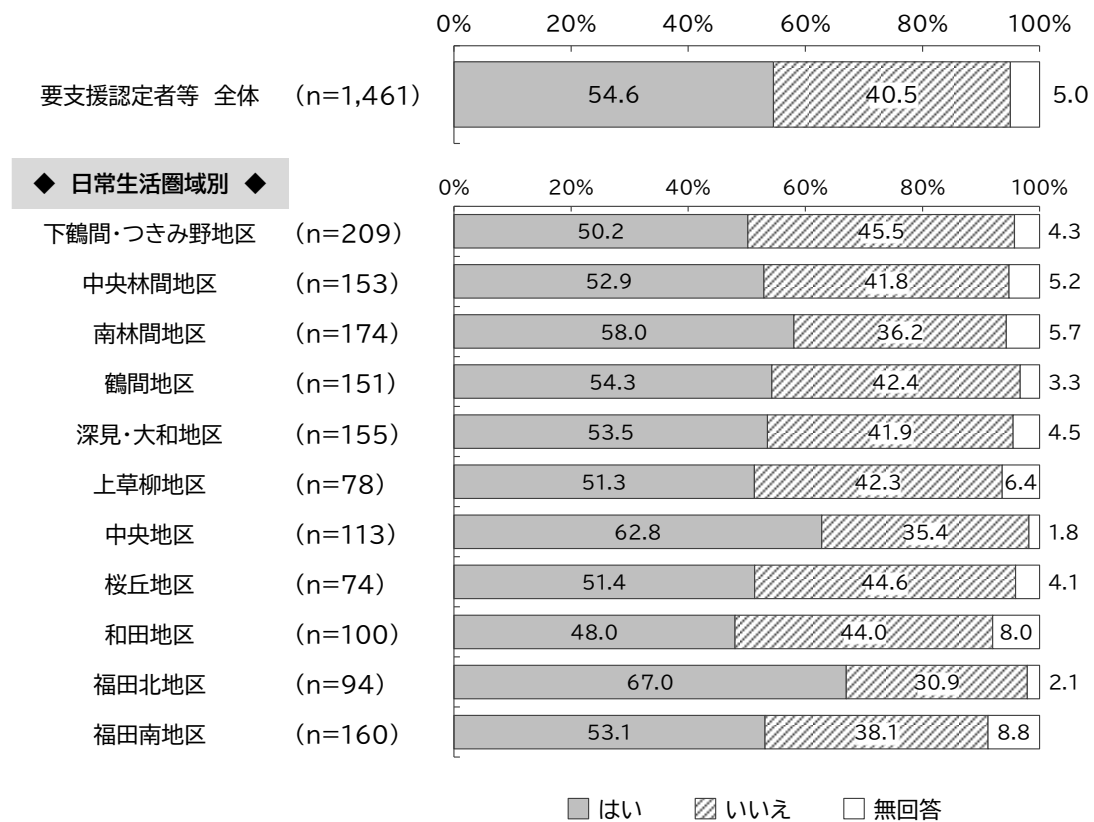
【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、大きな差異はみられない。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



【要支援認定者等】

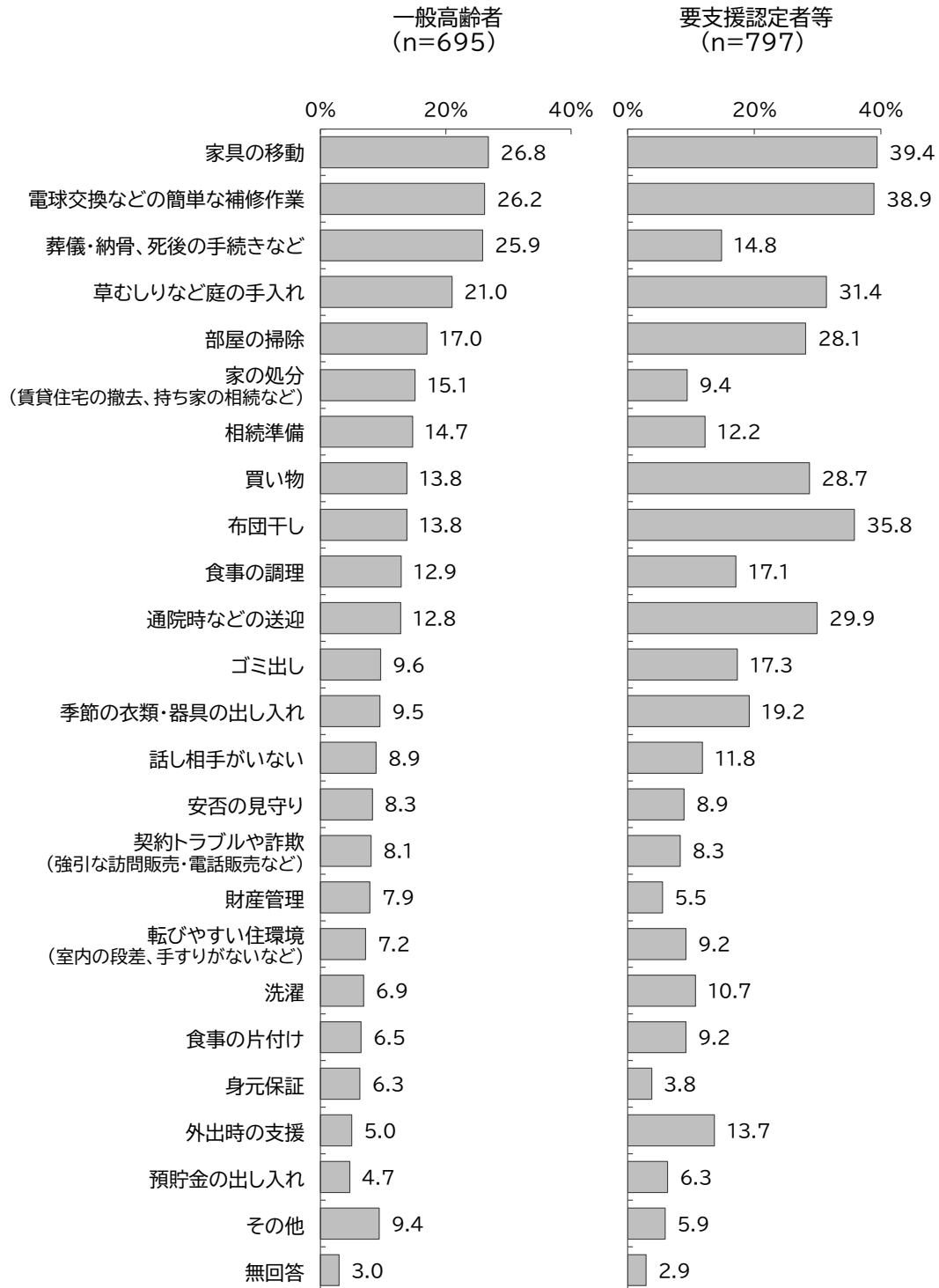
日常生活圏域別にみると、《南林間地区》・《中央地区》・《福田北地区》・《福田南地区》で「いいえ」が4割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

一般高齢者：問 31・要支援認定者等：問 32 で「はい」と回答した方のみ

≪一般高齢者：問 31－１・要支援認定者等：問 32－１≫

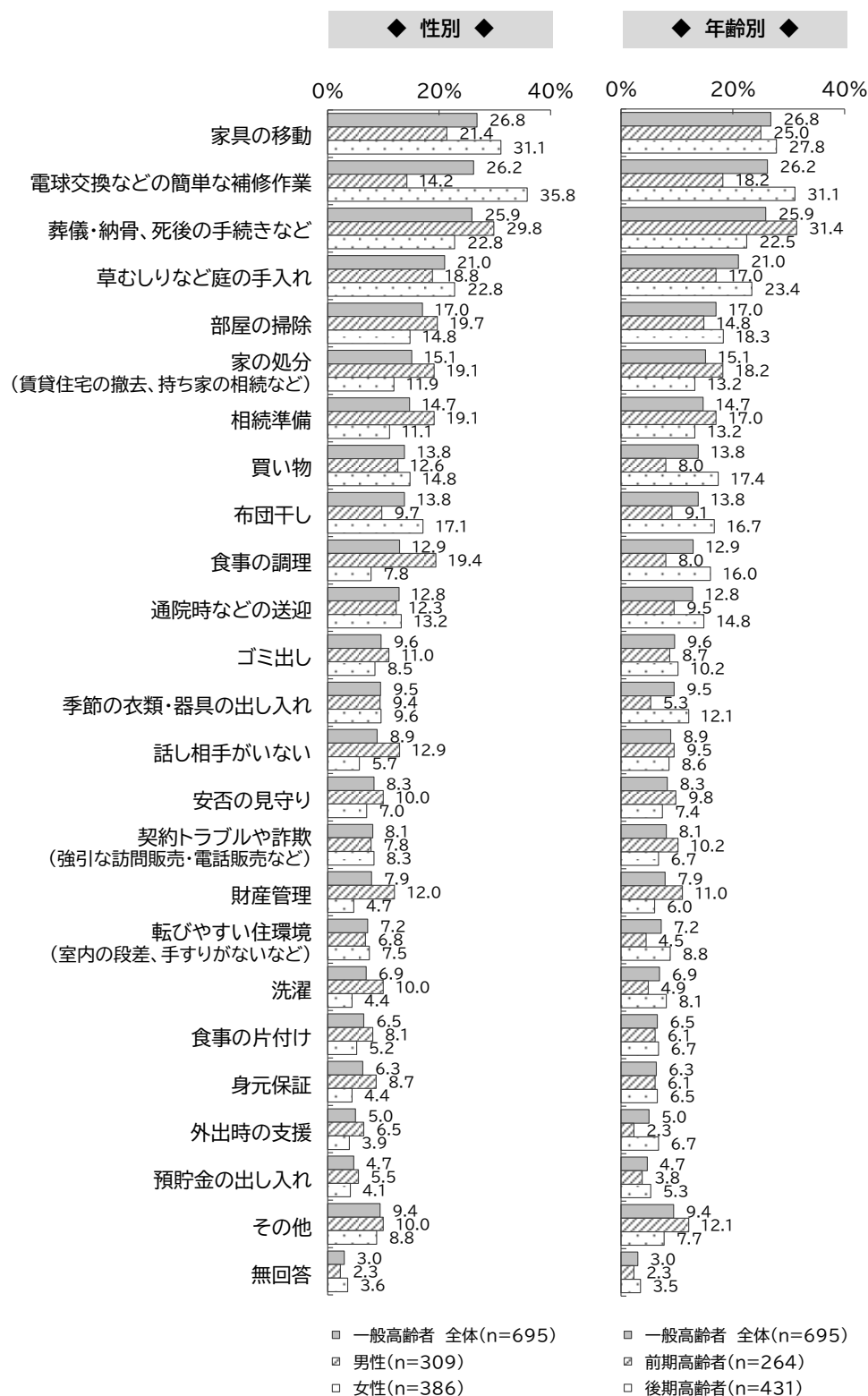
それは、具体的にどのようなことですか。（複数回答可）

【単純集計】



日常生活で困っていることや不安に感じていることは、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「家具の移動」、「電球交換などの簡単な補修作業」が多い。一般高齢者はそれらに次いで「葬儀・納骨、死後の手続きなど」が続くが、要支援認定者等は、「布団干し」、「庭の手入れ」が続く。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】

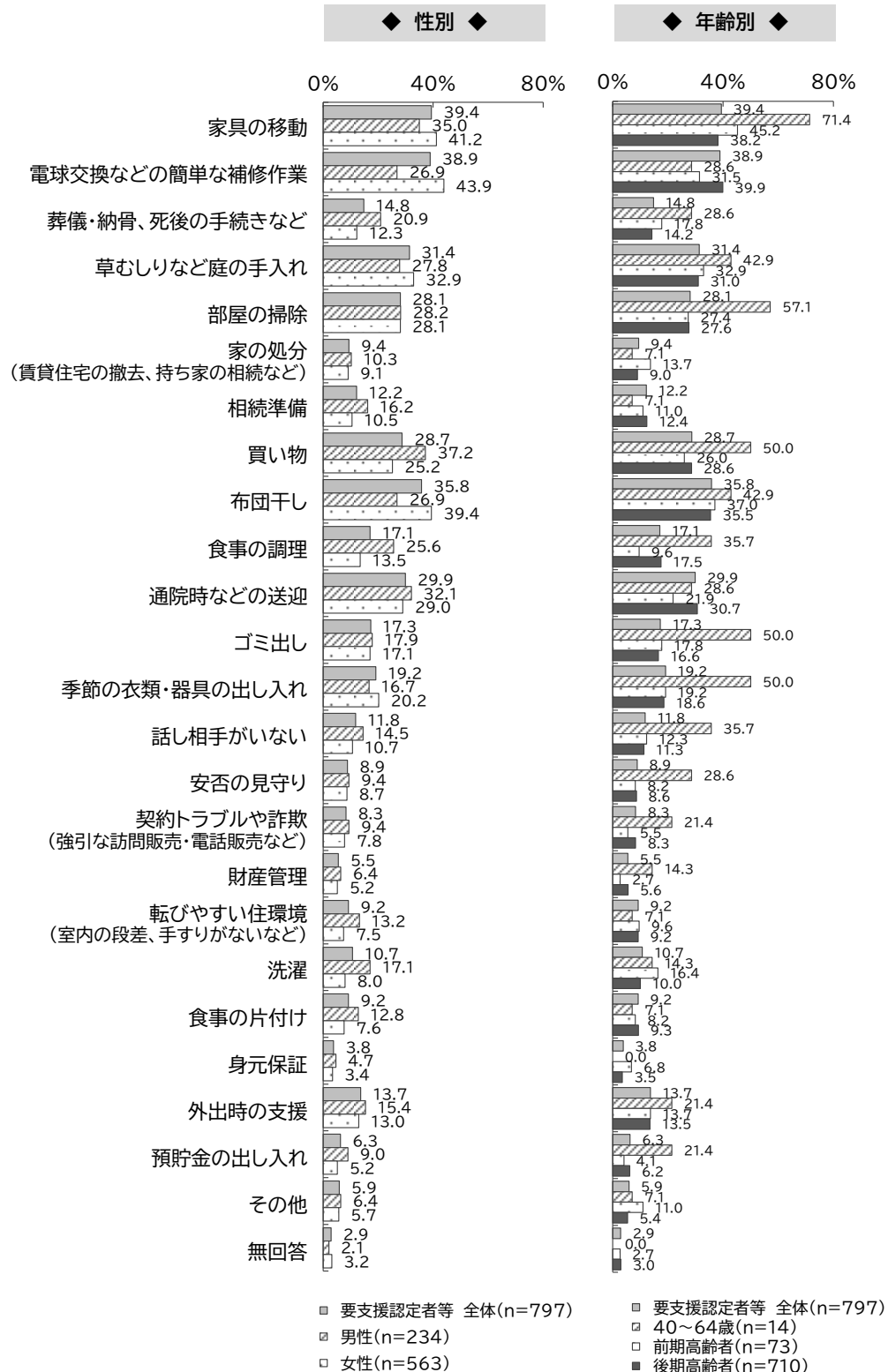


【一般高齢者】

性別にみると、「男性」で「食事の調理」などが「女性」より多く、「女性」では「電球交換などの簡単な補修作業」などが「男性」より多くなっている。

年齢別にみると、「後期高齢者」で「電球交換などの簡単な補修作業」などが「前期高齢者」より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



【要支援認定者等】

性別にみると、「男性」で「食事の調理」などが「女性」より多く、「女性」では「電球交換などの簡単な補修作業」などが「男性」より多くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「家具の移動」などが「後期高齢者」より多く、「後期高齢者」では「通院時などの送迎」などが「前期高齢者」より多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・世帯構成別】

調査数(人)	調査対象者	日常生活で困っていることや不安に感じていること(%)																				その他	無回答			
		家具の移動	電球交換などの簡単な補修作業	葬儀・納骨、死後の手続きなど	草むしりなど庭の手入れ	部屋の掃除	家の(賃の)相賃(住宅の)撤去、持ち家の相賃(住宅の)など	相続関係	買い物	布団干し	食事の調理	通院時などの送迎	ゴミ出し	季節の衣類・器具の出し入れ	話し相手がない	安否の見守り	契約(強制的な)トラブル(訪問販売や詐欺・電話販売など)	財産管理	転びやすい段差・手すりがない	洗濯	食事の片付け			身元保証	外出時の支援	預貯金の出し入れ
695	全体	26.8	26.2	25.9	21.0	17.0	15.1	14.7	13.8	13.8	12.9	12.8	9.6	9.5	8.9	8.3	8.1	7.9	7.2	6.9	6.5	6.3	5.0	4.7	9.4	3.0
114	下鶴間・つきみ野地区	28.1	23.7	32.5	25.4	20.2	14.0	15.8	18.4	15.8	11.4	14.0	8.8	10.5	3.5	7.0	6.1	6.1	5.3	7.0	6.1	3.5	3.5	11.4	2.6	
70	中央林間地区	28.6	28.6	31.4	14.3	12.9	22.9	21.4	8.6	14.3	10.0	7.1	15.7	10.0	10.0	10.0	12.9	14.3	7.1	7.1	7.1	10.0	8.6	4.3	10.0	1.4
79	南林間地区	20.3	19.0	30.4	22.8	12.7	15.2	12.7	7.6	10.1	12.7	13.9	6.3	6.3	12.7	11.4	6.3	6.3	5.1	5.1	2.5	5.1	3.8	3.8	3.8	3.8
66	鶴間地区	28.8	28.8	21.2	16.7	13.6	13.6	6.1	12.1	7.6	12.1	9.1	4.5	4.5	3.0	7.6	12.1	12.1	4.5	4.5	4.5	7.6	4.5	6.1	16.7	3.0
67	深見・大和地区	20.9	19.4	16.4	20.9	19.4	19.4	14.9	9.0	10.4	9.0	14.9	9.0	7.5	11.9	4.5	7.5	6.0	10.4	7.5	4.5	4.5	7.5	3.0	11.9	4.5
39	上草柳地区	25.6	28.2	33.3	12.8	12.8	10.3	7.7	7.7	23.1	7.7	20.5	7.7	10.3	7.7	10.3	5.1	7.7	7.7	7.7	2.6	10.3	7.7	2.6	0.0	2.6
51	中央地区	21.6	29.4	11.8	27.5	19.6	13.7	9.8	17.6	11.8	15.7	9.8	5.9	9.8	7.8	3.9	5.9	9.8	11.8	3.9	2.0	9.8	3.9	3.9	5.9	3.9
35	桜丘地区	22.9	25.7	37.1	25.7	14.3	22.9	22.9	11.4	8.6	17.1	14.3	14.3	11.4	2.9	5.7	11.4	11.4	11.4	2.9	11.4	8.6	5.7	5.7	11.4	5.7
46	和田地区	41.3	41.3	26.1	21.7	26.1	10.9	15.2	17.4	26.1	17.4	17.4	17.4	15.2	13.0	10.9	15.2	4.3	10.9	10.9	13.0	6.5	4.3	8.7	6.5	2.2
44	福田北地区	27.3	29.5	20.5	22.7	22.7	11.4	15.9	22.7	18.2	18.2	15.9	15.9	15.9	4.5	13.6	2.3	11.4	0.0	13.6	4.5	2.3	9.1	9.1	0.0	0.0
84	福田南地区	29.8	25.0	22.6	19.0	14.3	11.9	17.9	17.9	11.9	15.5	9.5	7.1	8.3	17.9	8.3	6.0	2.4	8.3	7.1	8.3	4.8	4.8	4.8	10.7	3.6
206	ひとり暮らし	30.6	40.8	27.2	18.9	20.9	16.0	12.6	10.7	13.1	8.7	8.7	9.2	6.3	18.4	17.5	7.8	7.3	6.8	5.3	5.3	10.2	4.9	2.9	6.3	1.9
258	夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	25.6	20.2	28.3	22.1	14.0	15.5	16.3	13.2	13.2	14.7	14.3	7.4	8.1	3.1	6.6	7.4	8.5	7.4	5.4	6.6	4.7	4.3	4.3	9.7	2.3
19	夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以下)	21.1	5.3	42.1	15.8	10.5	36.8	26.3	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	21.1	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	0.0
173	子と同居	26.0	20.2	19.7	20.8	18.5	11.0	13.3	17.9	17.3	16.8	16.2	11.6	14.5	6.9	2.3	8.7	5.2	6.9	10.4	6.9	2.9	6.4	7.5	12.7	5.2
7	高齢者施設等	28.6	14.3	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
25	その他	20.0	28.0	16.0	28.0	12.0	20.0	16.0	12.0	8.0	4.0	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	12.0	12.0	12.0	0.0	0.0	8.0	0.0	8.0	4.0	4.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》・《福田北地区》で全体平均より5ポイント以上高い項目が多くなっている。世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「家具の移動」、「電球交換などの簡単な補修作業」、「安否の見守り」が他の世帯構成より多く、《子と同居》では「葬儀・納骨、死後の手続きなど」が2割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。また、《ひとり暮らし》では「食事の調理」が1割を下回って他の世帯構成より少なく、「話し相手がない」が1割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】

調査対象（人）	要支援認定者等	日常生活で困っていることや不安に感じていること（％）																							その他	無回答
		家具の移動	電球交換などの簡単な補修作業	葬儀・納骨、死後の手続きなど	草むしりなど庭の手入れ	部屋の掃除	家（賃貸の場合）の相模賃など）の撤去、持ち家の相模賃など）	相続準備	買い物	布団干し	食事の調理	通院時などの送迎	ゴミ出し	季節の衣類・器具の出し入れ	話し相手がない	安否の見守り（契約トラブルや訪問販売・詐欺・電話販売など）	財産管理	転びやすい居住環境（室内の段差、手すりがないなど）	洗濯	食事の片付け	身元保証	外出時の支援	預貯金の出し入れ			
日常生活圏域別	全体	797	39.4	38.9	14.8	31.4	28.1	9.4	28.7	35.8	17.1	29.9	17.3	19.2	11.8	8.9	8.3	5.5	9.2	10.7	9.2	3.8	13.7	6.3	5.9	2.9
	下関・つぎみ野地区	105	41.9	44.8	18.1	32.4	28.6	6.7	32.4	33.3	22.9	33.3	23.8	17.1	15.2	10.5	2.9	1.9	6.7	5.7	7.6	1.9	15.2	5.7	4.8	1.9
	中央林間地区	81	37.0	42.0	9.9	24.7	18.5	8.6	25.9	25.9	16.0	29.6	19.8	18.5	3.7	6.2	9.9	3.7	3.7	11.1	6.2	2.5	11.1	7.4	7.4	6.2
	南林間地区	101	43.6	36.6	12.9	36.6	24.8	9.9	23.8	37.6	17.8	28.7	8.9	16.8	13.9	8.9	7.9	4.0	9.9	7.9	6.9	4.0	12.9	5.0	5.9	2.0
	鶴間地区	82	23.2	35.4	15.9	24.4	29.3	7.3	25.6	41.5	13.4	22.0	14.6	14.6	15.9	13.4	9.8	7.3	6.1	11.0	6.1	9.8	12.2	12.2	4.9	6.1
	深見・大和地区	83	41.0	36.1	15.7	22.9	30.1	13.3	34.9	39.8	15.7	24.1	13.3	16.9	7.2	10.8	7.2	8.4	8.4	4.8	8.4	3.6	10.8	3.6	4.8	0.0
	上草柳地区	40	42.5	42.5	20.0	32.5	37.5	15.0	30.0	42.5	22.5	42.5	20.0	25.0	22.5	2.5	15.0	7.5	17.5	20.0	20.0	7.5	20.0	2.5	10.0	5.0
	中央地区	71	36.6	39.4	11.3	25.4	35.2	11.3	9.9	40.8	14.1	22.5	21.1	22.5	12.7	8.5	8.5	4.2	9.9	11.3	9.9	1.4	11.3	7.0	5.6	2.8
	桜丘地区	38	44.7	39.5	15.8	47.4	26.3	10.5	28.9	28.9	21.1	36.8	18.4	21.1	10.5	10.5	5.3	5.3	7.9	15.8	18.4	0.0	18.4	2.6	2.6	5.3
	和田地区	48	47.9	45.8	14.6	29.2	35.4	4.2	31.3	39.6	16.7	25.0	22.9	18.8	2.1	4.2	10.4	4.2	14.6	20.8	8.3	0.0	8.3	6.3	6.3	2.1
	福田北地区	63	36.5	30.2	17.5	38.1	15.9	7.9	14.3	30.2	17.5	33.3	15.9	20.6	14.3	6.3	14.3	9.5	11.1	9.5	9.5	6.3	14.3	9.5	11.1	1.6
	福田南地区	85	43.5	37.6	14.1	38.8	32.9	10.6	16.5	29.4	35.3	12.9	37.6	16.5	24.7	11.8	10.6	5.9	7.1	11.8	12.9	10.6	3.5	18.8	4.7	3.5
世帯構成別	ひとり暮らし	323	37.5	48.0	14.2	30.3	30.3	10.5	27.6	30.7	15.2	25.4	17.3	16.7	16.7	13.3	6.5	4.6	8.7	9.0	7.1	4.6	9.6	4.3	6.2	2.8
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	204	47.5	35.8	17.6	33.3	26.0	9.3	29.9	39.7	22.1	37.7	17.6	22.1	6.4	4.9	9.8	5.4	12.7	13.2	11.8	2.9	15.7	7.8	6.9	3.9
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以下）	16	25.0	25.0	6.3	50.0	31.3	6.3	31.3	43.8	6.3	31.3	12.5	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0
	子と同居	216	38.0	31.0	15.3	31.5	27.3	7.9	29.6	40.7	16.2	31.9	16.2	21.3	8.8	7.4	10.2	6.9	7.4	10.2	10.2	2.3	18.5	6.0	3.7	2.8
	高齢者施設等	15	6.7	20.0	0.0	0.0	13.3	13.3	33.3	20.0	6.7	13.3	26.7	6.7	26.7	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	20.0	6.7	0.0
	その他	15	53.3	33.3	13.3	46.7	26.7	13.3	20.0	20.0	13.3	20.0	26.7	26.7	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	20.0	6.7	13.3	26.7	13.3	13.3	0.0

※白抜き部分は全体に比べて＋5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて－5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

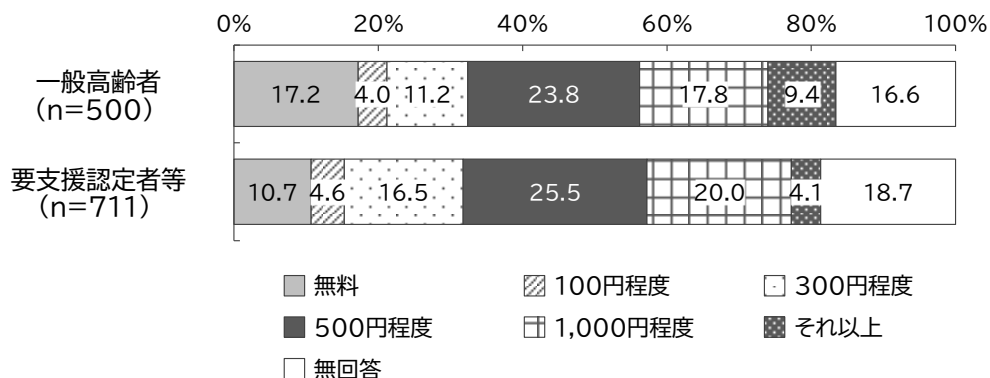
日常生活圏域別にみると、「上草柳地区」・「桜丘地区」・「和田地区」で全体平均より5ポイント以上高い項目が多くなっている。世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「電球交換などの簡単な補修作業」、「話し相手がない」が他の世帯構成より多く、「通院時などの送迎」が25.4%と3割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。また、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」では「家具の移動」が47.5%と4割を超えて他の世帯構成より多く、「子と同居」では「布団干し」が40.7%と4割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

一般高齢者：問 31－1・要支援認定者等：問 32－1 で『買い物、ゴミ出し等の日常生活での活動について困っている』と回答した方のみ

《一般高齢者：問 31－1－1・要支援認定者等：問 32－1－1》

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が適当と考えますか。(単数回答)

【単純集計】



これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、適当と考える料金負担は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「500円程度」が最も多く、「1,000円程度」が続く。また、「無料」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より6.5ポイント高くなっている。さらに、『有料（100円程度＋300円程度＋500円程度＋1,000円程度＋それ以上）』は、一般高齢者で66.2%、要支援認定者等で70.7%と、大きな差異はみられない。

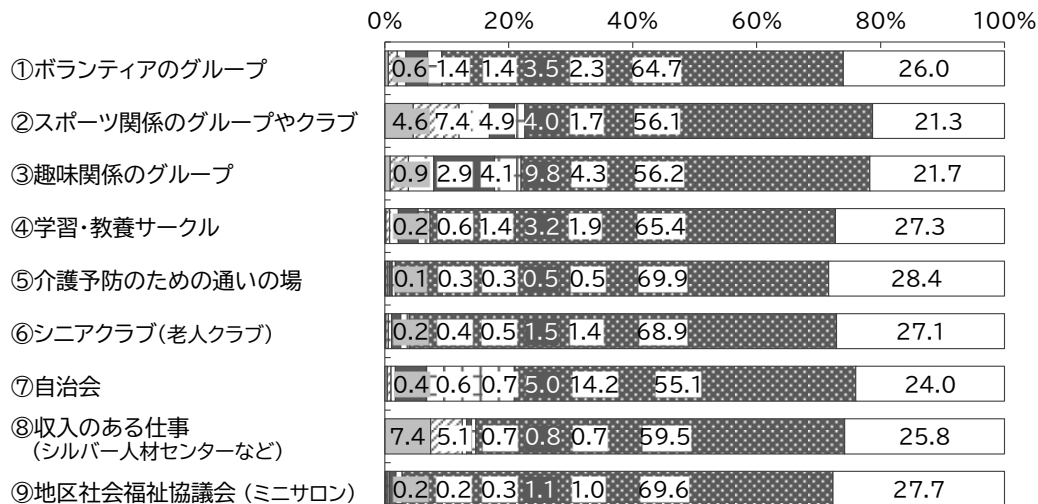
5 地域での活動について

《一般高齢者：問 32・要支援認定者等：問 33》

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

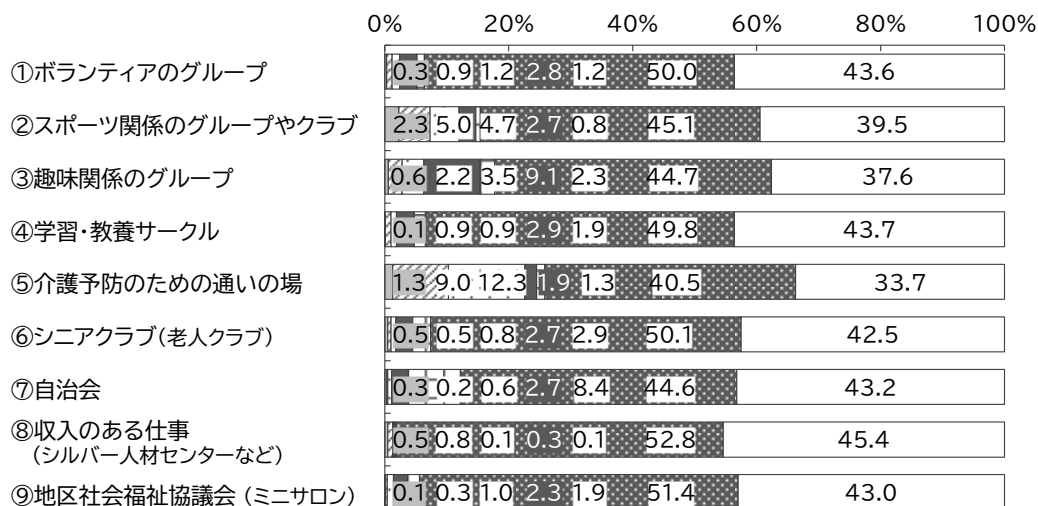
（それぞれ単数回答）

【単純集計】



一般高齢者
(n=3,322)

■ 週4回以上 ■ 週2～3回 ■ 週1回
■ 月1～3回 ■ 年に数回 ■ 参加していない
□ 無回答

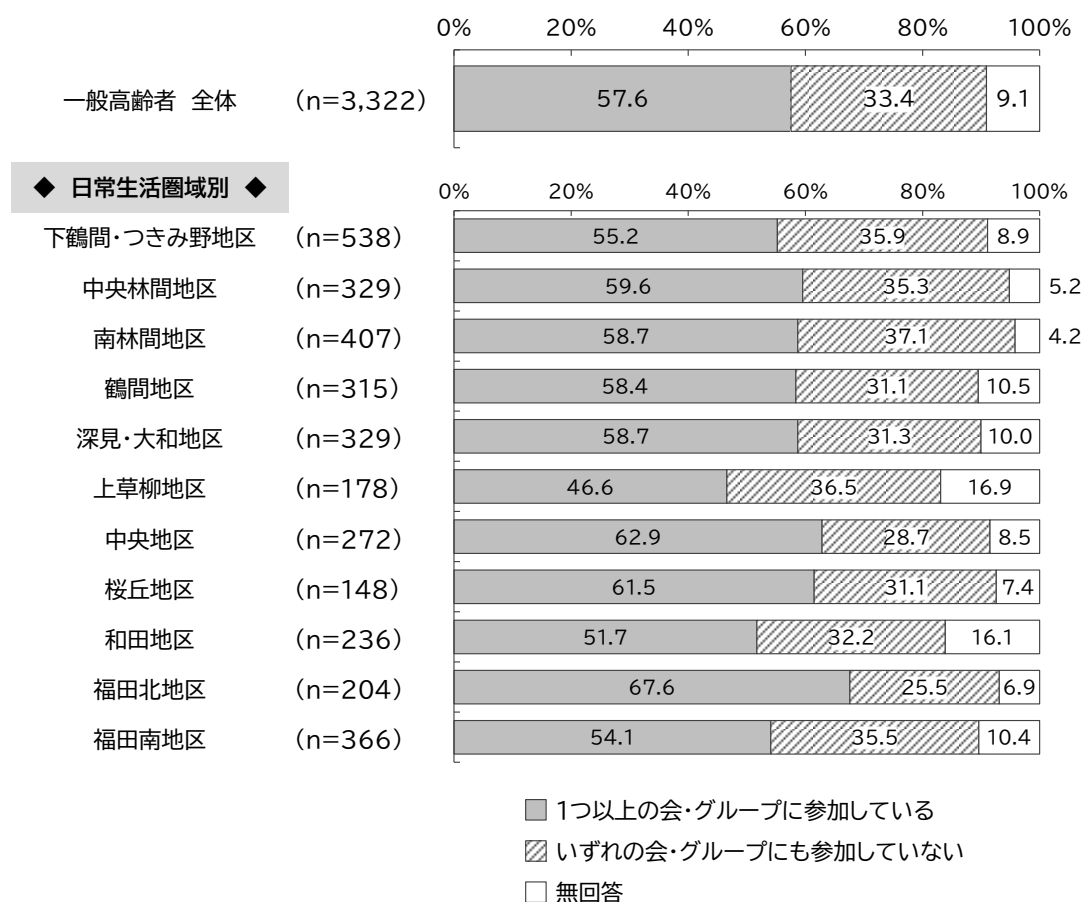


要支援認定者等
(n=1,459)

■ 週4回以上 ■ 週2～3回 ■ 週1回
■ 月1～3回 ■ 年に数回 ■ 参加していない
□ 無回答

会やグループ等への参加頻度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、すべての会・グループにおいて「参加していない」が最も多くなっている。また、『参加している（週4回以上＋週2～3回＋週1回＋月1～3回＋年に数回）』は、一般高齢者における②スポーツ関係のグループやクラブ（22.6%）、要支援認定者等における⑤介護予防のための通いの場（25.8%）で多くなっている。

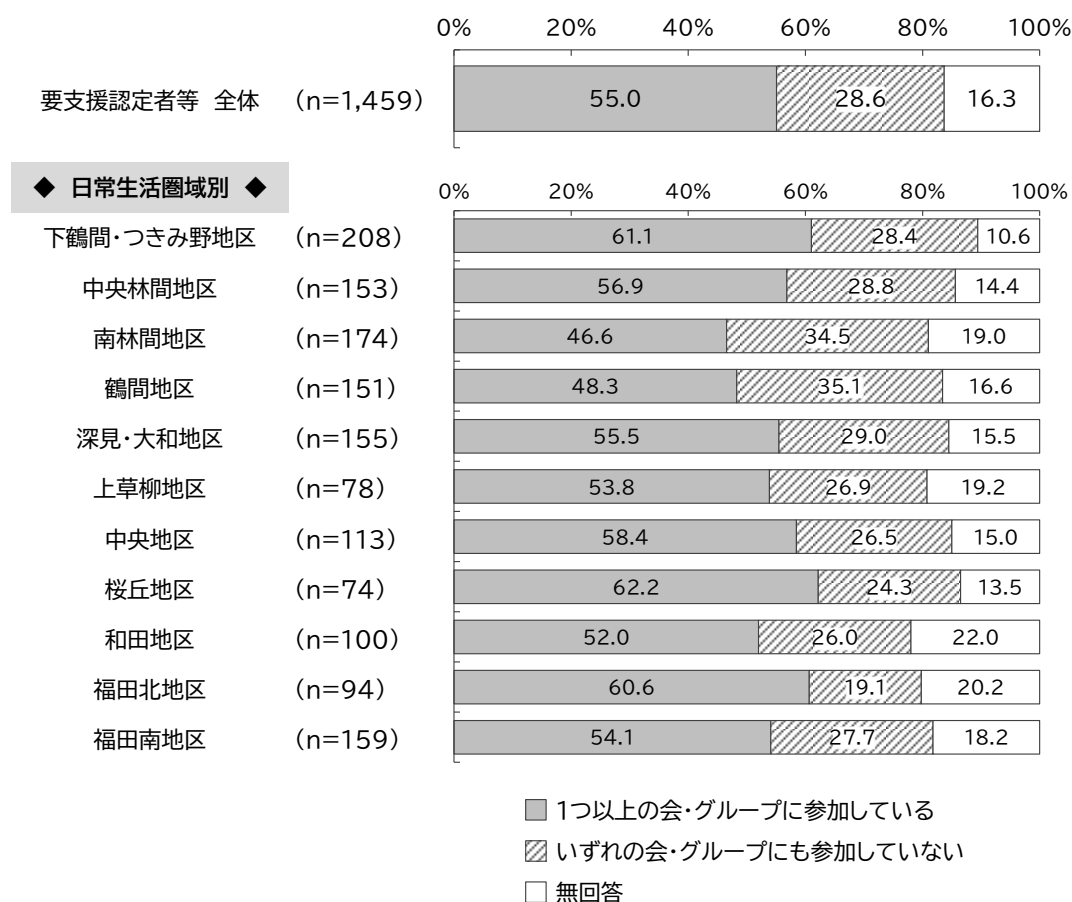
【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「1つ以上の会・グループに参加している」が、《上草柳地区》で46.6%と半数を下回って他の日常生活圏域より少なく、《中央地区》・《桜丘地区》・《福田北地区》で6割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「南林間地区」・「鶴間地区」で「1つ以上の会・グループに参加している」が半数を下回って他の日常生活圏域より少なく、「福田北地区」では「いずれの会・グループにも参加していない」が19.1%と2割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

①ボランティアのグループ

一般高齢者		調査数(人)	参加頻度(%)					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.6	1.4	1.4	3.5	2.3	64.7
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.7	2.0	1.7	2.0	3.0	24.3
	中央林間地区	329	0.3	0.9	1.5	4.0	2.1	71.1
	南林間地区	407	0.2	1.5	1.0	4.4	2.2	69.8
	鶴間地区	315	0.3	1.9	1.0	2.2	2.9	63.5
	深見・大和地区	329	0.3	3.0	2.4	2.4	1.5	61.7
	上草柳地区	178	0.6	0.6	1.7	3.4	2.2	66.3
	中央地区	272	1.1	0.7	1.5	3.3	2.2	62.5
	桜丘地区	148	0.7	0.7	0.0	6.1	2.7	63.5
	和田地区	236	0.8	0.8	0.8	2.1	1.3	62.3
	福田北地区	204	1.0	1.0	1.5	6.4	2.9	58.8
	福田南地区	366	0.8	1.1	1.4	4.6	2.5	60.9

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

②スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者		調査数(人)	参加頻度(%)					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	4.6	7.4	4.9	4.0	1.7	56.1
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	5.9	7.2	3.5	4.3	2.4	56.5
	中央林間地区	329	7.9	7.9	6.7	4.0	1.2	57.8
	南林間地区	407	5.4	5.4	6.1	5.2	2.2	58.5
	鶴間地区	315	4.4	7.9	4.1	3.2	2.5	55.2
	深見・大和地区	329	3.0	8.5	4.9	4.0	0.6	55.6
	上草柳地区	178	1.1	2.2	4.5	3.9	2.2	61.2
	中央地区	272	4.4	10.3	4.4	6.3	0.7	52.2
	桜丘地区	148	2.7	6.8	10.8	4.1	1.4	53.4
	和田地区	236	3.4	8.1	3.4	3.4	1.3	53.4
	福田北地区	204	2.9	8.8	5.9	2.9	1.5	54.4
	福田南地区	366	4.4	7.4	3.6	2.7	1.6	56.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

③趣味関係のグループ

一般高齢者		調査数（人）	参加頻度（％）					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.9	2.9	4.1	9.8	4.3	56.2
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.7	4.1	4.6	8.4	5.8	58.0
	中央林間地区	329	1.2	2.1	4.6	12.2	4.6	59.9
	南林間地区	407	0.7	2.9	5.7	13.0	3.4	58.2
	鶴間地区	315	0.6	1.6	1.9	12.1	5.4	53.3
	深見・大和地区	329	1.2	2.4	4.9	8.2	4.9	51.7
	上草柳地区	178	1.1	1.7	3.4	7.3	4.5	57.9
	中央地区	272	0.7	2.9	2.9	10.3	4.4	54.4
	桜丘地区	148	0.0	0.7	3.4	10.8	0.7	59.5
	和田地区	236	0.8	4.7	3.8	5.1	2.5	55.1
	福田北地区	204	1.5	2.0	3.4	11.8	6.4	52.5
	福田南地区	366	1.4	4.1	4.4	8.5	2.5	56.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

④学習・教養サークル

一般高齢者		調査数（人）	参加頻度（％）					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.2	0.6	1.4	3.2	1.9	65.4
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.0	1.1	2.0	3.5	1.9	66.5
	中央林間地区	329	0.3	0.3	2.7	4.6	2.1	69.6
	南林間地区	407	0.5	0.2	0.5	2.2	2.0	72.0
	鶴間地区	315	0.6	0.0	0.3	4.4	1.6	62.5
	深見・大和地区	329	0.0	1.2	1.2	2.4	1.2	62.6
	上草柳地区	178	0.0	0.0	2.2	3.9	0.0	67.4
	中央地区	272	0.0	0.0	1.5	3.3	2.6	63.2
	桜丘地区	148	0.0	0.0	0.7	2.0	1.4	66.9
	和田地区	236	0.4	0.8	0.8	2.1	3.0	60.6
	福田北地区	204	0.0	1.0	1.5	6.4	2.9	59.8
	福田南地区	366	0.3	0.8	1.1	1.4	1.6	64.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑤介護予防のための通いの場

一般高齢者		調査数(人)	参加頻度(%)					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5	69.9
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.0	0.6	0.2	0.4	0.7	71.6
	中央林間地区	329	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	75.7
	南林間地区	407	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	76.4
	鶴間地区	315	0.3	0.3	0.3	1.0	0.6	66.3
	深見・大和地区	329	0.0	0.6	0.9	0.0	0.0	67.2
	上草柳地区	178	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	70.8
	中央地区	272	0.0	0.0	0.4	0.0	0.7	68.0
	桜丘地区	148	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	68.9
	和田地区	236	0.0	0.0	0.4	0.8	0.8	64.4
	福田北地区	204	0.0	0.5	0.5	1.5	0.5	66.2
	福田南地区	366	0.0	0.3	0.0	1.1	0.5	67.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑥シニアクラブ（老人クラブ）

一般高齢者		調査数(人)	参加頻度(%)					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.2	0.4	0.5	1.5	1.4	68.9
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.2	0.2	1.5	1.7	0.7	71.2
	中央林間地区	329	0.0	0.3	0.3	1.5	1.2	75.4
	南林間地区	407	0.2	0.2	0.0	0.5	1.7	75.4
	鶴間地区	315	0.3	0.6	0.6	0.6	1.0	67.0
	深見・大和地区	329	0.3	0.3	0.3	1.5	2.7	64.4
	上草柳地区	178	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	71.3
	中央地区	272	0.0	0.7	0.0	1.5	2.6	66.5
	桜丘地区	148	0.7	1.4	1.4	2.7	2.7	62.8
	和田地区	236	0.0	0.4	0.0	0.8	0.8	64.4
	福田北地区	204	0.0	0.0	0.5	3.9	1.0	65.2
	福田南地区	366	0.3	0.3	0.3	2.2	1.1	66.1

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑦自治会

一般高齢者		調査数（人）	参加頻度（％）					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	0.4	0.6	0.7	5.0	14.2	55.1
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.6	0.6	0.4	3.0	10.4	60.8
	中央林間地区	329	0.0	0.6	0.3	3.0	12.2	65.3
	南林間地区	407	0.0	1.5	0.2	3.4	14.3	62.7
	鶴間地区	315	0.3	0.6	1.0	5.1	16.5	51.4
	深見・大和地区	329	0.6	0.9	0.6	5.2	14.9	49.8
	上草柳地区	178	0.0	1.1	0.0	5.6	11.2	56.7
	中央地区	272	0.4	0.0	0.7	6.3	18.4	47.4
	桜丘地区	148	0.0	0.7	2.0	6.8	17.6	49.3
	和田地区	236	0.8	0.4	1.7	8.5	11.4	48.3
	福田北地区	204	1.5	0.0	1.0	9.3	19.6	45.6
	福田南地区	366	0.0	0.3	0.5	4.6	14.5	54.4

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑧収入のある仕事（シルバー人材センターなど）

一般高齢者		調査数（人）	参加頻度（％）					
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体		3,322	7.4	5.1	0.7	0.8	0.7	59.5
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	6.7	5.6	0.7	1.1	1.1	61.2
	中央林間地区	329	7.3	5.2	0.9	1.2	1.2	65.0
	南林間地区	407	6.9	5.2	1.0	0.7	0.7	65.1
	鶴間地区	315	10.2	6.0	0.3	0.3	0.3	54.6
	深見・大和地区	329	7.0	6.4	1.2	0.6	1.2	55.0
	上草柳地区	178	10.1	5.1	0.0	0.0	0.0	58.4
	中央地区	272	7.0	5.9	1.1	1.5	1.1	57.0
	桜丘地区	148	7.4	4.7	1.4	0.0	0.0	59.5
	和田地区	236	7.6	3.8	0.4	0.0	0.4	55.9
	福田北地区	204	7.4	4.4	1.0	1.0	0.0	57.4
	福田南地区	366	5.7	3.6	0.0	1.1	0.5	59.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑨地区社会福祉協議会（ミニサロン）

一般高齢者		調査数（人）	参加頻度（％）						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,322	0.2	0.2	0.3	1.1	1.0	69.6	27.7
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	0.2	0.4	0.2	0.9	0.4	71.9	26.0
	中央林間地区	329	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	76.9	22.5
	南林間地区	407	0.2	0.0	0.2	0.7	0.7	76.7	21.4
	鶴間地区	315	0.0	0.0	1.0	0.0	0.3	67.9	30.8
	深見・大和地区	329	0.0	0.0	0.3	0.6	0.6	66.6	31.9
	上草柳地区	178	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	70.8	28.1
	中央地区	272	0.0	0.0	0.0	1.8	2.6	65.8	29.8
	桜丘地区	148	0.7	0.0	0.0	1.4	2.7	66.9	28.4
	和田地区	236	0.0	1.3	0.8	2.5	2.1	61.0	32.2
	福田北地区	204	0.5	0.0	0.5	2.5	2.5	63.7	30.4
福田南地区	366	0.0	0.3	0.0	1.6	0.8	68.0	29.2	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

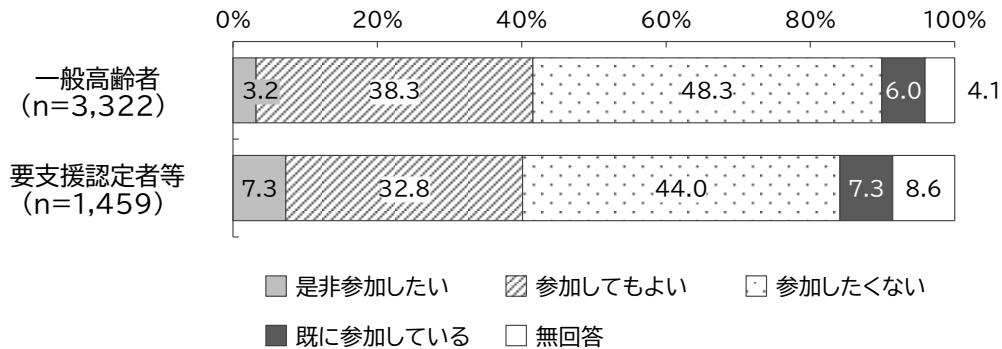
【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域・すべての会・グループにおいて「参加していない」が最も多くなっている。参加しているものの中では、②スポーツ関係のグループやクラブにおいて「中央地区」の「週2～3回」、中央地区の「週1回」が約1割で他の日常生活圏域より多くなっている。

《一般高齢者：問 33・要支援認定者等：問 34》

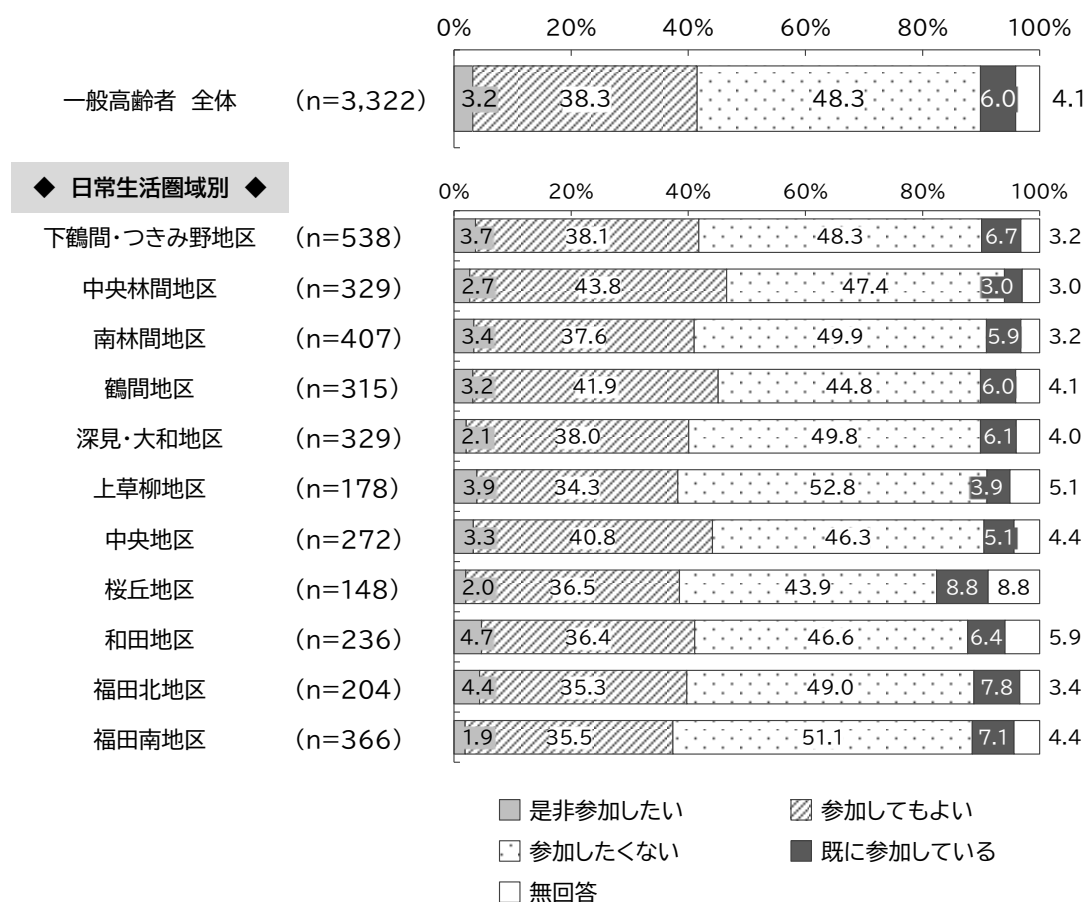
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への参加者としての参加意向は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「参加したくない」が最も多く、「参加してもよい」が続く。一方で、「参加してもよい」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 5.5 ポイント高くなっている。また、『参加したい（是非参加したい＋参加してもよい）』は、一般高齢者で 41.5%、要支援認定者等で 40.1%と、大きな差異はみられない。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》・《桜丘地区》・《福田北地区》・《福田南地区》で『参加したい（是非参加したい＋参加してもよい）』が4割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別 参加意向者×問 32（参加していない）】

一般高齢者	調査数（人）	参加していない会やグループ（％）									
		①ボランティアのグループ	②スポーツ関係のグループやクラブ	③趣味関係のグループ	④学習・教養サークル	⑤介護予防のための通いの場	⑥シニアクラブ（老人クラブ）	⑦自治会	⑧収入のある仕事（シルバー人材センターなど）	⑨地区社会福祉協議会（ミニサロン）	
全体	1,379	62.2	50.6	51.1	62.6	68.7	67.6	49.7	56.3	69.0	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	225	63.1	50.2	55.1	61.8	68.4	68.9	54.2	56.4	71.1
	中央林間地区	153	70.6	50.3	56.2	69.9	77.8	76.5	62.7	63.4	79.1
	南林間地区	167	66.5	56.3	50.3	68.3	74.3	71.9	58.1	63.5	74.9
	鶴間地区	142	68.3	55.6	51.4	65.5	71.8	71.8	50.0	59.2	73.9
	深見・大和地区	132	59.8	51.5	45.5	60.6	68.2	63.6	45.5	53.0	68.2
	上草柳地区	68	61.8	50.0	45.6	61.8	67.6	67.6	52.9	45.6	66.2
	中央地区	120	55.0	41.7	50.0	57.5	63.3	63.3	37.5	48.3	62.5
	桜丘地区	57	63.2	49.1	52.6	66.7	64.9	59.6	43.9	57.9	63.2
	和田地区	97	59.8	50.5	49.5	58.8	60.8	62.9	41.2	53.6	56.7
	福田北地区	81	49.4	49.4	50.6	51.9	60.5	59.3	38.3	50.6	58.0
福田南地区	137	57.7	48.2	48.9	59.9	66.4	65.0	46.0	56.9	67.9	

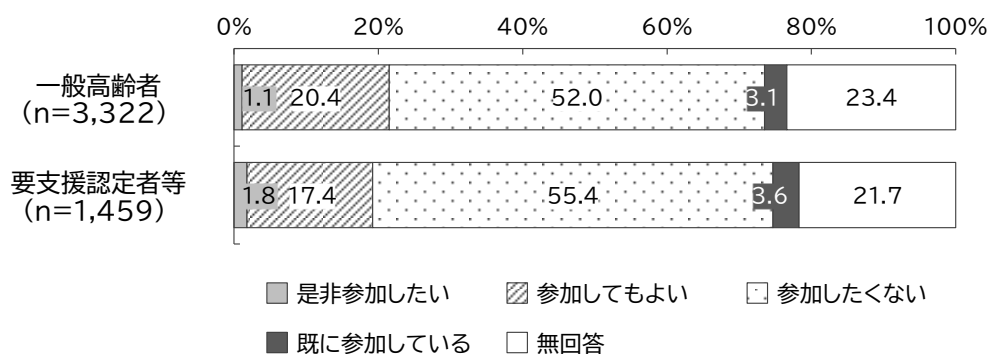
※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目

一般高齢者において『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』と回答した人のみを母数に集計を行い、それぞれの活動内容（57 ページ）で「参加していない」と回答した割合を、日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》・《南林間地区》で全体平均より5ポイント以上高い項目が多くなっているのに対し、《中央地区》・《福田北地区》では全体平均より5ポイント以上低い項目が多くなっている。

《一般高齢者：問34・要支援認定者等：問35》

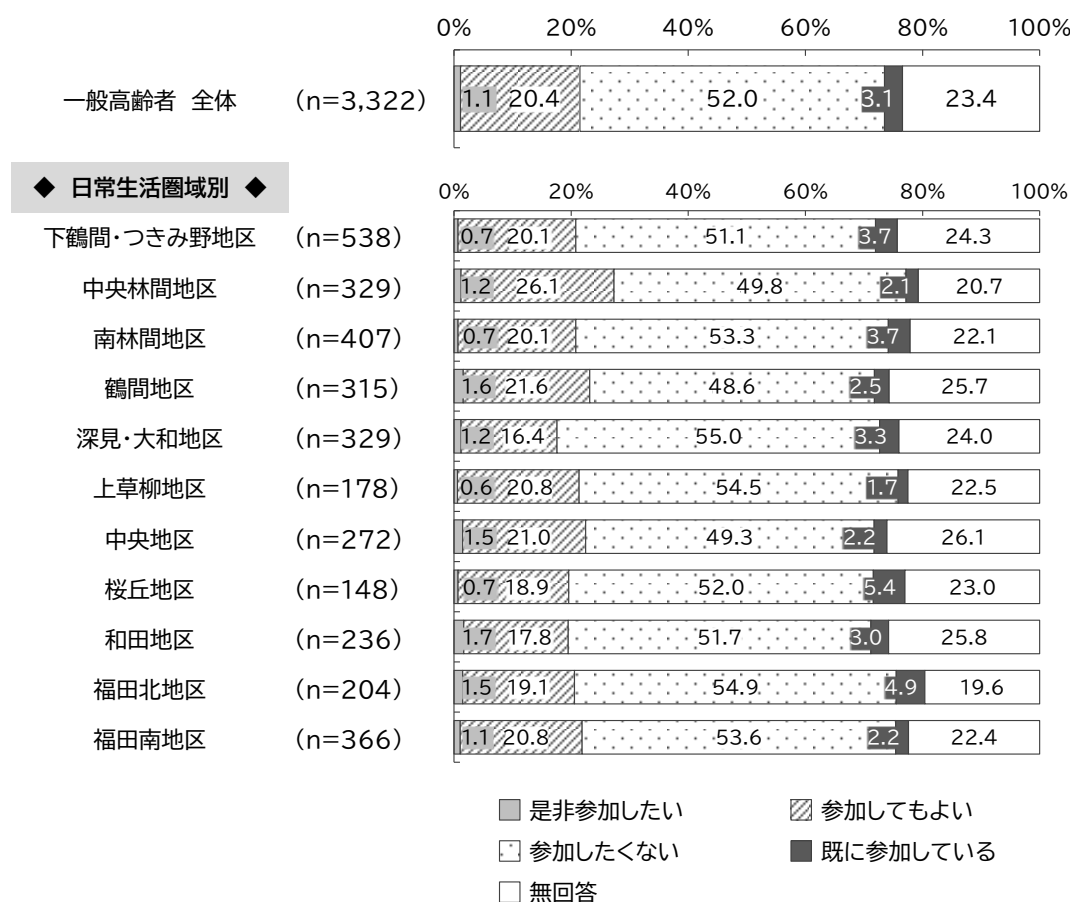
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への企画・運営側（お世話役）としての参加意向は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「参加したくない」が最も多く、「参加してもよい」、「既に参加している」が続く。また、『参加したい（是非参加したい＋参加してもよい）』は、一般高齢者で21.5%、要支援認定者等で19.2%と、大きな差異はみられない。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

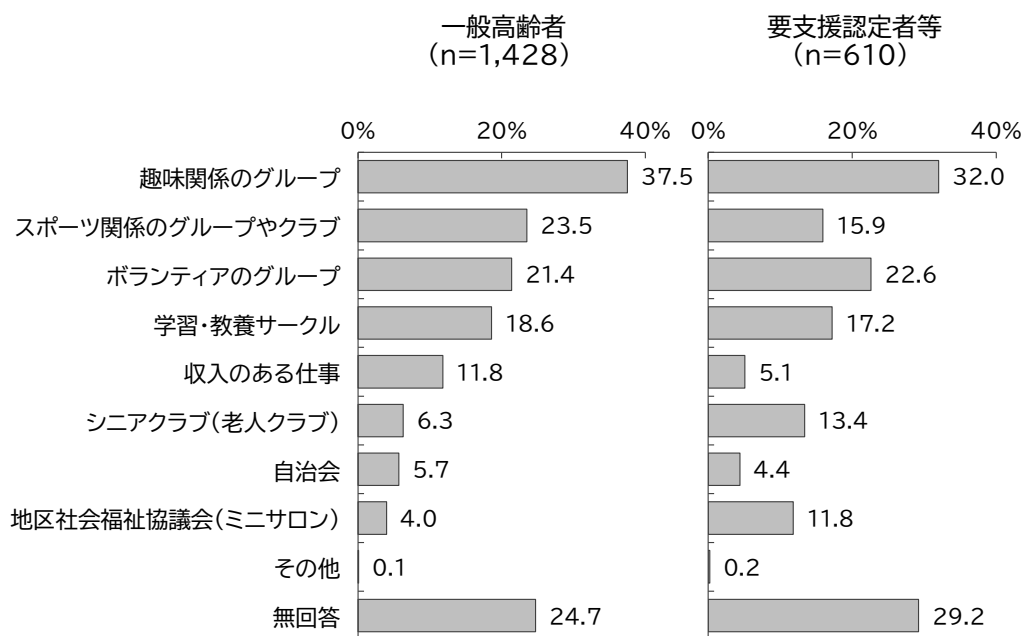
日常生活圏域別にみると、「深見・大和地区」・「桜丘地区」・「和田地区」で『参加したい（是非参加したい＋参加してもよい）』が２割を下回って他の日常生活圏域より少なく、「中央林間地区」・「鶴間地区」・「中央地区」では「参加したくない」が半数を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

一般高齢者：問 33 または問 34・要支援認定者等：問 34 または問 35 で「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 34－1・要支援認定者等：問 35－1》

どのような活動に参加したい（参加してもよい）ですか。（複数回答可）

【単純集計】



参加したい（参加してもよい）活動は、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「趣味関係のグループ」が最も多い。一般高齢者はそれに次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が続くが、要支援認定者等は、「ボランティアのグループ」が続く。また要支援認定者等において「シニアクラブ（老人クラブ）」、「地区社会福祉協議会（ミニサロン）」が一般高齢者より多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数（人）	参加したい（してもよい）活動（％）									
		趣味関係のグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	ボランティアのグループ	学習・教養サークル	収入のある仕事	シニアクラブ（老人クラブ）	自治会	地区社会福祉協議会（ミニサロン）	その他	無回答
全体	1,428	37.5	23.5	21.4	18.6	11.8	6.3	5.7	4.0	0.1	24.7
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	236	41.5	22.5	20.3	22.9	11.4	5.9	5.1	0.4	26.7
	中央林間地区	157	43.9	26.1	26.8	28.0	12.1	3.8	5.7	1.9	20.4
	南林間地区	172	29.1	25.6	25.6	16.9	12.2	3.5	5.2	4.7	27.9
	鶴間地区	146	37.7	28.1	17.1	21.9	8.9	8.2	6.8	3.4	24.7
	深見・大和地区	134	40.3	26.9	23.9	13.4	11.9	8.2	1.5	3.0	22.4
	上草柳地区	74	36.5	21.6	21.6	16.2	12.2	2.7	10.8	4.1	27.0
	中央地区	125	35.2	19.2	18.4	16.8	8.8	8.8	5.6	4.0	22.4
	桜丘地区	60	33.3	20.0	16.7	16.7	16.7	10.0	5.0	3.3	25.0
	和田地区	99	34.3	24.2	22.2	13.1	8.1	3.0	4.0	6.1	30.3
	福田北地区	83	34.9	22.9	20.5	14.5	13.3	8.4	6.0	7.2	21.7
	福田南地区	142	38.7	18.3	19.0	14.8	16.2	8.5	9.2	2.1	23.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

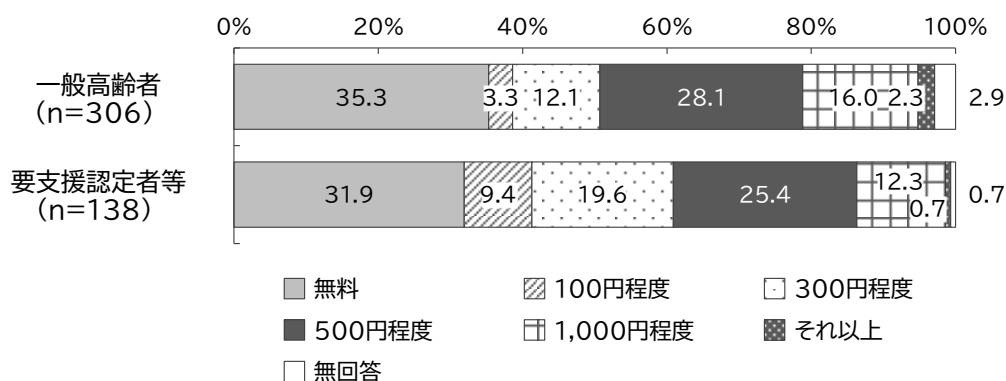
日常生活圏域別にみると、中央林間地区では「趣味関係のグループ」、「ボランティアのグループ」、「学習・教養サークル」が多く、上草柳地区では「自治会」活動が多い。桜丘地区では「シニアクラブ（老人クラブ）」の活動が1割を超えて比較的多い。

一般高齢者：問 34－1・要支援認定者等：問 35－1 で「ボランティアのグループ」と回答した方のみ

≪一般高齢者：問 34－1－1・要支援認定者等：問 35－1－1≫

家事支援（30 分程度）のボランティアを行う場合、1 回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。（単数回答）

【単純集計】



家事支援（30 分程度）のボランティアを行う場合、1 回の依頼につき、適当と考える対価は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「無料」が最も多く、「500 円程度」が続く。また、「300 円程度」は、要支援認定者等の方が一般高齢者より 7.5 ポイント高くなっている。さらに、『有料（100 円程度＋300 円程度＋500 円程度＋1,000 円程度＋それ以上）』は、一般高齢者で 61.8%、要支援認定者等で 67.4%と、要支援認定者等の方が一般高齢者より 5.6 ポイント高くなっている。

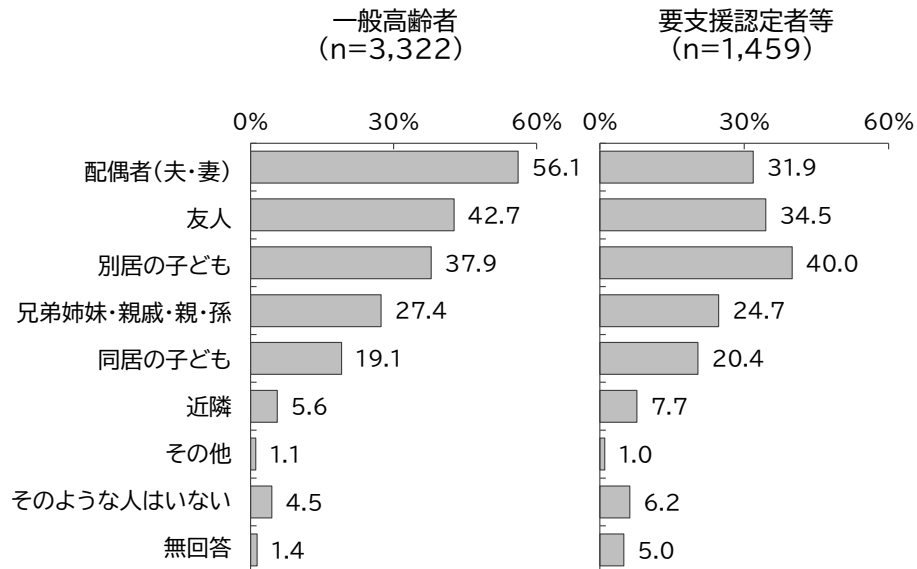
ボランティアを受ける場合の結果（56 ページ）と比較すると、ボランティアを受ける場合は料金を負担してもよいと考える人が多く、ボランティアを行う場合は無料でも構わないと考える人が多い結果となっている。

6 たすけあいについて

《一般高齢者：問 35・要支援認定者等：問 36》

あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてくれる人は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が56.1%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「別居の子ども」が40.0%と最も多くなっている。また、「配偶者（夫・妻）」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より24.2ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性年齢別】

		調査数(人)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(%)							
			配偶者(夫・妻)	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体		3,322	56.1	42.7	37.9	27.4	19.1	5.6	1.1	4.5
性年齢別	男性 前期高齢者	711	67.9	33.9	19.4	19.4	10.3	1.3	1.4	10.0
	男性 後期高齢者	868	68.5	26.6	34.3	16.9	14.9	2.9	1.0	5.5
	女性 前期高齢者	701	52.6	62.3	46.2	37.1	23.1	6.4	2.0	0.9
	女性 後期高齢者	1,042	40.0	49.0	47.9	35.0	25.9	10.4	0.5	2.5

		調査数(人)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(%)							
			配偶者(夫・妻)	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
全体		1,459	31.9	34.5	40.0	24.7	20.4	7.7	1.0	6.2
性年齢別	男性 40～64歳	11	36.4	9.1	27.3	54.5	0.0	9.1	0.0	9.1
	男性 前期高齢者	54	46.3	22.2	20.4	14.8	7.4	1.9	1.9	22.2
	男性 後期高齢者	397	50.9	17.9	34.3	14.1	17.1	3.8	1.5	8.8
	女性 40～64歳	11	54.5	45.5	9.1	54.5	27.3	9.1	0.0	0.0
	女性 前期高齢者	82	43.9	37.8	29.3	31.7	18.3	7.3	0.0	4.9
	女性 後期高齢者	904	21.3	42.5	45.1	28.5	22.9	9.7	0.8	4.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

性年齢別にみると、「男性 前期高齢者」で「別居の子ども」が19.4%と2割を下回って他の性年齢より少なく、「男性 前期高齢者」・「男性 後期高齢者」では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「同居の子ども」が他の性年齢より少なくなっている。また、「女性 前期高齢者」では「友人」が62.3%と6割を超えて他の性年齢より多く、「女性 後期高齢者」では「配偶者(夫・妻)」が40.0%と半数を下回って他の性年齢より少なくなっている。

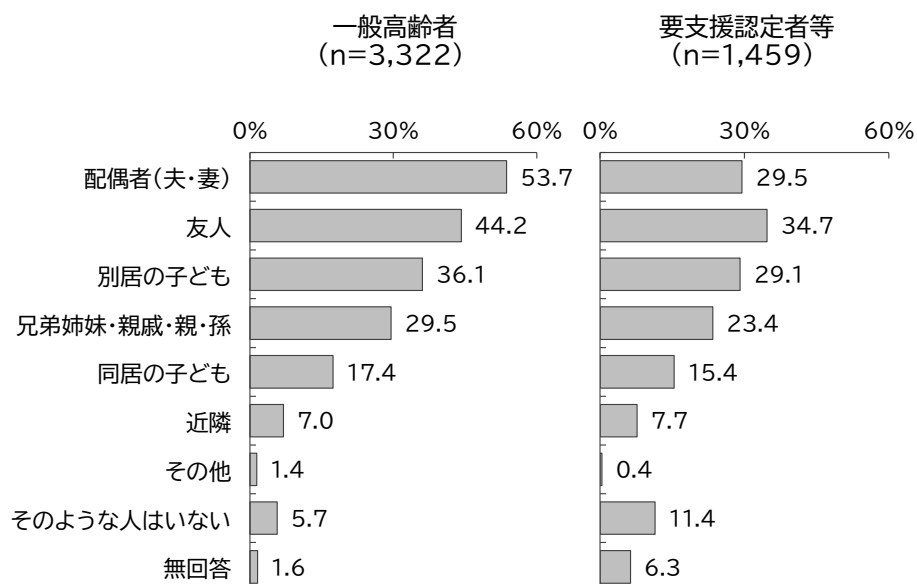
【要支援認定者等】

性年齢別にみると、「男性 前期高齢者」で「そのような人はいない」が22.2%と2割を超えて他の性年齢より多く、「女性 後期高齢者」では「別居の子ども」が45.1%と4割を超えて他の性年齢より多くなっている。また、「男性 後期高齢者」では「配偶者(夫・妻)」が50.9%と半数を超えて他の性年齢より多く、「友人」が17.9%と2割を下回って他の性年齢より少なくなっている。

《一般高齢者：問 36・要支援認定者等：問 37》

あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が53.7%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「友人」が34.7%と最も多くなっている。また、「配偶者（夫・妻）」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より24.2ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性年齢別】

		調査数(人)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(%)							
			配偶者(夫・妻)	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
一般高齢者										
全体		3,322	53.7	44.2	36.1	29.5	17.4	7.0	1.4	5.7
性年齢別	男性 前期高齢者	711	67.1	35.4	22.5	20.8	12.1	1.7	1.7	10.3
	男性 後期高齢者	868	68.1	26.5	32.8	19.0	14.1	4.8	1.4	7.3
	女性 前期高齢者	701	50.2	64.1	45.8	40.7	21.7	8.6	2.4	1.6
	女性 後期高齢者	1,042	34.9	51.5	41.6	36.7	20.8	11.2	0.4	3.9

		調査数(人)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(%)							
			配偶者(夫・妻)	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない
要支援認定者等										
全体		1,459	29.5	34.7	29.1	23.4	15.4	7.7	0.4	11.4
性年齢別	男性 40～64歳	11	36.4	9.1	27.3	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1
	男性 前期高齢者	54	40.7	22.2	20.4	14.8	5.6	1.9	1.9	22.2
	男性 後期高齢者	397	49.1	18.4	28.0	12.1	13.1	3.5	0.8	15.4
	女性 40～64歳	11	36.4	45.5	9.1	63.6	18.2	9.1	9.1	0.0
	女性 前期高齢者	82	40.2	42.7	24.4	31.7	12.2	9.8	0.0	6.1
	女性 後期高齢者	904	19.0	42.1	30.9	27.2	17.5	9.8	0.1	9.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

性年齢別にみると、「男性 前期高齢者」で「別居の子ども」が22.5%と3割を下回って他の性年齢より少なく、「男性 前期高齢者」・「男性 後期高齢者」では「同居の子ども」が2割を下回って他の性年齢より少なくなっている。また、「女性 前期高齢者」では「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が他の性年齢より多く、「女性 後期高齢者」では「配偶者(夫・妻)」が34.9%と4割を下回って他の性年齢より少なくなっている。

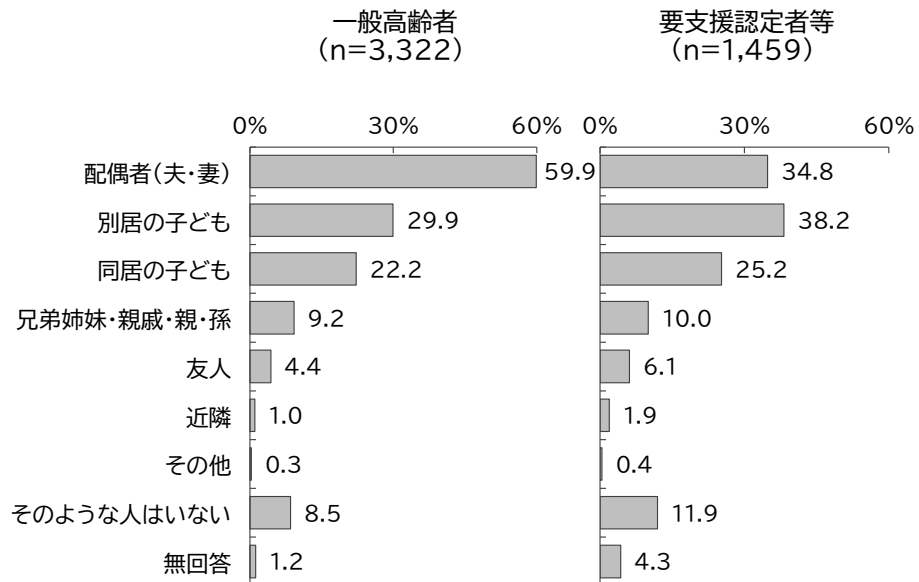
【要支援認定者等】

性年齢別にみると、「男性 前期高齢者」で「そのような人はいない」が22.2%と2割を超えて他の性年齢より多く、「男性 後期高齢者」では「友人」が18.4%と2割を下回って他の性年齢より少なくなっている。また、「女性 前期高齢者」では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.7%と3割を超えて他の性年齢より多く、「女性 後期高齢者」では「配偶者(夫・妻)」が19.0%と2割を下回って他の性年齢より少なくなっている。

《一般高齢者：問 37・要支援認定者等：問 38》

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(複数回答可)

【単純集計】

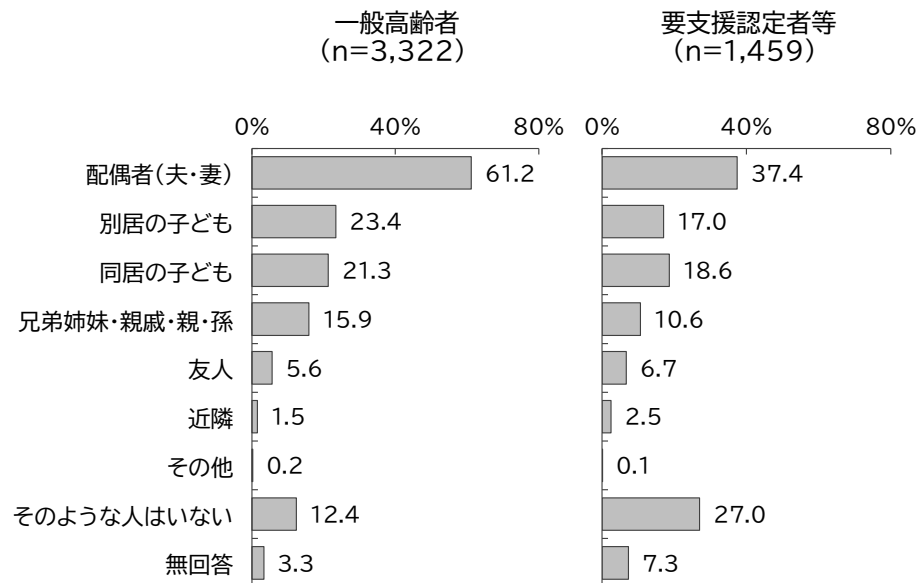


看病や世話をしてくれる人は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が59.9%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「別居の子ども」が38.2%と最も多くなっている。また、「配偶者（夫・妻）」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より25.1ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問38・要支援認定者等：問39》

反対に、看病や世話をしあける人はどなたですか。(複数回答可)

【単純集計】



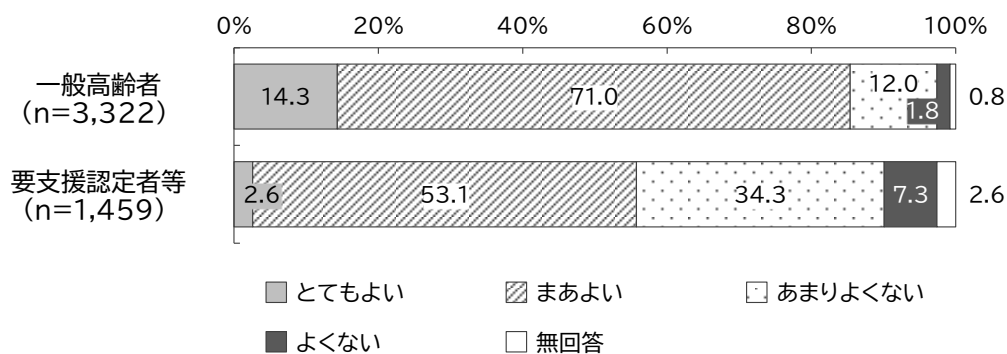
看病や世話をしあける人は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「配偶者(夫・妻)」が最も多くなっている。一方で、「配偶者(夫・妻)」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より23.8ポイント高くなっている。

7 健康について

《一般高齢者：問 39・要支援認定者等：問 40》

現在のあなたの健康状態はいかがですか。（単数回答）

【単純集計】

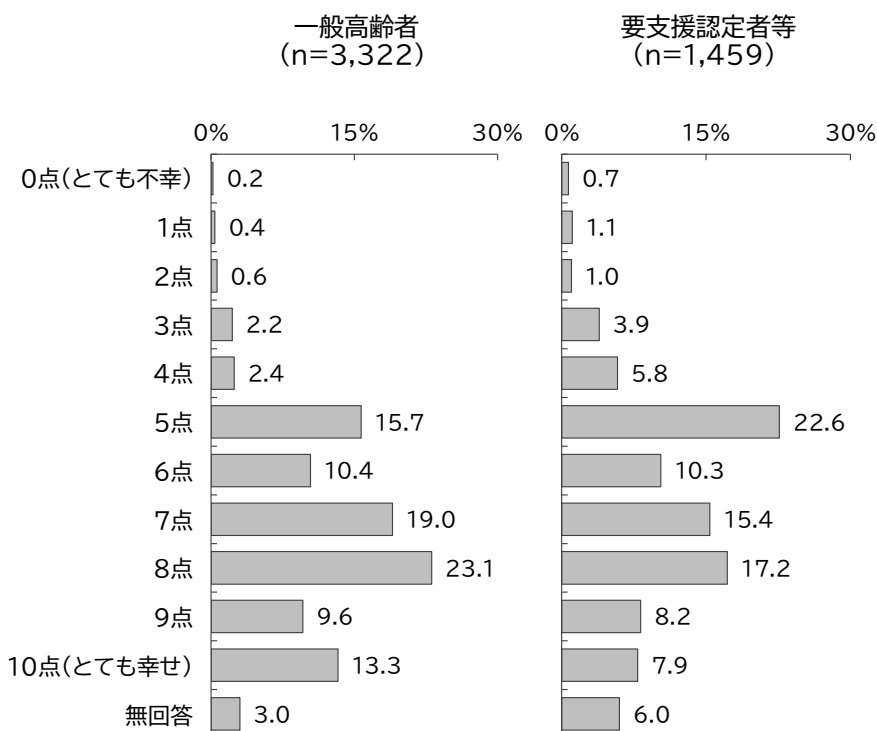


現在の健康状態は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「まあよい」が最も多くなっている。また、『よい（とてもよい+まあよい）』は、一般高齢者で 85.3%、要支援認定者等で 55.7%と、一般高齢者の方が要支援認定者等より 29.6 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問40・要支援認定者等：問41》

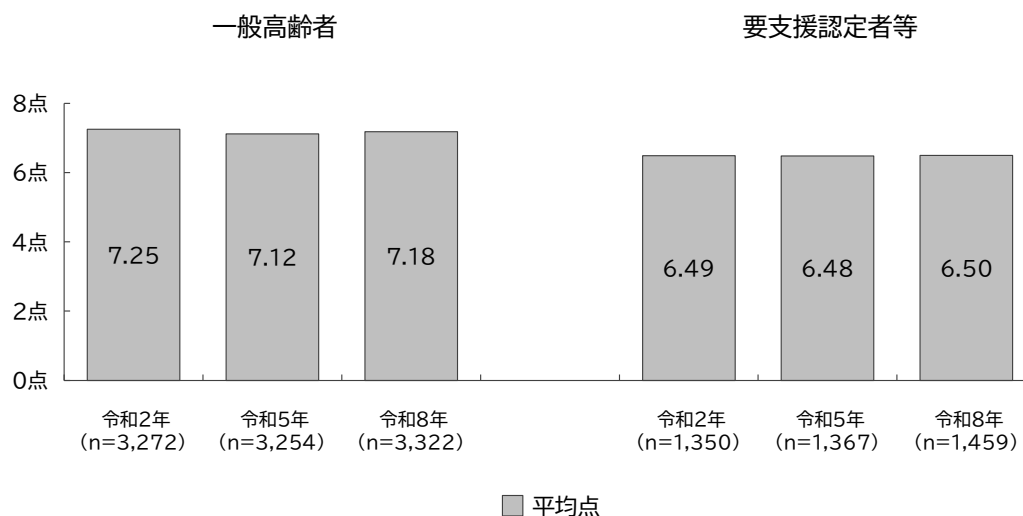
現在どの程度幸せですか。(単数回答)

【単純集計】



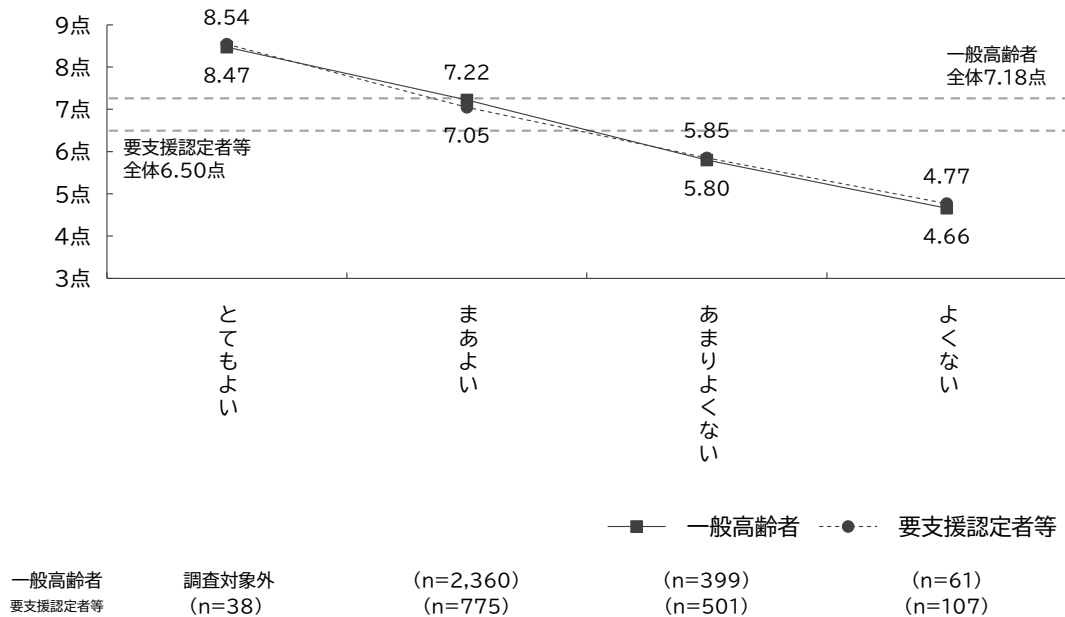
幸福度は、『6点以上』が、一般高齢者で75.4%、要支援認定者等で59.0%と、一般高齢者の方が要支援認定者等より16.4ポイント高くなっている。平均点は、一般高齢者で7.18点、要支援認定者等で6.50点となっている。

【経年比較】



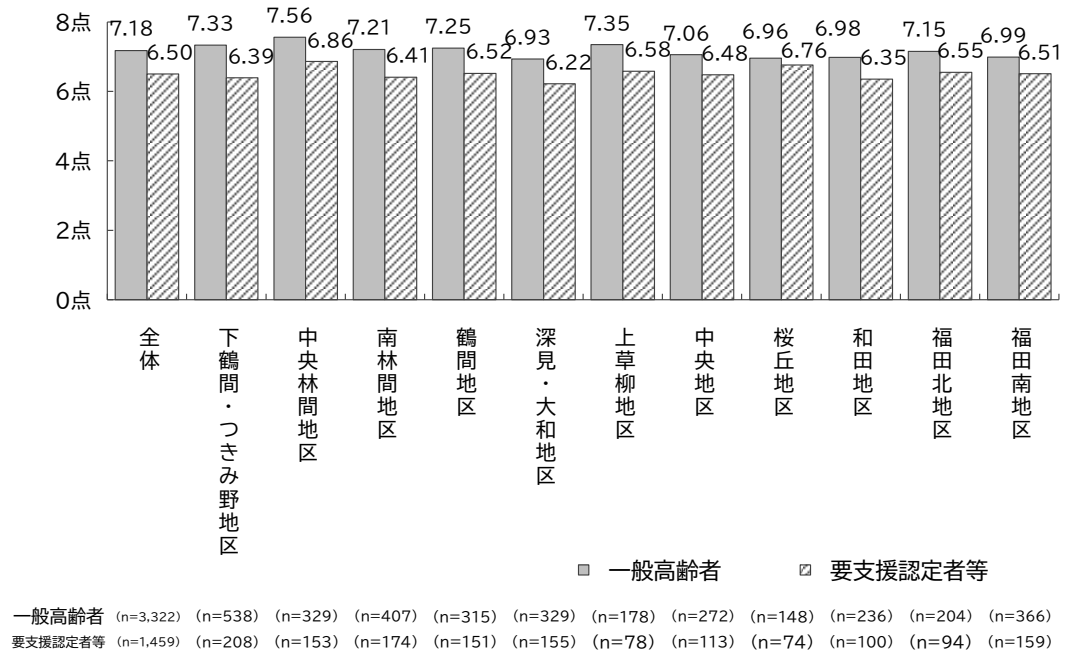
前回、前々回と比較してみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに大きな差異はみられず、一般高齢者で7.20点程度、要支援認定者等で6.50点程度となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：健康状態別】



健康状態別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに健康状態が悪くなるほど平均点が下がっており、健康状態と幸福度の相関関係が顕著にみられる。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

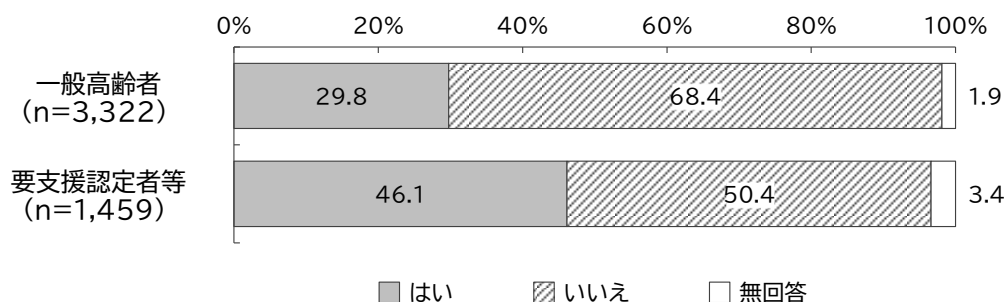


日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において一般高齢者で7点前後、要支援認定者等で6点台と、大きな差異はみられない。

《一般高齢者：問41・要支援認定者等：問42》

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(単数回答)

【単純集計】

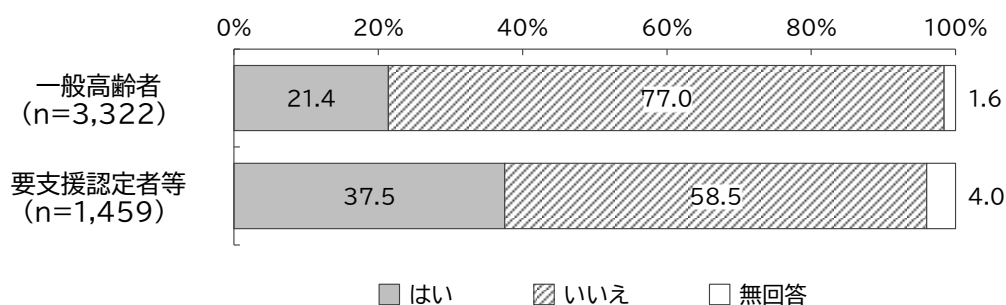


この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「いいえ」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より18.0ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問42・要支援認定者等：問43》

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。(単数回答)

【単純集計】

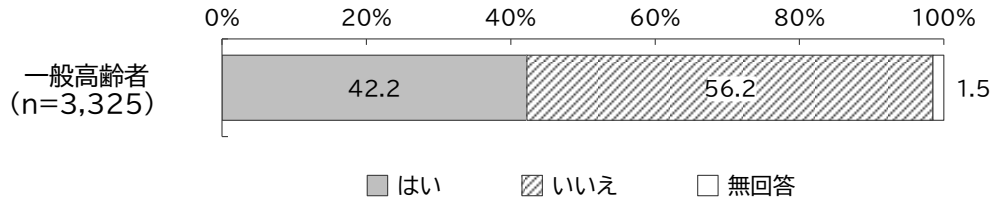


この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が多くなっている。一方で、「いいえ」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より18.5ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 43》

フレイルということばを知っていますか。（単数回答）

【単純集計】



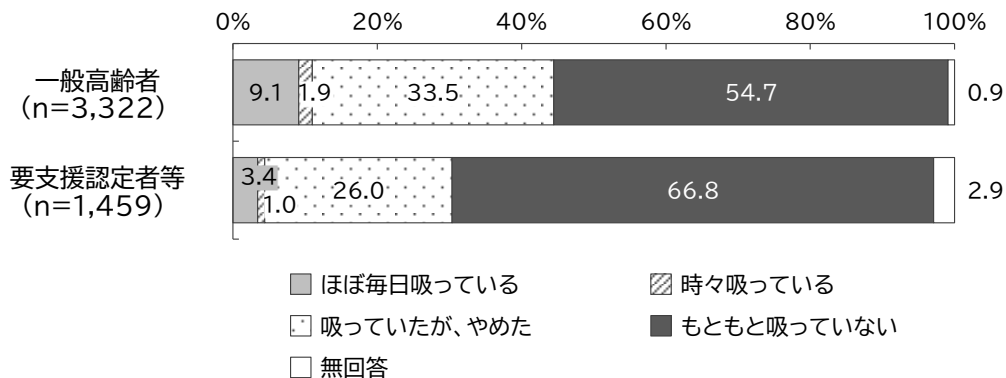
※フレイルとは、歳をとって体や心の働き、社会的なつながりが弱くなった状態を指す。早めに気づいて、適切な取組を行うことで健康な状態に戻ることができる。

フレイルということばを知っているかは、一般高齢者において「はい」が42.2%、「いいえ」が56.2%となっている。

《一般高齢者：問 44・要支援認定者等：問 44》

タバコは吸っていますか。（単数回答）

【単純集計】

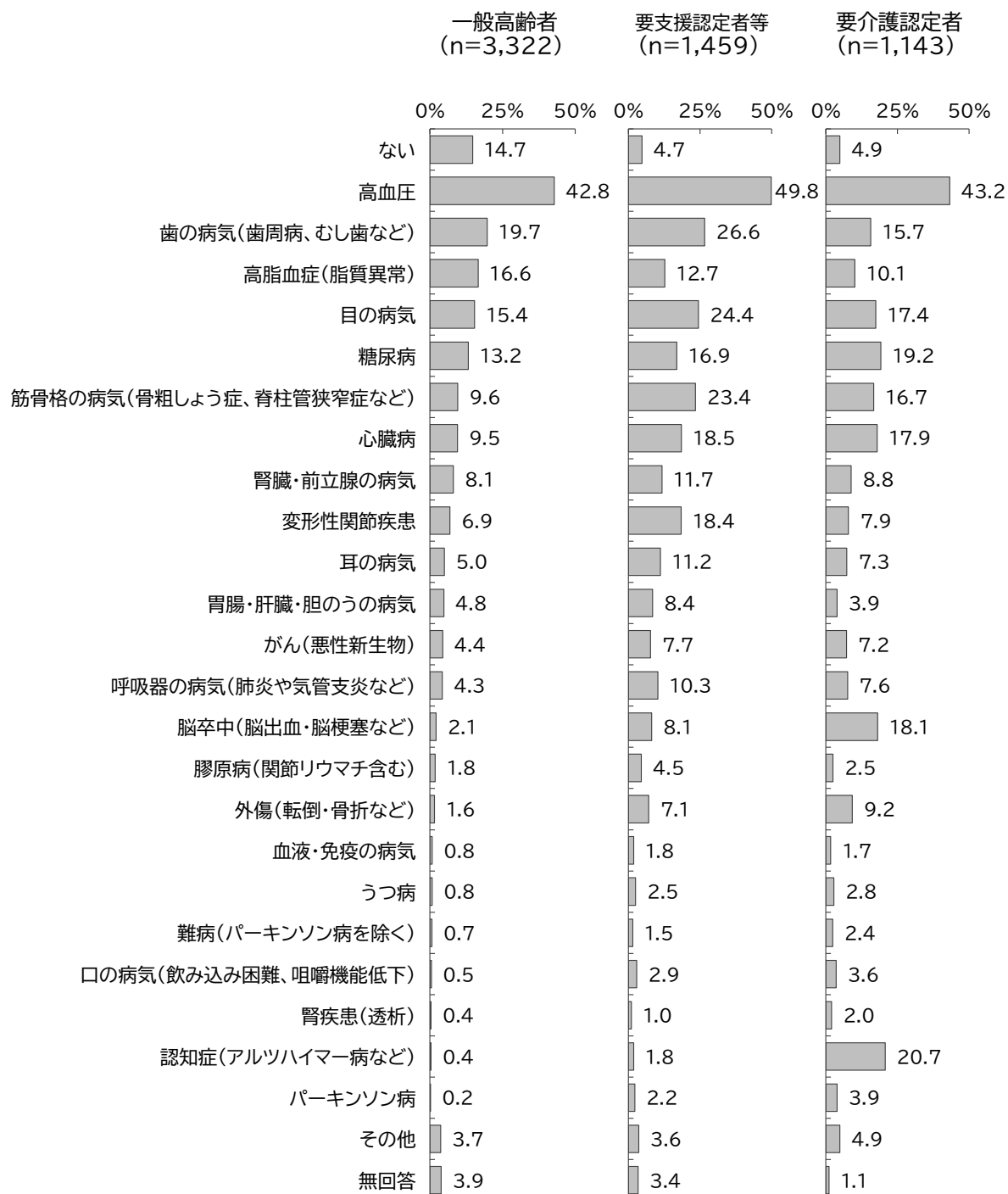


喫煙状況は、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「もともと吸っていない」が最も多く、「吸っていたが、やめた」、「ほぼ毎日吸っている」が続く。『吸っている（ほぼ毎日吸っている＋時々吸っている）』は、一般高齢者で11.0%、要支援認定者等で4.4%と、一般高齢者の方が要支援認定者等より6.6ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問45・要支援認定者等：問45・要介護認定者：問7》

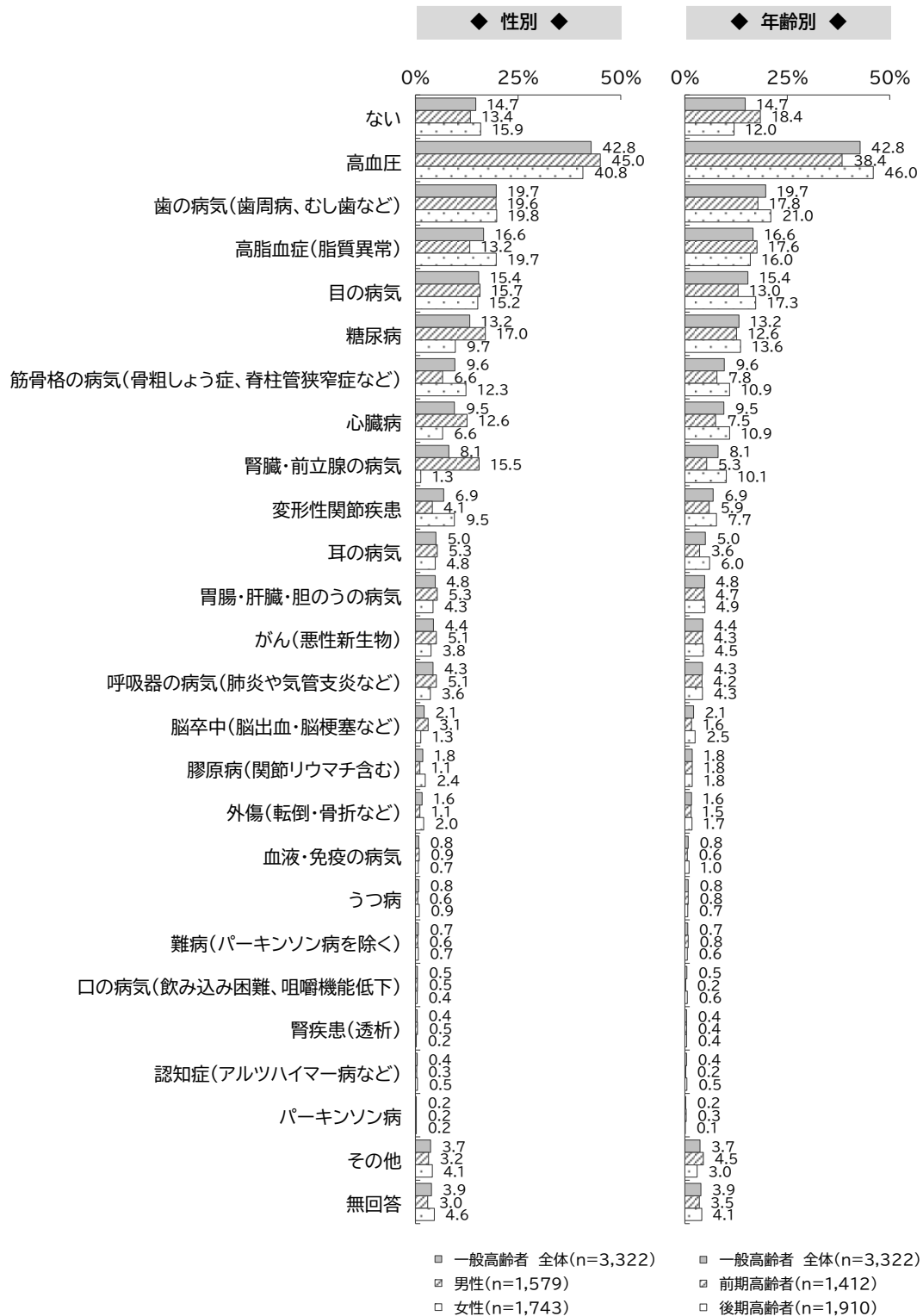
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答可)

【単純集計】



現在治療中、または後遺症のある病気は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「高血圧」が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「糖尿病」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」、「外傷（転倒・骨折など）」、「認知症（アルツハイマー病など）」が多くなっている。要支援認定者等では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」、「変形性関節疾患」が多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】

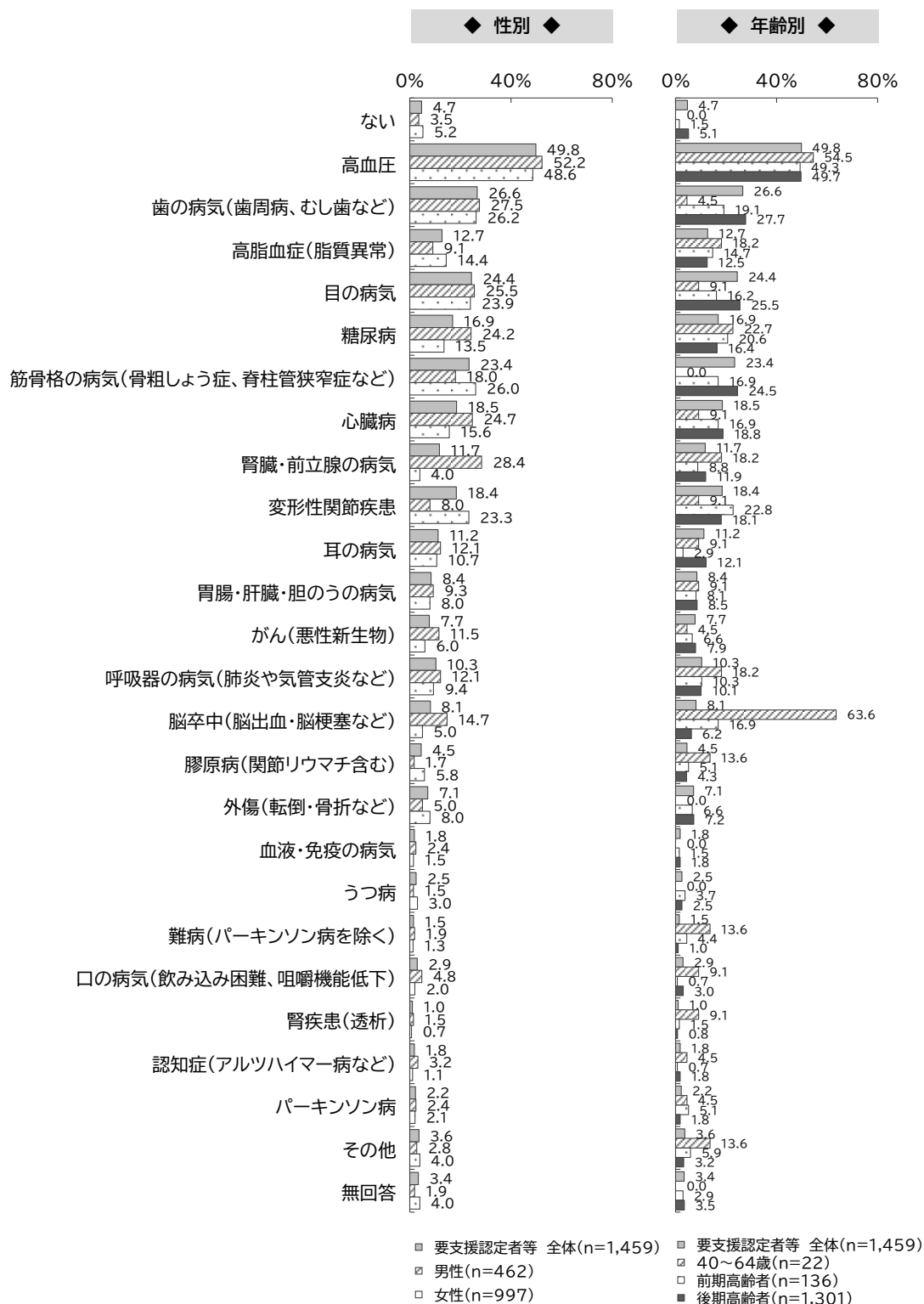


【一般高齢者】

性別にみると、「男性」で「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」が「女性」より多く、「女性」では「高脂血症（脂質異常）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」、「変形性関節疾患」が「男性」より多くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「ない」が18.4%と「後期高齢者」より6.4ポイント高く、「後期高齢者」では「高血圧」が46.0%と「前期高齢者」より7.6ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

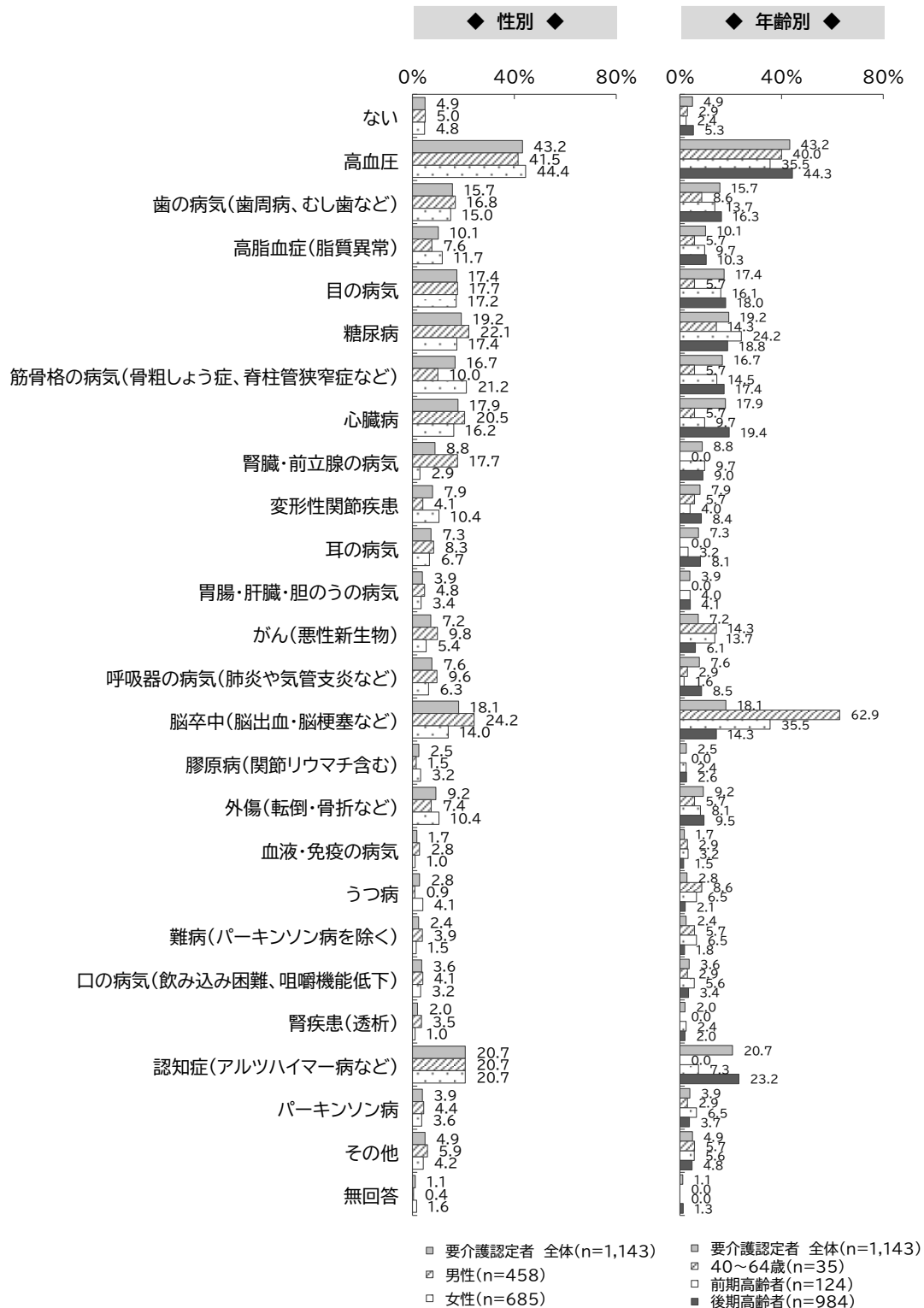


【要支援認定者等】

性別にみると、「男性」で「腎臓・前立腺の病気」などが「女性」より多く、「女性」では「変形性関節疾患」などが「男性」より多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など)」などが多く、「脳卒中(脳出血・脳梗塞など)」などが少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、「男性」で「腎臓・前立腺の病気」などが「女性」より多く、「女性」では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」などが「男性」より多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「認知症（アルツハイマー病など）」などが多く、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」などが少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・要介護度別】

要介護認定者	調査数（人）	現在治療中、または後遺症のある病気（％）																				その他	無回答					
		ない	高血圧	脳（虚脱病、むし歯など）	高脂血症（脂質異常）	目の病気	糖尿病	（骨格） （変形性関節症など）	心臓病	腎臓・前立腺の病気	変形性関節疾患	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気 （気管支炎など）	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	膠原病（関節リウマチ含む）	外傷（転倒・骨折など）	血液・免疫の病気	うつ病	難病（パーキンソン病を除く）			口（舌） （口内炎、歯肉炎、歯周病など）	腎疾患（透析）	認知症（アルツハイマー病など）	パーキンソン病	
要介護認定者	全体	1,143	4.9	43.2	15.7	10.1	17.4	19.2	16.7	17.9	8.8	7.9	7.3	3.9	7.2	7.6	18.1	2.5	9.2	1.7	2.8	2.4	3.6	2.0	20.7	3.9	4.9	1.1
	下関市・下関市	192	3.6	43.2	15.6	8.3	18.2	16.7	16.7	17.7	9.9	7.8	7.8	3.6	6.8	7.3	18.2	1.0	8.9	1.6	2.1	2.6	3.1	2.1	24.0	5.2	2.1	1.0
	中央林間地区	124	9.7	46.8	13.7	13.7	9.7	13.7	15.3	17.7	8.9	6.5	4.8	0.8	8.1	7.3	14.5	2.4	8.9	1.6	1.6	2.4	2.4	1.6	22.6	4.8	6.5	0.0
	南林間地区	150	6.0	36.0	12.0	6.0	14.0	21.3	17.3	14.7	11.3	8.0	6.0	3.3	9.3	8.7	18.0	2.7	8.7	2.0	4.7	0.7	4.7	0.7	20.7	2.0	2.7	1.3
	鶴岡地区	124	4.0	42.7	15.3	11.3	20.2	26.6	16.1	18.5	5.6	7.3	8.1	4.0	3.2	8.1	19.4	1.6	12.1	4.0	2.4	3.2	3.2	0.0	20.2	3.2	9.7	1.6
	深見・大和地区	119	5.0	44.5	15.1	16.0	19.3	16.0	13.4	17.6	8.4	11.8	5.0	7.6	7.6	9.2	26.1	2.5	8.4	0.8	4.2	1.7	5.0	1.7	15.1	6.7	6.7	0.8
	上草柳地区	55	1.8	40.0	10.9	5.5	23.6	16.4	20.0	16.4	7.3	9.1	12.7	5.5	7.3	10.9	12.7	7.3	12.7	1.8	3.6	3.6	5.5	0.0	27.3	1.8	5.5	1.8
	中央地区	81	4.9	43.2	16.0	9.9	17.3	21.0	17.3	22.2	9.9	6.2	3.7	4.9	6.2	8.6	17.3	1.2	6.2	0.0	0.0	3.7	3.7	2.5	13.6	2.5	6.2	0.0
	桜丘地区	55	1.8	32.7	23.6	12.7	21.8	18.2	30.9	20.0	7.3	5.5	14.5	3.6	10.9	7.3	20.0	7.3	10.9	1.8	5.5	3.6	3.6	7.3	29.1	5.5	3.6	0.0
	和田地区	61	1.6	50.8	18.0	8.2	21.3	23.0	16.4	21.3	14.8	9.8	9.8	4.9	4.9	3.3	16.4	1.6	3.3	1.6	1.6	1.6	1.6	4.9	21.3	4.9	3.3	0.0
福田北地区	71	5.6	50.7	22.5	9.9	11.3	23.9	15.5	16.9	7.0	5.6	11.3	4.2	7.0	8.5	18.3	4.2	12.7	2.8	4.2	1.4	4.2	5.6	22.5	1.4	1.4	1.4	
福田南地区	111	5.4	45.9	17.1	9.0	20.7	18.0	13.5	18.0	6.3	8.1	5.4	2.7	8.1	4.5	15.3	1.8	9.0	0.9	1.8	3.6	2.7	0.9	16.2	3.6	6.3	3.6	
要介護1	447	4.5	46.1	18.1	11.6	20.8	20.1	19.0	17.4	8.9	8.5	9.6	4.0	8.3	6.7	12.8	1.6	9.2	2.0	3.4	1.3	2.9	0.4	22.1	3.1	4.0	0.4	
要介護2	339	4.7	45.1	15.6	10.9	16.5	19.8	15.0	20.4	9.1	9.1	6.5	4.4	6.5	8.3	18.0	2.7	7.7	1.2	3.2	2.9	2.4	2.7	15.6	4.4	4.7	1.8	
要介護3	161	5.6	44.1	16.1	7.5	14.3	16.8	18.0	14.3	9.3	7.5	5.0	4.3	7.5	8.1	21.7	3.1	11.2	1.2	3.1	2.5	2.5	0.0	22.4	2.5	8.7	1.2	
要介護4	107	5.6	38.3	7.5	8.4	16.8	20.6	16.8	24.3	10.3	6.5	8.4	1.9	7.5	8.4	29.0	3.7	11.2	1.9	0.0	1.9	4.7	6.5	20.6	7.5	1.9	0.9	
要介護5	89	5.6	25.8	13.5	5.6	10.1	15.7	9.0	10.1	4.5	2.2	2.2	3.4	3.4	7.9	25.8	4.5	9.0	3.4	1.1	6.7	12.4	5.6	30.3	4.5	6.7	2.2	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において「高血圧」が最も多くなっているものの、〈桜丘地区〉では全体平均より10.5ポイント低くなっている。

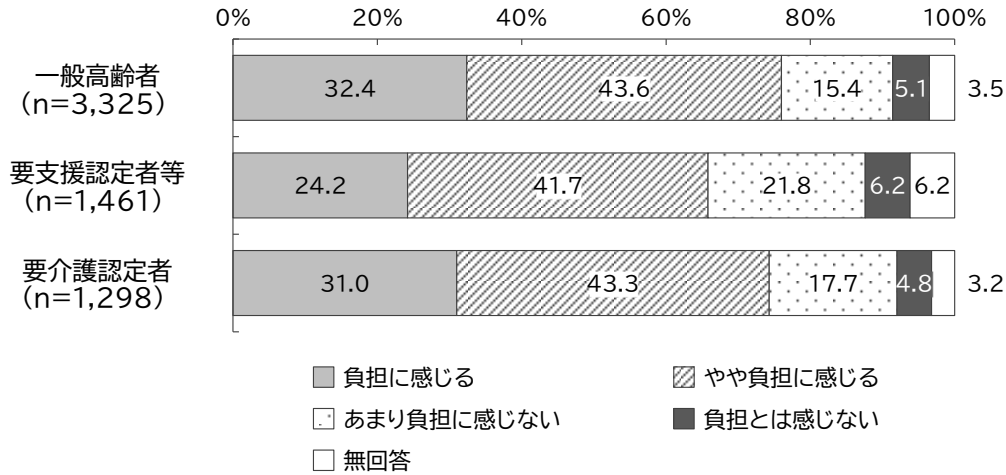
要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「高血圧」が少なくなっている。また、「要介護1」・「要介護2」では「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が2割を下回って他の要介護度より少なく、「認知症（アルツハイマー病など）」が30.3%と3割を超えて他の要介護度より多くなっている。

8 介護保険制度等について

《一般高齢者：問 46・要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 8》

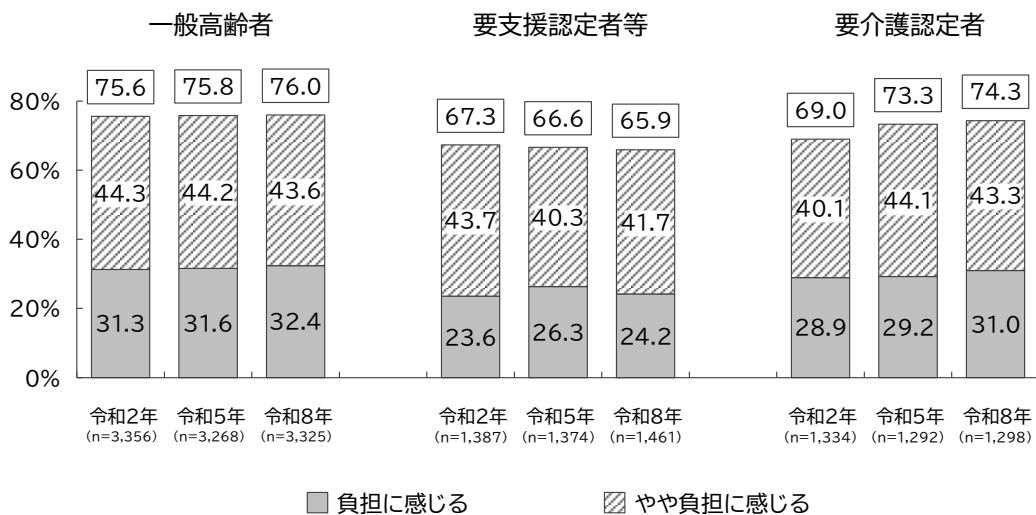
介護保険料の負担について、どのように感じていますか。（単数回答）

【単純集計】



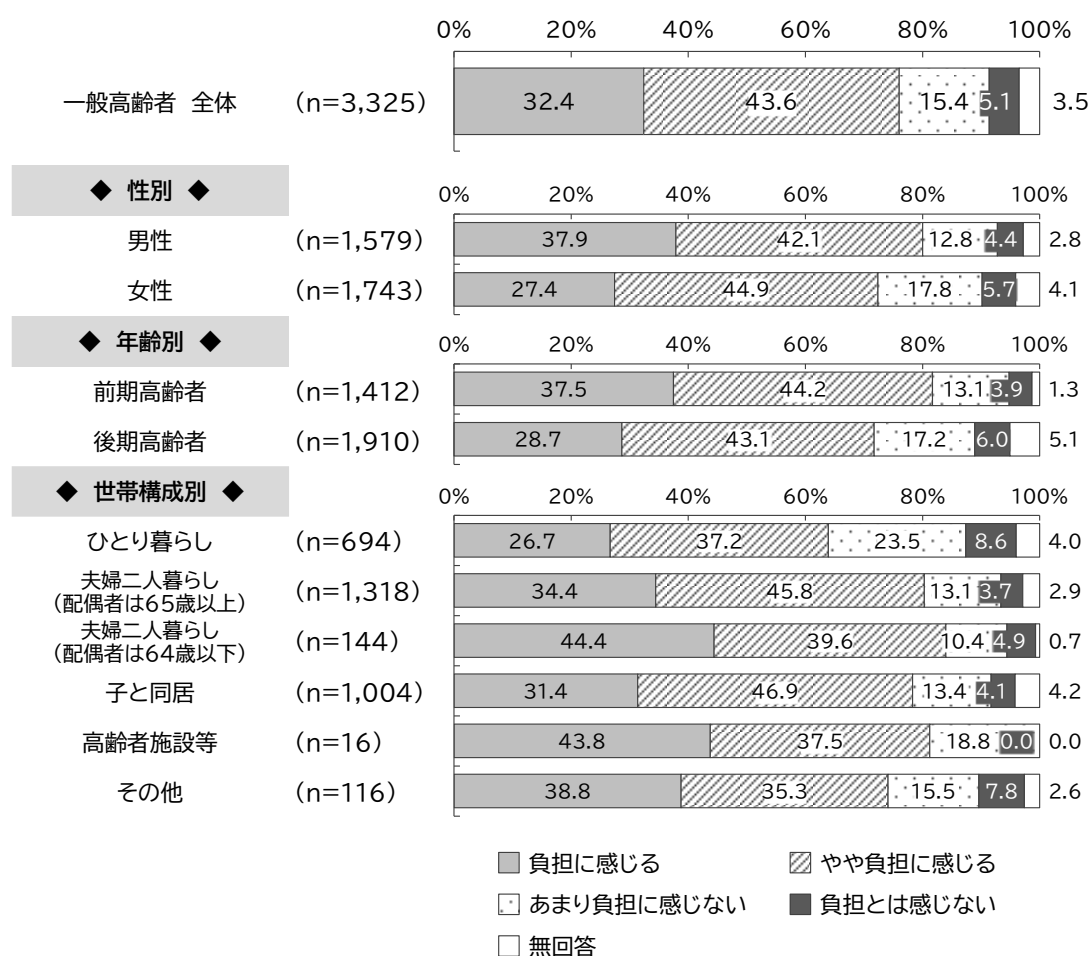
介護保険料の負担は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「やや負担を感じる」が最も多く、「負担を感じる」、「あまり負担に感じない」が続く。また、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、一般高齢者で 76.0%、要支援認定者等で 65.9%、要介護認定者で 74.3%と、要支援認定者等で少なくなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は一般高齢者・要支援認定者等ともに大きな差異はみられないものの、要介護認定者においては増加傾向がみられる。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】



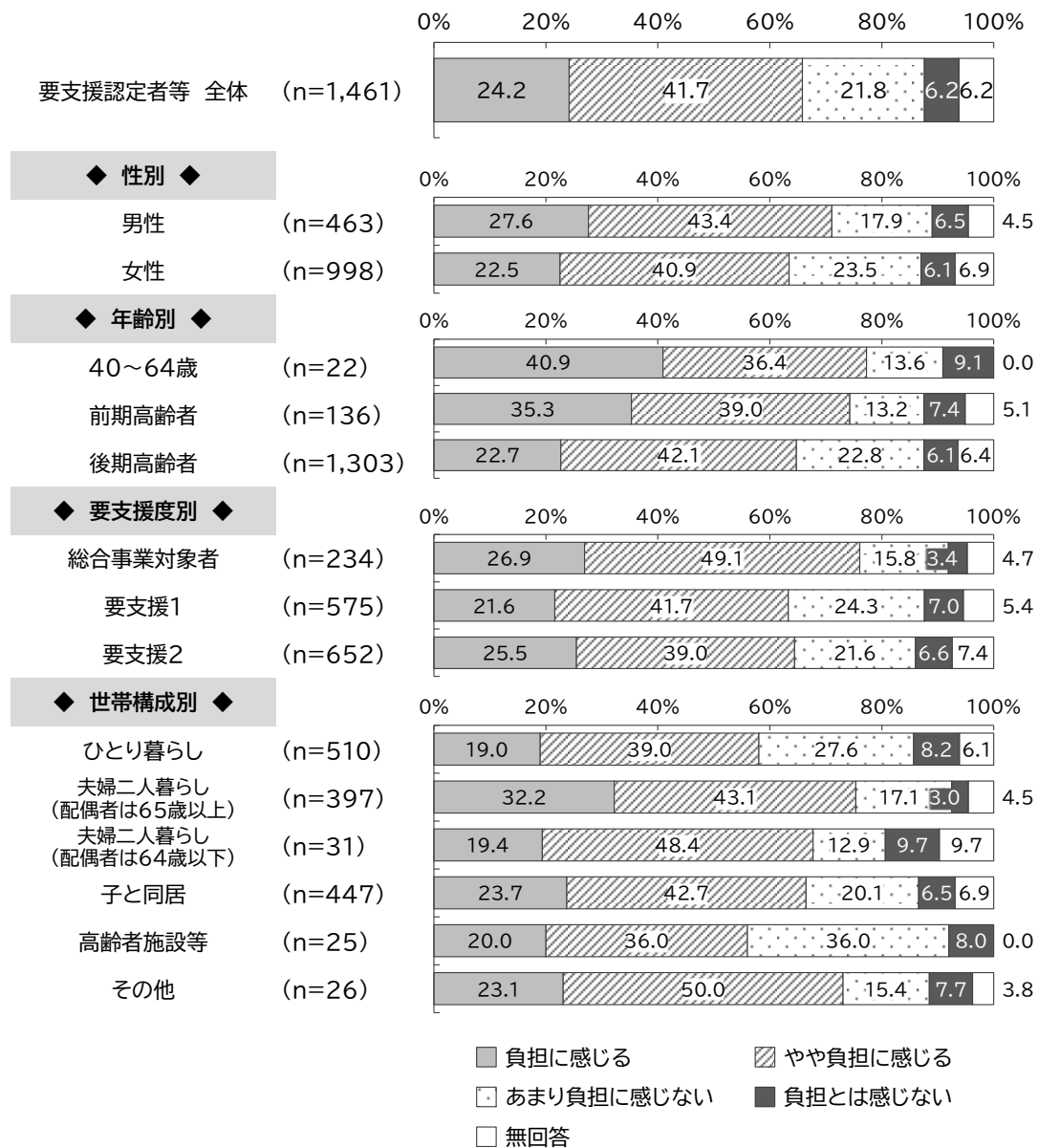
【一般高齢者】

性別にみると、《男性》で『負担（負担に感じる＋やや負担に感じる）』が80.0%と《女性》より7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で『負担（負担に感じる＋やや負担に感じる）』が81.7%と《後期高齢者》より9.9ポイント高くなっている。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で『負担（負担に感じる＋やや負担に感じる）』が63.9%と7割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。また、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》では「負担に感じる」が44.4%と4割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

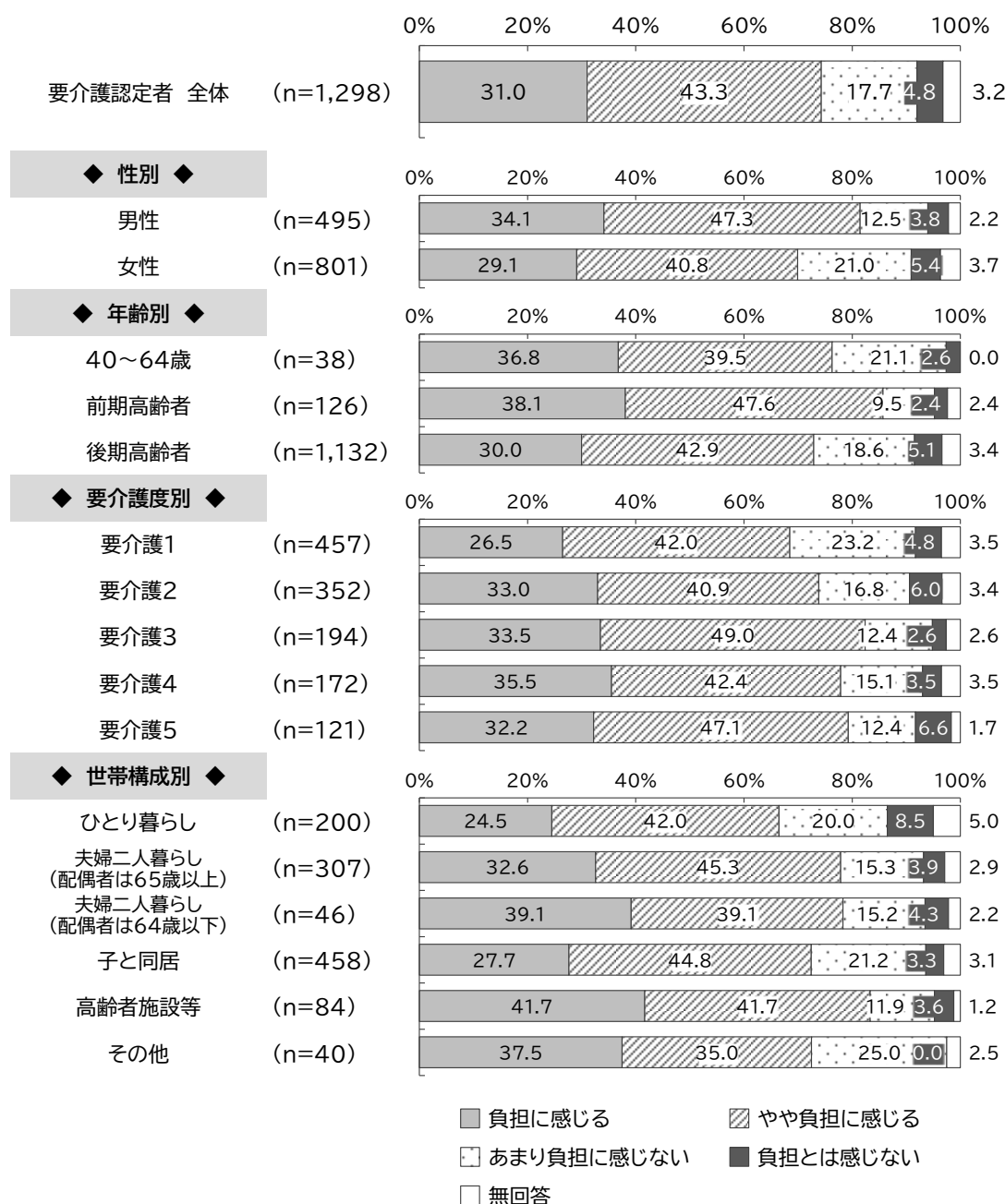
性別にみると、「男性」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が71.0%と「女性」より7.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が少なくなっている。

要支援度別にみると、「総合事業対象者」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が76.0%と7割を超えて他の要支援度より多くなっている。

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」・「高齢者施設等」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が6割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。また、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」では「負担を感じる」が32.2%と3割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、「男性」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が81.4%と「女性」より11.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が85.7%と8割を超えて他の年齢より多くなっている。

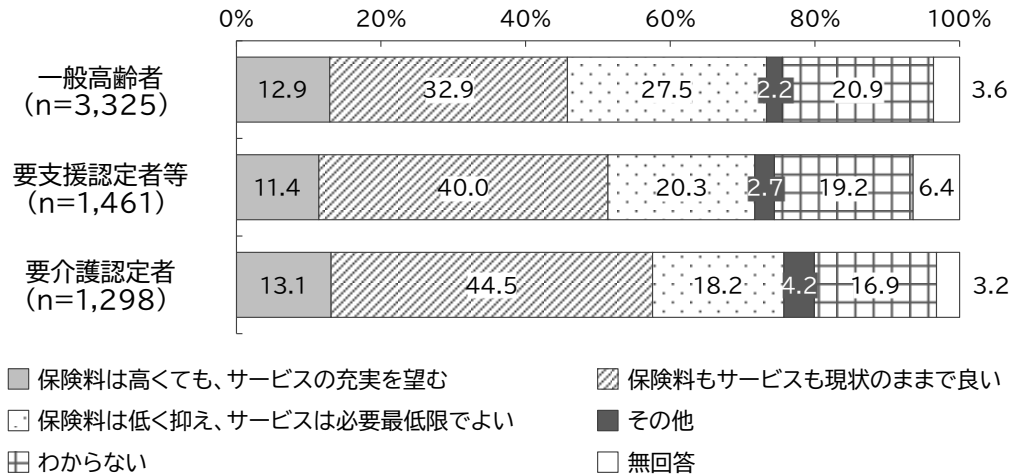
要介護度別にみると、「要介護3」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が82.5%と8割を超えて他の要介護度より多くなっている。

世帯構成別にみると、「高齢者施設等」で『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が83.4%と8割を超えて他の世帯構成より多くなっている。また、「高齢者施設等」では「負担を感じる」が41.7%と4割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

《一般高齢者：問 47・要支援認定者等：問 47・要介護認定者：問 9》

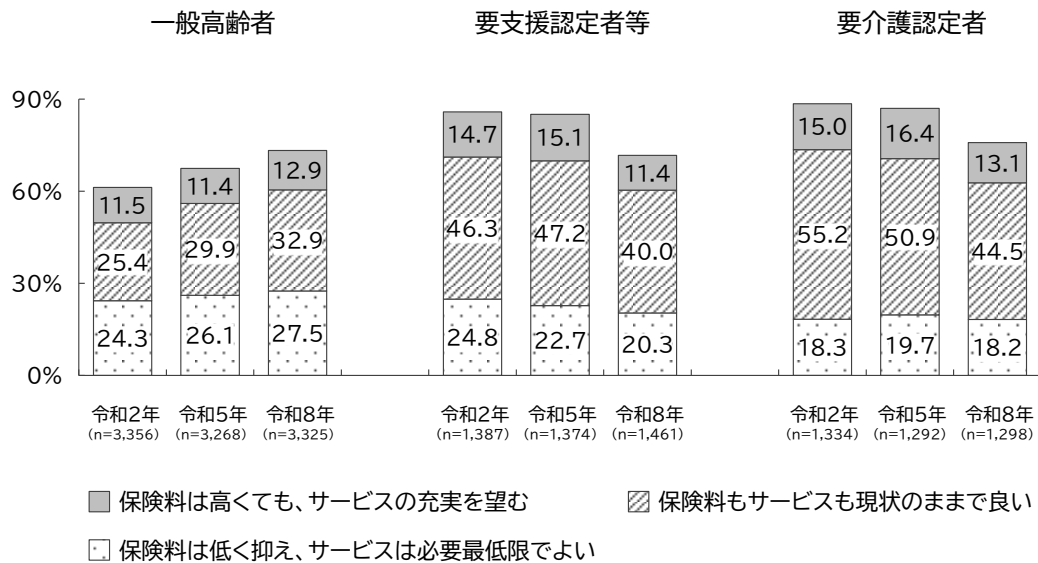
介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのように考えますか。
(単数回答)

【単純集計】



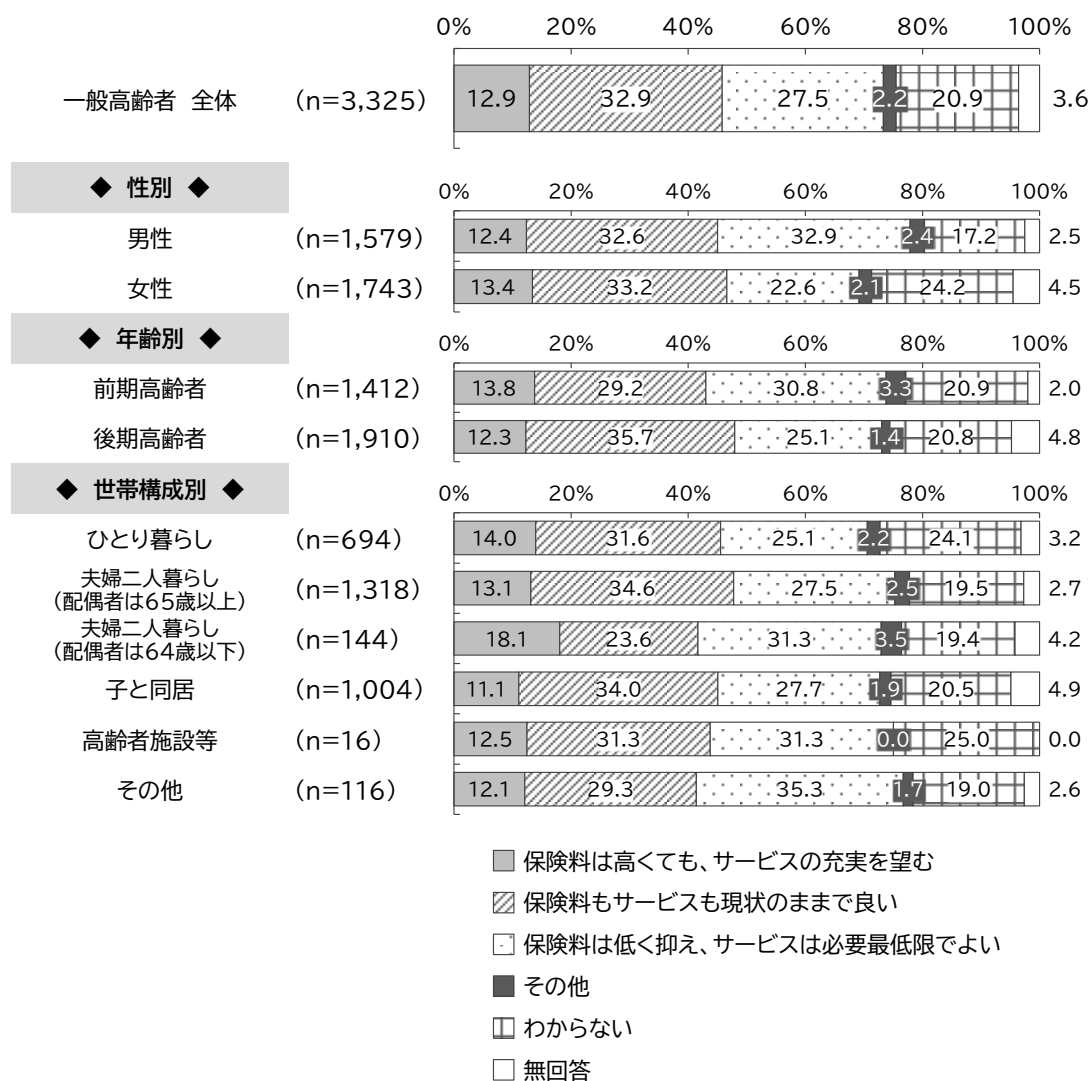
今後の保険料とサービスのあり方についての考えは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「保険料もサービスも現状のままで良い」が最も多く、「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」、「わからない」が続く。また、介護を必要とするほど「保険料もサービスも現状のままで良い」が多く、「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が少なくなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、「保険料もサービスも現状のままで良い」は、一般高齢者において増加傾向、要介護認定者において減少傾向がみられる。また、要支援認定者等においては令和5年までは横ばい傾向にあったのに対し、令和8年には前回を7.2ポイント下回っている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】



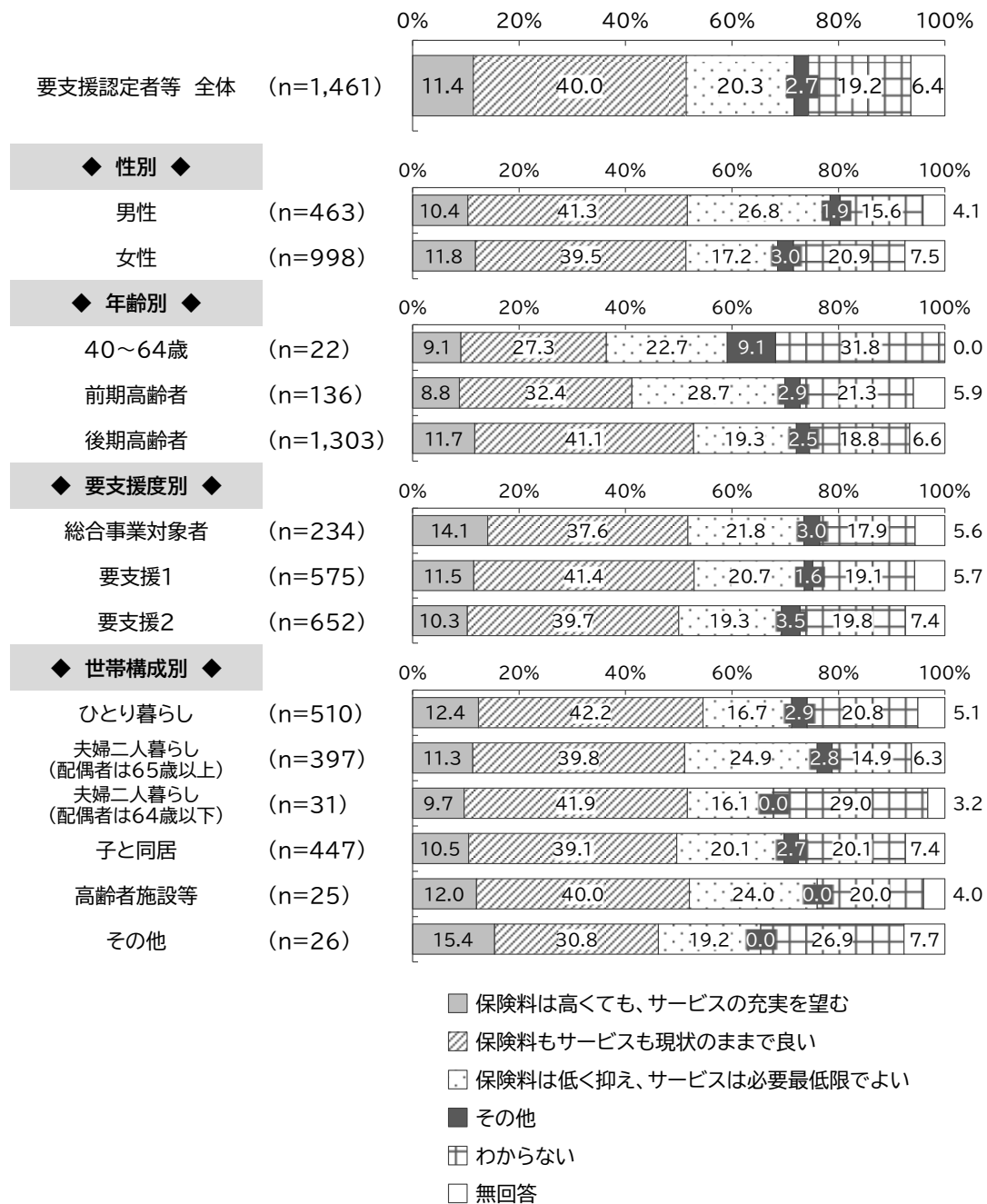
【一般高齢者】

性別にみると、「男性」で「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が32.9%と「女性」より10.3ポイント高く、「女性」では「わからない」が24.2%と「男性」より7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が30.8%と「後期高齢者」より5.7ポイント高く、「後期高齢者」では「保険料もサービスも現状のままで良い」が35.7%と「前期高齢者」より6.5ポイント高くなっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」で「保険料もサービスも現状のままで良い」が3割を下回って他の世帯構成より少なく、「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が3割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

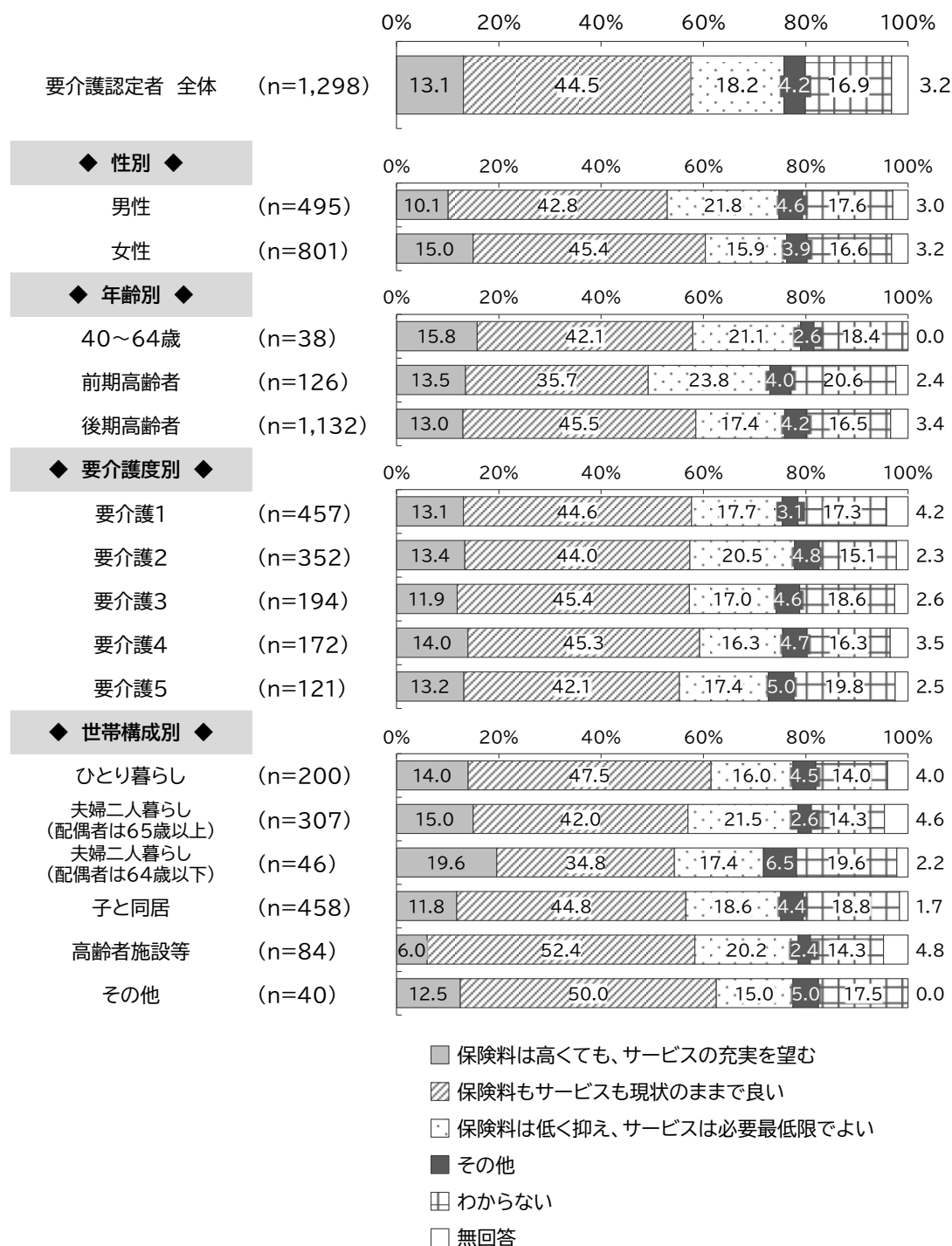
性別にみると、《男性》で「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が26.8%と《女性》より9.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「保険料もサービスも現状のままで良い」が多くなっている。

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《子と同居》で「保険料もサービスも現状のままで良い」が4割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

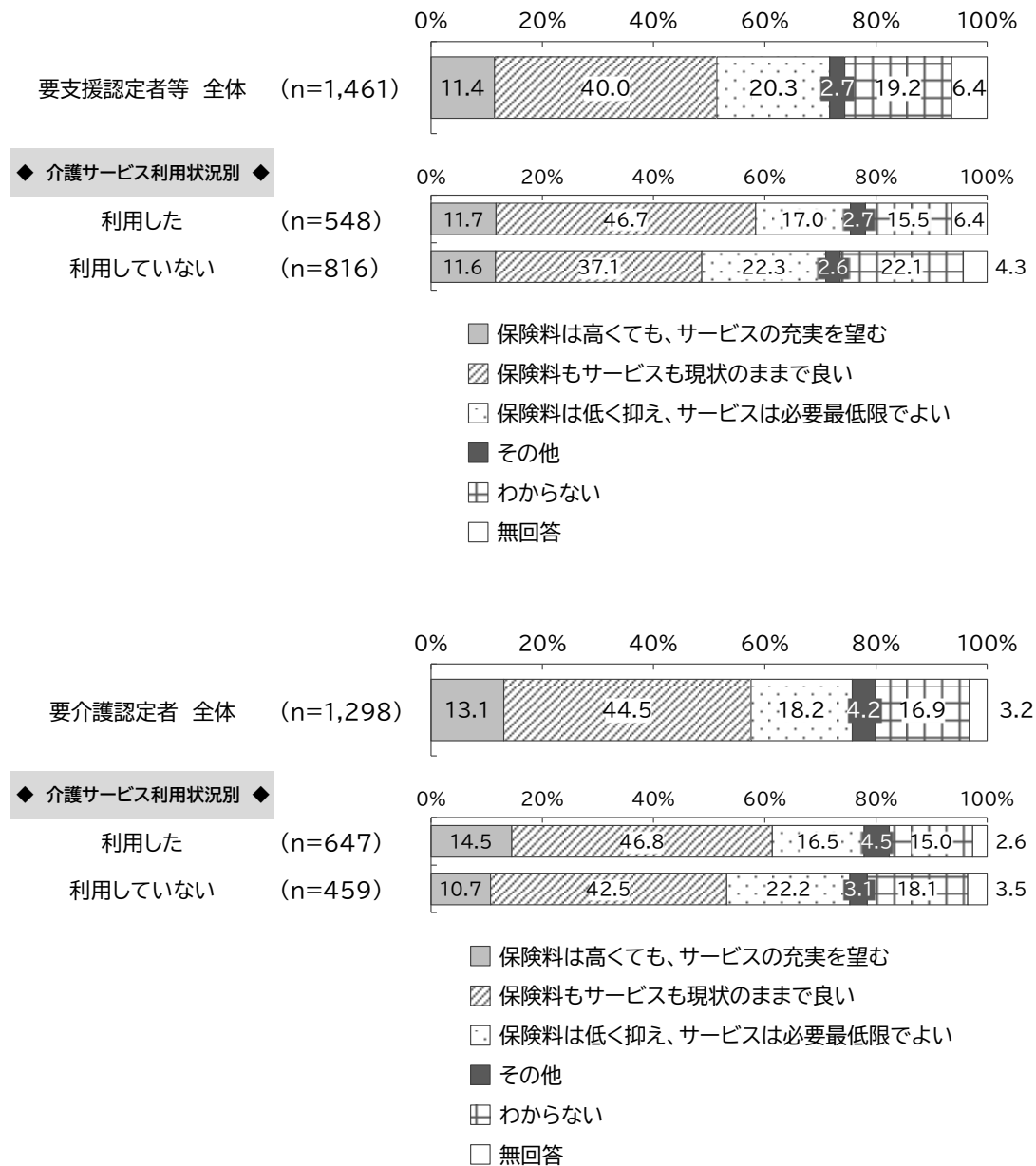
性別にみると、「男性」で「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が21.8%と「女性」より5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「保険料もサービスも現状のままで良い」が35.7%と4割を下回って他の年齢より少なくなっている。

要介護度別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」で「保険料もサービスも現状のままで良い」が34.8%と4割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：介護サービス利用状況別】



【要支援認定者等】

介護サービス利用状況別にみると、「利用した」で「保険料もサービスも現状のままで良い」が46.7%と「利用していない」より9.6ポイント高く、「利用していない」では「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」、「わからない」が「利用した」より多くなっている。

【要介護認定者】

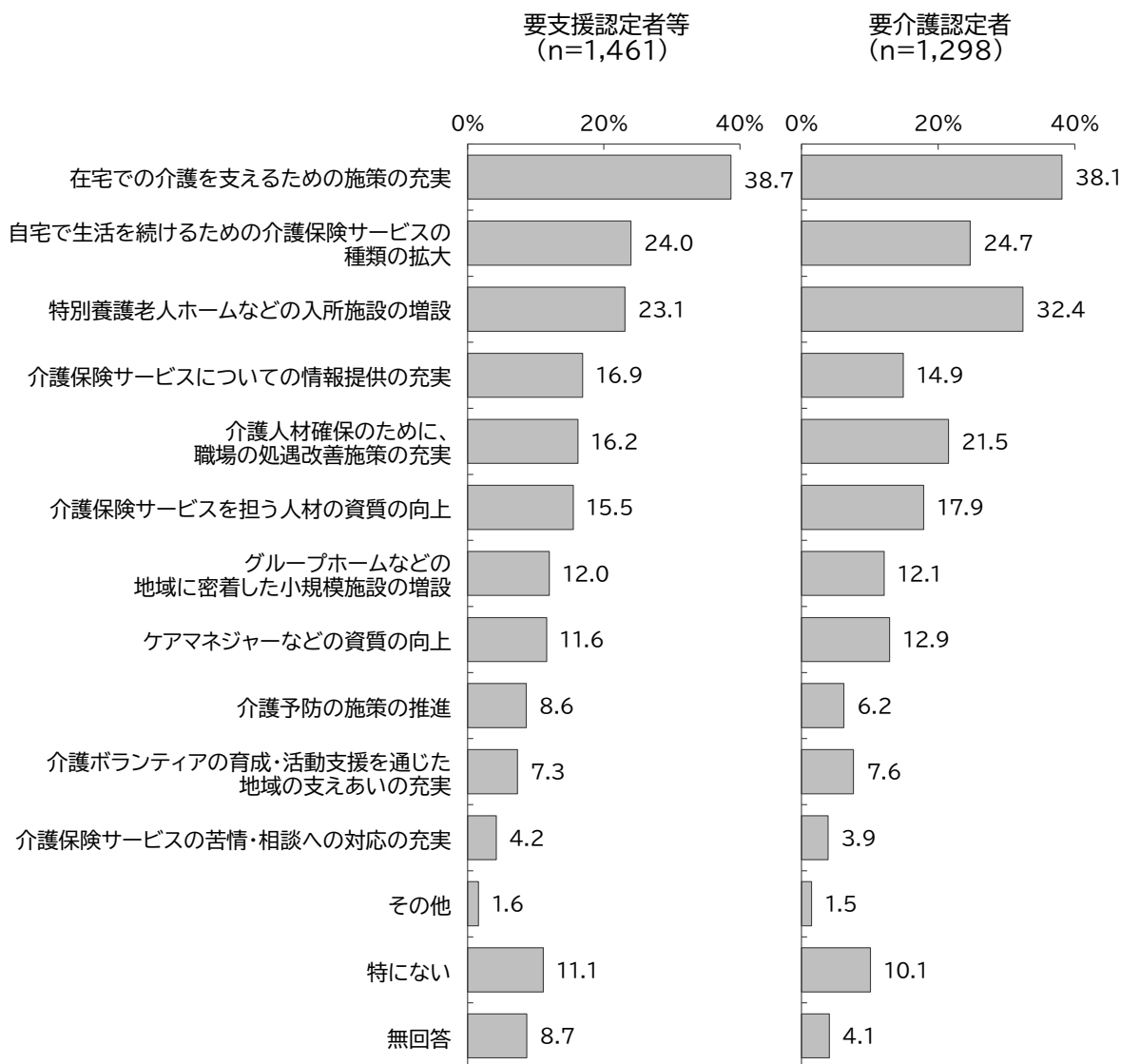
介護サービス利用状況別にみると、「利用していない」で「保険料は低く抑え、サービスは必要最低限でよい」が22.2%と「利用した」より5.7ポイント高くなっている。

《要支援認定者等：問 48・要介護認定者：問 10》

介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。

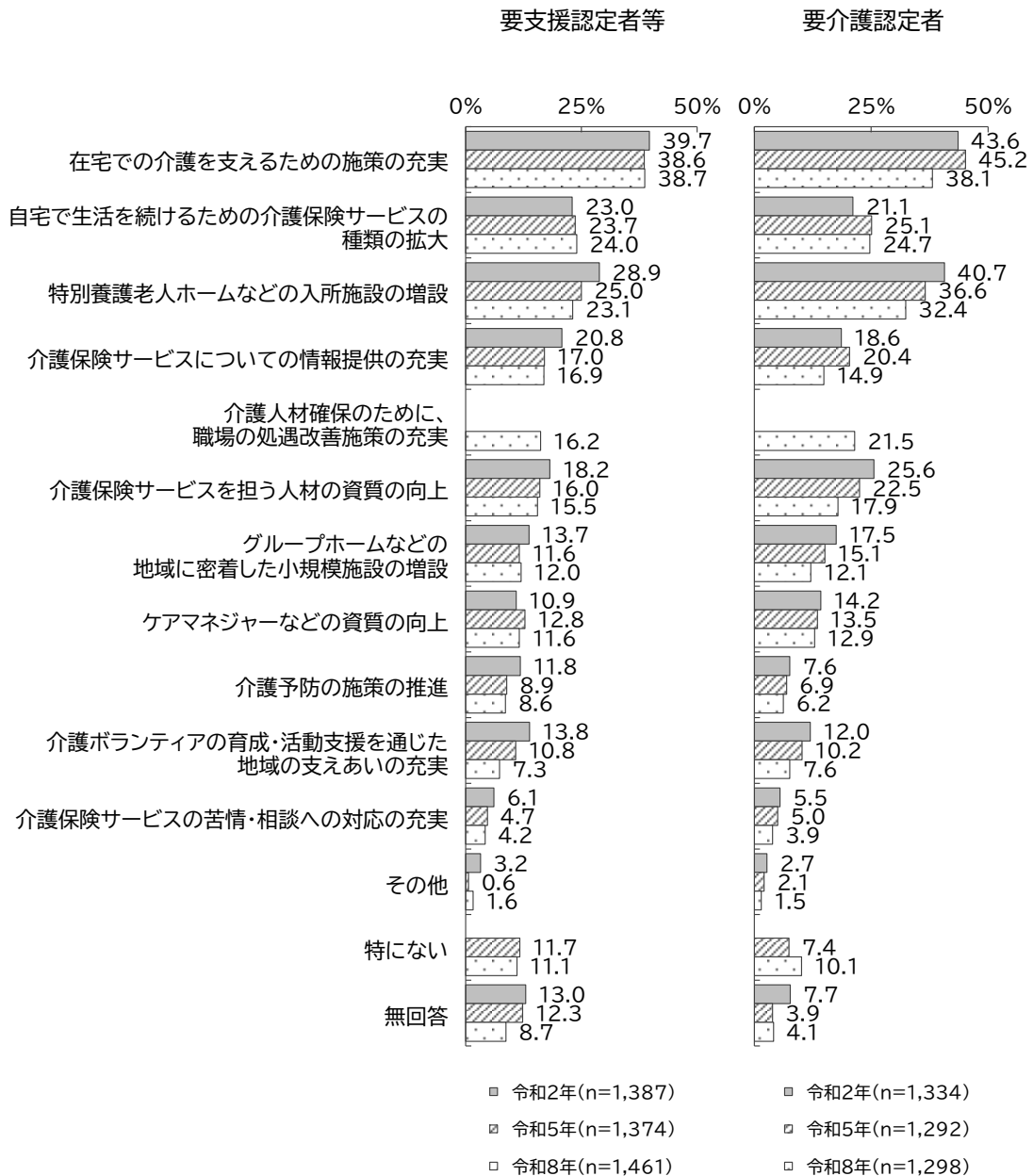
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



介護保険制度をよりよいものにするためには必要な対策は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「在宅での介護を支えるための施策の充実」が最も多くなっている。また、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より 9.3 ポイント高くなっている。

【経年比較】



※「特にない」は、令和5年調査において追加した選択肢である。

前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」、「介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支えあいの充実」に減少傾向がみられる。また、要介護認定者においては「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」、「介護保険サービスを担う人材の資質の向上」、「グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設」に減少傾向がみられる。要支援認定者等・要介護認定者ともに施設の充実を希望する方が減少していることから、在宅生活を希望する方が増加しているとうかがえる。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】

要介護認定者		調査数（人）	介護保険制度をよりよいものにするために必要な対策（％）																
			在宅での介護を支えるための 施策の充実	拡大 介護保険サービスの種類の	自宅での生活を続けるための 介護保険サービスの充実	特別養護老人ホームなどの 入所施設の増設	情報提供の充実	介護保険サービスについての	職場の処遇改善施策の充実	介護人材確保のために、 介護保険サービスの充実	介護保険サービスの向上	人材の資質の向上	増設 地域に密着した小規模施設の	グループホームなどの 資質の向上	ケアマネジャーなどの 介護予防の施策の推進	活動支援を通じた地域の 支えあいの充実	介護ボランティアの育成・ 苦情・相談への対応の充実	その他	特にない
全体		1,298	38.1	24.7	32.4	14.9	21.5	17.9	12.1	12.9	6.2	7.6	3.9	1.5	10.1	4.1			
記入者別	調査対象者ご本人	445	37.3	31.0	18.9	14.6	12.4	16.4	7.6	12.8	7.2	8.8	4.5	0.9	14.2	6.5			
	主な介護者の 家族・親族	577	45.4	23.2	39.2	15.4	27.2	17.3	14.2	12.5	5.5	6.8	2.8	1.9	6.9	2.3			
	主な介護者以外の 家族・親族	28	21.4	14.3	39.3	32.1	21.4	28.6	3.6	17.9	7.1	3.6	7.1	0.0	21.4	0.0			
	その他	7	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0		

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

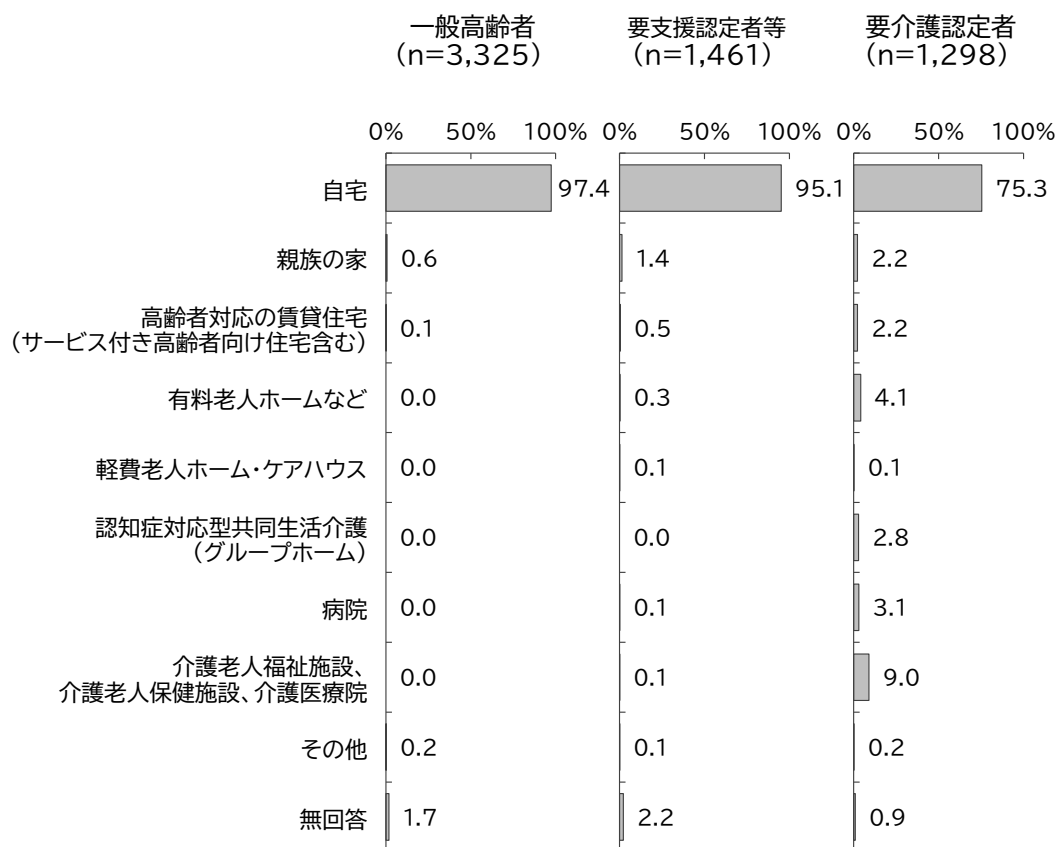
【要介護認定者】

記入者別にみると、《調査対象者ご本人》で「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」、「介護人材確保のために、職場の処遇改善施策の充実」が他の記入者より少なく、《主な介護者の家族・親族》では「グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設」が14.2%と1割を超えて他の記入者より多くなっている。また、《主な介護者以外の家族・親族》では「在宅での介護を支えるための施策の充実」、「自宅で生活するための介護保険サービスの種類の拡大」が他の記入者より少なく、「介護保険サービスについての情報提供の充実」、「介護保険サービスを担う人材の資質の向上」、「特にない」が他の記入者より多くなっている。

《一般高齢者：問 48・要支援認定者等：問 4・要介護認定者：問 4》

現在、どこで暮らしていますか。（単数回答）

【単純集計】



現在暮らしている場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「自宅」が突出している。また、介護を必要とするほど「自宅」が少なく、「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院」が多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数(人)	現在暮らしている場所(%)									
		自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け 住宅含む)	有料老人ホームなど	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	病院	介護老人福祉施設、 介護老人保健施設、 介護医療院	その他	無回答
要支援認定者等											
全体	1,461	95.1	1.4	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	2.2
要支援度別											
総合事業対象者	234	96.2	1.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
要支援1	575	95.5	0.5	0.3	0.7	0.3	0.0	0.2	0.3	0.2	1.9
要支援2	652	94.3	2.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.5

	調査数(人)	現在暮らしている場所(%)									
		自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け 住宅含む)	有料老人ホームなど	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	病院	介護老人福祉施設、 介護老人保健施設、 介護医療院	その他	無回答
要介護認定者											
全体	1,298	75.3	2.2	2.2	4.1	0.1	2.8	3.1	9.0	0.2	0.9
要介護度別											
要介護1	457	90.8	1.8	2.0	1.5	0.0	0.9	0.7	1.3	0.0	1.1
要介護2	352	85.8	2.0	2.6	2.8	0.3	2.3	2.3	1.4	0.0	0.6
要介護3	194	64.9	3.6	3.1	7.7	0.0	5.2	1.5	11.9	1.0	1.0
要介護4	172	45.9	1.7	1.2	5.8	0.0	5.8	5.8	32.0	0.6	1.2
要介護5	121	44.6	3.3	2.5	9.1	0.0	3.3	13.2	23.1	0.0	0.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

【要介護認定者】

要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「自宅」が少なくなっている。また、「要介護4」では「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院」が32.0%と3割を超えて他の要介護度より多く、「要介護5」では「病院」が13.2%と1割を超えて他の要介護度より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者（自宅 居住者のみ）：日常生活圏域別】

要介護認定者	調査数（人）	世帯構成（抜粋）（％）		調査数（人）	現在治療中、または後遺症のある病気（抜粋）（％）					調査数（人）	要介護度（％）										
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）		夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子ども同居	高血圧	糖尿病	認知症 （アルツハイマー病など）		脳（脳卒中・出血、脳梗塞など）	心臓病	目の病気	筋骨（骨格の病気など） （骨折、脱臼、変形性関節症、脊柱管狭窄、むし歯など）	歯（歯周病、歯の病気）						
日常生活圏別	全体	976	19.8	29.8	4.3	42.9	976	44.8	19.4	18.9	18.0	18.0	17.9	17.4	16.6	978	42.4	30.9	12.9	8.1	5.5
	下鶴間・つきみ野地区	156	17.3	37.2	3.2	41.7	156	43.6	16.7	23.1	17.9	18.6	19.9	15.4	16.7	156	51.9	28.2	9.0	6.4	4.5
	中央林間地区	102	18.6	33.3	2.0	43.1	102	51.0	13.7	21.6	14.7	16.7	10.8	15.7	16.7	102	46.1	27.5	14.7	4.9	6.9
	南林間地区	127	25.2	29.1	7.1	34.6	127	37.0	22.8	20.5	18.1	13.4	15.7	19.7	11.0	127	39.4	35.4	13.4	8.7	3.1
	鶴間地区	110	25.5	25.5	3.6	43.6	110	46.4	27.3	18.2	20.0	20.0	20.0	16.4	15.5	110	44.5	21.8	11.8	13.6	8.2
	深見・大和地区	107	18.7	29.9	3.7	44.9	107	46.7	15.0	13.1	27.1	17.8	18.7	15.0	15.0	107	36.4	38.3	7.5	9.3	8.4
	上草柳地区	47	12.8	34.0	4.3	46.8	47	44.7	19.1	21.3	10.6	12.8	21.3	17.0	8.5	47	51.1	25.5	14.9	4.3	4.3
	中央地区	65	15.4	35.4	4.6	41.5	65	47.7	21.5	10.8	16.9	24.6	18.5	18.5	16.9	65	40.0	33.8	13.8	3.1	9.2
	桜丘地区	51	21.6	17.6	5.9	52.9	51	29.4	13.7	27.5	15.7	19.6	19.6	31.4	25.5	51	37.3	25.5	23.5	7.8	5.9
	和田地区	50	30.0	12.0	0.0	52.0	50	48.0	20.0	18.0	16.0	24.0	24.0	20.0	22.0	50	40.0	30.0	16.0	10.0	4.0
福田北地区	64	15.6	37.5	6.3	32.8	64	50.0	25.0	20.3	17.2	15.6	10.9	15.6	23.4	64	37.5	46.9	12.5	3.1	0.0	
福田南地区	97	15.5	24.7	6.2	48.5	97	47.4	18.6	13.4	16.5	18.6	20.6	15.5	18.6	97	37.1	28.9	15.5	13.4	5.2	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

日常生活圏域別・世帯構成別にみると、《南林間地区》・《福田北地区》で「子と同居」が4割を下回って他の日常生活圏域より少なく、《桜丘地区》・《和田地区》では「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が2割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。また、《和田地区》では「ひとり暮らし」が30.0%と3割で他の日常生活圏域より多くなっている。

日常生活圏域別・現在治療中、または後遺症のある病気別にみると、《上草柳地区》で「歯の病気（歯周病、むし歯など）」が8.5%と1割を下回って他の日常生活圏域より少なく、《桜丘地区》では「高血圧」が29.4%と3割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

日常生活圏域別・要介護度別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《福田北地区》で『要介護1～2』が8割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

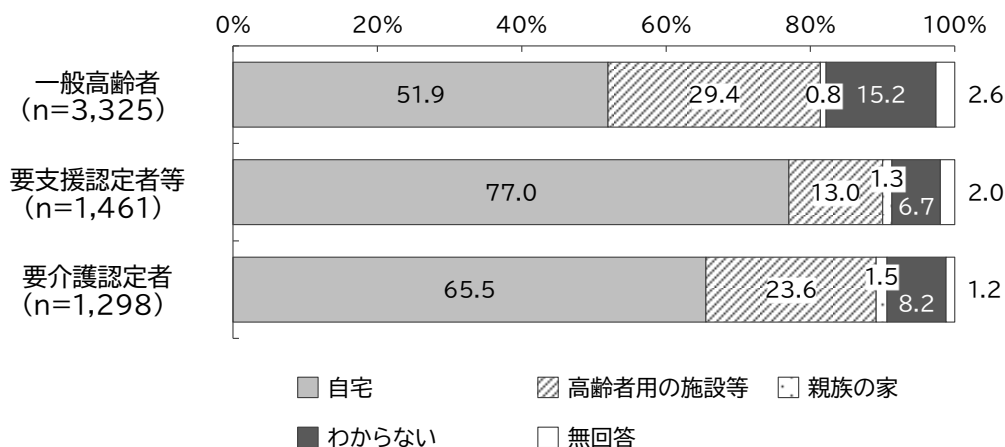
《一般高齢者：問49・要支援認定者等：問5・要介護認定者：問5》

今後、どこで暮らしていきたいですか。(単数回答)

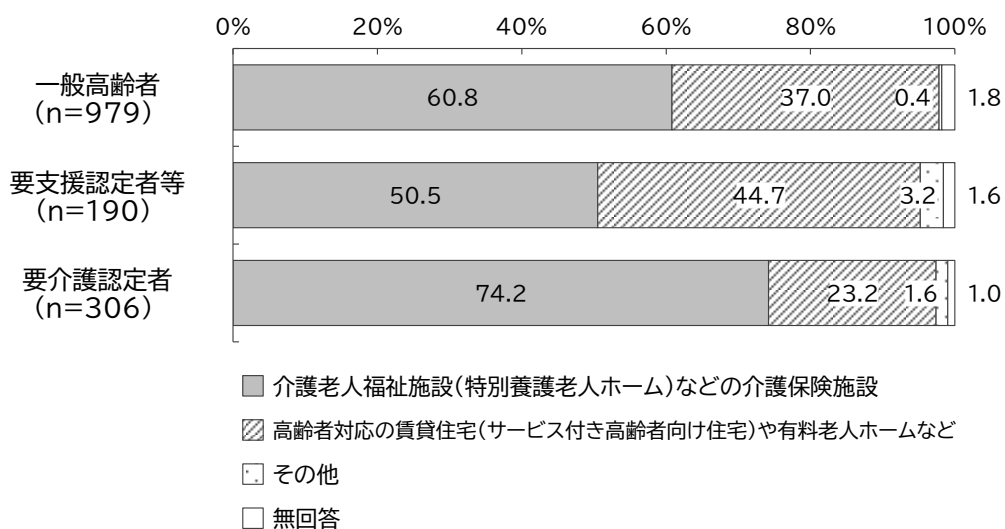
【単純集計】

今後暮らしたい場所

※一般高齢者は「介護が必要になったら」という前提での設問



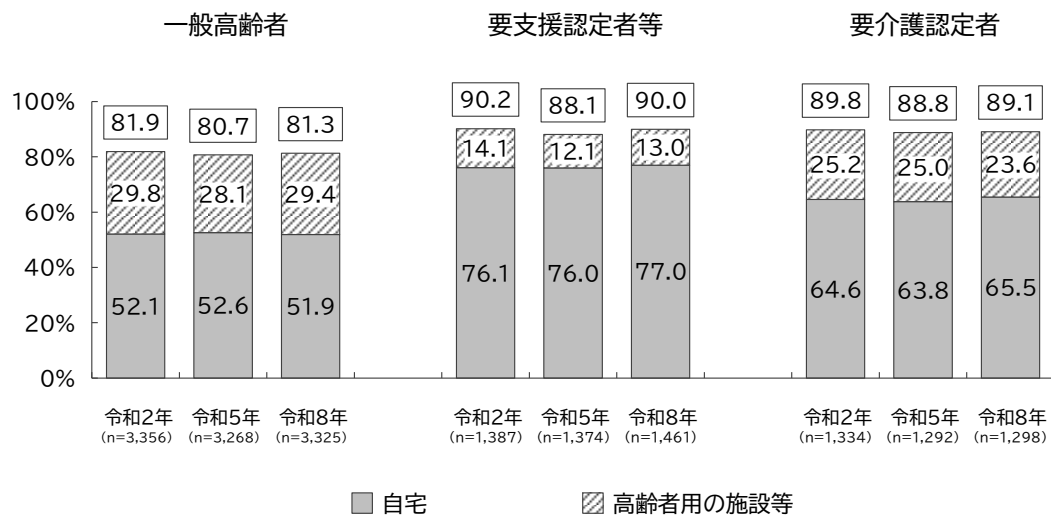
希望する施設の種類（「高齢者用の施設等」と回答した方のみ回答）



今後暮らしたい場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「自宅」が最も多く、「高齢者用の施設等」、「わからない」が続く。一方で、「自宅」は、要支援認定者等（77.0%）が一般高齢者（51.9%）・要介護認定者（65.5%）より多くなっている。

『高齢者用の施設等』と回答した方が希望する施設の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設」が最も多く、「高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）や有料老人ホームなど」、「その他」が続く。一方で、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設」は、要介護認定者（74.2%）が一般高齢者（60.8%）・要支援認定者等（50.5%）より多くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに大きな推移の差異はみられない。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別・暮らしの状況別・現住まい別】

一般高齢者		調査数 (人)	今後、暮らしていきたい場所（％）					要支援認定者等	調査数 (人)	今後、暮らしていきたい場所（％）				
			自宅	高齢者用の施設等	親族の家	わからない	無回答			自宅	高齢者用の施設等	親族の家	わからない	無回答
全体		3,325	51.9	29.4	0.8	15.2	2.6	全体	1,461	77.0	13.0	1.3	6.7	2.0
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	538	51.7	29.7	0.4	15.1	3.2	下鶴間・つきみ野地区	209	75.1	13.4	1.4	8.6	1.4
	中央林間地区	329	48.0	34.7	0.3	16.1	0.9	中央林間地区	153	79.7	9.8	0.0	8.5	2.0
	南林間地区	407	52.8	25.1	1.0	17.7	3.4	南林間地区	174	76.4	13.2	1.7	5.7	2.9
	鶴間地区	315	53.0	27.9	0.0	17.5	1.6	鶴間地区	151	70.2	15.9	2.0	9.3	2.6
	深見・大和地区	329	46.8	31.9	1.8	16.4	3.0	深見・大和地区	155	76.1	14.2	0.6	7.1	1.9
	上草柳地区	178	55.6	26.4	1.1	14.0	2.8	上草柳地区	78	80.8	9.0	3.8	2.6	3.8
	中央地区	272	54.4	29.0	1.1	12.5	2.9	中央地区	113	79.6	11.5	3.5	2.7	2.7
	桜丘地区	148	50.0	31.1	1.4	13.5	4.1	桜丘地区	74	83.8	9.5	0.0	6.8	0.0
	和田地区	236	48.3	33.1	1.3	13.6	3.8	和田地区	100	76.0	13.0	0.0	9.0	2.0
	福田北地区	204	54.4	29.9	0.0	13.2	2.5	福田北地区	94	81.9	13.8	0.0	3.2	1.1
福田南地区	366	56.3	26.8	1.4	13.9	1.6	福田南地区	160	75.6	15.6	1.3	6.3	1.3	
世帯構成別	ひとり暮らし	694	37.0	36.0	1.7	22.0	3.2	ひとり暮らし	510	71.6	15.7	0.8	11.0	1.0
	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	1,318	56.3	29.3	0.2	12.3	1.9	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	397	86.4	7.6	0.5	5.0	0.5
	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	144	54.9	31.3	0.7	13.2	0.0	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	31	93.5	6.5	0.0	0.0	0.0
	子と同居	1,004	57.0	24.6	0.7	14.1	3.6	子と同居	447	82.3	11.4	2.2	3.6	0.4
	高齢者施設等	16	0.0	87.5	0.0	12.5	0.0	高齢者施設等	25	0.0	88.0	0.0	8.0	4.0
	その他	116	50.9	25.9	3.4	16.4	3.4	その他	26	65.4	11.5	11.5	11.5	0.0
暮らしの状況別	大変苦しい	219	44.3	27.4	0.9	24.2	3.2	大変苦しい	122	67.2	16.4	2.5	13.9	0.0
	やや苦しい	749	50.5	30.6	1.1	15.2	2.7	やや苦しい	357	73.1	15.4	1.4	9.2	0.8
	ふつう	2,007	53.4	28.2	0.7	15.0	2.7	ふつう	837	81.1	11.5	1.3	5.5	0.6
	ややゆとりがある	264	49.6	37.9	1.1	9.8	1.5	ややゆとりがある	98	83.7	14.3	0.0	1.0	1.0
	大変ゆとりがある	51	58.8	33.3	0.0	7.8	0.0	大変ゆとりがある	8	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
現住まい別	自宅	3,239	52.9	29.7	0.5	15.3	1.5	自宅	1,389	80.4	12.2	0.4	6.4	0.6
	親族の家	21	23.8	28.6	38.1	9.5	0.0	親族の家	21	14.3	19.0	66.7	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》・《深見・大和地区》・《桜丘地区》・《和田地区》で「高齢者用の施設等」が3割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「自宅」が37.0%と4割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

暮らしの状況別にみると、暮らしにゆとりがあるほど「わからない」が少なくなっている。

現住まい別にみると、《（現在）自宅》で「（今後）自宅」、「（今後）わからない」が《（現在）親族の家》より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・世帯構成別・暮らしの状況別・現住まい別】

要介護認定者	調査数（人）	今後、暮らしていきたい場所（％）					
		自宅	高齢者用の施設等	親族の家	わからない	無回答	
全体	1,298	65.5	23.6	1.5	8.2	1.2	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	207	60.9	23.7	2.9	11.1	1.4
	中央林間地区	138	70.3	21.7	0.7	6.5	0.7
	南林間地区	166	66.3	22.3	1.2	9.0	1.2
	鶴間地区	137	74.5	19.0	0.7	3.6	2.2
	深見・大和地区	136	69.1	20.6	2.2	7.4	0.7
	上草柳地区	66	66.7	25.8	3.0	4.5	0.0
	中央地区	96	56.3	31.3	1.0	9.4	2.1
	桜丘地区	66	60.6	30.3	0.0	9.1	0.0
	和田地区	70	61.4	20.0	2.9	14.3	1.4
	福田北地区	86	65.1	25.6	0.0	8.1	1.2
	福田南地区	128	64.1	25.8	1.6	7.0	1.6
世帯構成別	ひとり暮らし	200	69.0	21.0	0.0	9.5	0.5
	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	307	81.4	12.4	0.7	5.2	0.3
	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	46	80.4	8.7	0.0	10.9	0.0
	子と同居	458	80.1	9.4	2.4	7.2	0.9
	高齢者施設等	84	9.5	77.4	0.0	11.9	1.2
	その他	40	55.0	17.5	15.0	10.0	2.5
暮らしの状況別	大変苦しい	145	65.5	25.5	2.1	6.9	0.0
	やや苦しい	346	70.2	17.9	1.2	9.5	1.2
	ふつう	557	75.6	15.3	1.6	7.0	0.5
	ややゆとりがある	70	78.6	14.3	4.3	2.9	0.0
	大変ゆとりがある	10	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
現住まい別	自宅	978	81.7	11.2	0.1	6.4	0.5
	親族の家	29	3.4	24.1	58.6	13.8	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、
網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の
差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「中央林間地区」・「上草柳地区」・「桜丘地区」で「高齢者用の施設等」が1割を下回って他の日常生活圏域より少なく、「上草柳地区」・「桜丘地区」・「福田北地区」では「自宅」が8割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。

世帯構成別にみると、「高齢者施設等」で「自宅」が0.0%と1割を下回って他の世帯構成より少なく、「高齢者用の施設等」が88.0%と8割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

暮らしの状況別にみると、暮らしにゆとりがあるほど「自宅」が多く、「わからない」が少なくなっている。

現住まい別にみると、「（現在）自宅」で「（今後）自宅」、「（今後）わからない」が「（現在）親族の家」より多く、「（現在）親族の家」では「（今後）高齢者用の施設等」、「（今後）親族の家」が「（現在）自宅」より多くなっている。

【要介護認定者】

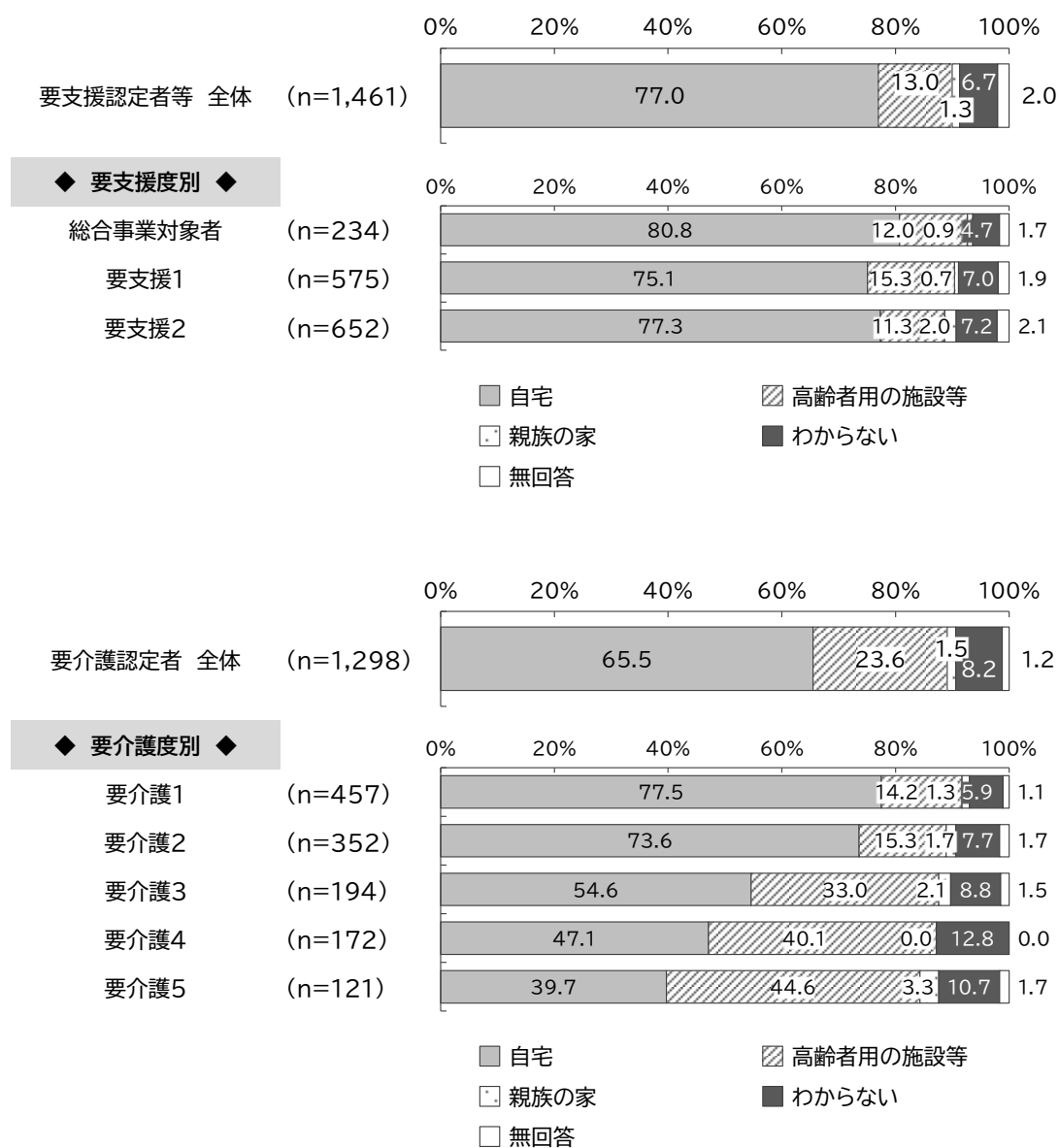
日常生活圏域別にみると、「鶴間地区」で「高齢者用の施設等」が19.0%と2割を下回って他の日常生活圏域より少なく、「中央地区」では「自宅」が56.3%と6割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

世帯構成別にみると、「高齢者施設等」で「自宅」が9.5%と1割を下回って他の世帯構成より少なく、「高齢者用の施設等」が77.4%と7割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

暮らしの状況別にみると、暮らしにゆとりがあるほど「自宅」が多く、「高齢者用の施設等」が少なくなっている。

現住まい別にみると、「（現在）自宅」で「（今後）自宅」が81.7%と「（現在）親族の家」より78.3ポイント高く、「（現在）親族の家」では「（今後）高齢者用の施設等」、「（今後）親族の家」、「（今後）わからない」が「（現在）自宅」より多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】



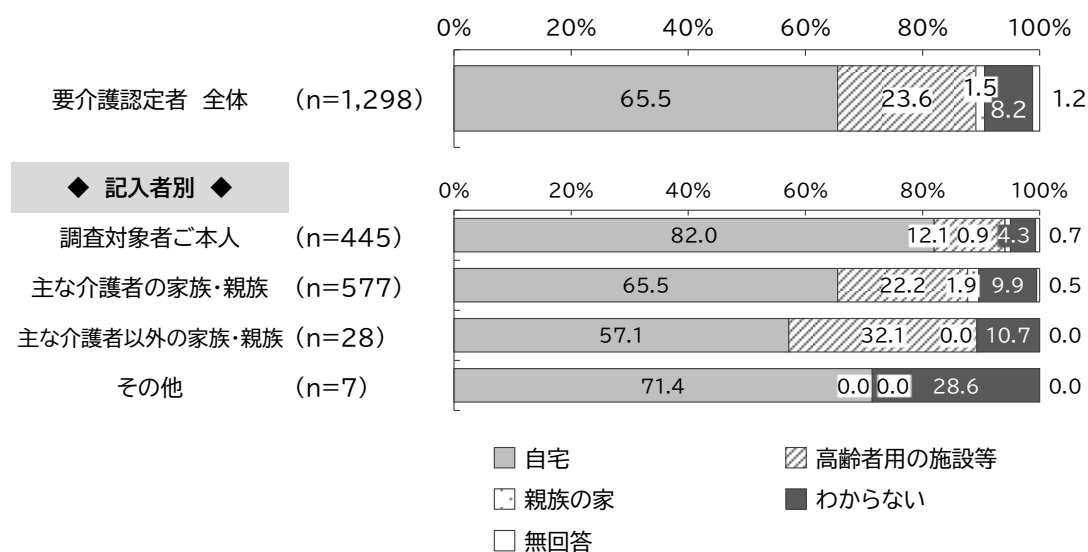
【要支援認定者等】

要支援度別にみると、《総合事業対象者》で「自宅」が80.8%と8割を超えて他の要支援度より多くなっている。

【要介護認定者】

要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「高齢者用の施設等」が多く、「自宅」が少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】



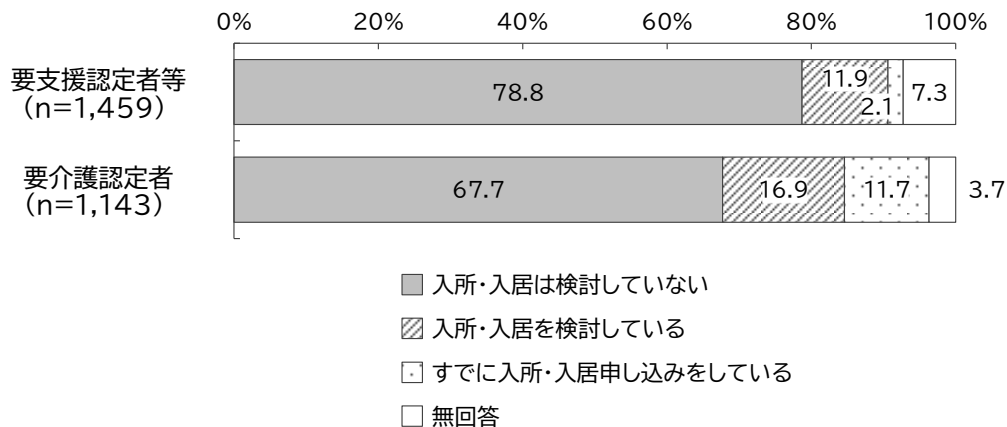
【要介護認定者】

記入者別にみると、「調査対象者ご本人」で「自宅」が 82.0%と 8 割を超えて他の記入者より多く、「高齢者用の施設等」が 12.1%と 2 割を下回って他の記入者より少なくなっている。

《要支援認定者等：問49・要介護認定者：問11》

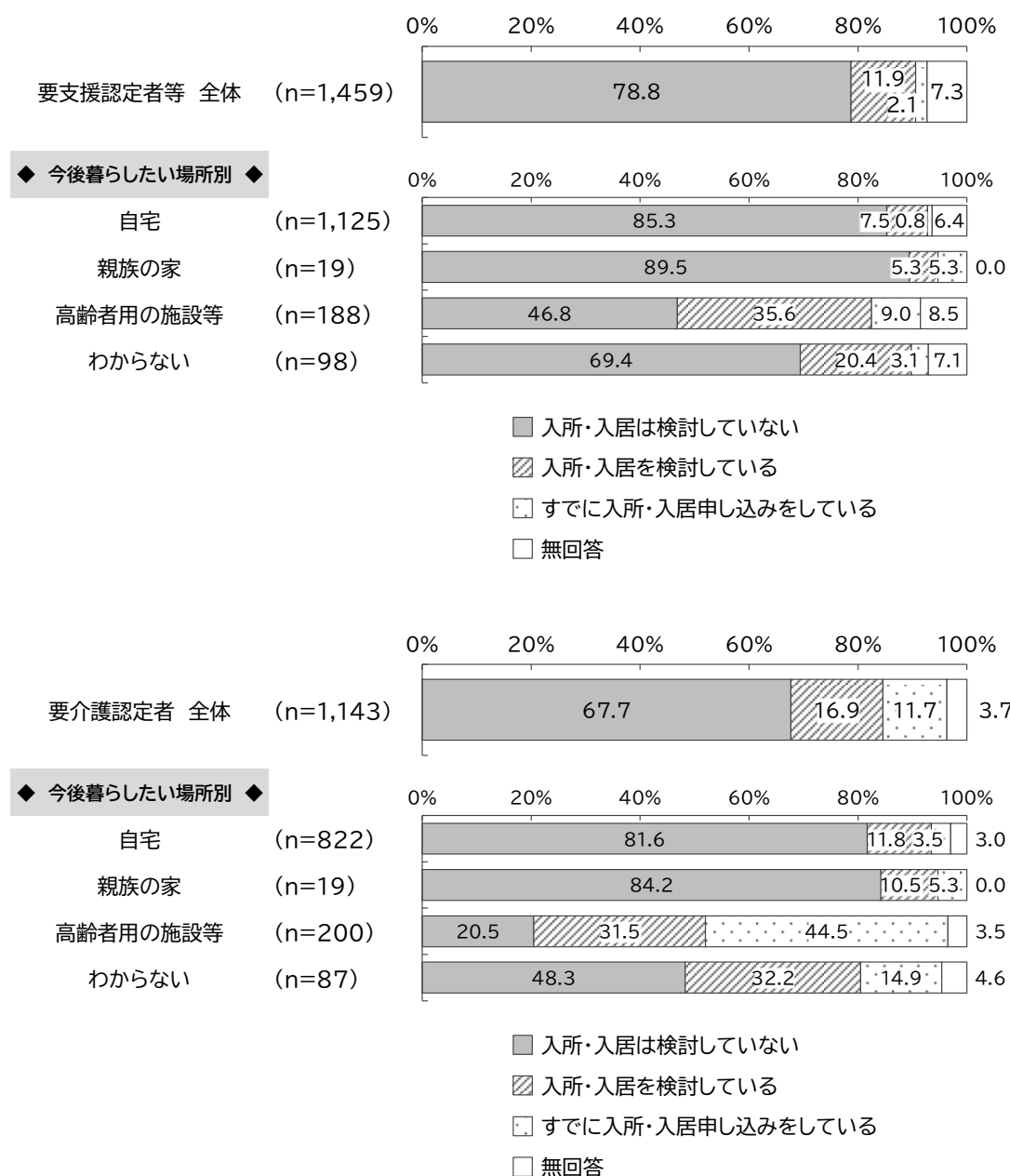
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(単数回答)

【単純集計】



施設等への入所・入居の検討状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「入所・入居は検討していない」が最も多く、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が続く。一方で、「入所・入居は検討していない」は、要支援認定者の方が要介護認定者より11.1ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：今後暮らしたい場所別】



【要支援認定者等】

今後暮らしたい場所別にみると、「自宅」で「入所・入居は検討していない」が85.3%と8割を超えて他の場所より多く、「入所・入居を検討している」が7.5%と1割を下回って他の場所より少なくなっている。

【要介護認定者】

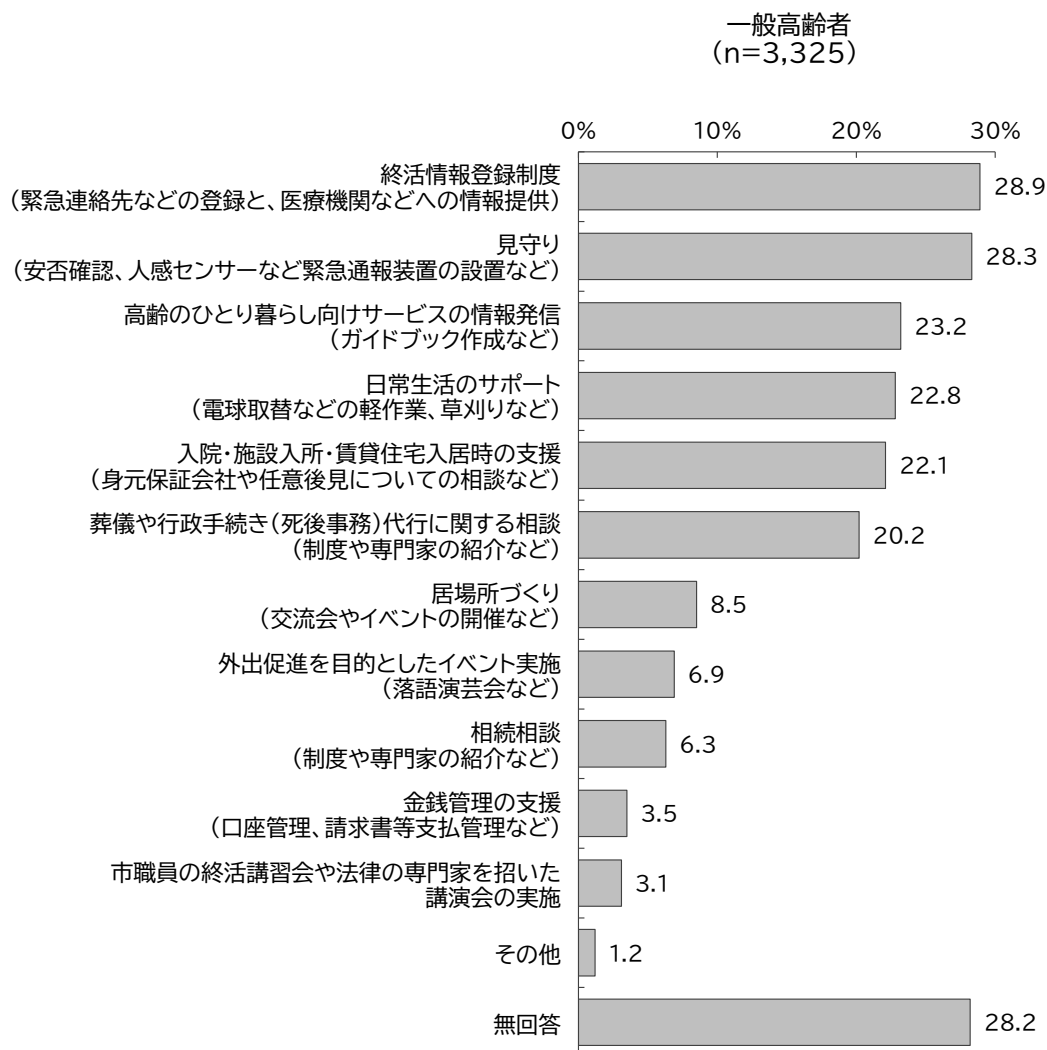
今後暮らしたい場所別にみると、「自宅」で「入所・入居は検討していない」が81.6%と8割を超えて他の場所より多く、「入所・入居を検討している」が11.8%と2割を下回って他の場所より少なくなっている。また、「高齢者用の施設等」では「すでに入所・入居申し込みをしている」が44.5%と4割を超えて他の場所より多くなっている。

9 ひとり暮らしの方への施策について

《一般高齢者：問50》

大和市がひとり暮らしの方への施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。(複数回答可：3つまで)

【単純集計】

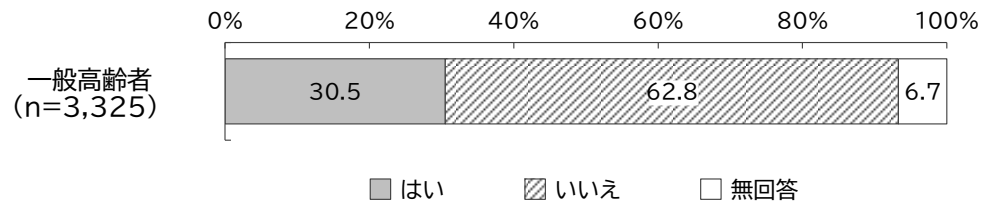


大和市がひとり暮らしの方への施策を進めていくうえで重点を置くべきと考えることは、一般高齢者において「終活情報登録制度（緊急連絡先などの登録と、医療機関などへの情報提供）」が28.9%と最も多く、次いで「見守り（安否確認、人感センサーなど緊急通報装置の設置など）」が28.3%、「高齢のひとり暮らし向けサービスの情報発信（ガイドブック作成など）」が23.2%などとなっている。

《一般高齢者：問 51》

あなたは市に終活相談窓口があることを知っていますか（希望に応じて司法書士の紹介も行っています）。（単数回答）

【単純集計】



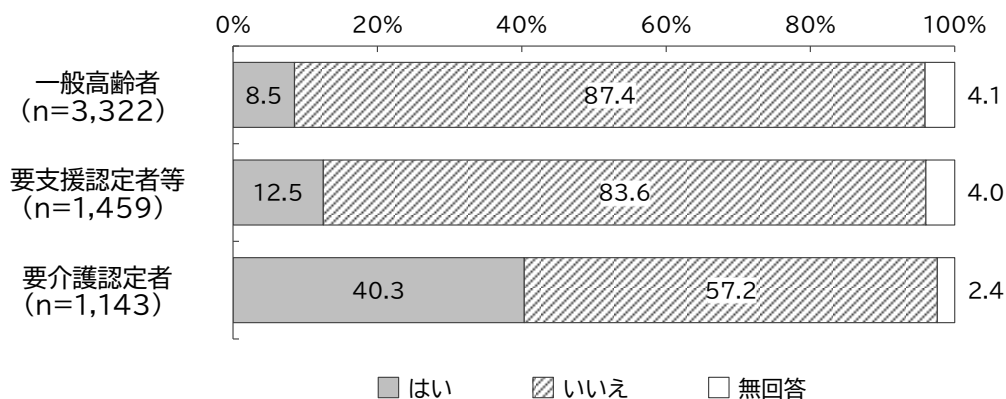
市に終活相談窓口があることの認知状況は、一般高齢者において「はい」が30.5%、「いいえ」が62.8%となっている。

10 認知症施策等について

《一般高齢者：問 52・要支援認定者等：問 50・要介護認定者：問 12》

認知症の症状がある または 家族に認知症の症状がある人がありますか。(単数回答)

【単純集計】

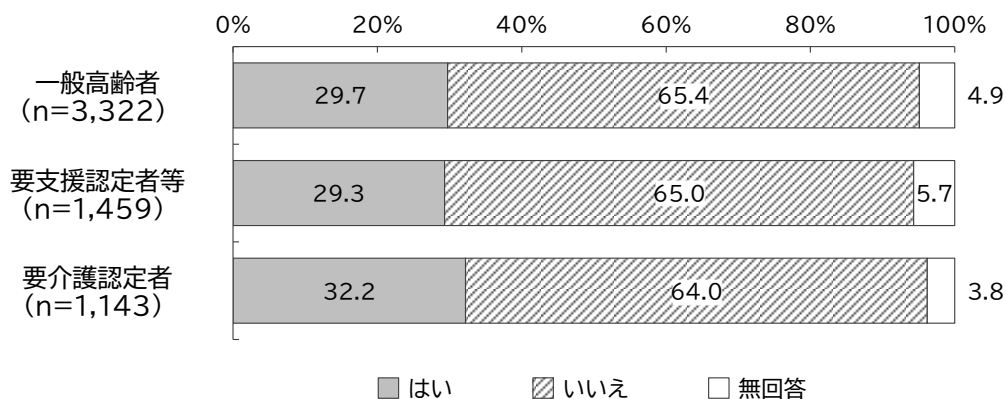


認知症の症状がある または 家族に認知症の症状がある人の有無は、一般高齢者・要支援認定者等において類似した傾向がみられ、「いいえ」が8割以上と多くなっている。要介護認定者も「いいえ」が多いものの、約6割となっており、介護を必要とするほど「はい」が多くなっている。

《一般高齢者：問 53・要支援認定者等：問 51・要介護認定者：問 13》

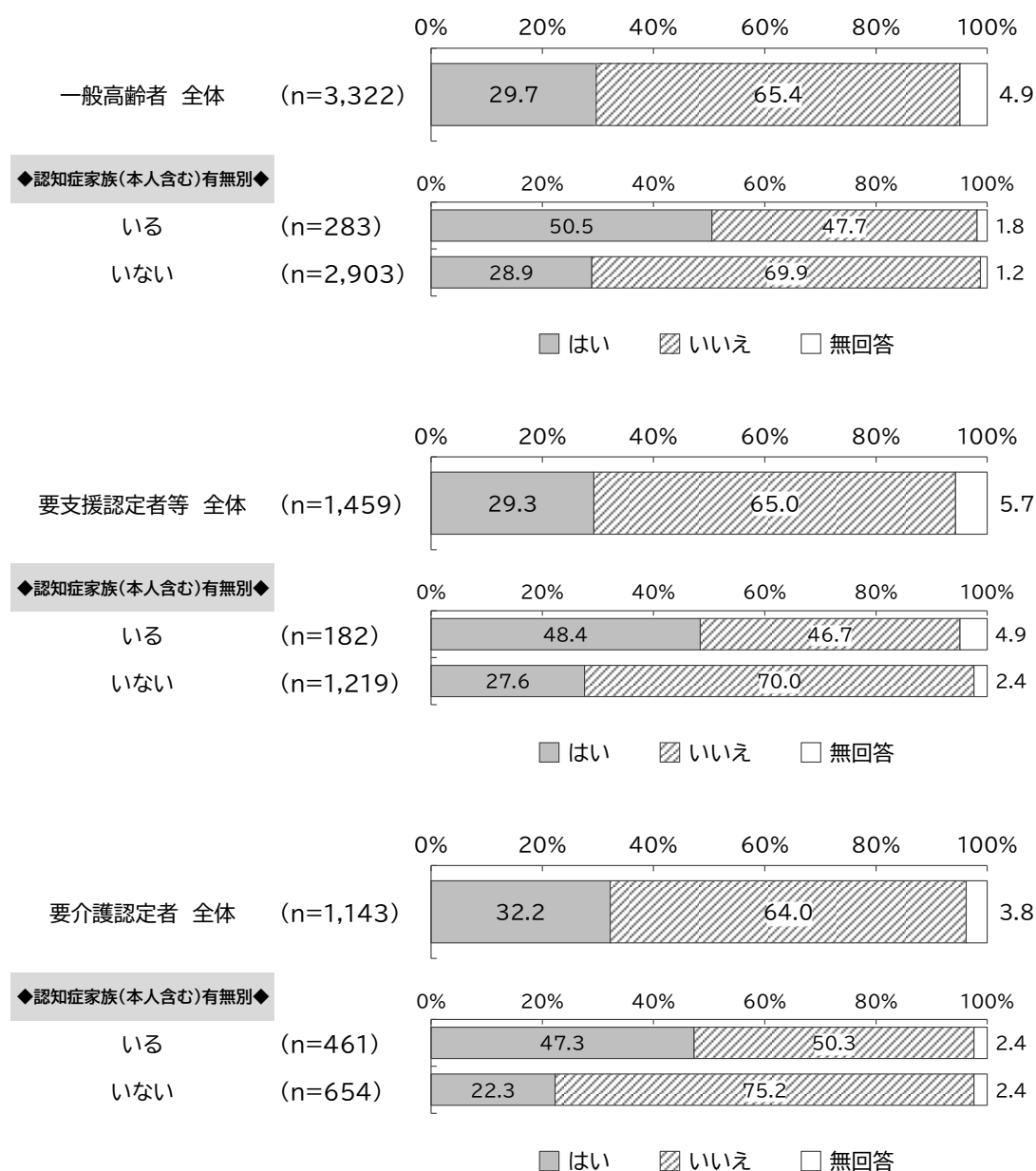
認知症に関する相談窓口を知っていますか。（単数回答）

【単純集計】



認知症に関する相談窓口の認知状況は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「いいえ」が多くなっている。身近に認知症の人がいる割合が比較的少ない一般高齢者や要支援認定者等も要介護認定者と同様に相談窓口を認識しているまた、要介護認定者には十分に相談窓口が認識されていないことが懸念される。（参考 一般高齢者：問 52・要支援認定者等：問 50・要介護認定者：問 12）

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：認知症家族（本人含む）有無別】



【一般高齢者】

認知症家族(本人含む)有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい(知っている)」が50.5%と「認知症家族はいない」より21.6ポイント高くなっている。

【要支援認定者等】

認知症家族(本人含む)有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい(知っている)」が48.4%と「認知症家族はいない」より20.8ポイント高くなっている。

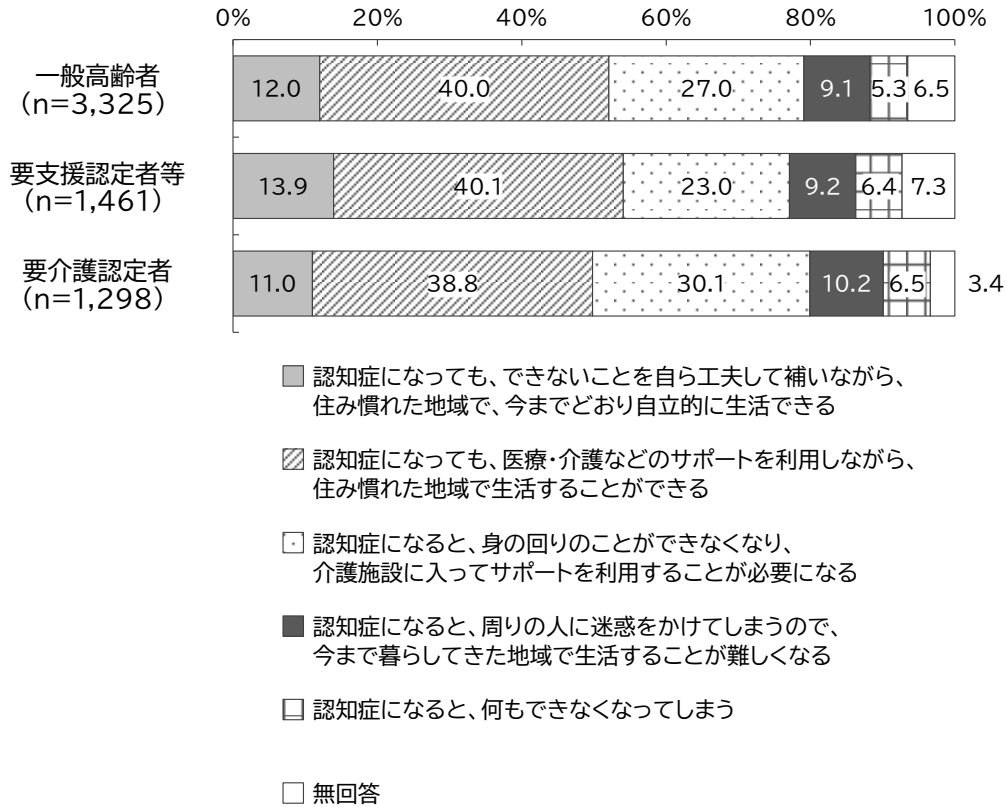
【要介護認定者】

認知症家族(本人含む)有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい(知っている)」が47.3%と「認知症家族はいない」より25.0ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 54・要支援認定者等：問 52・要介護認定者：問 14》

認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（単数回答）

【単純集計】

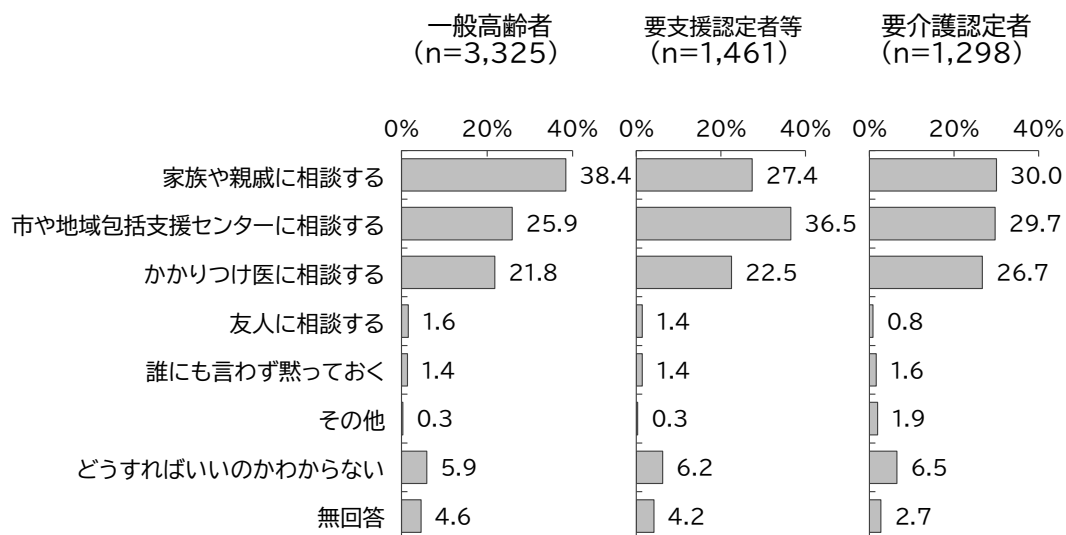


認知症に対するイメージは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活することができる」が最も多く、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、住み慣れた地域で、今までどおり自立的に生活できる」が続く。一方で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」は、要介護認定者（30.1%）が一般高齢者（27.0%）・要支援認定者等（23.0%）より多くなっている。

《一般高齢者：問55・要支援認定者等：問53・要介護認定者：問15》

あなたやご家族に、「認知症かな？」と思う症状が見られたら、主にどうしますか。
(単数回答)

【単純集計】

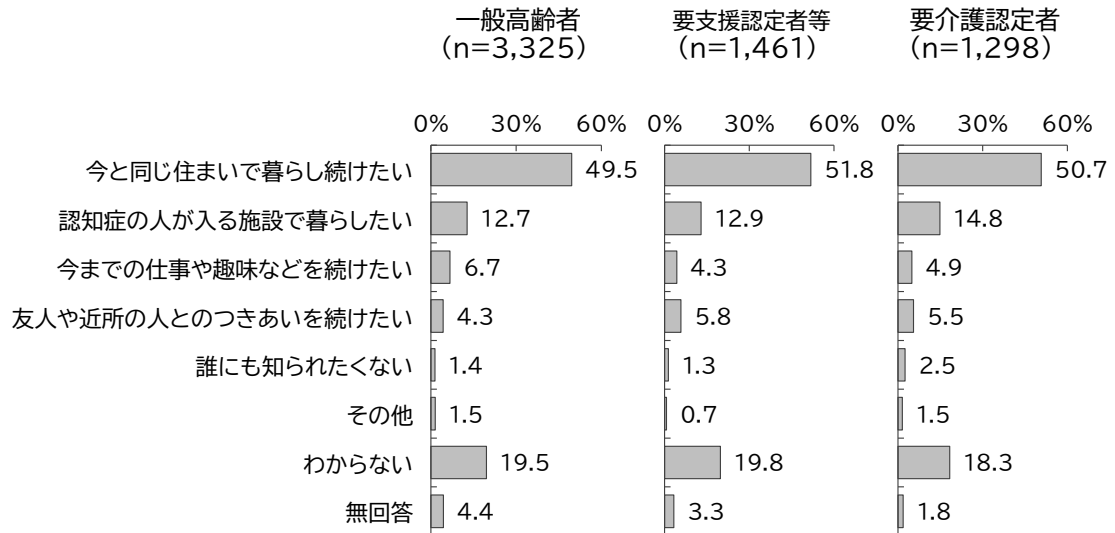


自分や家族に認知症と思われる症状が見られた場合の主な行動は、一般高齢者・要介護認定者において「家族や親戚に相談する」が最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「市や地域包括支援センターに相談する」が36.5%と最も多くなっている。また、「市や地域包括支援センターに相談する」は、要支援認定者等(36.5%)が一般高齢者(25.9%)・要介護認定者(29.7%)より多くなっている。

《一般高齢者：問 56・要支援認定者等：問 54・要介護認定者：問 16》

もしあなたが認知症になったら、主にどうしたいですか。（単数回答）

【単純集計】

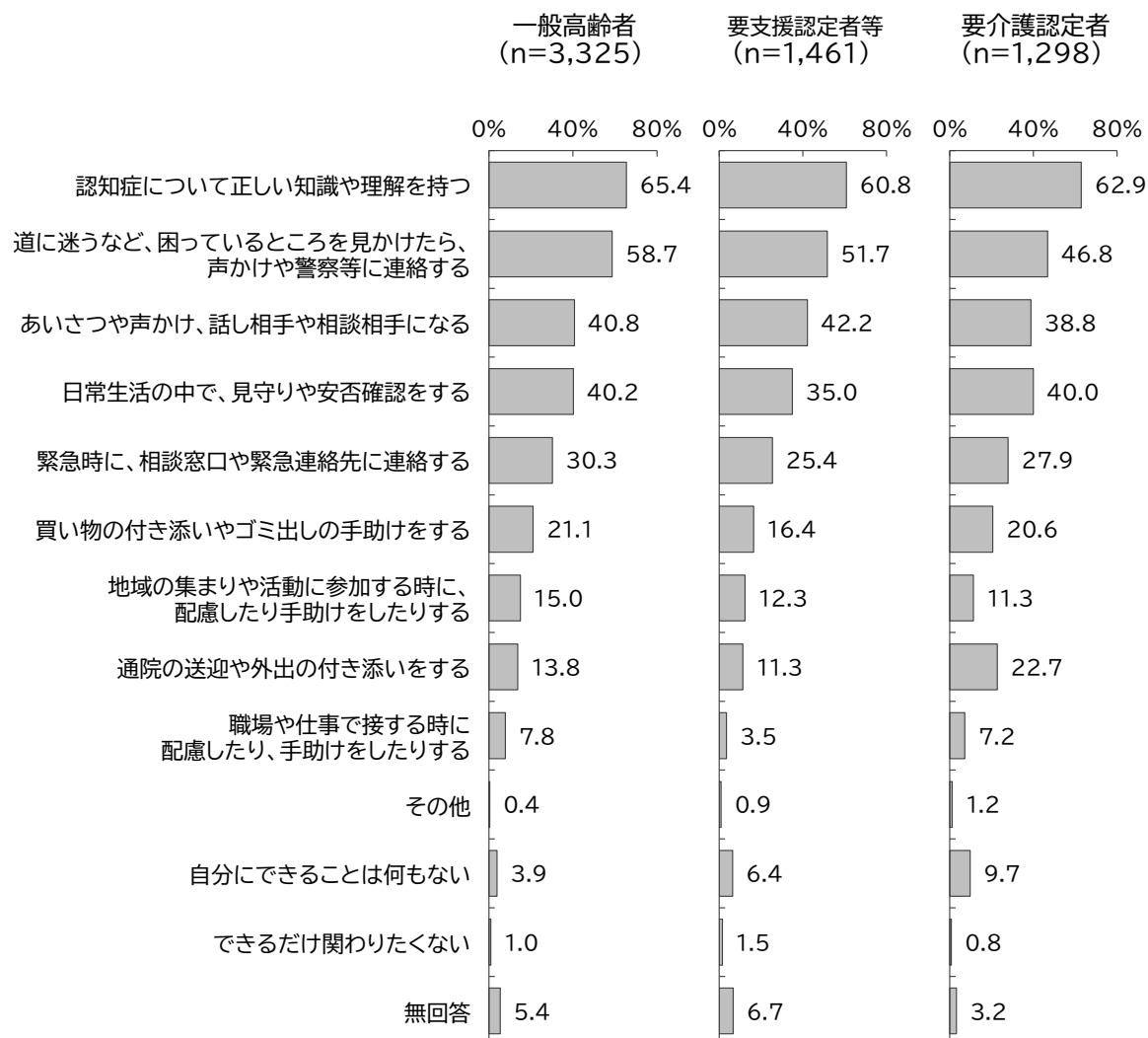


自分が認知症になった場合の主な希望は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「今と同じ住まいで暮らし続けたい」が最も多く、「わからない」、「認知症の人が入る施設で暮らしたい」が続く。

《一般高齢者：問 57・要支援認定者等：問 55・要介護認定者：問 17》

認知症の人やその家族が暮らしやすい社会を築くため、あなたができると思うことは何ですか。(複数回答可)

【単純集計】

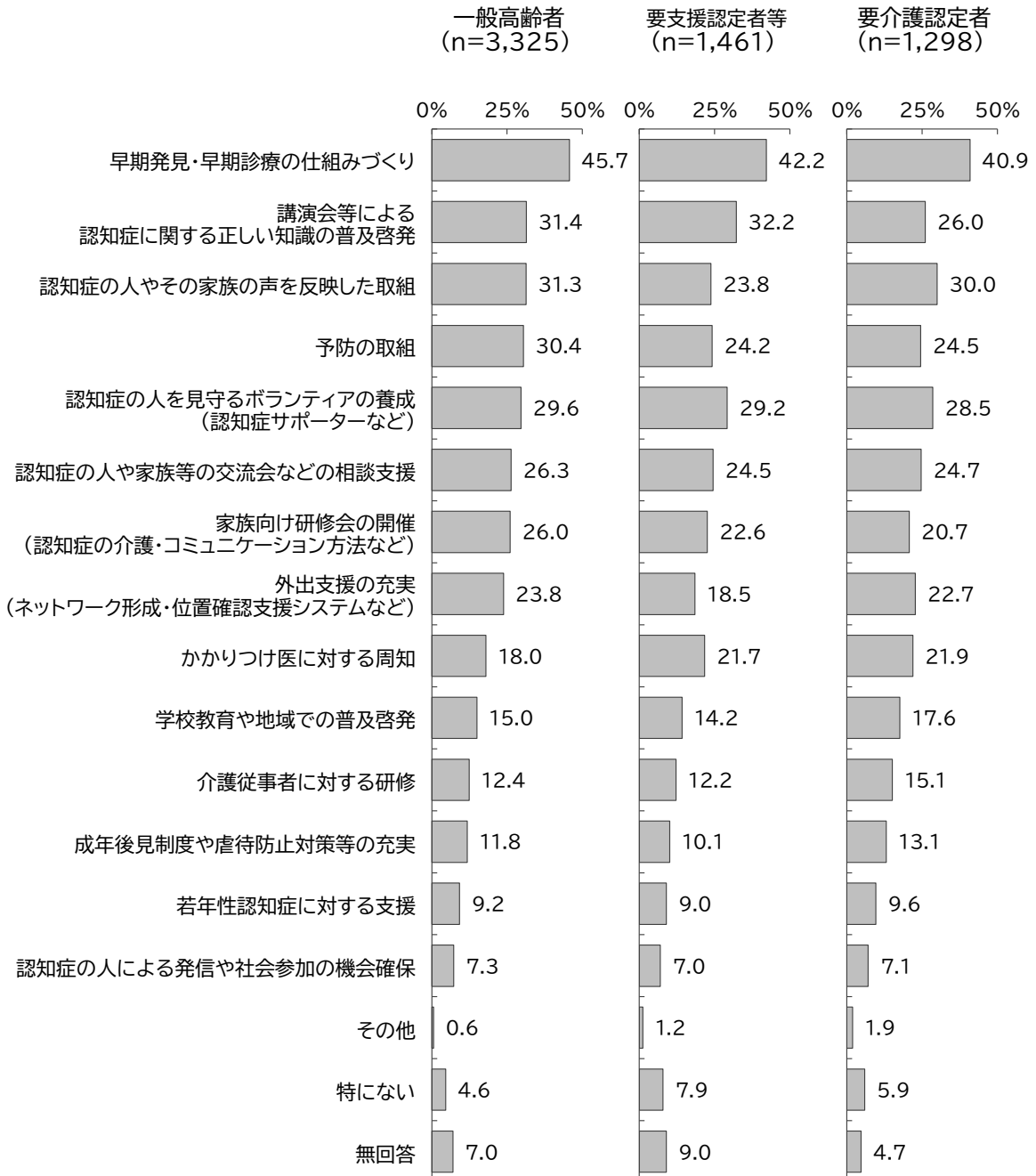


認知症の人やその家族が暮らしやすい社会を築くために自分にできると思うことは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「認知症について正しい知識や理解を持つ」が最も多く、「道に迷うなど、困っているところを見かけたら、声かけや警察等に連絡する」が続く。また、介護を必要とするほど「道に迷うなど、困っているところを見かけたら、声かけや警察等に連絡する」が少なく、「自分にできることは何もない」が多くなっている。

《一般高齢者：問 58・要支援認定者等：問 56・要介護認定者：問 18》

大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。（複数回答可：5つまで）

【単純集計】



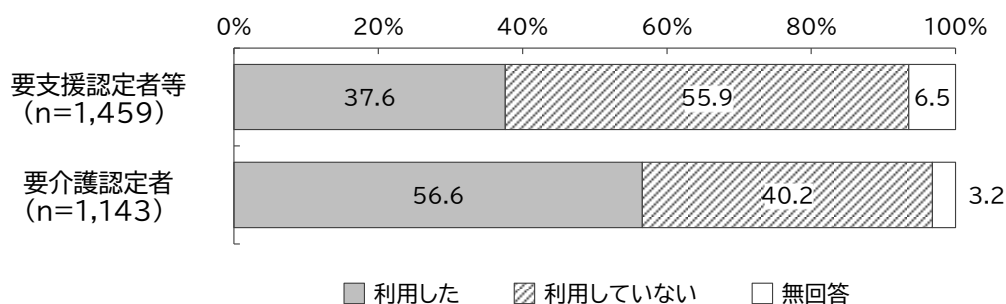
大和市が認知症施策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「早期発見・早期診療の仕組みづくり」が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）」が少なくなっている。

11 介護保険サービス等について

《要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 19》

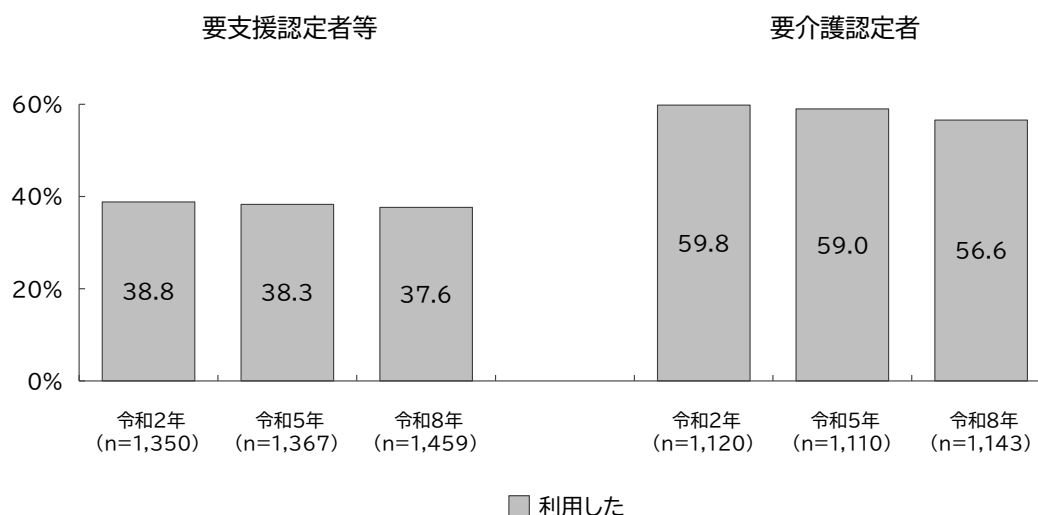
令和7年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。（介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、訪問型サービスA、介護予防通所型サービスを含む）（単数回答）

【単純集計】



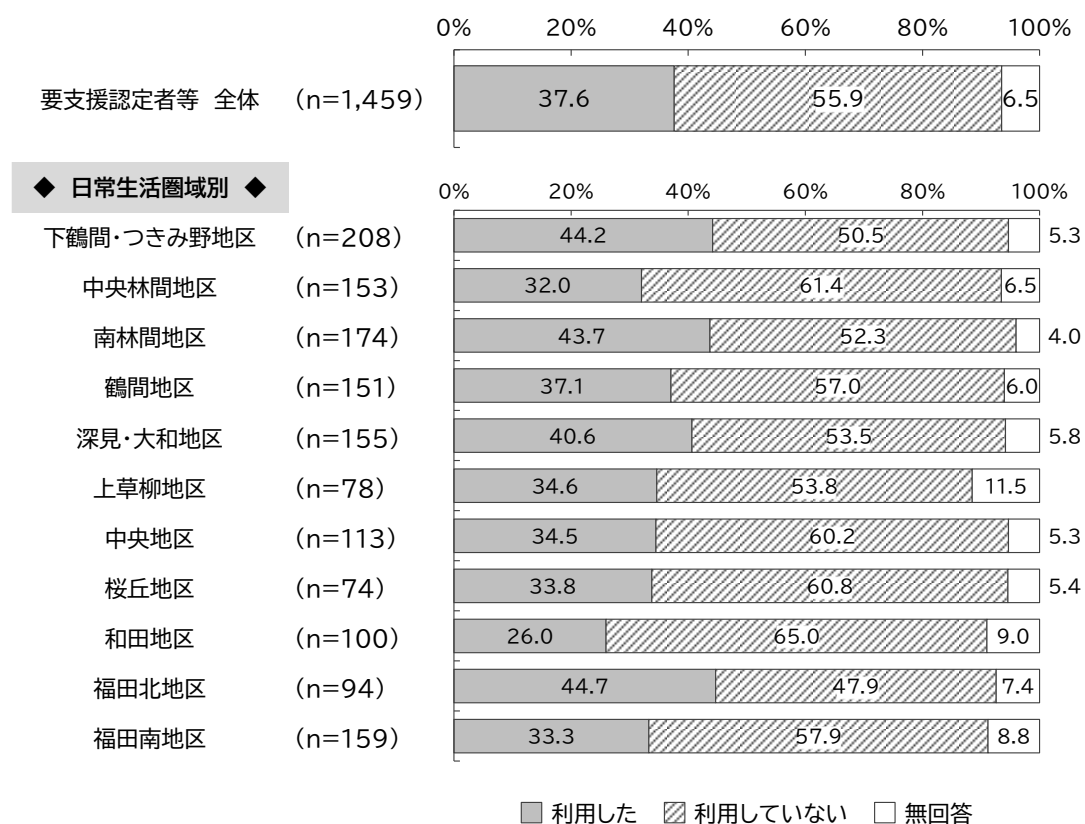
令和7年12月における住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者等において「利用していない」が多くなっているのに対し、要介護認定者においては「利用した」が多くなっている。また、「利用した」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より19.0ポイント高くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに減少傾向で、要支援認定者等では1.2ポイント、要介護認定者では3.2ポイント減少している。

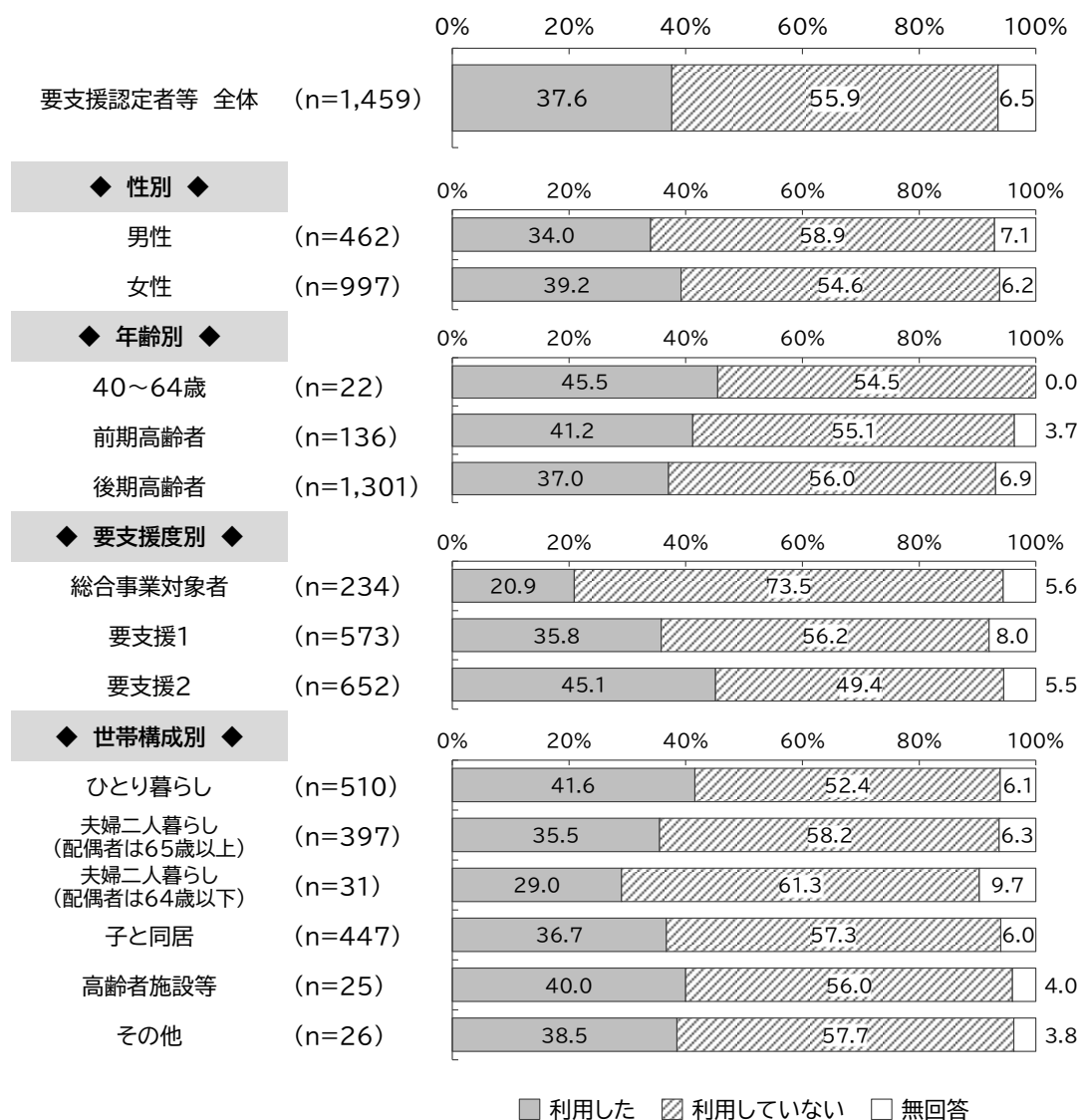
【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「利用した」が 26.0%と 3 割を下回って他の日常生活圏域より少なく、《福田北地区》では「利用していない」が 47.9%と半数を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

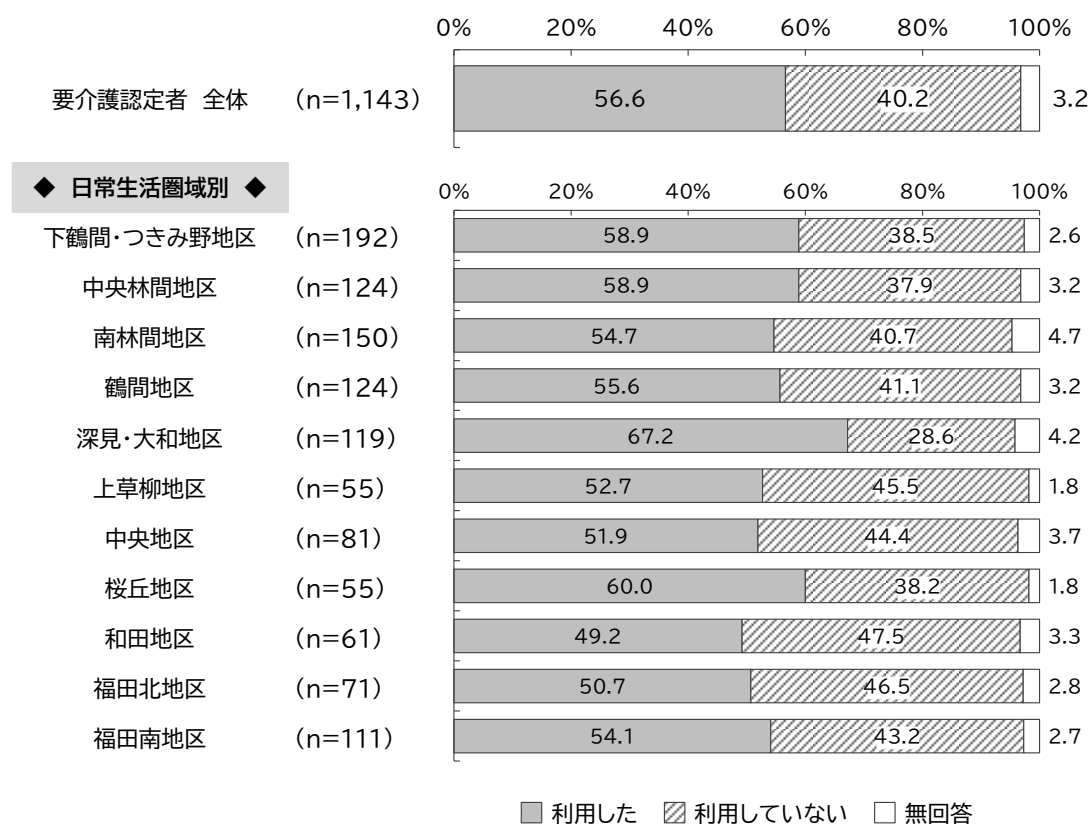
性別にみると、「女性」で「利用した」が39.2%と「男性」より5.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用した」が少なくなっている。

要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「利用した」が多く、「利用していない」が少なくなっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」で「利用した」が29.0%と3割を下回って他の世帯構成より少なく、「利用していない」が61.3%と6割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

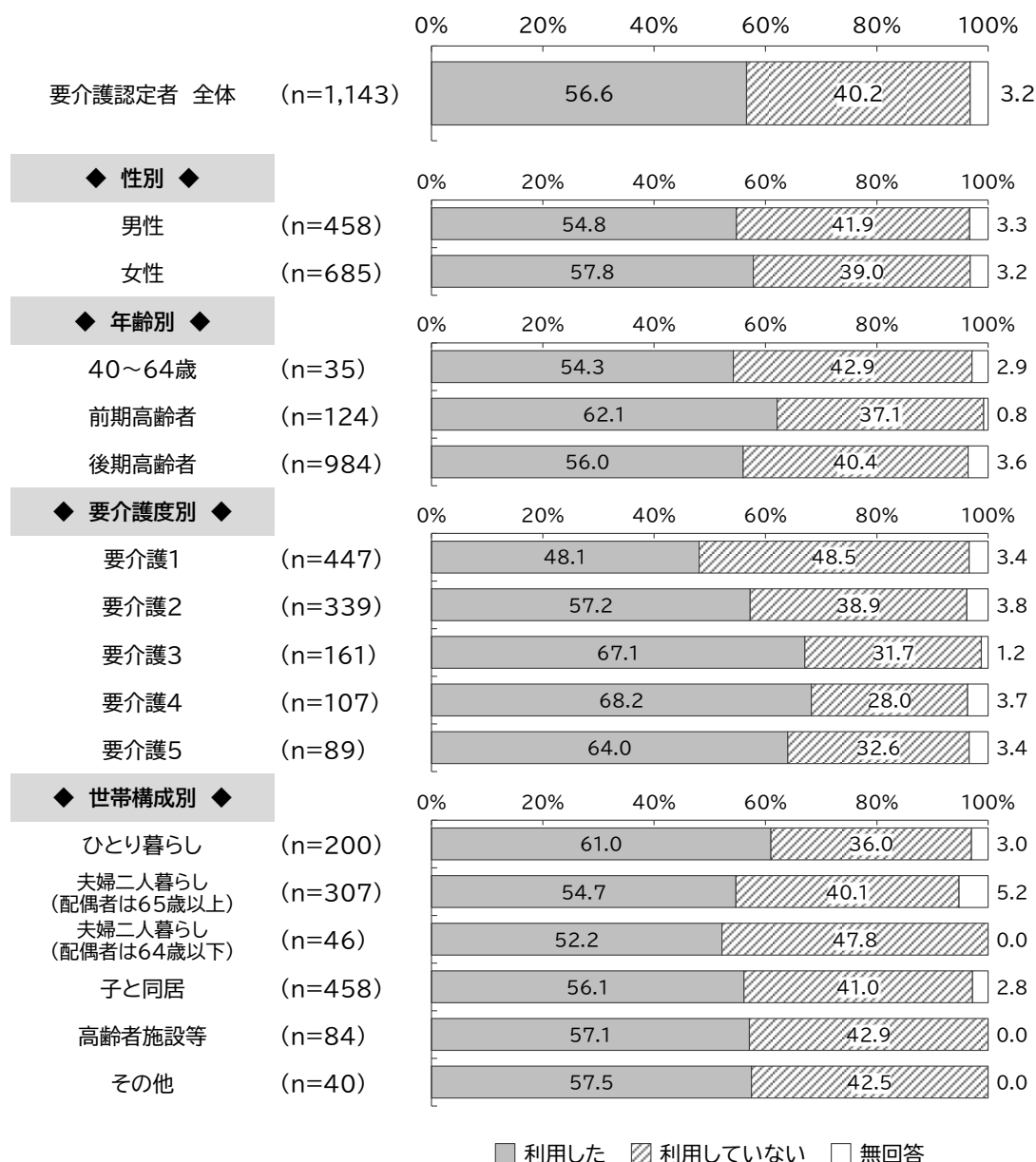
【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】



【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《深見・大和地区》で「利用していない」が28.6%と3割を下回って他の日常生活圏域より少なく、《和田地区》では「利用した」が49.2%と半数を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「利用した」が62.1%と6割を超えて他の年齢より多く、「利用していない」が37.1%と4割を下回って他の年齢より少なくなっている。

要介護度別にみると、「要介護1」で「利用した」が48.1%と半数を下回って他の要介護度より少なく、「要介護4」では「利用していない」が28.0%と3割を下回って他の要介護度より少なくなっている。

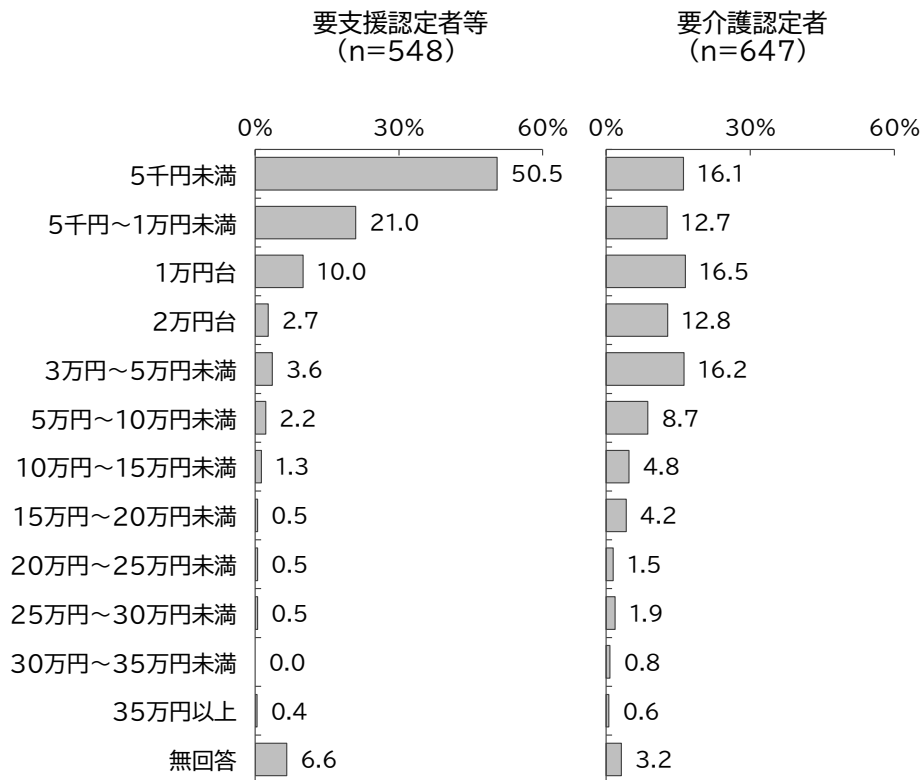
世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「利用した」が61.0%と6割を超えて他の世帯構成より多く、「利用していない」が36.0%と4割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 19 で「利用した」と回答した方のみ

≪要支援認定者等：問 57－1・要介護認定者：問 19－1≫

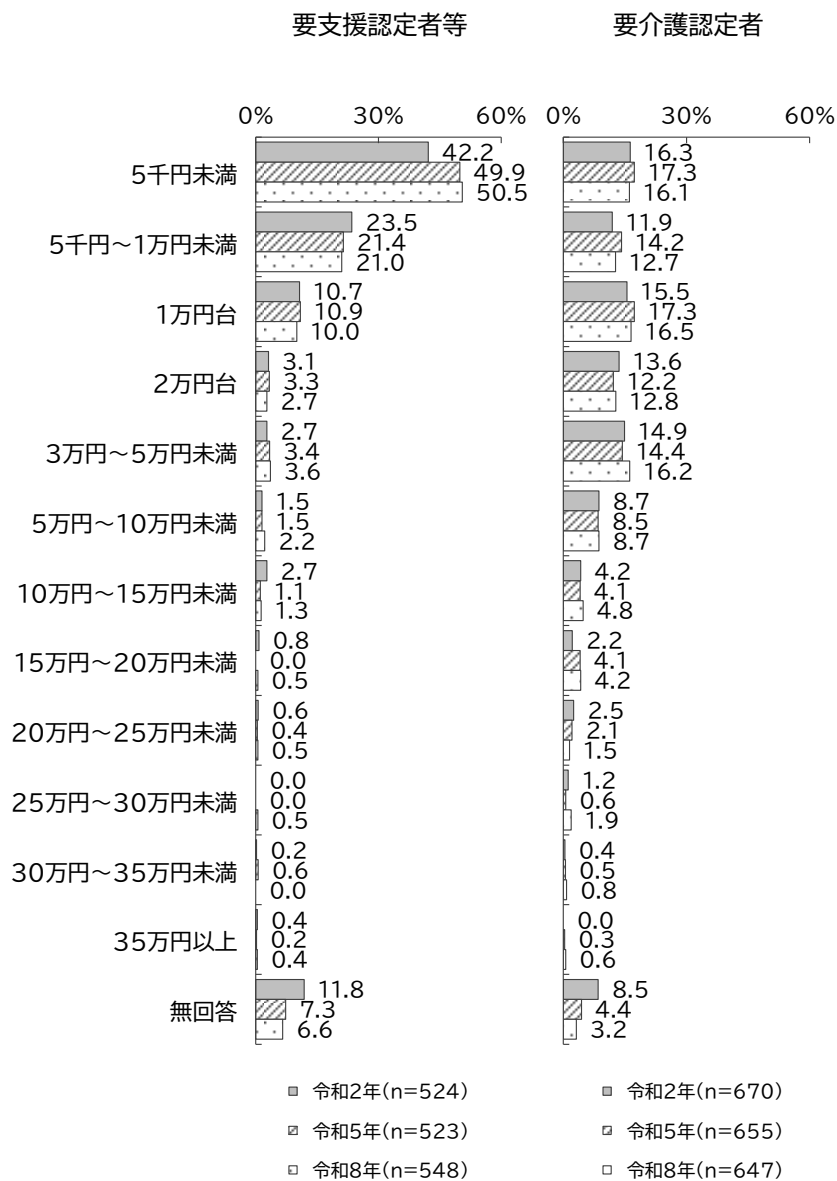
現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。（単数回答）

【単純集計】



介護保険サービスに伴う利用者負担額などの1か月あたりの支払総額は、要支援認定者等において「5千円未満」が50.5%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「1万円台」が16.5%と最も多くなっている。また、「5千円未満」は、要支援認定者等の方が要介護認定者より34.4ポイント高くなっている。さらに、『1万円未満』は、要支援認定者等で71.5%、要介護認定者で28.8%と、要支援認定者等の方が要介護認定者より42.7ポイント高くなっている。

【経年比較】



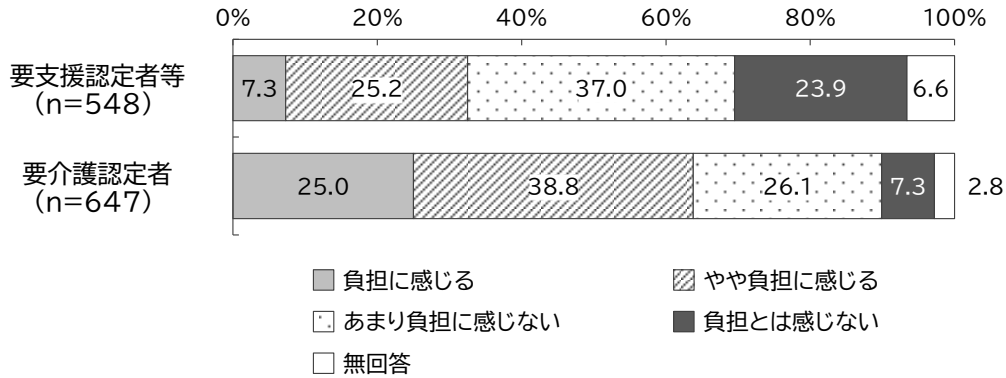
前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「5千円未満」に増加傾向がみられる。また、『1万円未満』は要支援認定者等において増加傾向がみられるのに対し、『1万円～5万円未満』は要支援認定者等・要介護認定者ともに大きな差異はみられない。さらに、『5万円未満』は、要支援認定者等において8割台、要介護認定者において7割台と、大半を占めている。

要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 19 で「利用した」と回答した方のみ

≪要支援認定者等：問 57－2・要介護認定者：問 19－2≫

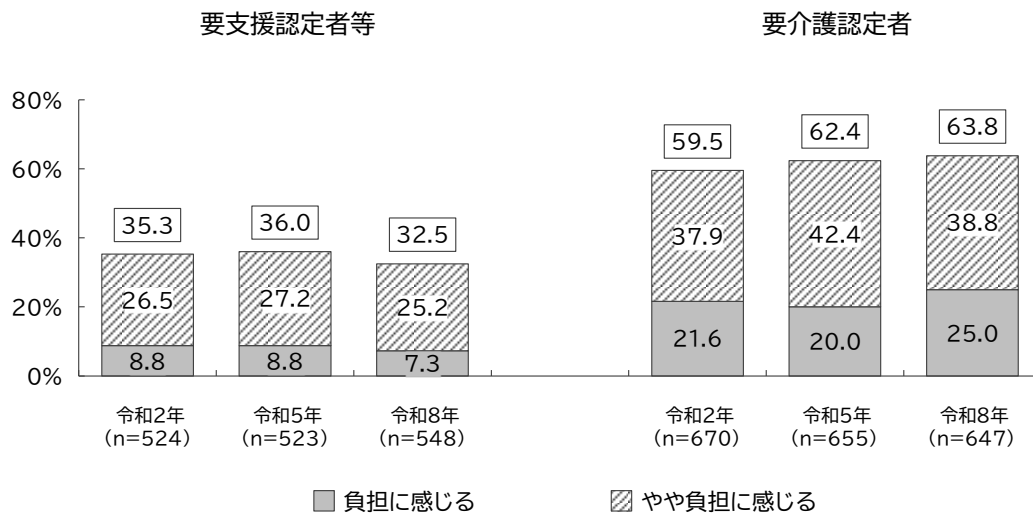
利用者負担の支払額について、どのように感じていますか。（単数回答）

【単純集計】



利用者負担の支払額は、要支援認定者等において「あまり負担に感じない」が 37.0%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「やや負担を感じる」が 38.8%と最も多くなっている。また、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、要支援認定者等で 32.5%、要介護認定者で 63.8%と、要介護認定者の方が要支援認定者等より 31.3 ポイント高くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は要支援認定者等・要介護認定者ともに大きな差異はみられないものの、要介護認定者においてはわずかに増加傾向がみられる。

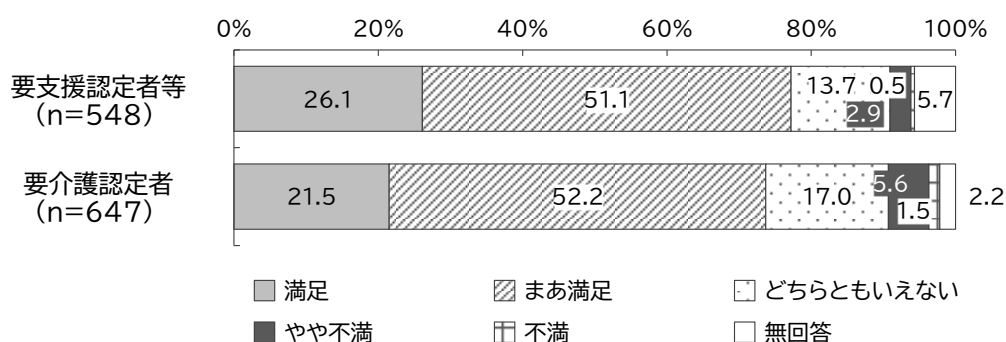
要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 19 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 57－3・要介護認定者：問 19－3》

現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。

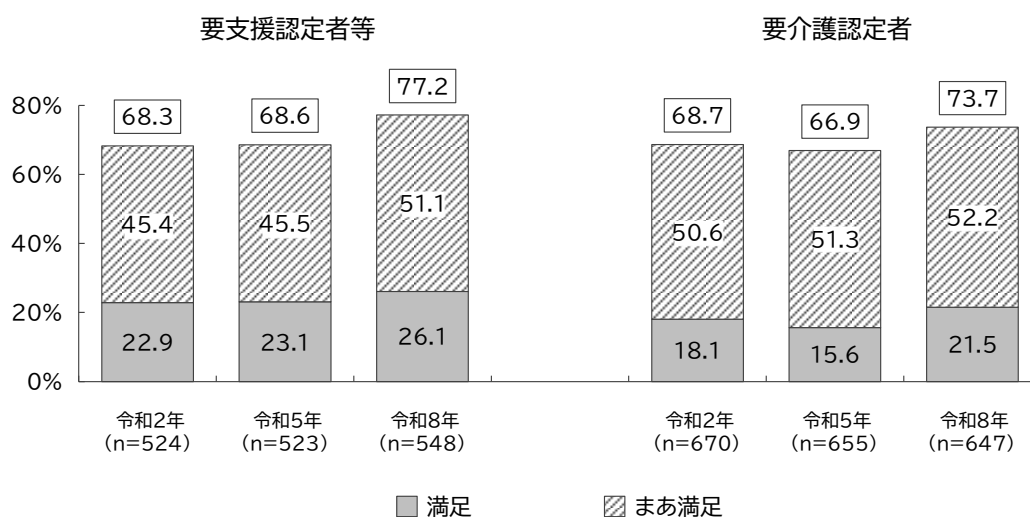
(単数回答)

【単純集計】



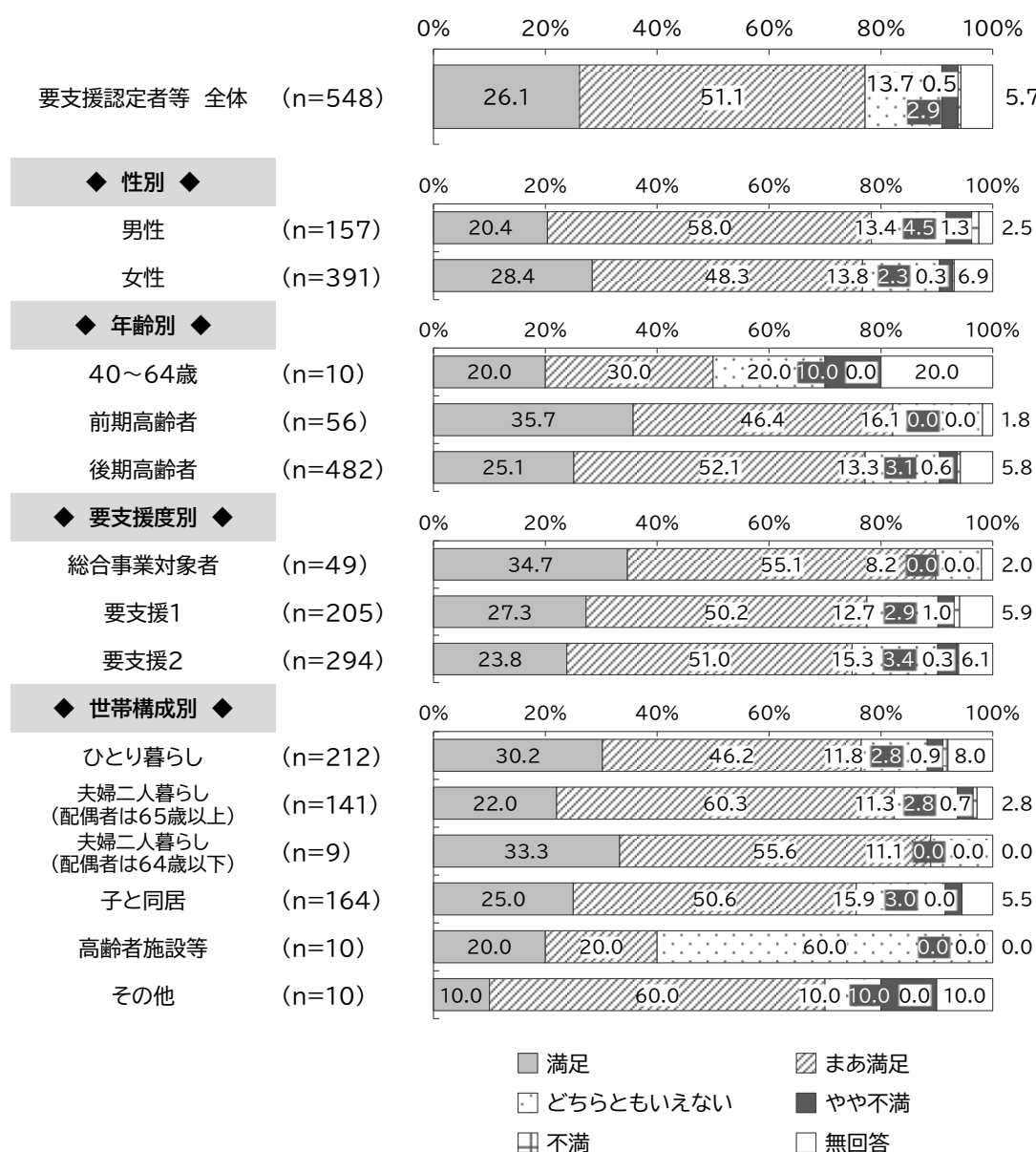
現在利用している介護保険サービス全体の満足状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「まあ満足」が最も多く、「満足」、「どちらともいえない」が続く。また、『満足（満足＋まあ満足）』は、要支援認定者等で 77.2%、要介護認定者で 73.7%と、大きな差異はみられない。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、『満足（満足＋まあ満足）』は、要支援認定者等・要介護認定者ともに令和8年に増加している。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

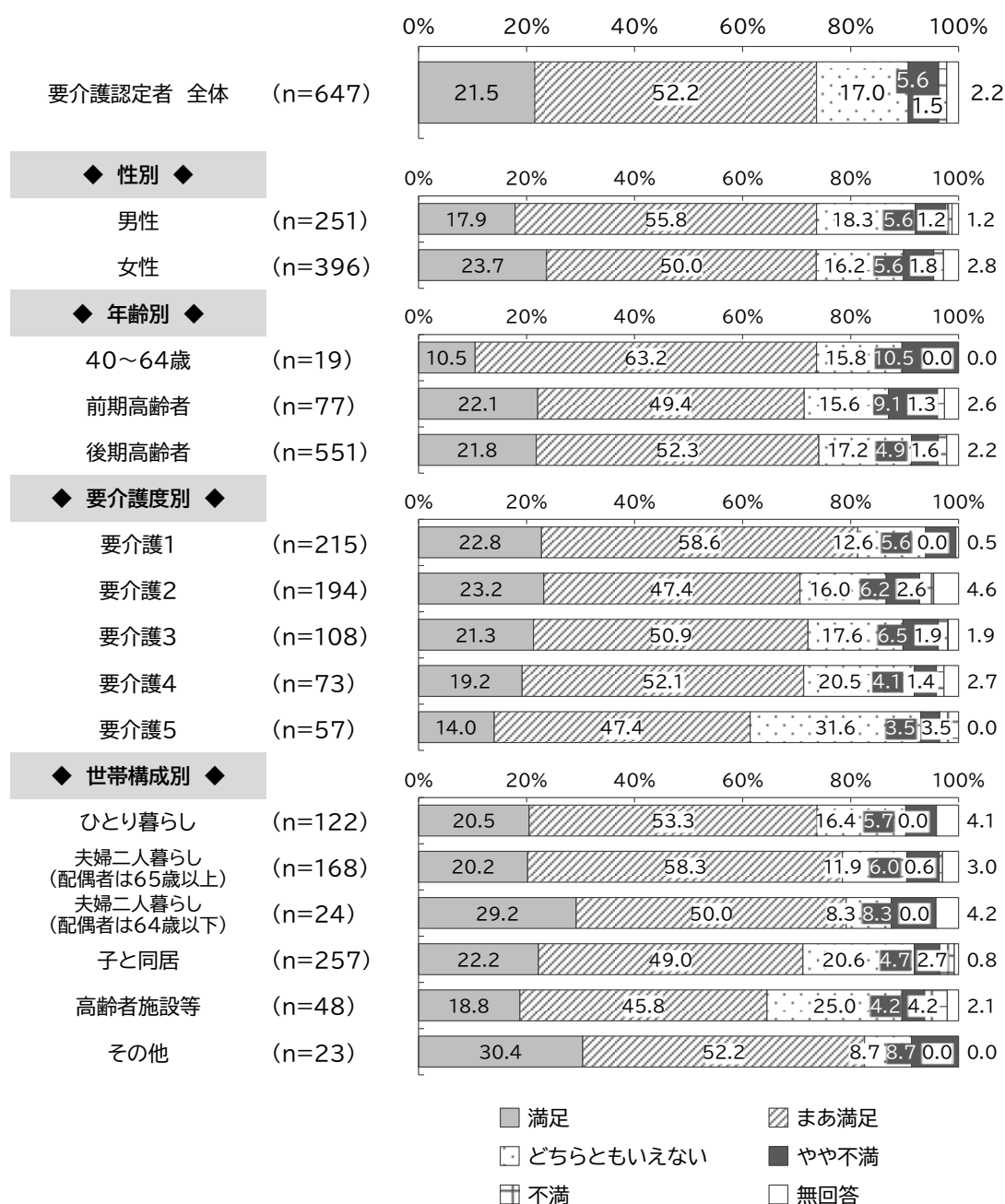
性別にみると、「男性」で「まあ満足」が58.0%と「女性」より9.7ポイント高く、「女性」では「満足」が28.4%と「男性」より8.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「満足」が35.7%と「後期高齢者」より10.6ポイント高くなっている。

要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「どちらともいえない」が多く、『満足（満足＋まあ満足）』が少なくなっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」で『満足（満足＋まあ満足）』が82.3%と8割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

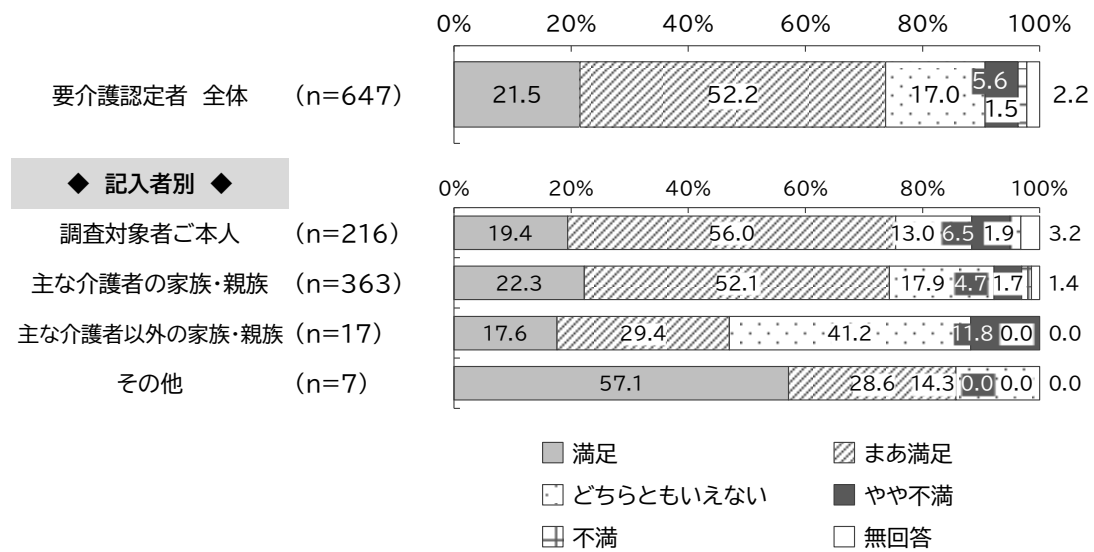
性別にみると、「男性」で「まあ満足」が55.8%と「女性」より5.8ポイント高く、「女性」では「満足」が23.7%と「男性」より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、大きな差異はみられない。

要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど「どちらともいえない」が多くなっている。また、「要介護5」では『満足（満足+まあ満足）』が61.4%と7割を下回って他の要介護度より少なくなっている。

世帯構成別にみると、「高齢者施設等」で『満足（満足+まあ満足）』が64.6%と7割を下回って他の世帯構成より少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】



【要介護認定者】

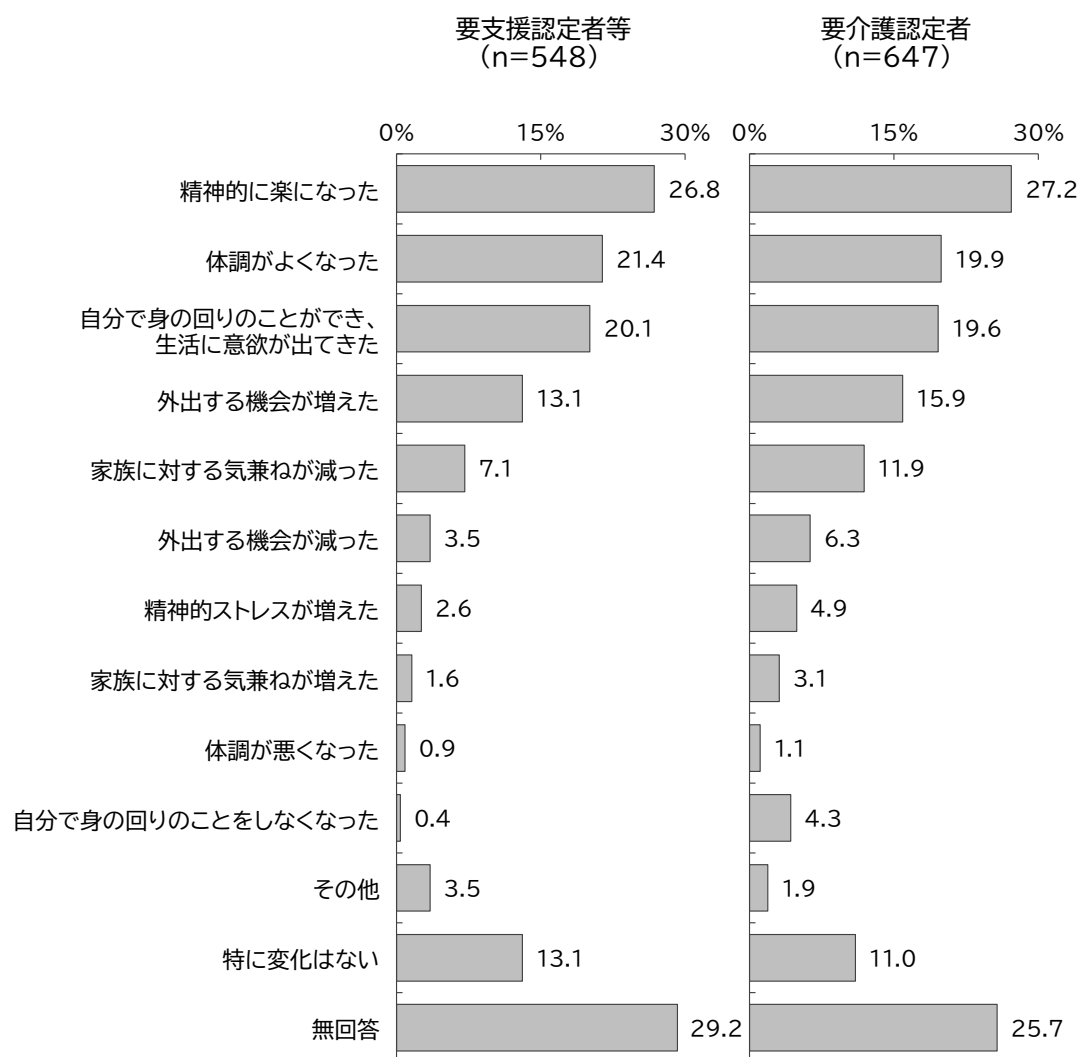
記入者別にみると、大きな差異はみられない。

要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 19 で「利用した」と回答した方で、在宅サービスを利用している方のみ

《要支援認定者等：問 57－4・要介護認定者：問 19－4》

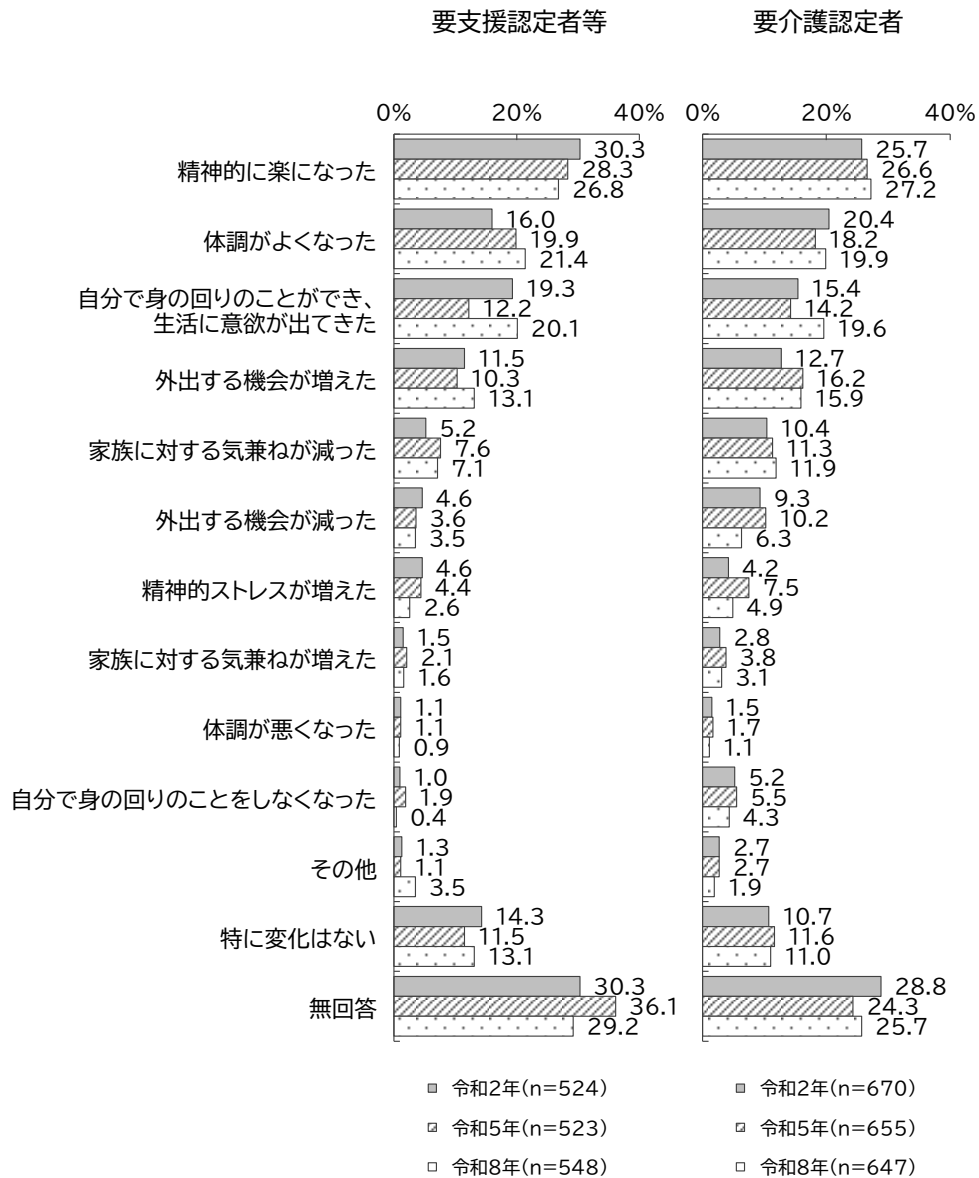
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



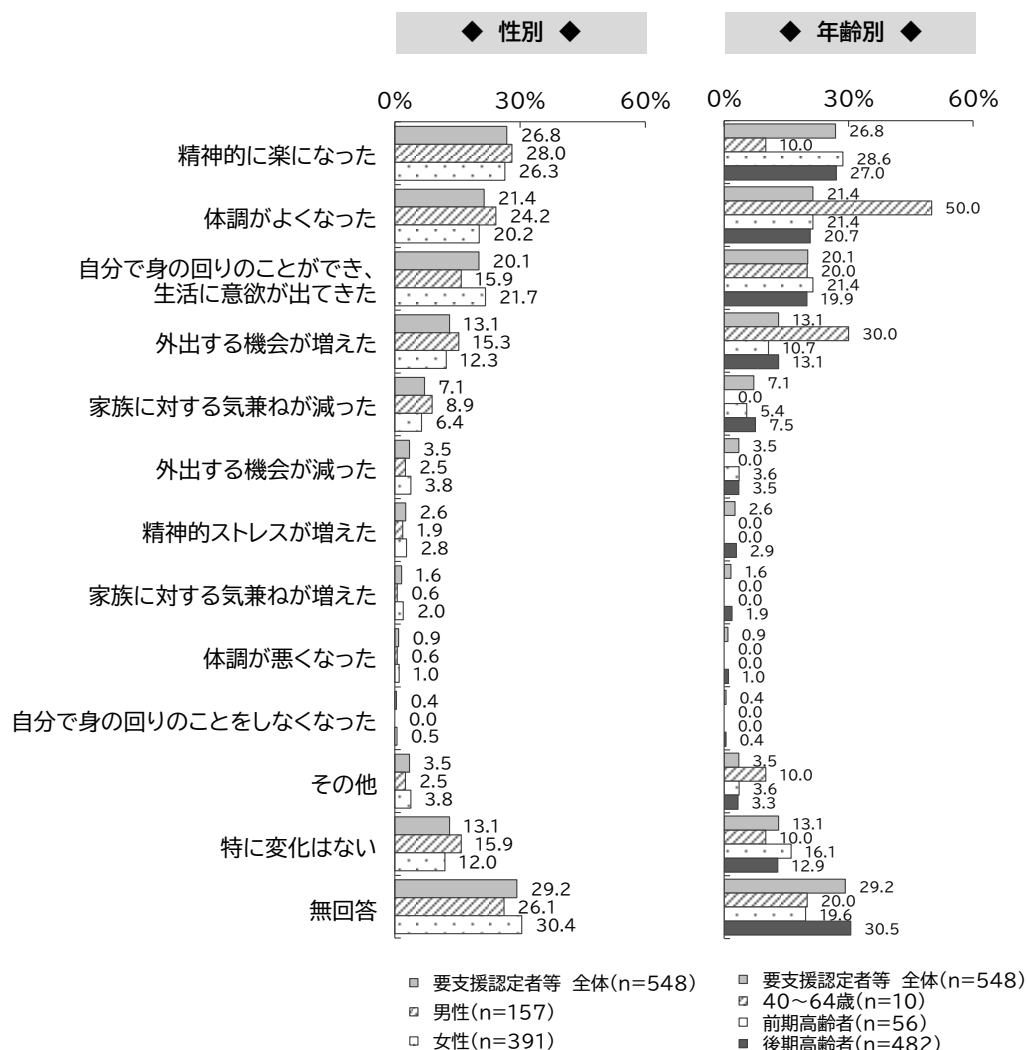
介護保険サービスを利用することで変化したことは、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「精神的に楽になった」が最も多く、「体調がよくなった」、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が続く。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「体調がよくなった」に増加傾向がみられる。また、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」は、要支援認定者等・要介護認定者ともに令和8年に増加している。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

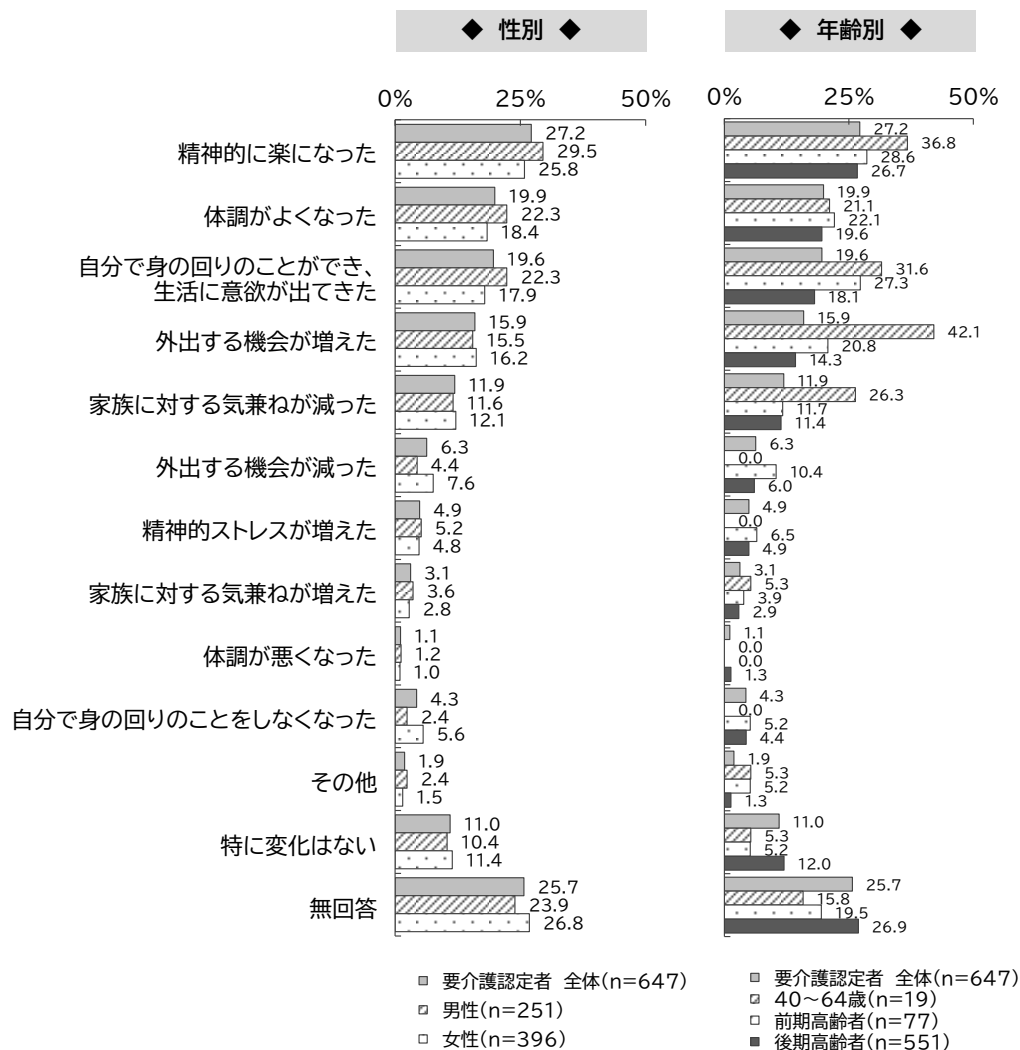


【要支援認定者等】

性別にみると、《女性》で「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が 21.7% と《男性》より 5.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、大きな差異はみられない。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」、「外出する機会が増えた」が「後期高齢者」より多く、「後期高齢者」では「特に変化はない」が12.0%と「前期高齢者」より6.8ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数(人)	介護保険サービスを利用することで起きた生活の変化(%)												無回答
		精神的に楽になった	体調がよくなった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	外出する機会が減った	精神的ストレスが増えた	家族に対する気兼ねが増えた	体調が悪くなった	自分で身の回りのことをしなくなった	その他	特に変化はない	
全体	548	26.8	21.4	20.1	13.1	7.1	3.5	2.6	1.6	0.9	0.4	3.5	13.1	29.2
要支援認定者等														
総合事業対象者	49	22.4	24.5	10.2	12.2	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	8.2	46.9
要支援1	205	26.3	20.0	21.5	11.7	7.8	3.9	2.0	0.5	0.5	0.0	3.9	12.2	30.2
要支援2	294	27.9	21.8	20.7	14.3	6.8	3.7	3.4	2.7	1.4	0.3	3.4	14.6	25.5

	調査数(人)	介護保険サービスを利用することで起きた生活の変化(%)												無回答
		精神的に楽になった	体調がよくなった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	外出する機会が減った	精神的ストレスが増えた	家族に対する気兼ねが増えた	体調が悪くなった	自分で身の回りのことをしなくなった	その他	特に変化はない	
全体	647	27.2	19.9	19.6	15.9	11.9	6.3	4.9	3.1	1.1	4.3	1.9	11.0	25.7
要介護認定者														
要介護1	215	26.0	18.1	23.7	16.3	9.3	6.5	5.1	1.9	0.5	3.3	0.9	11.2	24.2
要介護2	194	28.9	19.6	24.7	15.5	14.9	5.7	4.6	2.1	1.0	1.5	3.6	8.2	25.3
要介護3	108	23.1	18.5	17.6	15.7	12.0	5.6	2.8	4.6	0.9	8.3	0.9	12.0	31.5
要介護4	73	23.3	28.8	8.2	16.4	13.7	11.0	9.6	4.1	2.7	8.2	1.4	12.3	23.3
要介護5	57	38.6	19.3	5.3	15.8	8.8	3.5	3.5	7.0	1.8	5.3	1.8	15.8	24.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「精神的に楽になった」、「特に変化はない」が多くなっている。また、《総合事業対象者》では「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が10.2%と2割を下回って他の要支援度より少なくなっている。

【要介護認定者】

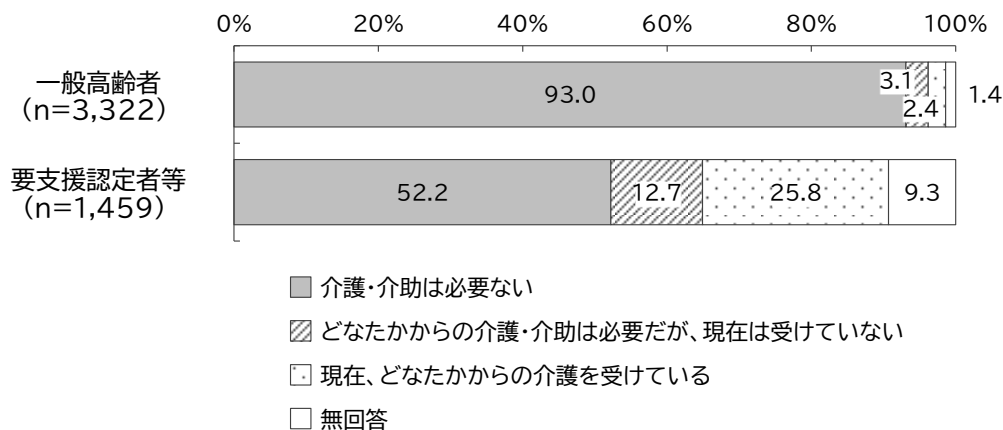
要介護度別にみると、《要介護2》で「特に変化はない」が8.2%と1割を下回って他の要介護度より少なく、《要介護4》・《要介護5》では「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が1割を下回って他の要介護度より少なくなっている。また、《要介護4》では「体調がよくなった」、「外出する機会が減った」が他の要介護度より多く、《要介護5》では「精神的に楽になった」が38.6%と3割を超えて他の要介護度より多くなっている。

12 介護の状況について

《一般高齢者：問2・要支援認定者等：問58》

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（単数回答）

【単純集計】



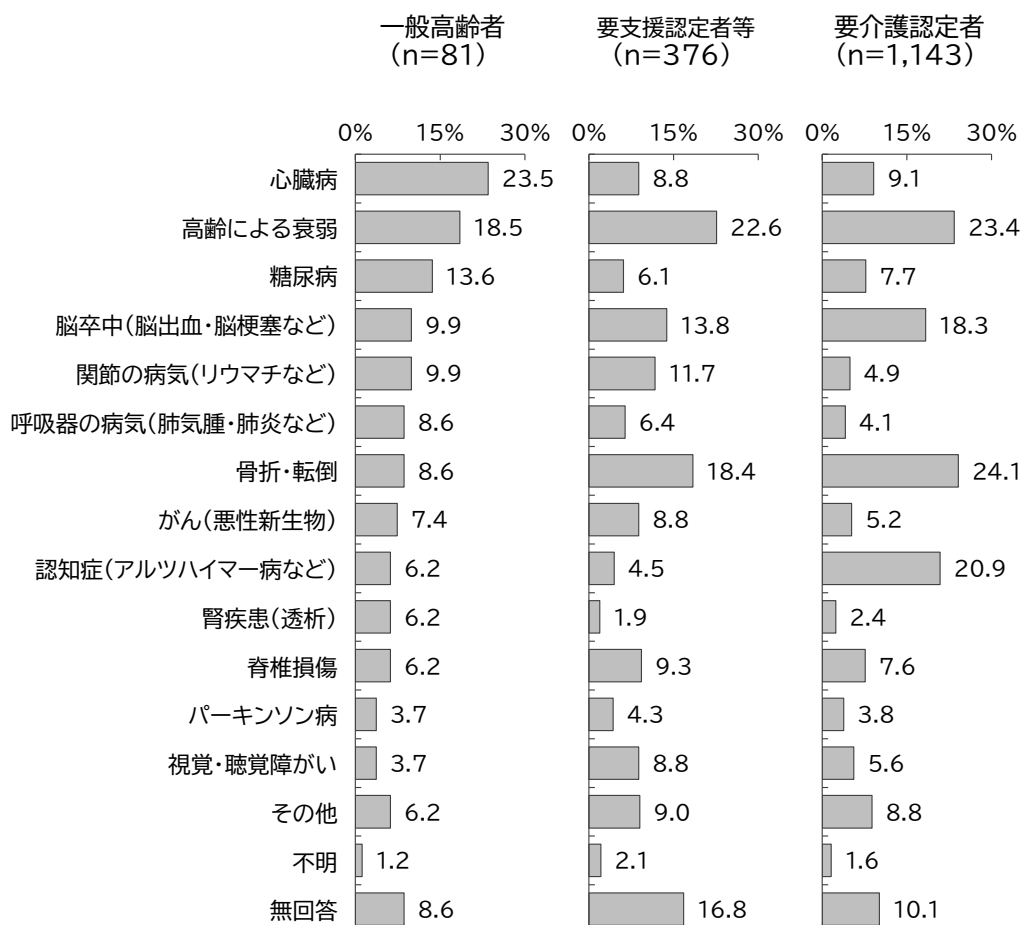
普段の生活における介護・介助の必要性の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「介護・介助は必要ない」が最も多くなっている。一方で、「介護・介助は必要ない」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より 40.8 ポイント高くなっている。

一般高齢者：問2・要支援認定者等：問58で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ（要介護認定者は全員が対象）

《一般高齢者：問2－1・要支援認定者等：問58－1・要介護認定者：問20》

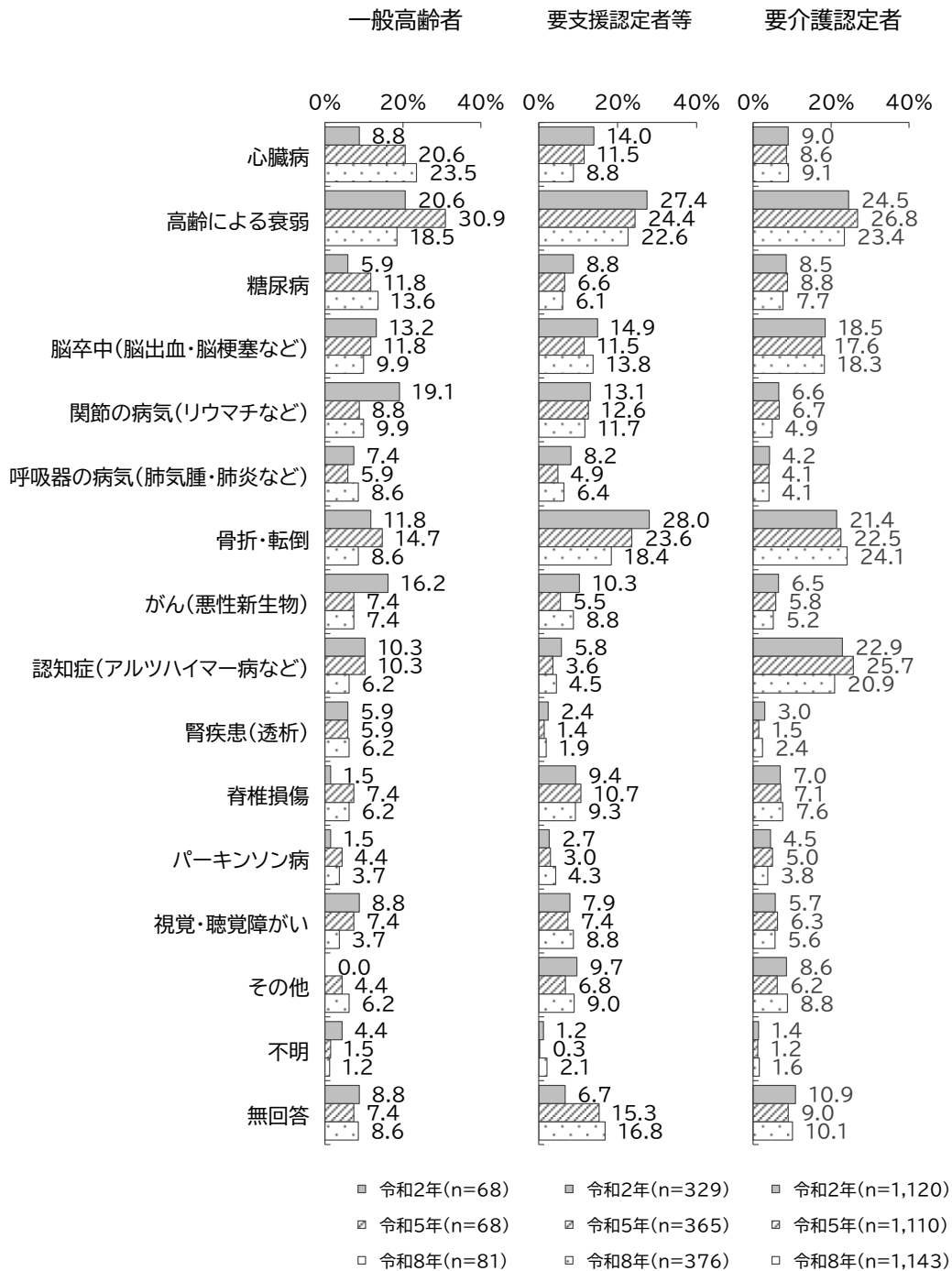
介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



介護・介助が必要になった主な原因は、一般高齢者において「心臓病」が23.5%と最も多くなっているのに対し、要支援認定者等において「高齢による衰弱」(22.6%)、要介護認定者において「骨折・転倒」(24.1%)が最も多くなっている。また、介護を必要とするほど「脳卒中(脳出血・脳梗塞など)」、「骨折・転倒」が多くなっている。

【経年比較】



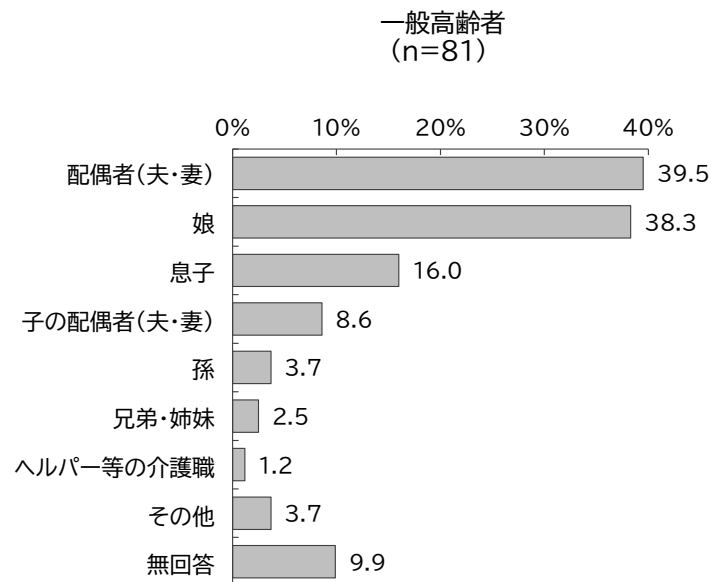
前回、前々回と比較してみると、一般高齢者において「心臓病」、「糖尿病」、「その他」に増加傾向、「視覚・聴覚障がい」に減少傾向がみられる。また、要支援認定者等においては「心臓病」、「骨折・転倒」に減少傾向がみられる。一方で、要介護認定者においては大きな差異はみられない。

一般高齢者：問2で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ

《一般高齢者：問2－2》

主にどなたの介護・介助を受けていますか（受けたいですか）。（複数回答可）

【単純集計】



※「ヘルパー等の介護職」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢である。

主な介護者・介助者は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が39.5%と最も多く、次いで「娘」が38.3%、「息子」が16.0%などとなっている。

【クロス集計：一般高齢者：世帯構成別】

一般高齢者		調査数（人）	介護者・介助者（％）								
			配偶者（夫・妻）	娘	息子	子の配偶者（夫・妻）	孫	兄弟・姉妹	ヘルパー等の介護職	その他	無回答
全体		81	39.5	38.3	16.0	8.6	3.7	2.5	1.2	3.7	9.9
世帯構成別	ひとり暮らし	11	9.1	45.5	45.5	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	27	70.4	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4
	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	子と同居	34	26.5	58.8	23.5	14.7	5.9	0.0	2.9	0.0	8.8
	高齢者施設等	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

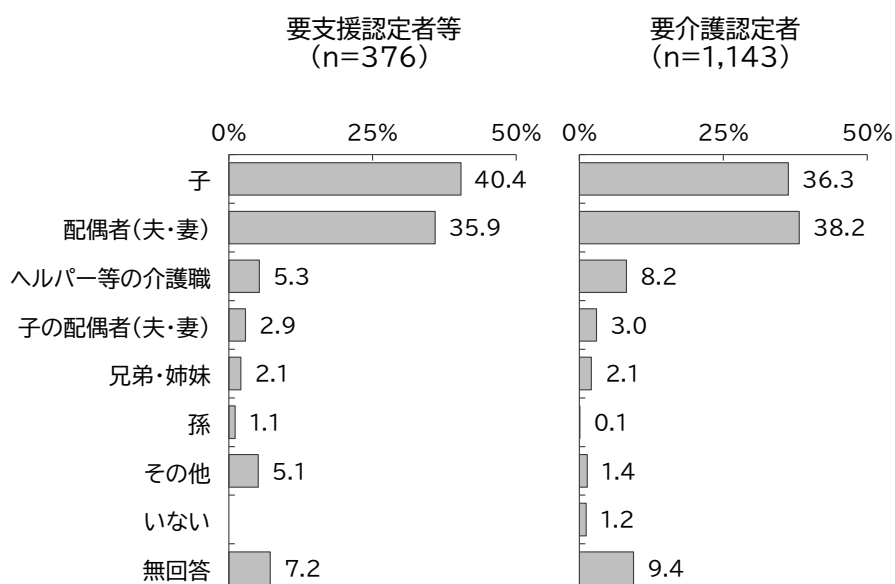
世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」で「配偶者（夫・妻）」が70.4%と「子と同居」より43.9ポイント高く、「子と同居」では「娘」、「息子」、「子の配偶者（夫・妻）」、「孫」が「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」より多くなっている。

要支援認定者等：問 58 で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ（要介護認定者は全員が対象）

≪要支援認定者等：問 59・要介護認定者：問 21≫

主な介護者の方は、どなたですか。（単数回答）

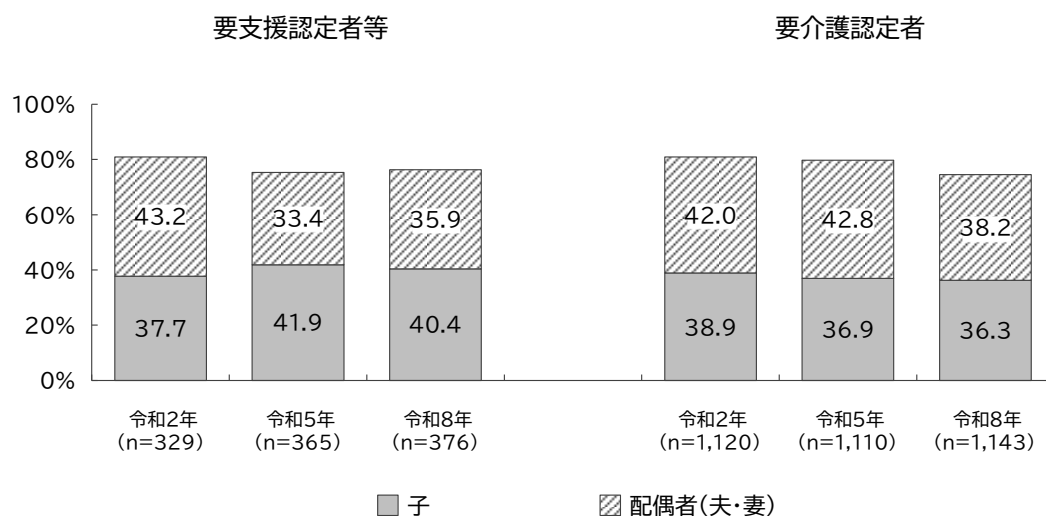
【単純集計】



※「ヘルパー等の介護職」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢である。また、「いない」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、要介護認定者にのみ、集計時に追加した選択肢である。（要支援認定者等は、問 58 で介護を受けていると回答した方のみ、この問を回答している）

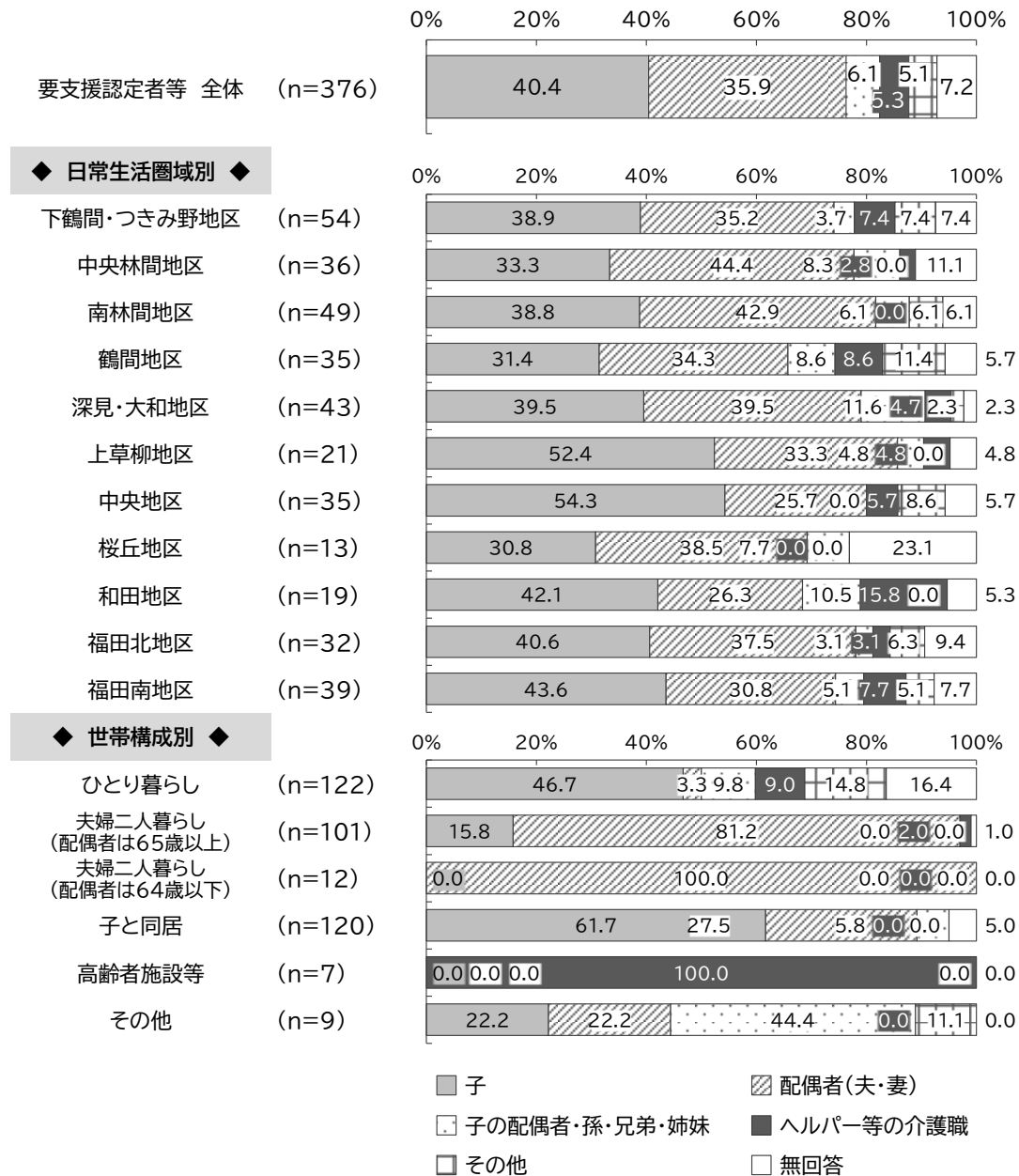
主な介護者は、要支援認定者等において「子」が 40.4%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「配偶者（夫・妻）」が 38.2%と最も多くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに「子」、「配偶者（夫・妻）」のいずれかが主な介護者であるという傾向には変わりなく、それぞれ3～4割台となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】

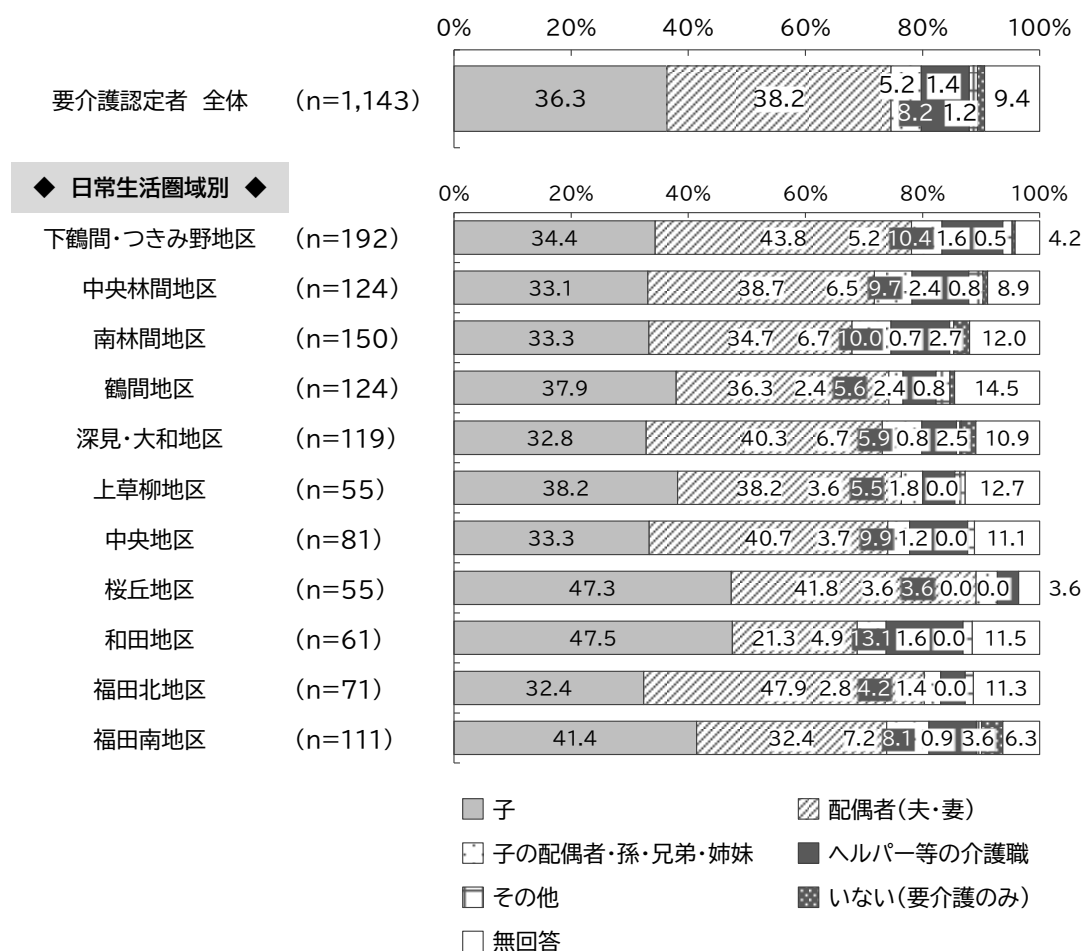


【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「深見・大和地区」で「子の配偶者・孫・兄弟・姉妹」が11.6%と1割を超えて他の日常生活圏域より多く、「上草柳地区」・「中央地区」では「子」が半数を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。また、「中央地区」では「配偶者（夫・妻）」が25.7%と3割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」で「子」が15.8%と2割を下回って他の世帯構成より少なく、「配偶者（夫・妻）」が81.2%と8割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

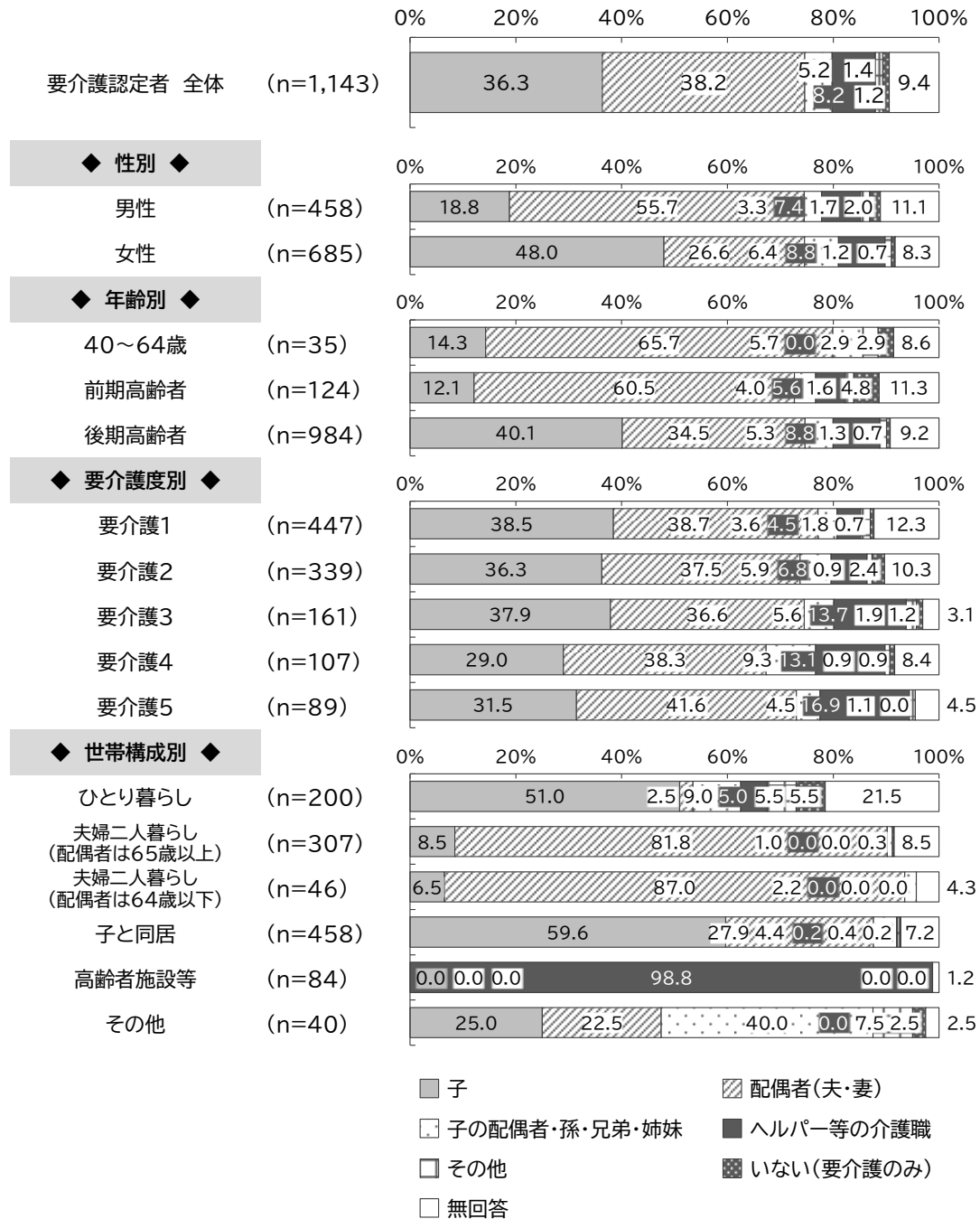
【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】



【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《南林間地区》・《和田地区》で「ヘルパー等の介護職」が1割を超えて他の日常生活圏域より多く、《桜丘地区》・《和田地区》・《福田南地区》では「子」が4割を超えて他の日常生活圏域より多くなっている。また、《和田地区》では「配偶者(夫・妻)」が21.3%と3割を下回って他の日常生活圏域より少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、「男性」で「配偶者（夫・妻）」が55.7%と「女性」より29.1ポイント高く、「女性」では「子」が48.0%と「男性」より29.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「配偶者（夫・妻）」が少なく、「ヘルパー等の介護職」が多くなっている。

要介護度別にみると、「要介護1」・「要介護2」で「ヘルパー等の介護職」が1割を下回って他の要介護度より少なくなっている。

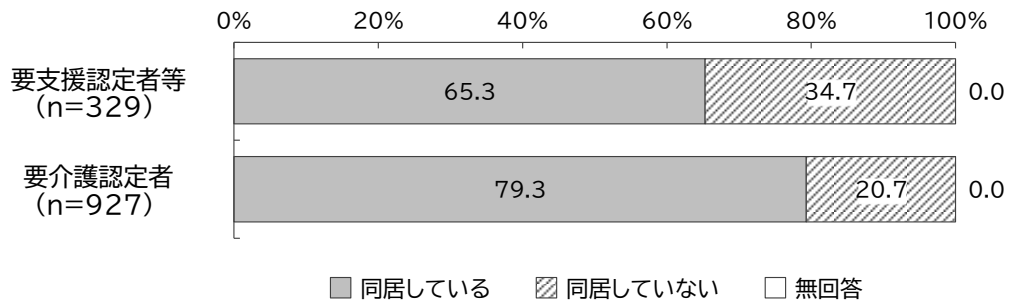
世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」・「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」で「配偶者（夫・妻）」が8割を超えて他の世帯構成より多くなっている。

要支援認定者等：問 59・要介護認定者：問 21 で『主な介護者は家族・親族』と回答した方のみ

≪要支援認定者等：問 60・要介護認定者：問 22≫

主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)と同居されていますか。(単数回答)

【単純集計】



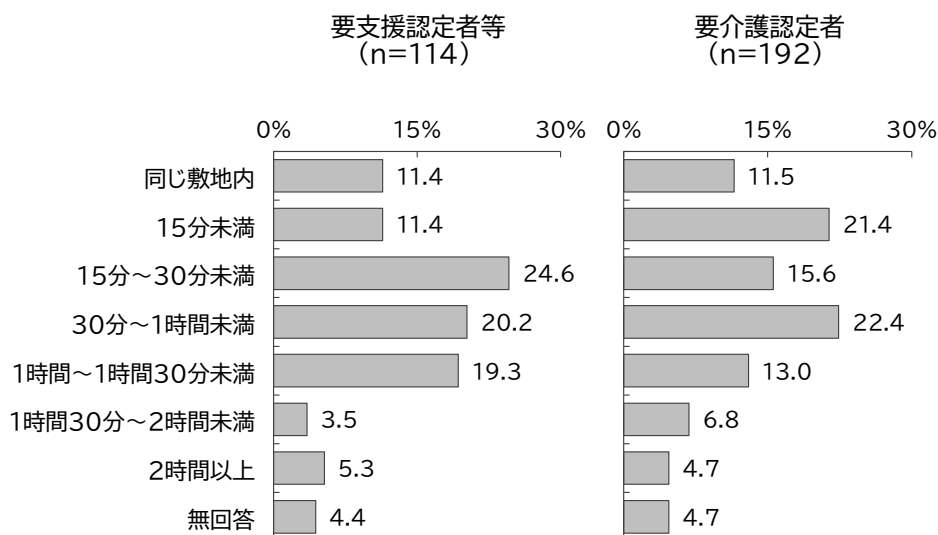
主な介護者と調査対象者の同居の状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「同居している」が多くなっている。一方で、「同居している」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より 14.0 ポイント高くなっている。

要支援認定者等：問 60・要介護認定者：問 22 で「同居していない」と回答した方のみ

≪要支援認定者等：問 60－1・要介護認定者：問 22－1≫

ご本人（調査対象者）の元に駆けつけるのに、どのくらいの時間がかかりますか。
（移動手段は問いません）（単数回答）

【単純集計】



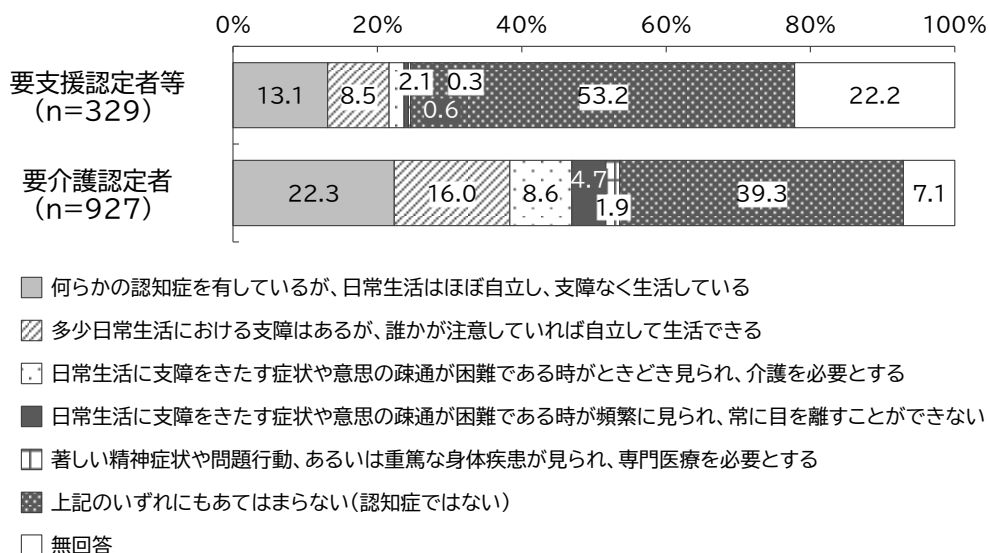
主な介護者が同居していない場合、駆けつけるのにかかる時間は、要支援認定者等において「15分～30分未満」が24.6%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「30分～1時間未満」が22.4%と最も多くなっている。また、「15分未満」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より10.0ポイント高くなっている。さらに、『30分未満』は、要支援認定者等で47.4%、要介護認定者で48.5%と、大きな差異はみられない。

要支援認定者等：問 59・要介護認定者：問 21 で『主な介護者は家族・親族』と回答した方のみ

≪要支援認定者等：問 61・要介護認定者：問 23≫

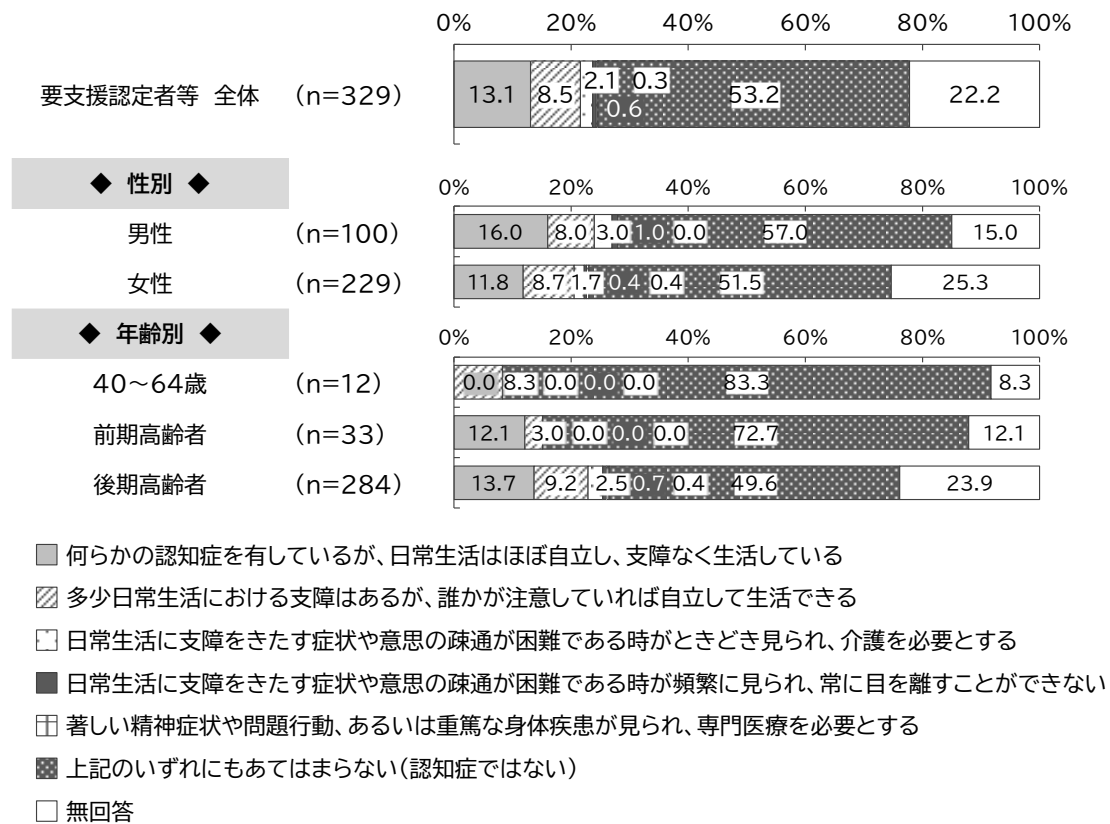
介護を受けている方の認知症はどの程度ですか。(単数回答)

【単純集計】



介護を受けている方の認知症の程度は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「上記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)」が最も多く、「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が続く。一方で、「上記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)」は、要支援認定者等の方が要介護認定者より13.9ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

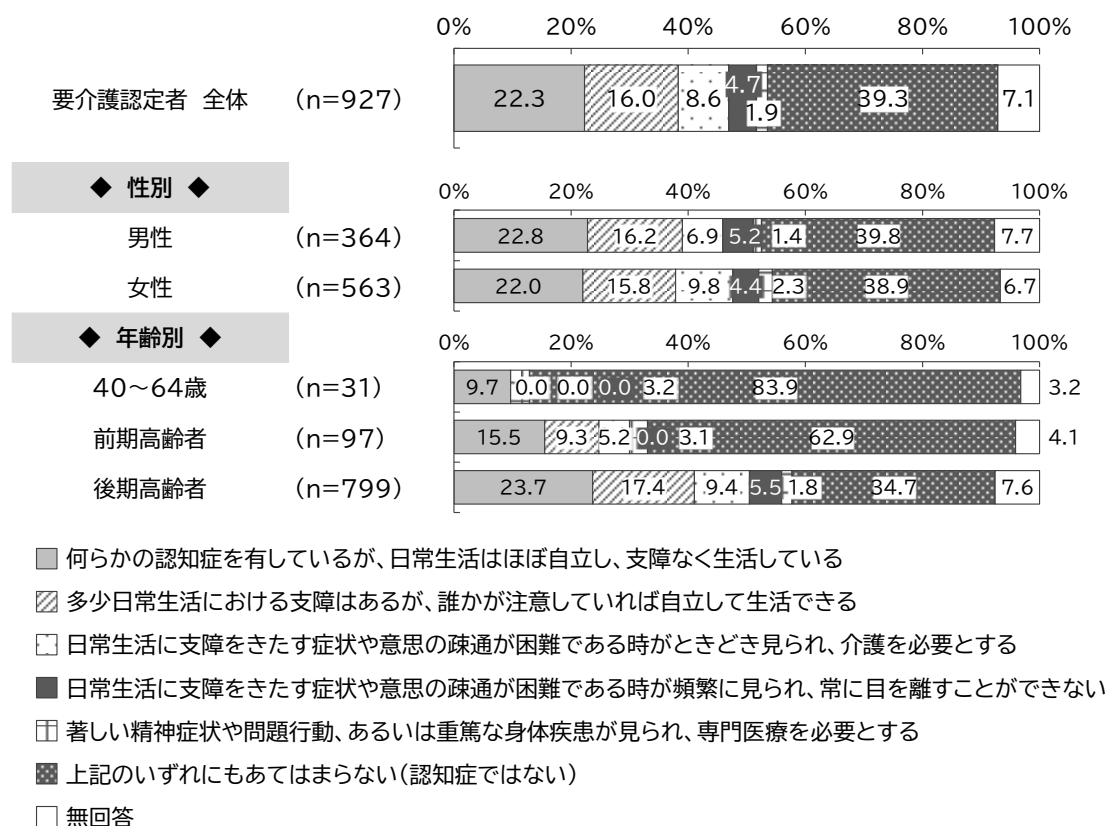


【要支援認定者等】

性別にみると、「男性」で「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が57.0%と「女性」より5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が72.7%と「後期高齢者」より23.1ポイント高く、「後期高齢者」では「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が9.2%と「前期高齢者」より6.2ポイント高くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」、「日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする」が多く、「上記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)」が少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：要支援度別・記入者別】

要支援認定者等		調査数（人）	認知症の程度（％）						無回答
			何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	誰かが注意していれば自立して生活できる	介護を必要とする	意思疎通が困難である時が見られ、日常生活に支障をきたす	日常生活に支障をきたす	専門医療が必要とする	上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）
全体		329	13.1	8.5	2.1	0.6	0.3	53.2	22.2
要支援度別	総合事業対象者	22	13.6	22.7	0.0	0.0	0.0	45.5	18.2
	要支援 1	124	16.1	8.1	2.4	1.6	0.0	51.6	20.2
	要支援 2	183	10.9	7.1	2.2	0.0	0.5	55.2	24.0
記入者別	調査対象者ご本人	235	11.9	4.3	1.7	0.0	0.4	58.3	23.4
	主な介護者の家族・親族	57	19.3	19.3	3.5	3.5	0.0	45.6	8.8
	主な介護者以外の家族・親族	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	その他	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が少なく、「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が多くなっている。

記入者別にみると、《調査対象者ご本人》で「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が58.3%と《主な介護者の家族・親族》より12.7ポイント高くなっている。また、《主な介護者の家族・親族》では「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が《調査対象者ご本人》より多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：要介護度別・記入者別】

要介護認定者		調査数（人）	認知症の程度（％）						
			何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	誰かが注意していれば自立して生活できる	介護を必要とする	意思の疎通が困難である時が見られ、日常生活に支障をきたす症状や	常に目を離すことができない	意思の疎通が困難である時が見られ、日常生活に支障をきたす症状や	専門医療を必要とする
全体		927	22.3	16.0	8.6	4.7	1.9	39.3	7.1
要介護度別	要介護1	369	28.2	20.6	3.5	1.6	0.5	38.5	7.0
	要介護2	273	21.2	17.2	7.3	4.0	1.1	41.0	8.1
	要介護3	132	13.6	13.6	17.4	6.8	3.0	39.4	6.1
	要介護4	83	18.1	3.6	16.9	12.0	2.4	42.2	4.8
	要介護5	70	17.1	5.7	14.3	11.4	10.0	32.9	8.6
記入者別	調査対象者ご本人	333	20.4	9.0	2.1	1.2	0.3	54.1	12.9
	主な介護者の家族・親族	507	22.3	20.1	13.6	7.1	2.8	30.8	3.4
	主な介護者以外の家族・親族	18	5.6	27.8	5.6	11.1	16.7	33.3	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

要介護度別にみると、《要介護1》で「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が20.6%と2割を超えて他の要介護度より多く、《要介護4》・《要介護5》では「日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない」が1割を超えて他の要介護度より多くなっている。また、《要介護1》・《要介護2》では「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」が2割を超えて他の要介護度より多く、「日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする」が1割を下回って他の要介護度より少なくなっている。

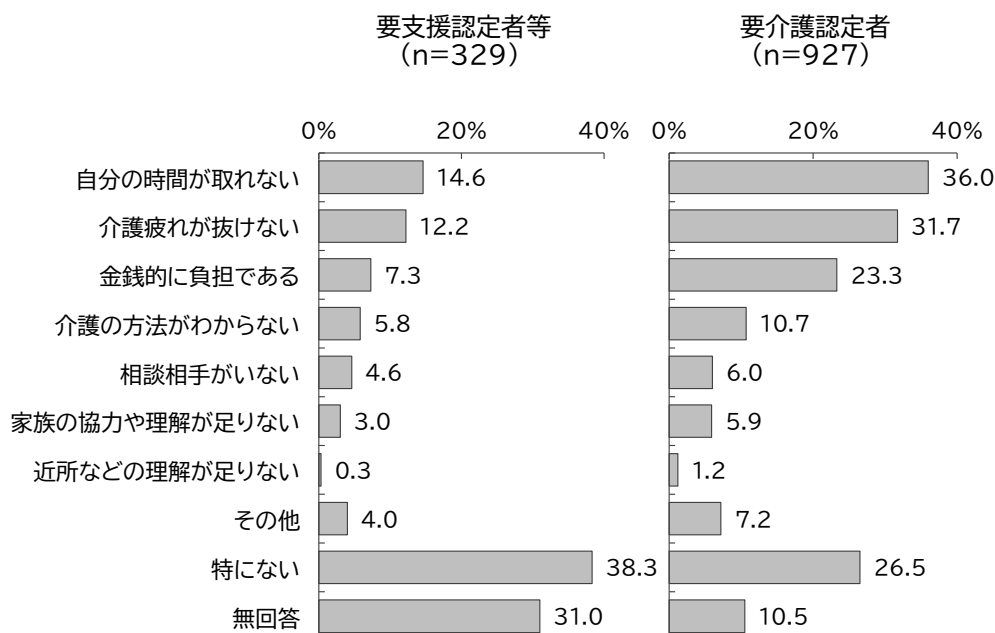
記入者別にみると、《調査対象者ご本人》で「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が54.1%と《主な介護者の家族・親族》より23.3ポイント高く、《主な介護者の家族・親族》では「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」、「日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする」、「日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない」が《調査対象者ご本人》より多くなっている。

要支援認定者等：問 59・要介護認定者：問 21 で『主な介護者は家族・親族』と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 62・要介護認定者：問 24》

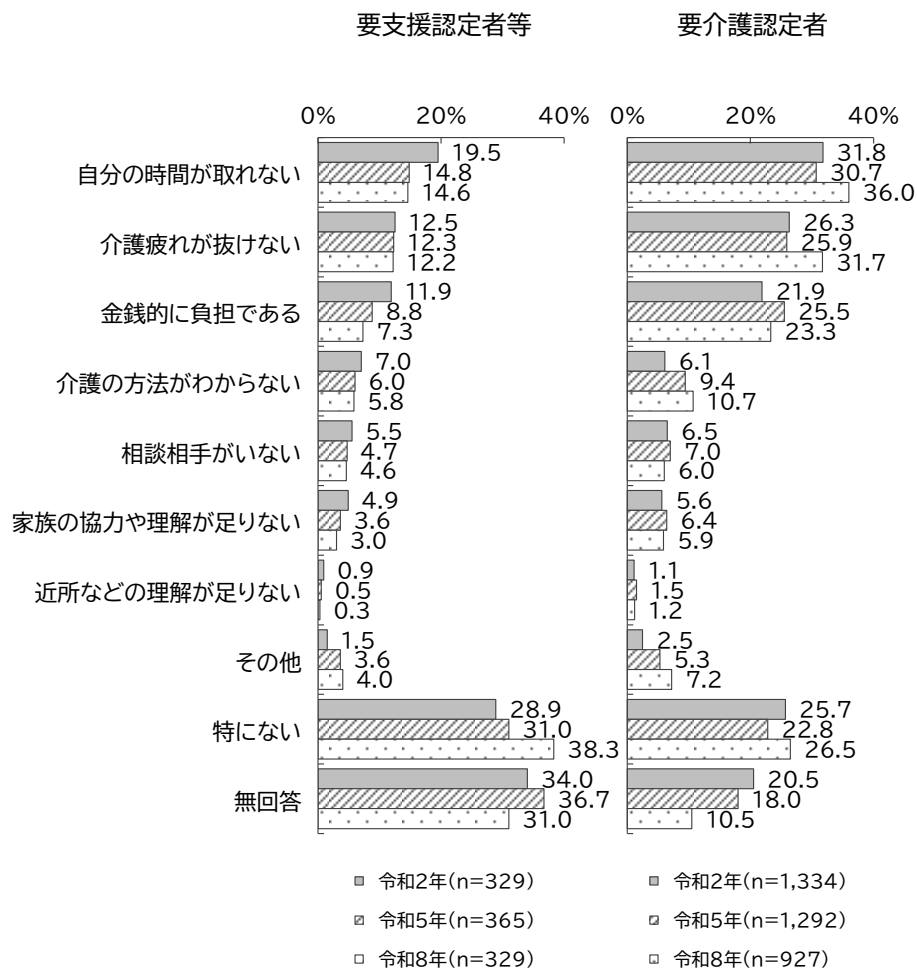
主な介護者の方が特に困っていることは何ですか。（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



主な介護者の方が特に困っていることは、要支援認定者等において「特にない」が 38.3%と最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「自分の時間が取れない」が 36.0%と最も多くなっている。また、「自分の時間が取れない」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より 21.4 ポイント高くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「特になし」に増加傾向がみられる。また、要介護認定者においては「自分の時間がとれない」、「介護疲れが抜けない」が令和8年に増加している。

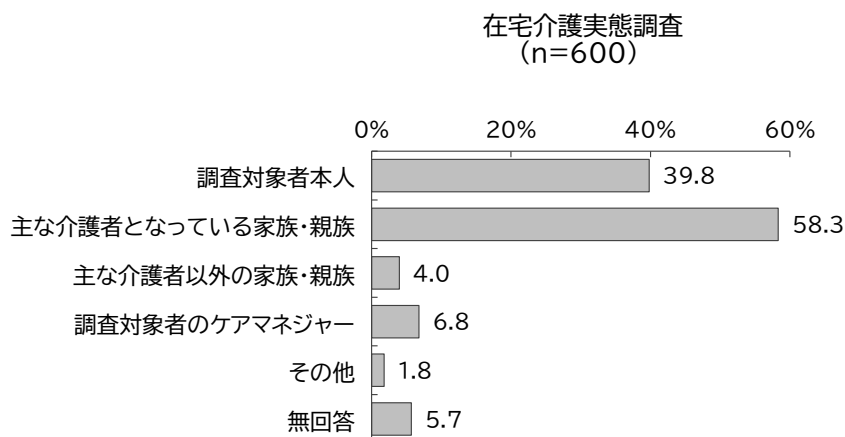
Ⅲ 調査の結果（在宅介護実態調査）

1 【A票】認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

《事前質問》

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。（複数回答可）

【単純集計】

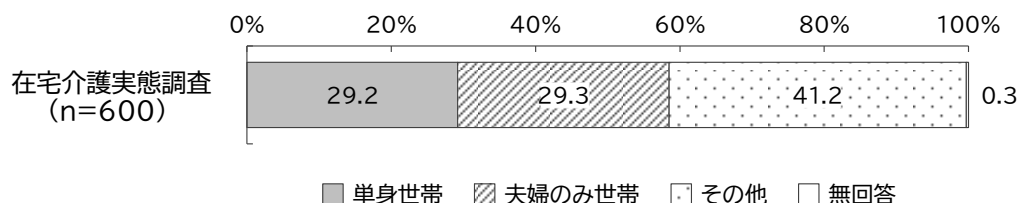


A票の聞き取りを行った相手の方は、「主な介護者となっている家族・親族」が58.3%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が39.8%、「調査対象者のケアマネジャー」が6.8%などとなっている。

《A票 問1》

世帯類型について、ご回答ください。（単数回答）

【単純集計】

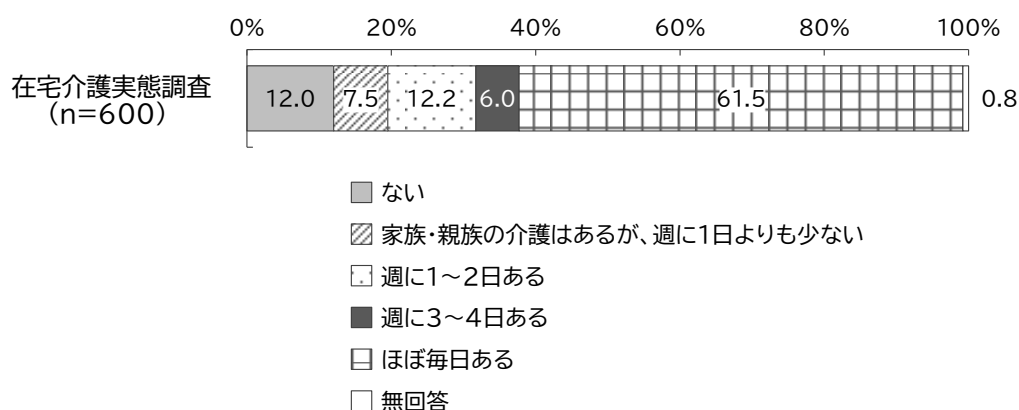


世帯類型は、「その他」が41.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が29.3%、「単身世帯」が29.2%となっている。

≪A票 問2≫

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（単数回答）

【単純集計】



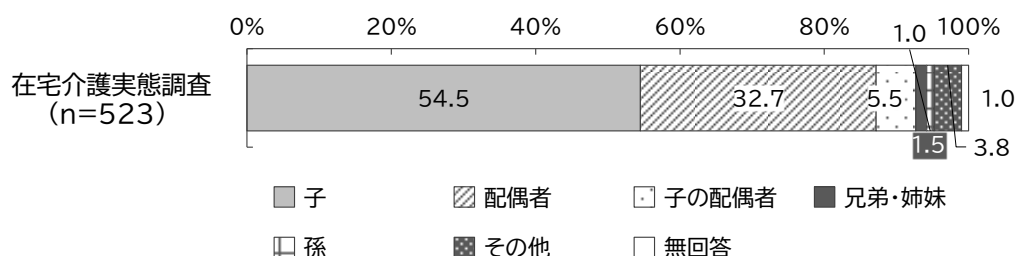
ご家族やご親族の方からの介護の週あたりの頻度は、「ほぼ毎日ある」が61.5%と最も多く、次いで「週に1～2日ある」が12.2%、「ない」が12.0%などとなっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

≪A票 問3≫

主な介護者の方は、どなたですか。（単数回答）

【単純集計】



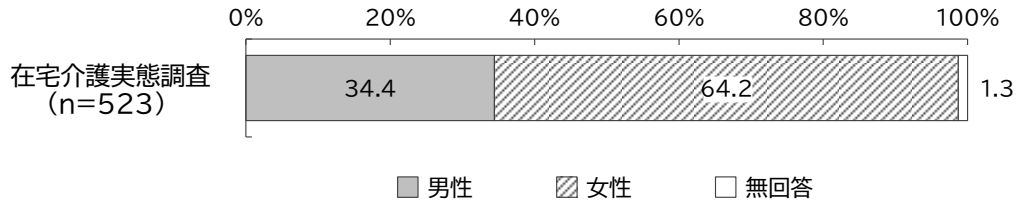
主な介護者の方は、「子」が54.5%と最も多く、次いで「配偶者」が32.7%、「子の配偶者」が5.5%などとなっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

＜A票 問4＞

主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（単数回答）

【単純集計】



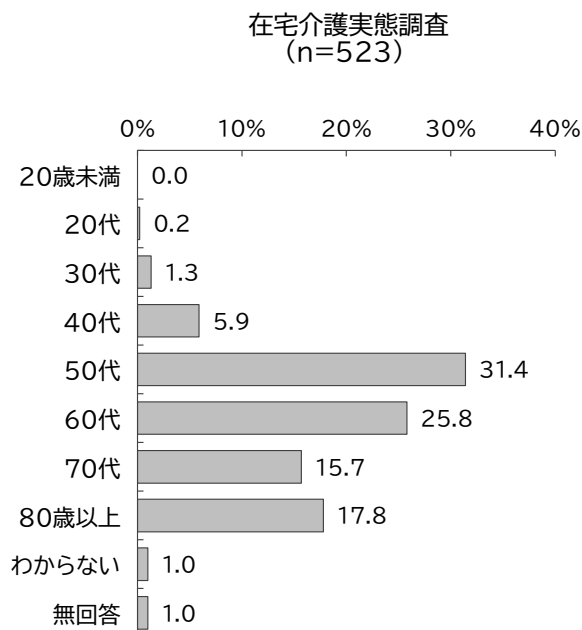
主な介護者の方の性別は、「男性」が34.4%、「女性」が64.2%となっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

＜A票 問5＞

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（単数回答）

【単純集計】



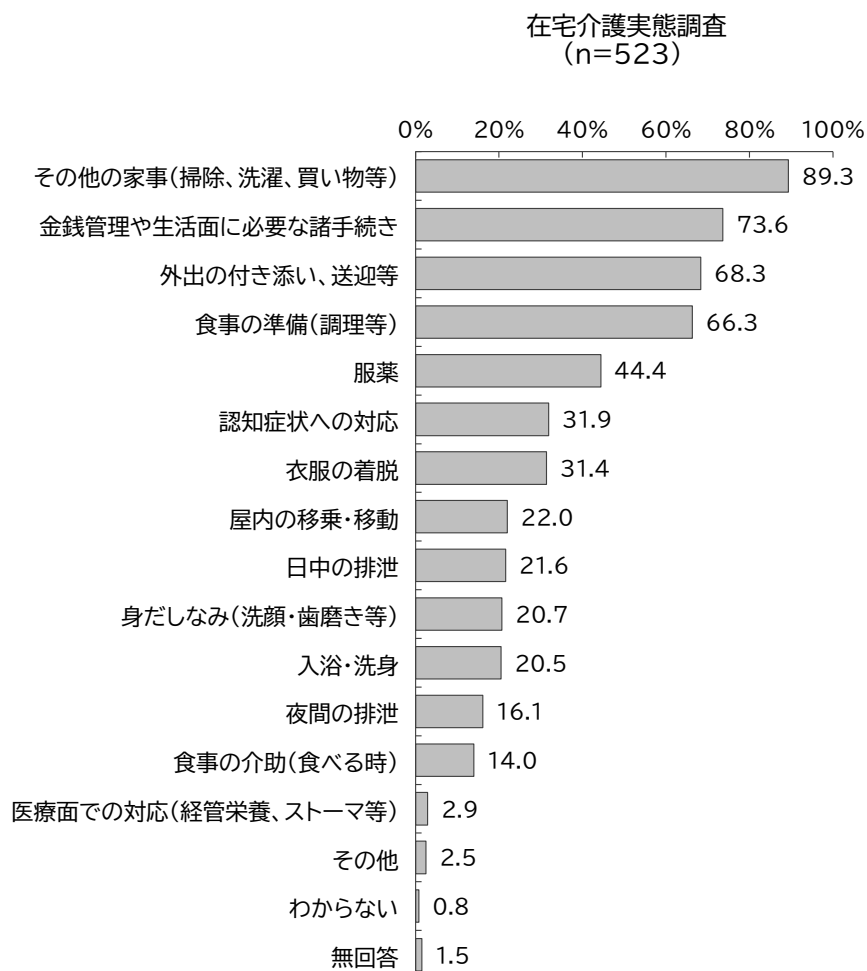
主な介護者の方の年齢は、「50代」が31.4%と最も多く、次いで「60代」が25.8%、「80歳以上」が17.8%などとなっている。また、『60歳以上』は59.3%となっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

≪A票 問6≫

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数回答可)

【単純集計】



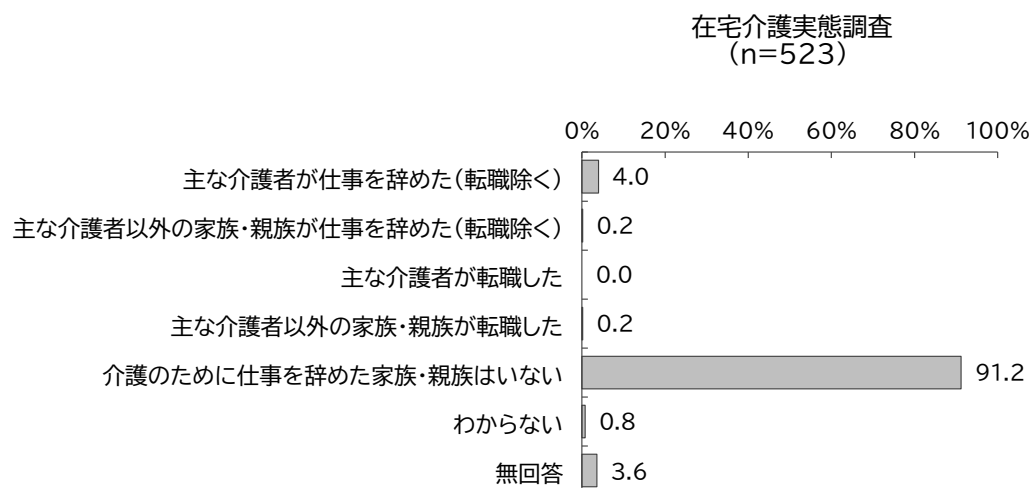
主な介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 89.3%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.6%、「外出の付き添い、送迎等」が 68.3%などとなっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

≪A票 問7≫

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数回答可）

【単純集計】



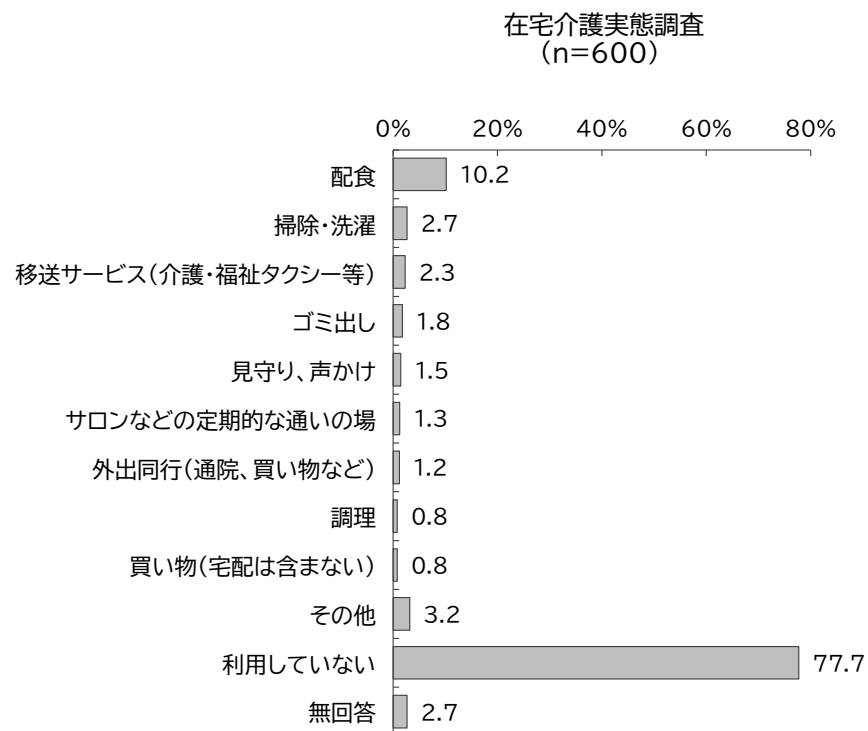
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含む。

認定調査対象者の介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めたご家族やご親族の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が91.2%と突出している。

《A票 問8》

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数回答可)

【単純集計】



※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含む。

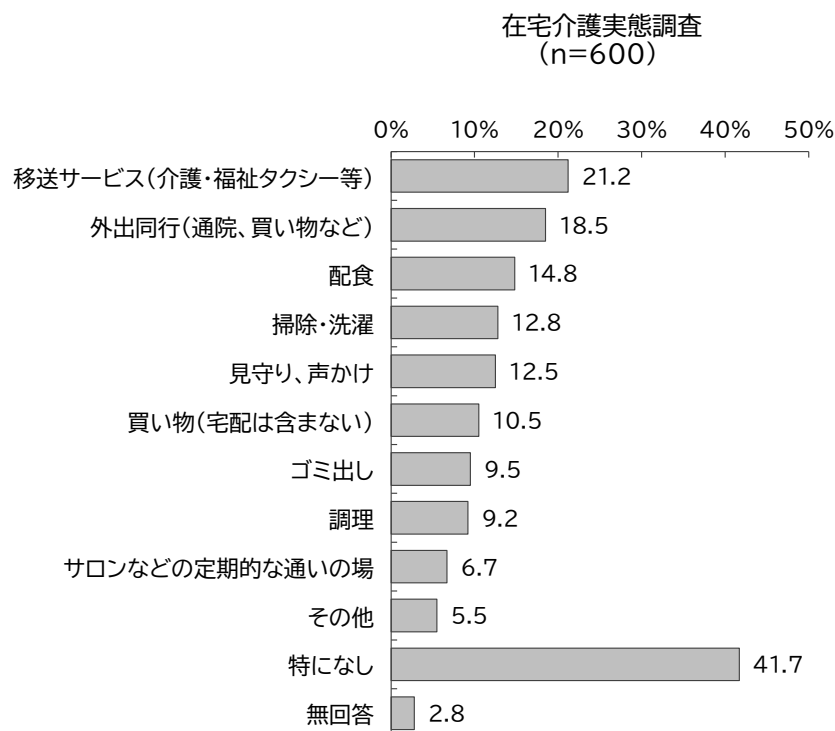
利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは、「利用していない」が77.7%と最も多く、次いで「配食」が10.2%、「その他」が3.2%などとなっている。

《A票 問9》

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

（複数回答可）

【単純集計】



※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む。

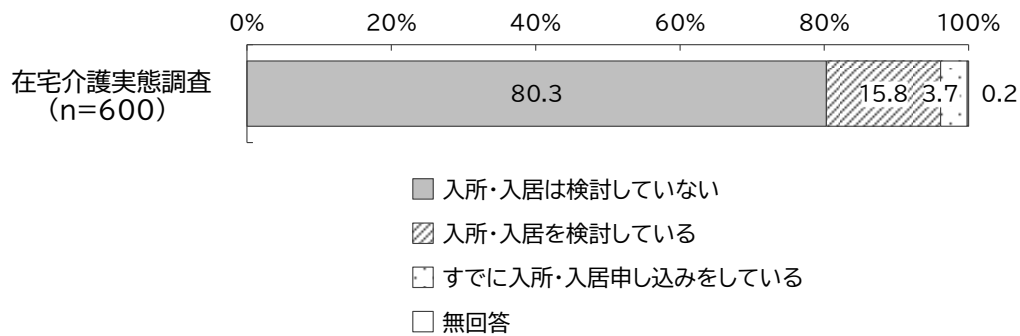
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」が41.7%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が18.5%などとなっている。

≪A票 問10≫

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(単数回答)

【単純集計】



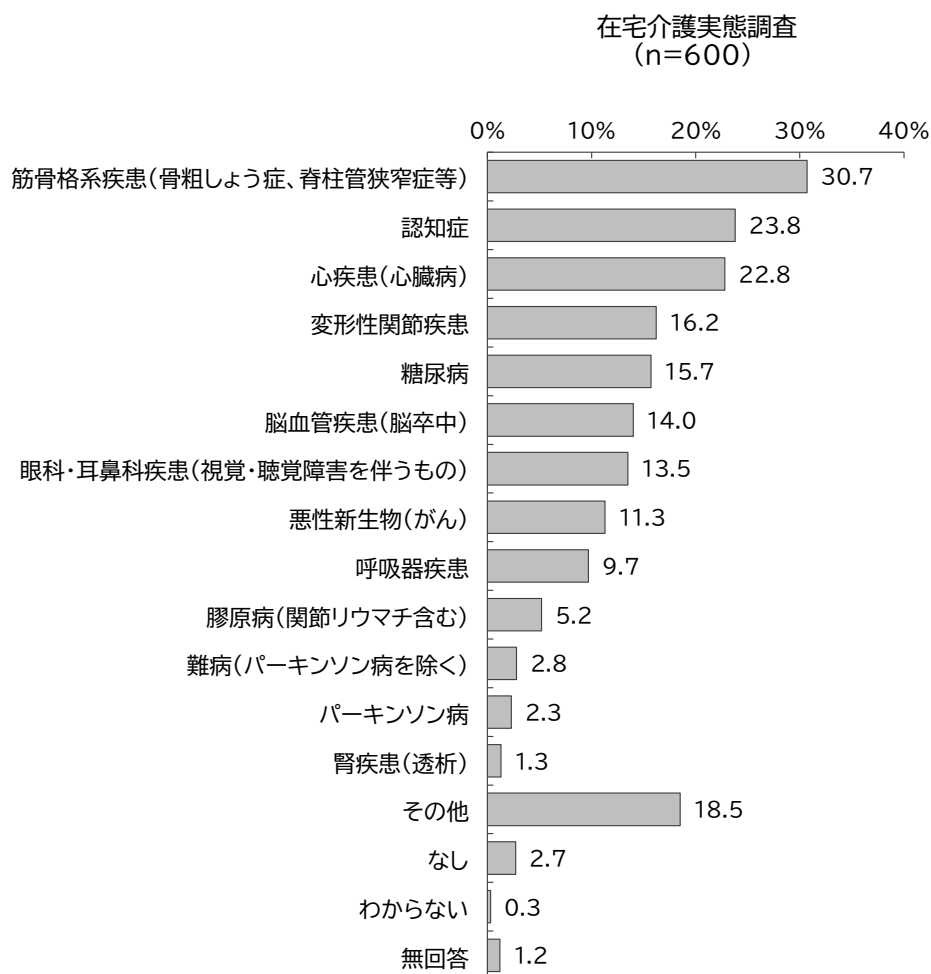
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

現時点での施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が80.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が3.7%となっている。

≪A票 問11≫

ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数回答可）

【単純集計】

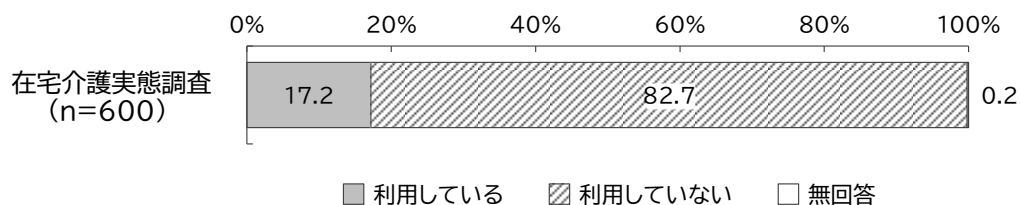


認定調査対象者が現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が30.7%と最も多く、次いで「認知症」が23.8%、「心疾患（心臓病）」が22.8%などとなっている。

≪A票 問12≫

ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(単数回答)

【単純集計】



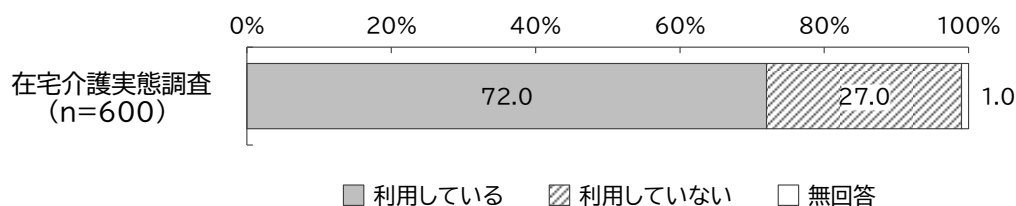
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まない。

認定調査対象者の訪問診療の利用状況は、「利用している」が17.2%、「利用していない」が82.7%となっている。

≪A票 問13≫

現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(単数回答)

【単純集計】



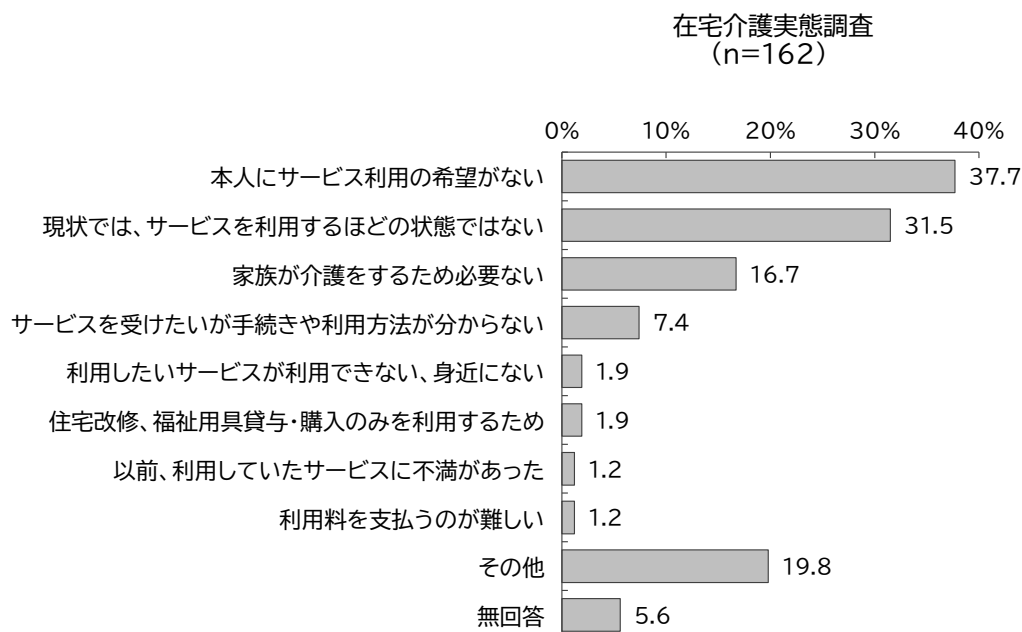
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が72.0%、「利用していない」が27.0%となっている。

A票 問13で「利用していない」と回答した方のみ

≪A票 問14≫

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が37.7%と最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.5%、「その他」が19.8%などとなっている。

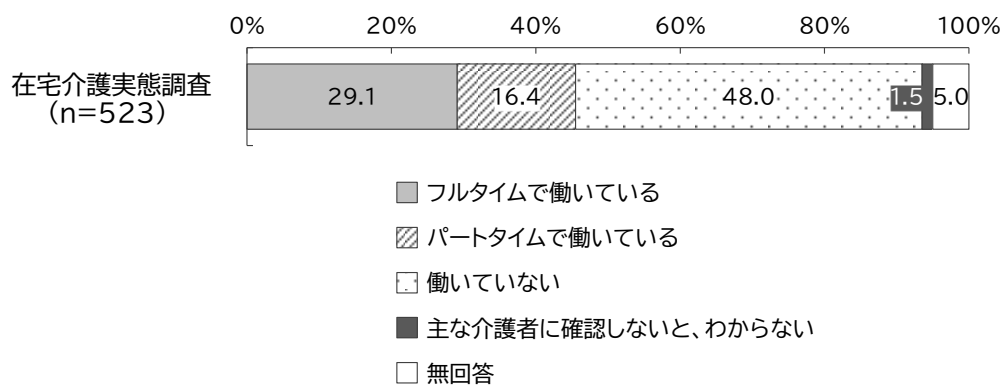
2 【B票】主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

《B票 問1》

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(単数回答)

【単純集計】



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当する。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択する。

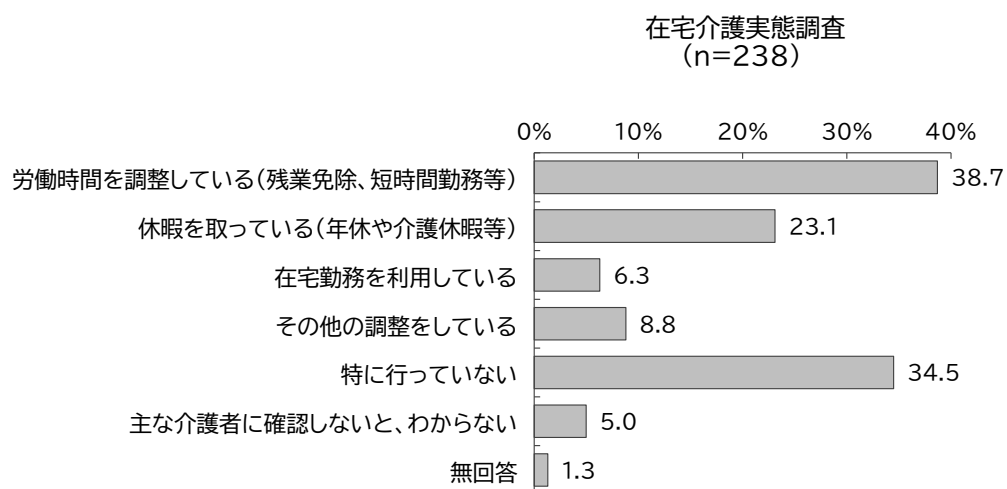
主な介護者の方の現在の勤務形態は、「働いていない」が48.0%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が29.1%、「パートタイムで働いている」が16.4%などとなっている。

B票 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

≪ B票 問2 ≫

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数回答可）

【単純集計】



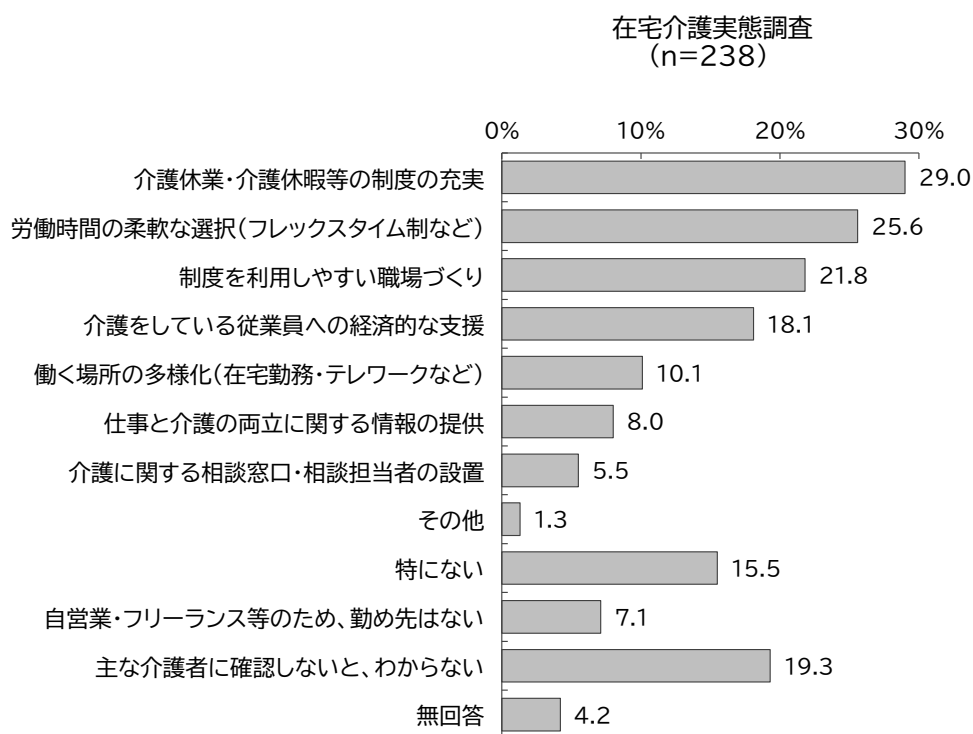
主な介護者の方が介護をするにあたって行っている働き方の調整等は、「労働時間を調整している（残業免除、短時間勤務等）」が38.7%と最も多く、次いで「特に行っていない」が34.5%、「休暇を取っている（年休や介護休暇等）」が23.1%などとなっている。

B票 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

《B票 問3》

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(複数回答可・3つまで)

【単純集計】



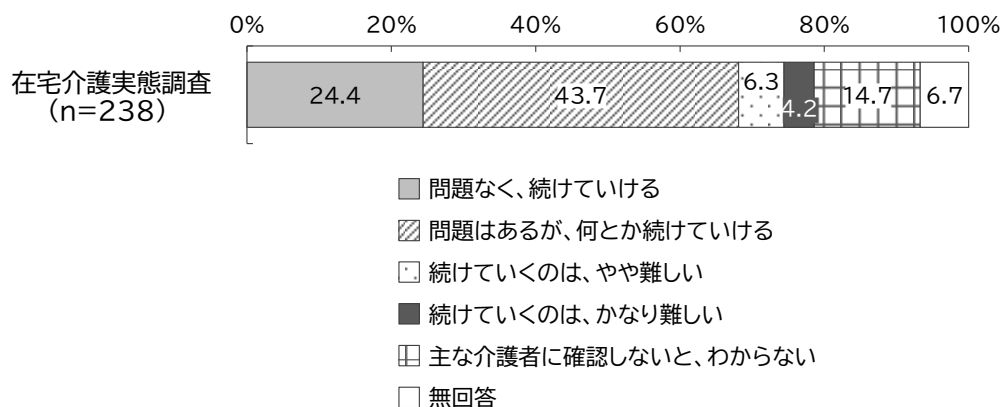
主な介護者の方が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.0%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が25.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が21.8%などとなっている。

B票 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

≪B票 問4≫

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（単数回答）

【単純集計】



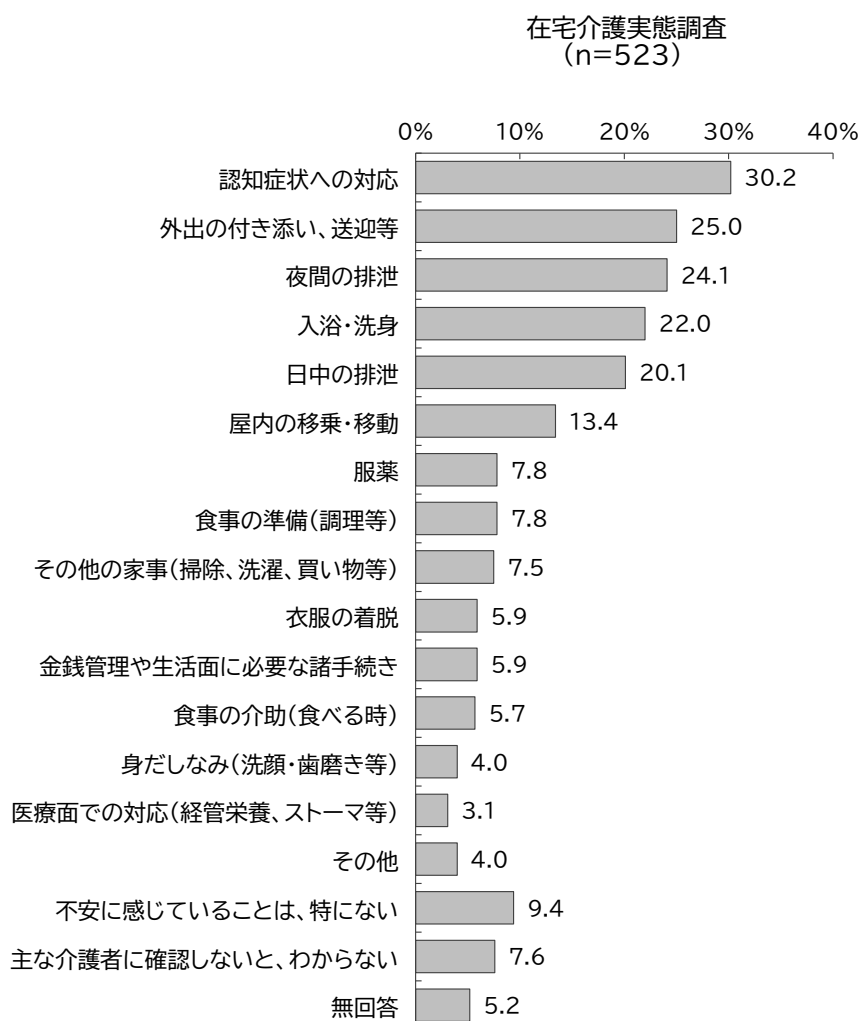
主な介護者の方の今後の仕事と介護の両立は、「問題はあるが、何とか続けていける」が43.7%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が24.4%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が14.7%などとなっている。また、『続けていける（問題なく、続けていける＋問題はあるが、何とか続けていける）』は68.1%、『難しい（続けていくのは、かなり難しい＋続けていくのは、やや難しい）』は10.5%となっている。

A票 問2で『ご家族やご親族からの介護がある』と回答した方のみ

≪B票 問5≫

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(複数回答可・3つまで)

【単純集計】



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が 30.2%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 25.0%、「夜間の排泄」が 24.1%などとなっている。

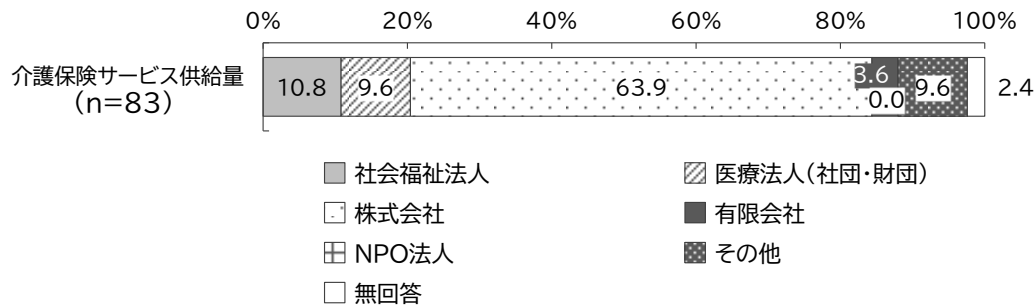
IV 調査の結果（介護保険サービス供給量調査）

1 法人の概要について

《介護保険サービス供給量：事前設問》

法人の種類（単数回答）

【単純集計】



法人の種類は、「株式会社」が63.9%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が10.8%、「医療法人（社団・財団）」、「その他」がそれぞれ9.6%などとなっている。

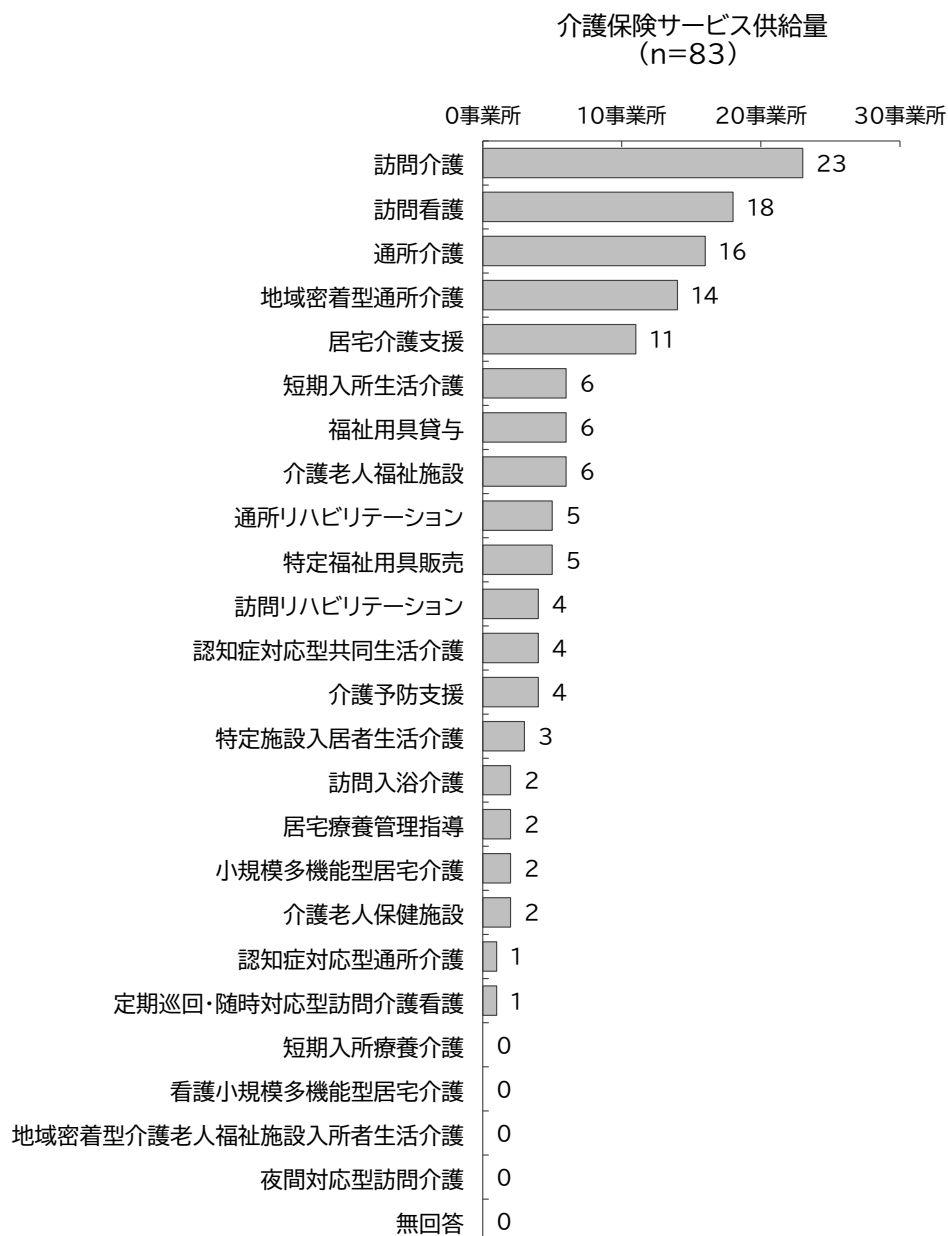
2 法人の事業展開について

《介護保険サービス供給量：問1》

サービスごとの職員数などについておたずねします。提供している介護保険サービスの番号に○をつけ、職員数（令和8年1月1日現在）と令和7年の1年間における採用者数、退職者数を教えてください。

（提供している介護保険サービス：複数回答可、その他は数値回答）

【単純集計：提供している介護保険サービス】



今回回答いただいた83法人において提供している介護保険サービスの種類は、「訪問介護」が23事業所と最も多く、次いで「訪問看護」が18事業所、「通所介護」が16事業所などとなっている。

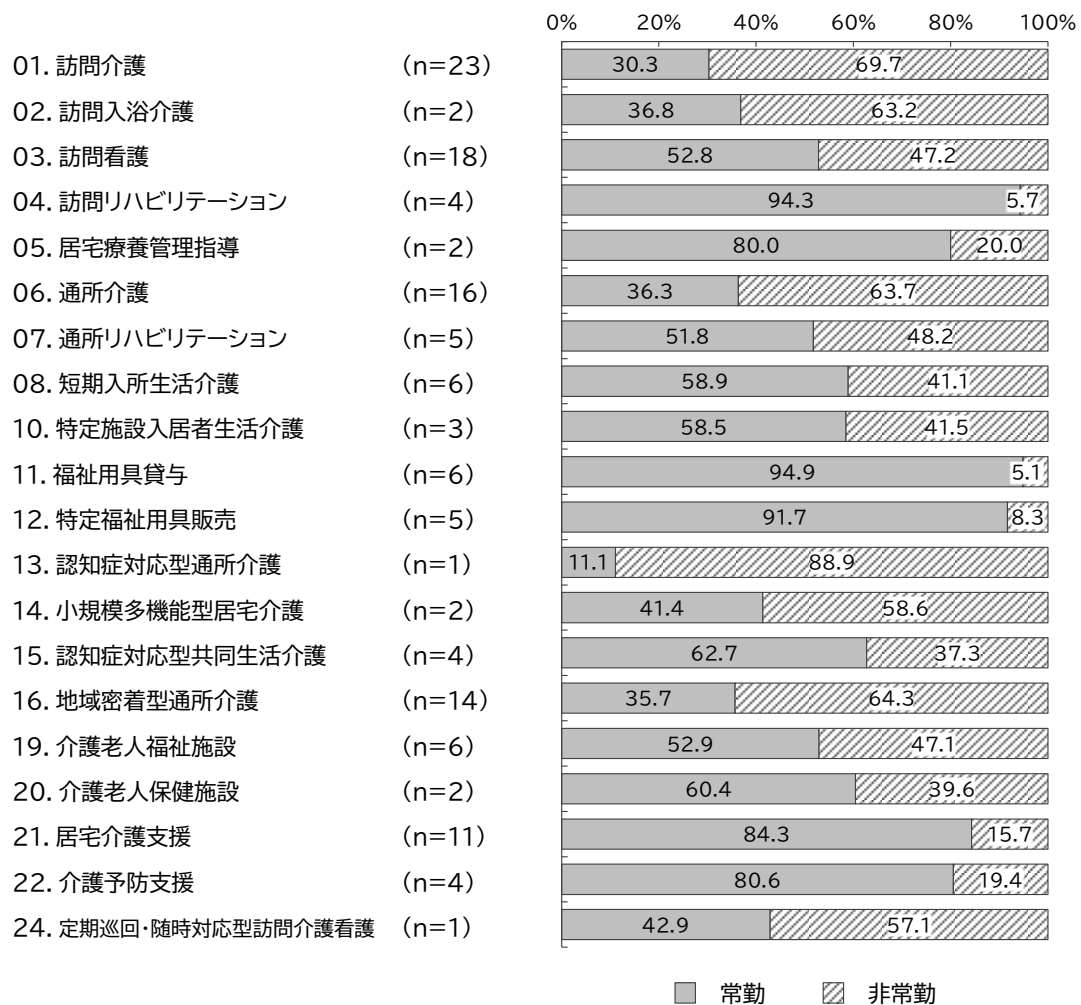
【単純集計：職員数】



職員数は、《19. 介護老人福祉施設》で 400 人を超えて多くなっている。

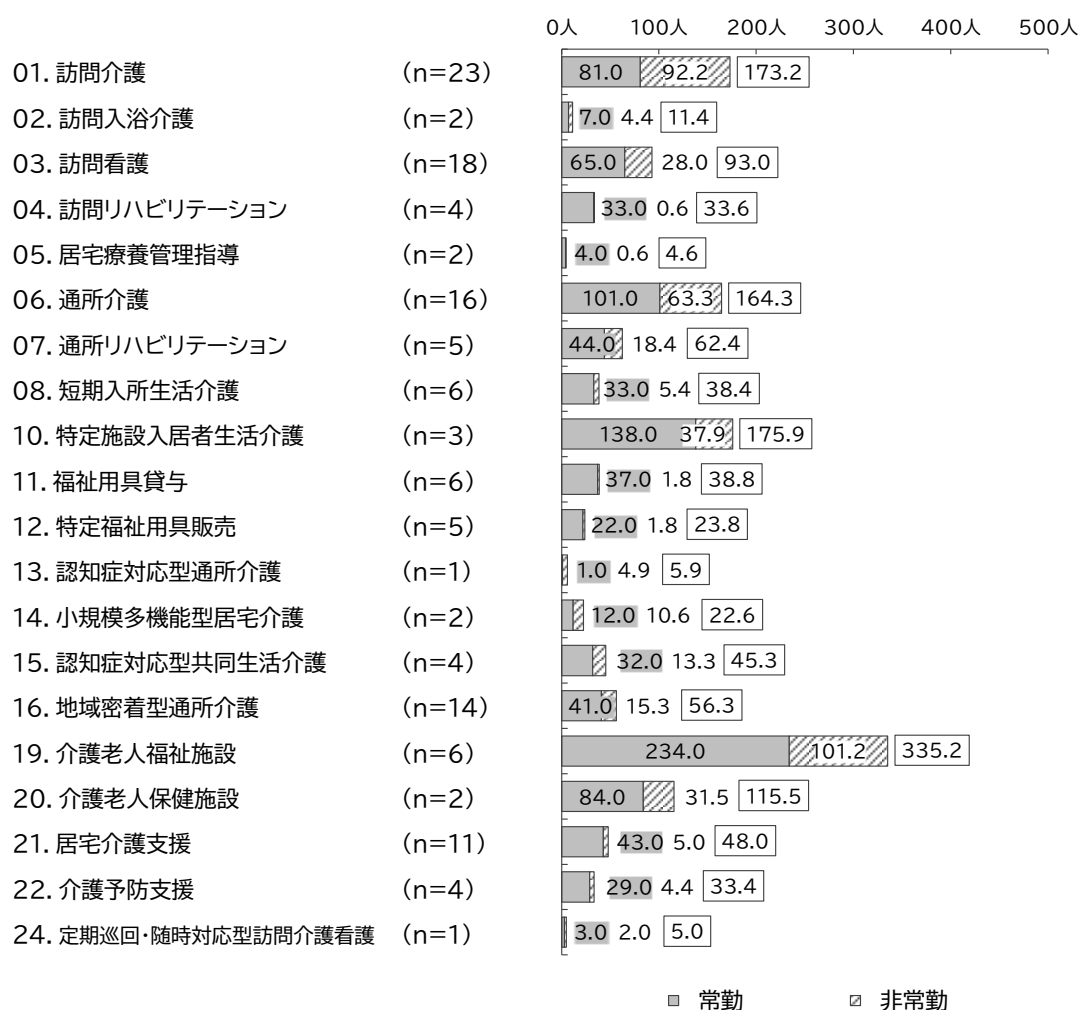
平均常勤職員数は、《10. 特定施設入居者生活介護》・《19. 介護老人福祉施設》・《20. 介護老人保健施設》といった施設系で 30 人を超えて多くなっている。また、中央値と平均値の差が大きい《10. 特定施設入居者生活介護》では法人規模に差があることがうかがえる。

【単純集計：常勤・非常勤の割合】



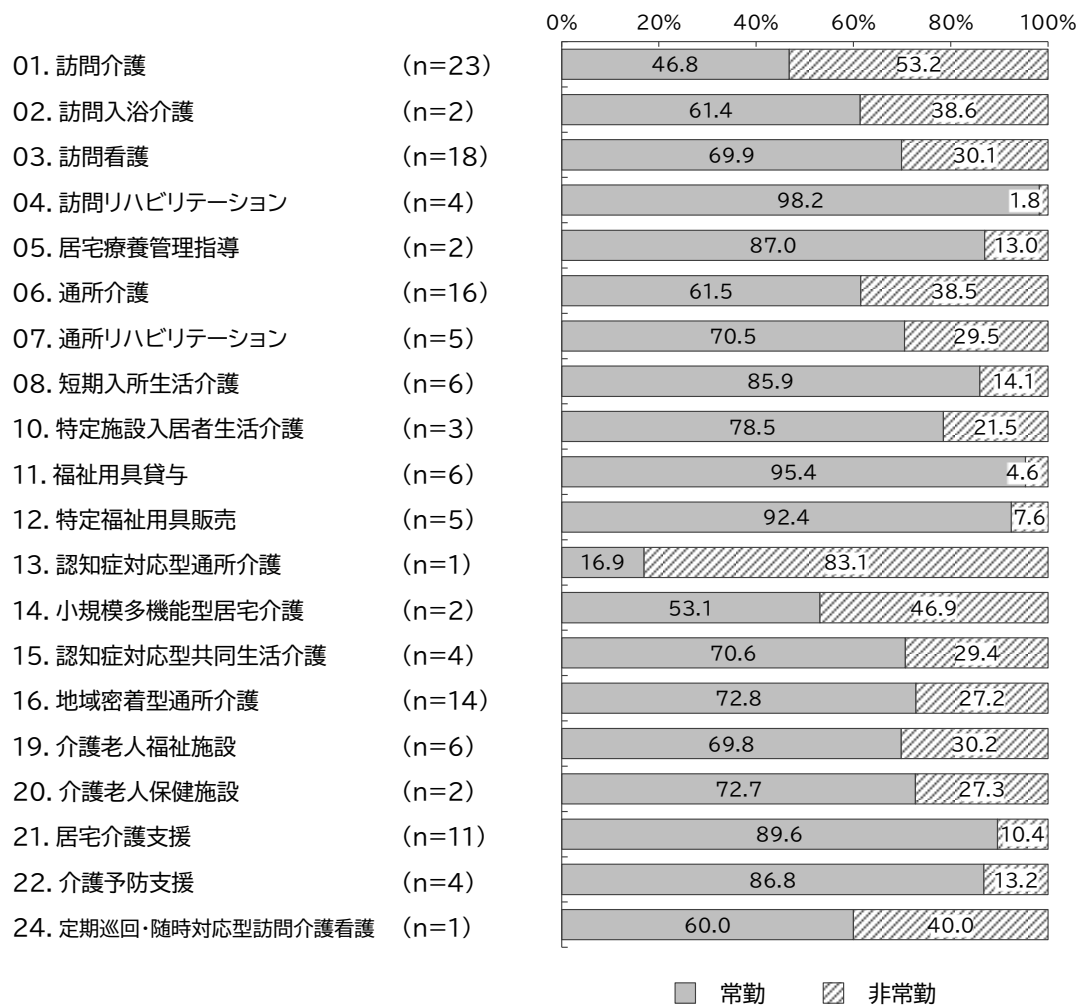
常勤・非常勤別の職員の割合は、《04. 訪問リハビリテーション》・《05. 居宅療養管理指導》・《11. 福祉用具貸与》・《12. 特定福祉用具販売》・《21. 居宅介護支援》・《22. 介護予防支援》で「常勤」が8割を超えて多くなっている。

【単純集計：常勤換算数】



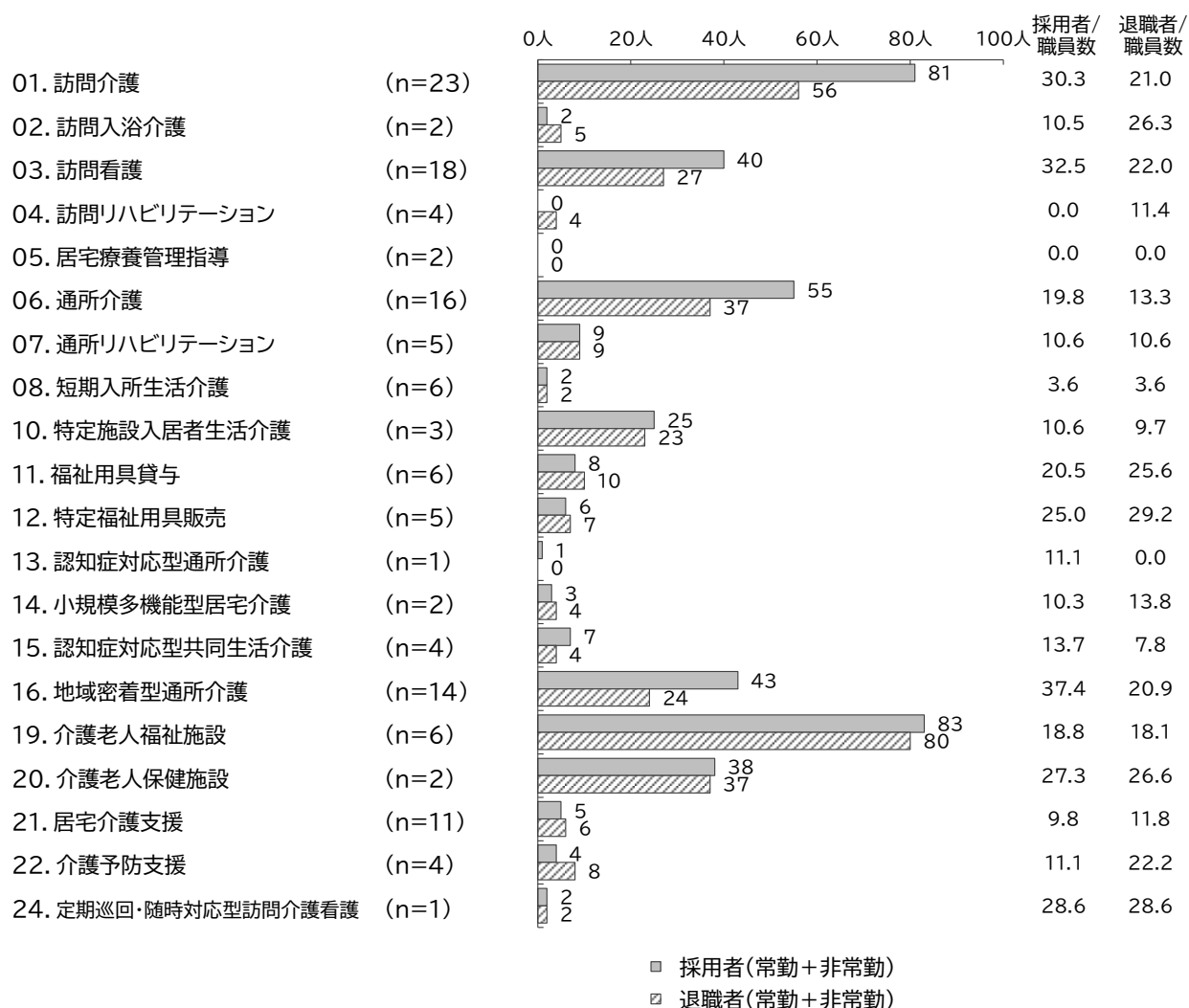
常勤換算数は、《19. 介護老人福祉施設》で 335.2 人と、唯一 300 人を超えている。

【単純集計：常勤・非常勤の割合】



常勤・非常勤別の常勤換算の割合は、《01. 訪問介護》・《13. 認知症対応型通所介護》で「非常勤」が「常勤」を上回っている。

【単純集計：採用者数・退職者数】



採用者数は、《01. 訪問介護》・《19. 介護老人福祉施設》で 80 人を超えて多くなっているのに対し、退職者数も多くなっている。また、《02. 訪問入浴介護》・《04. 訪問リハビリテーション》・《22. 介護予防支援》では、採用者数より退職者数の方が 3 人以上多くなっている。

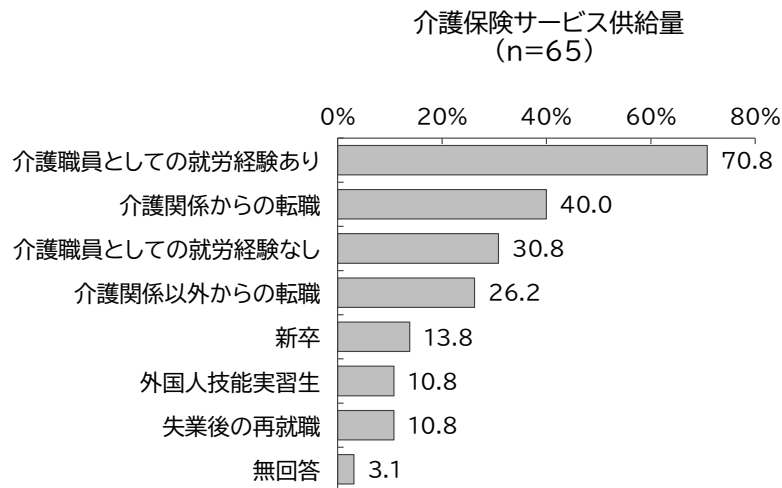
採用率（採用者／職員数）は、《01. 訪問介護》・《03. 訪問看護》・《16. 地域密着型通所介護》で 3 割を超えて多くなっている。また、退職率（退職者／職員数）は、《12. 特定福祉用具販売》で 29.2% と最も多くなっている。

問1で『令和7年の1年間において新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

≪介護保険サービス供給量：問1－1≫

採用した職員について教えてください。(複数回答可)

【単純集計】



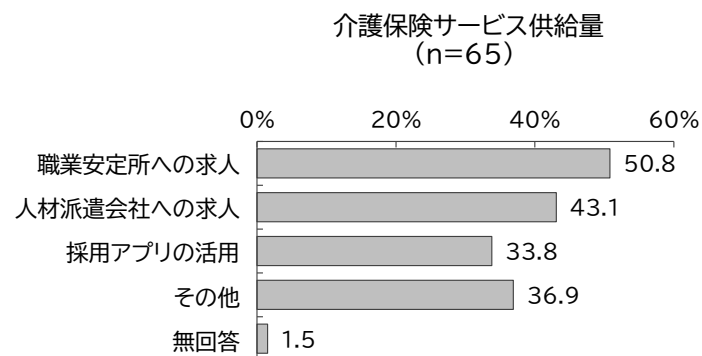
採用した職員は、「介護職員としての就労経験あり」が70.8%と最も多く、次いで「介護関係からの転職」が40.0%、「介護職員としての就労経験なし」が30.8%などとなっている。

問１で『令和７年の１年間に於いて新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

＜＜介護保険サービス供給量：問１－２＞＞

採用活動について教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



※その他の具体的な内容（抜粋）：紹介、インターネット（ホームページ・求人等）、学校 等

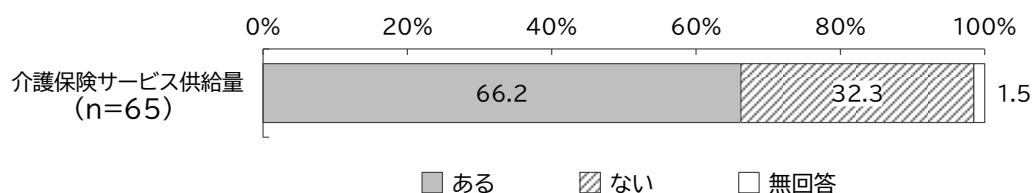
採用活動は、「職業安定所への求人」が50.8%と最も多く、次いで「人材派遣会社への求人」が43.1%、「その他」が36.9%などとなっている。

問１で『令和７年の１年間に於いて新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

＜＜介護保険サービス供給量：問１－３＞＞

外国人を採用する考えはありますか。（単数回答）

【単純集計】



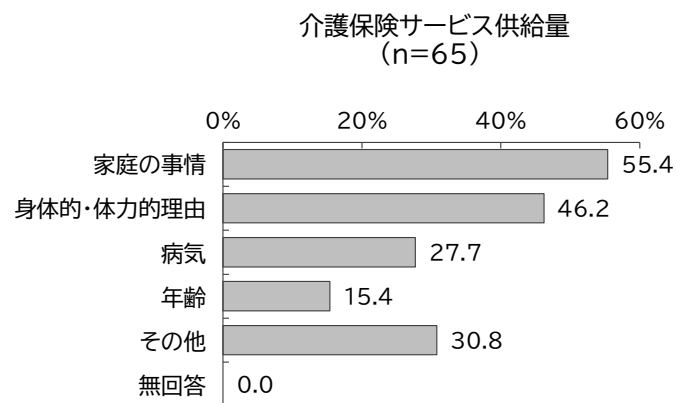
外国人を採用する考えは、「ある」が66.2%、「ない」が32.3%となっている。

問1で『令和7年の1年間において退職者がいる』と回答した事業所のみ

≪介護保険サービス供給量：問1－4≫

退職の理由について教えてください。(複数回答可)

【単純集計】



※その他の具体的な内容（抜粋）：転職、仕事内容、人間関係 等

退職の理由は、「家庭の事情」が55.4%と最も多く、次いで「身体的・体力的理由」が46.2%、「その他」が30.8%などとなっている。

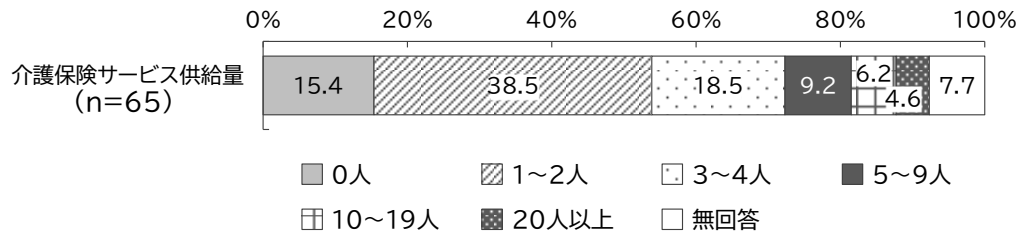
問1で『令和7年の1年間において退職者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1－5》

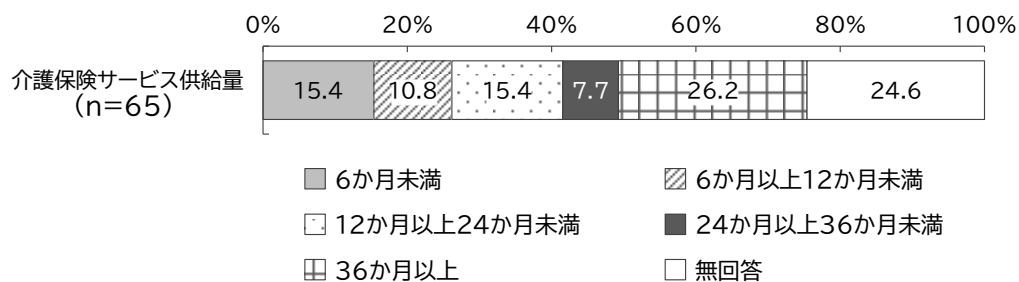
令和6年4月1日から令和7年3月31日までの退職者について、おたずねします。
上記期間中の退職者数と平均在籍期間を教えてください。（数値回答）

【単純集計】

退職者数



平均在籍期間



退職者数は、「1～2人」が38.5%と最も多く、次いで「3～4人」が18.5%、「0人」が15.4%などとなっている。

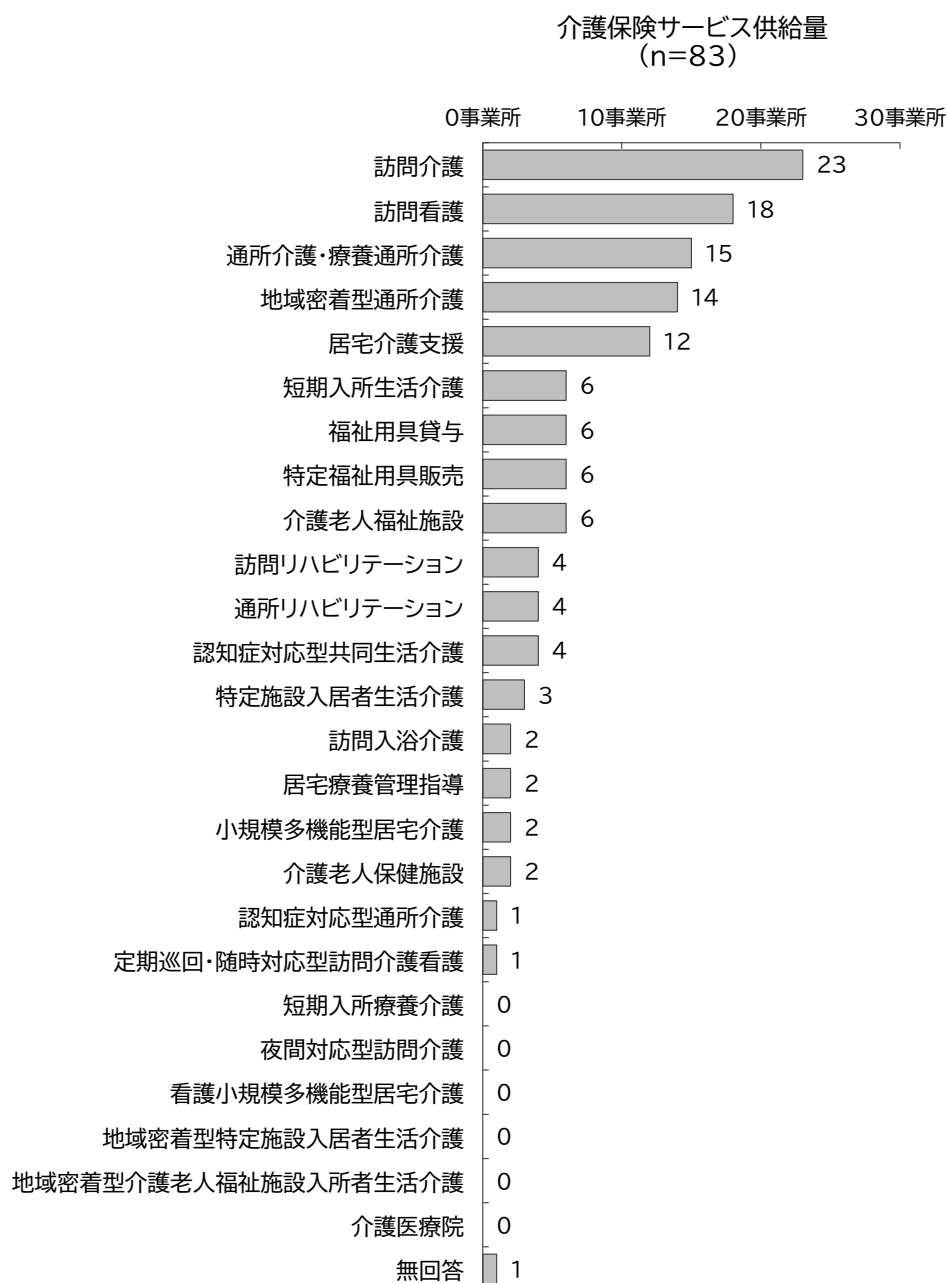
平均在籍期間は、「36か月以上」が26.2%と最も多く、次いで「6か月未満」、「12か月以上24か月未満」がそれぞれ15.4%、「6か月以上12か月未満」が10.8%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問2》

介護保険サービスについておたずねします。サービスごとの令和7年度の平均稼働率と収支見込及び今後の事業予定を教えてください。

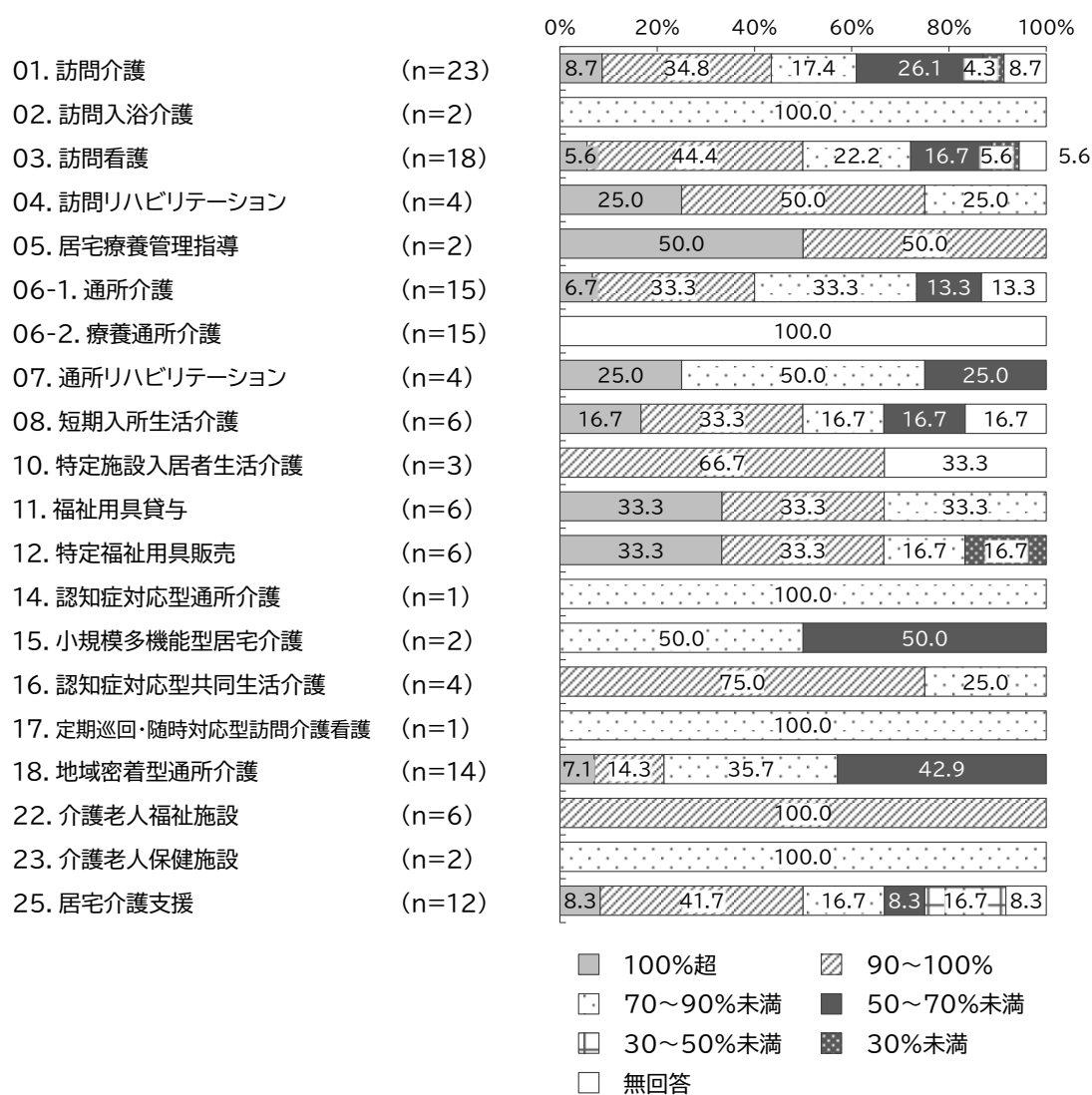
(実施している介護保険サービス：複数回答可、その他は単数回答)

【単純集計：実施している介護保険サービス+実施予定の介護保険サービス】



今回回答いただいた83法人において実施している介護保険サービス+実施予定の介護保険サービスの種類は、「訪問介護」が23事業所と最も多く、次いで「訪問看護」が18事業所、「通所介護・療養通所介護」が15事業所などとなっている。

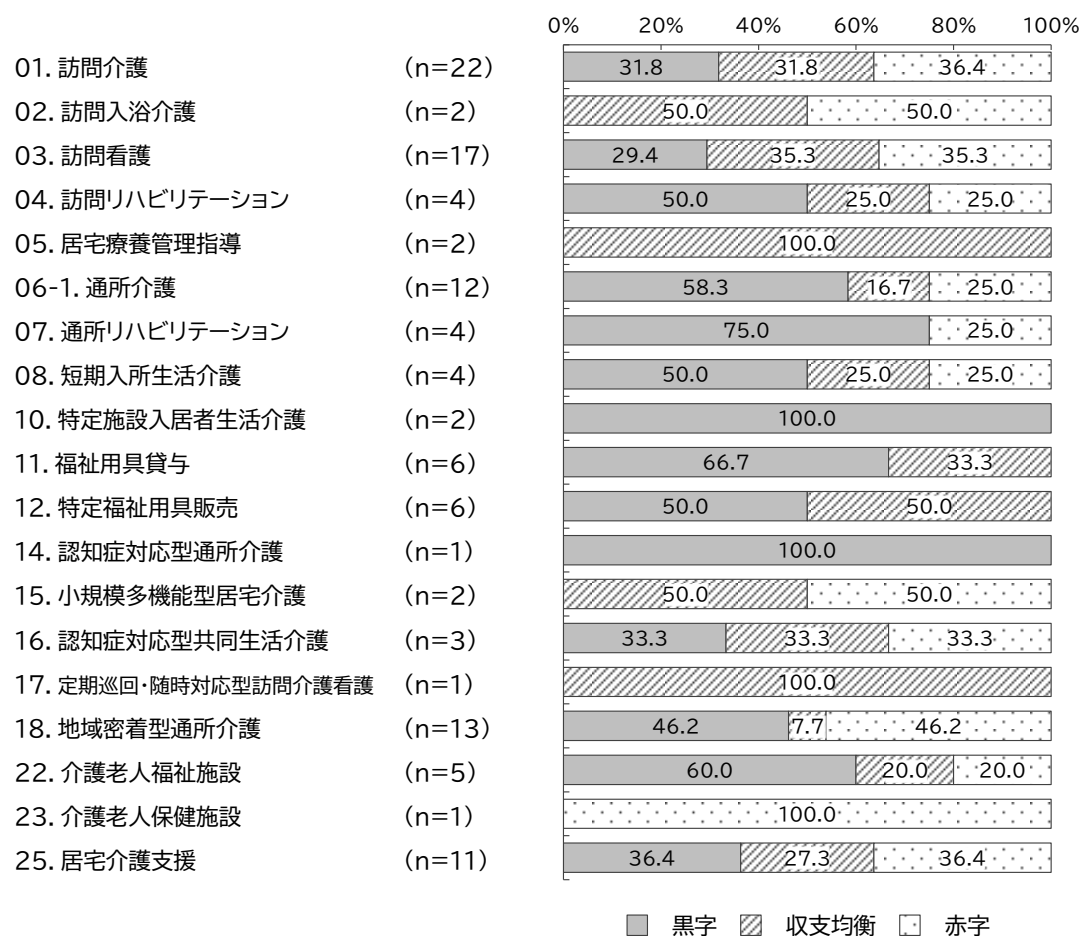
【単純集計：平均稼働率】



*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《04. 訪問リハビリテーション》・《16. 認知症対応型共同生活介護》・《22. 介護老人福祉施設》で『70%以上』が100.0%と多くなっている。

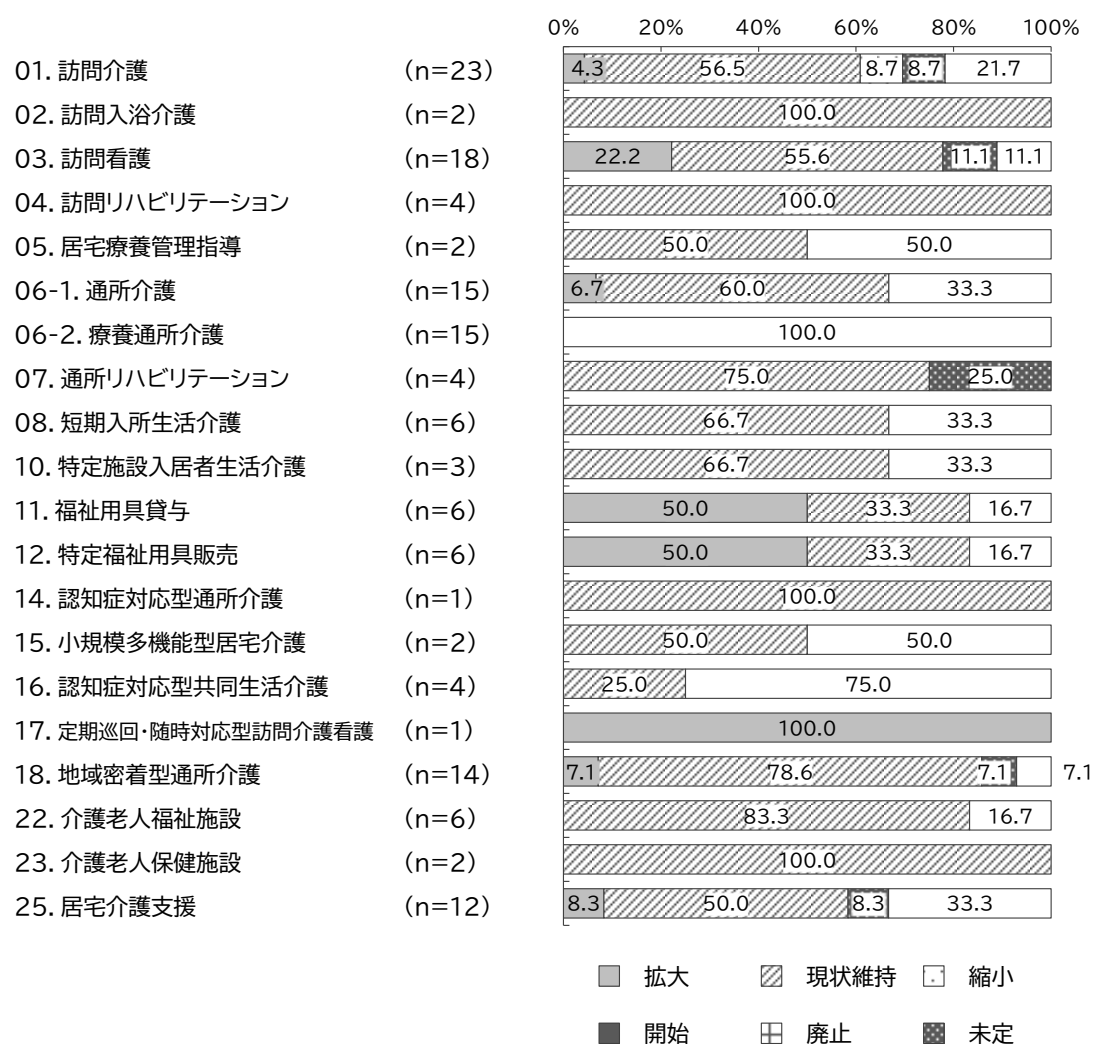
【単純集計：収支見込】



*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

「未定」、「無回答」を除いた収支見込は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《07. 通所リハビリテーション》で「黒字」が75.0%と多くなっている。また、《18. 地域密着型通所介護》では「赤字」が46.2%と多くなっている。

【単純集計：今後の事業予定】



*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

今後の事業予定は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、ほとんどのサービスで「現状維持」が半数を超えて最も多く、拡大や縮小等を予定していない。また、《11. 福祉用具貸与》・《12. 特定福祉用具販売》では「拡大」が半数で最も多くなっている。

【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	予定時期無回答
拡大	01. 訪問介護	(n=1)	-	-	-	-	1
	03. 訪問看護	(n=4)	2	-	-	-	2
	06-1. 通所介護	(n=1)	-	-	-	-	1
	11. 福祉用具貸与	(n=3)	2	-	-	-	1
	12. 特定福祉用具販売	(n=3)	2	-	-	-	1
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(n=1)	-	-	-	-	1
	18. 地域密着型通所介護	(n=1)	1	-	-	-	-
縮小	25. 居宅介護支援	(n=1)	1	-	-	-	-
	01. 訪問介護	(n=2)	-	-	-	-	2

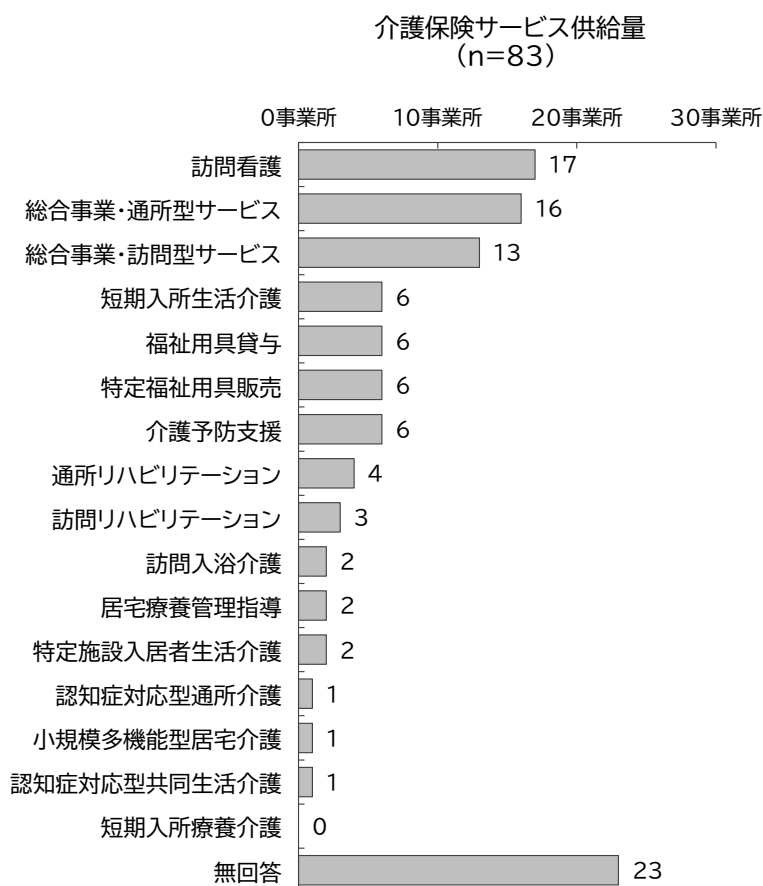
拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和9年」が3サービスで6事業所となっている。

《介護保険サービス供給量：問3》

介護予防サービスについておたずねします。サービスごとの令和7年度の平均稼働率と今後の事業予定を教えてください。

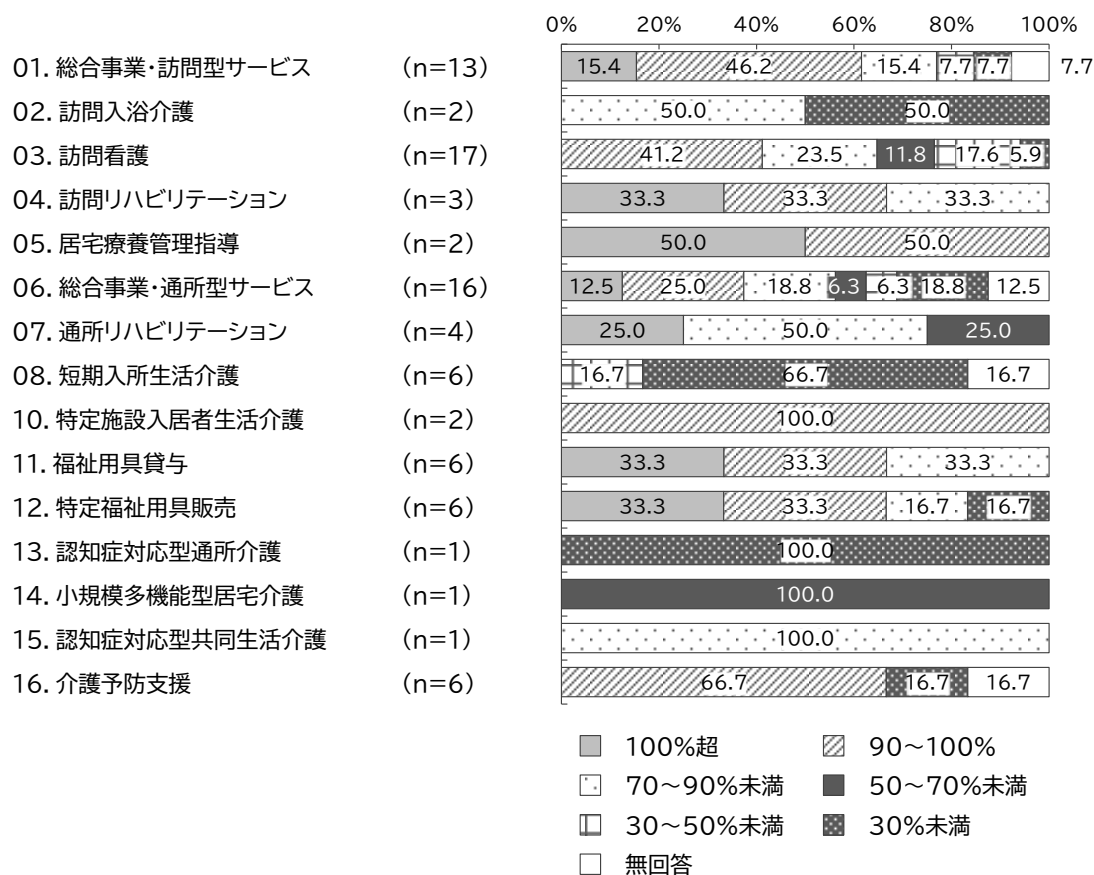
（実施している介護予防サービス：複数回答可、その他は単数回答）

【単純集計：実施している介護予防サービス＋実施予定の介護予防サービス】



今回回答いただいた 83 法人において実施している介護予防サービス・実施予定の介護予防サービスの種類は、「訪問看護」が 17 事業所と最も多く、次いで「総合事業・通所型サービス」が 16 事業所、「総合事業・訪問型サービス」が 13 事業所などとなっている。

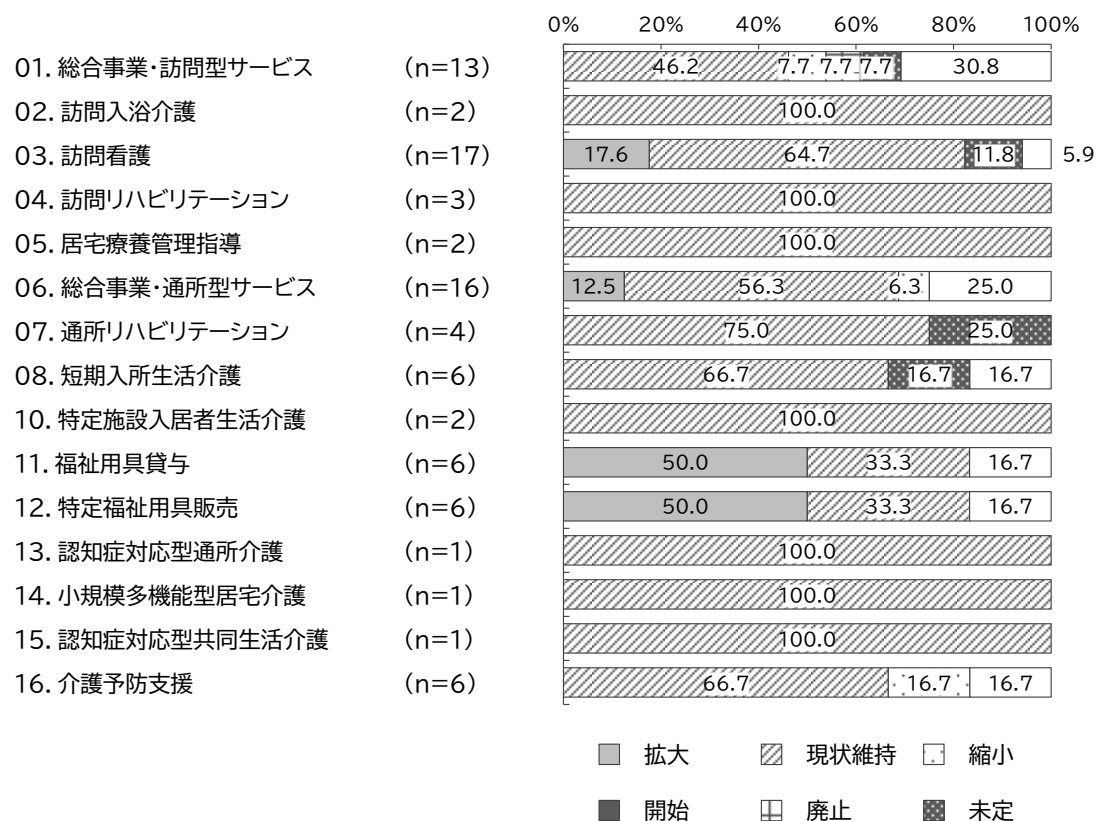
【単純集計：平均稼働率】



*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《04. 訪問リハビリテーション》・《11. 福祉用具貸与》で『70%以上』が99.9%と多くなっている。

【単純集計：今後の事業予定】



*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

今後の事業予定は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、ほとんどのサービスで「現状維持」が4割を超えて最も多く、拡大や縮小等を予定していない。また、《11. 福祉用具貸与》・《12. 特定福祉用具販売》では「拡大」が半数で最も多くなっている。

【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	予定時期無回答
拡大	03. 訪問看護	(n=3)	1	-	-	-	2
	06. 総合事業・通所型サービス	(n=2)	-	1	-	-	1
	11. 福祉用具貸与	(n=3)	2	-	-	-	1
	12. 特定福祉用具販売	(n=3)	2	-	-	-	1
縮小	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=1)	-	-	-	-	1
	06. 総合事業・通所型サービス	(n=1)	1	-	-	-	-
	16. 介護予防支援	(n=1)	-	-	-	-	1
廃止	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=1)	-	-	-	-	1

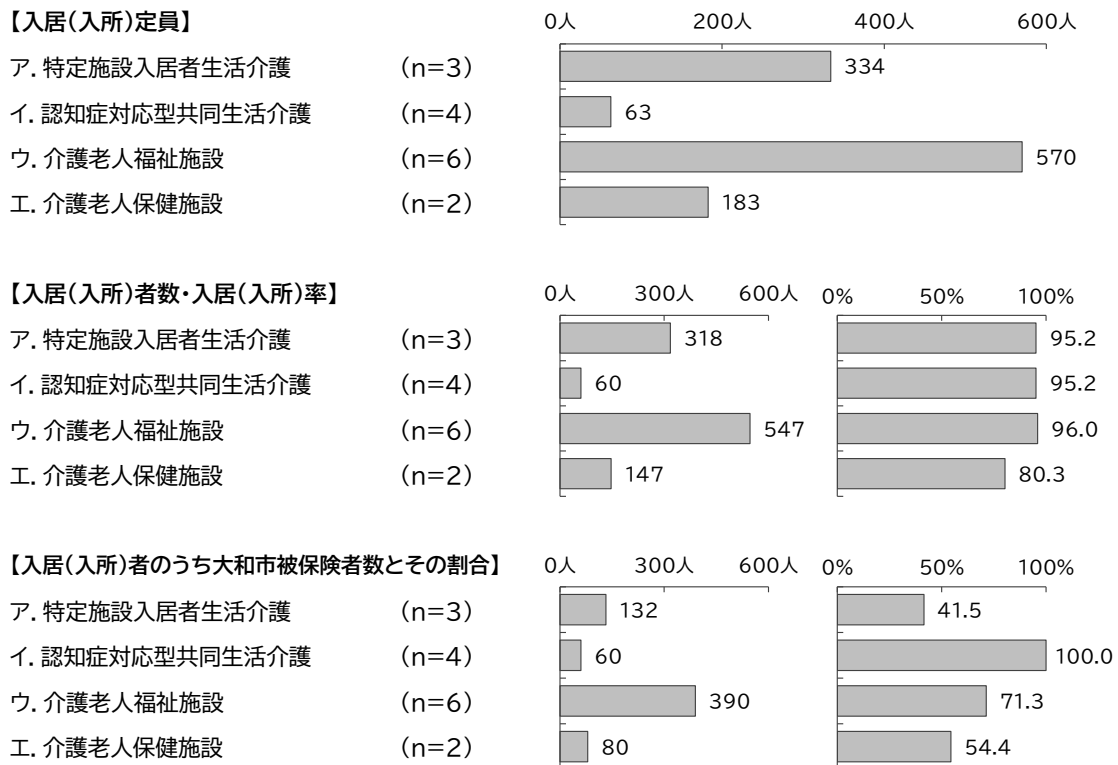
拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和9年」が3サービスで5事業所となっている。

特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設を運営している事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問4》

提供しているサービスの記号に○をつけ、入居（入所）定員と入居（入所）者数（令和8年1月1日現在）、そのうちの大和市の被保険者数を教えてください。また、喀痰吸引、胃瘻が必要な方、人工透析のための送迎が必要な方の人数を教えてください。なお、介護予防の指定も受けている場合は、合算してお答えください。（数値回答）

【単純集計】



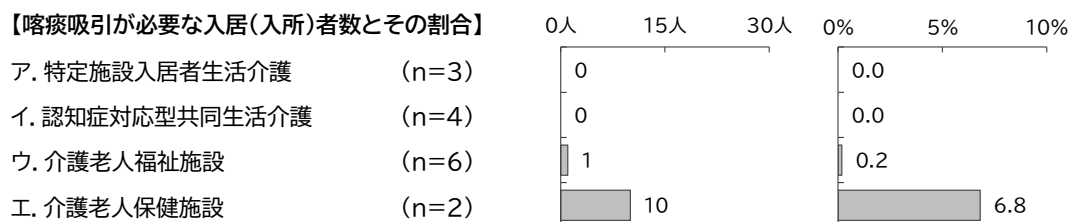
入所（入居）定員は、《ウ. 介護老人福祉施設》で 570 人と、突出して多くなっている。

入所（入居）率は、すべての施設において 8 割以上となっているものの、《エ. 介護老人保健施設》では 80.3% と他の施設よりやや低くなっている。

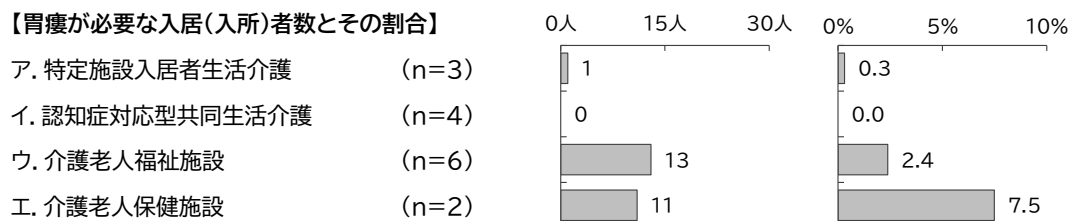
入所（入居）者のうち大和市被保険者の割合は、地域密着型サービスである《イ. 認知症対応型共同生活介護》で 100.0% と高く、《ア. 特定施設入居者生活介護》で 41.5% と低くなっている。

【単純集計】

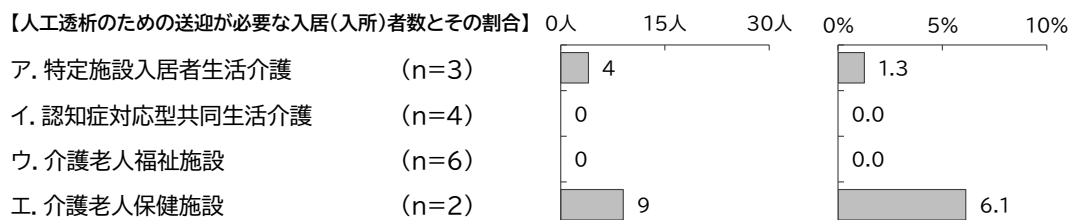
【喀痰吸引が必要な入居(入所)者数とその割合】



【胃瘻が必要な入居(入所)者数とその割合】



【人工透析のための送迎が必要な入居(入所)者数とその割合】



喀痰吸引が必要な入居（入所）者数は「エ. 介護老人保健施設」で10人と多く、入居（入所）者に対する割合は6.8%と高くなっている。

胃瘻が必要な入居（入所）者数は「ウ. 介護老人福祉施設」・「エ. 介護老人保健施設」で10人以上と多く、入居（入所）者に対する割合は「エ. 介護老人保健施設」で7.5%と高くなっている。

人工透析のために送迎が必要な入居（入所）者数は「エ. 介護老人保健施設」で9人と多く、入居（入所）者に対する割合は6.1%と高くなっている。

《介護保険サービス供給量：問5》

大和市において介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床（転換含む）の希望がある場合、その年月及び床数を教えてください。（数値回答）

【単純集計】

介護老人福祉施設	
令和8年頃 転換 15床以上 20床未満	1事業所

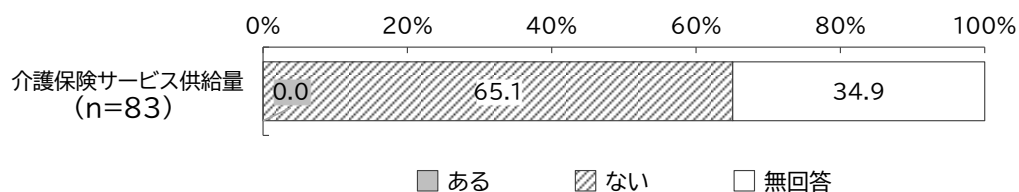
介護医療院	
（予定時期・種類・床数）無回答	1事業所

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床希望は、2事業所があると回答している。

《介護保険サービス供給量：問6》

定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討したことがありますか。
(単数回答)

【単純集計】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入の検討経験の有無は、「ない」が65.1%と突出している。

問6で「ある」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問6-1・問6-1-1》

検討した結果はどのようになりましたか。(単数回答)
(参入することにした場合) 参入時期はいつですか。(数値回答)

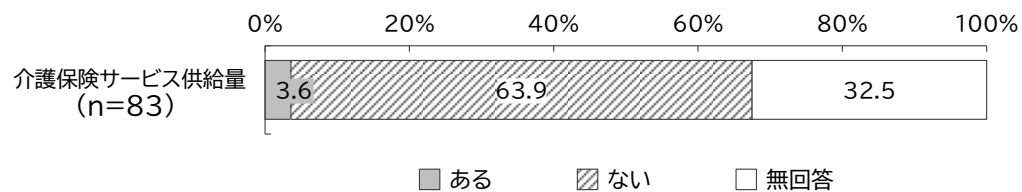
定期巡回・随時対応型訪問介護看護へ新規参入予定のある事業所はなかった。

《介護保険サービス供給量：問7・問7-1》

地域支援事業における介護予防事業のひとつである人員等を緩和した訪問型サービスAに参入意向がありますか。（単数回答）

（参入意向がある場合）参入予定時期はいつですか。（数値回答）

【単純集計】



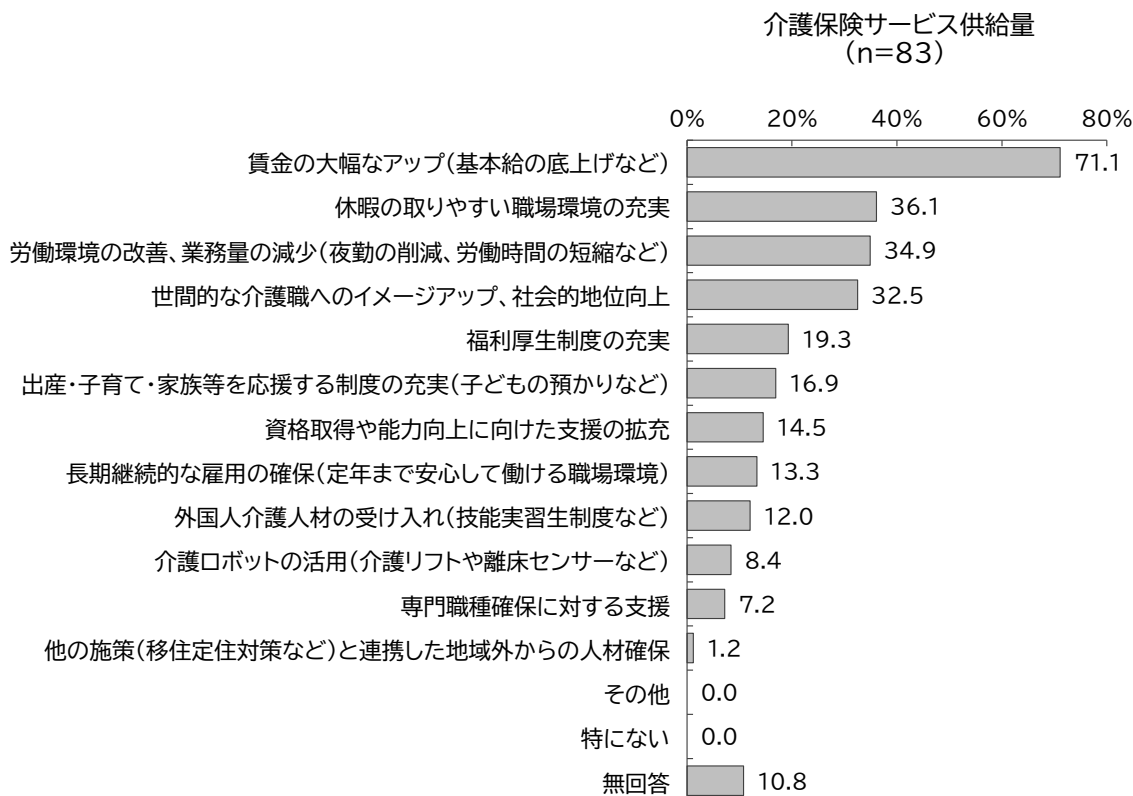
「ある」と回答した事業所数	3事業所
（予定時期）無回答	3事業所

訪問型サービスAへの参入意向は、「ない」が63.9%と突出している。

《介護保険サービス供給量：問8》

介護人材不足の打開策として、有効であるとお考えの取組を教えてください。
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



介護人材不足の打開策として有効だと考える取組は、「賃金の大幅なアップ（基本給の底上げなど）」が71.1%と最も多く、次いで「休暇の取りやすい職場環境の充実」が36.1%、「労働環境の改善、業務量の減少（夜勤の削減、労働時間の短縮など）」が34.9%などとなっている。

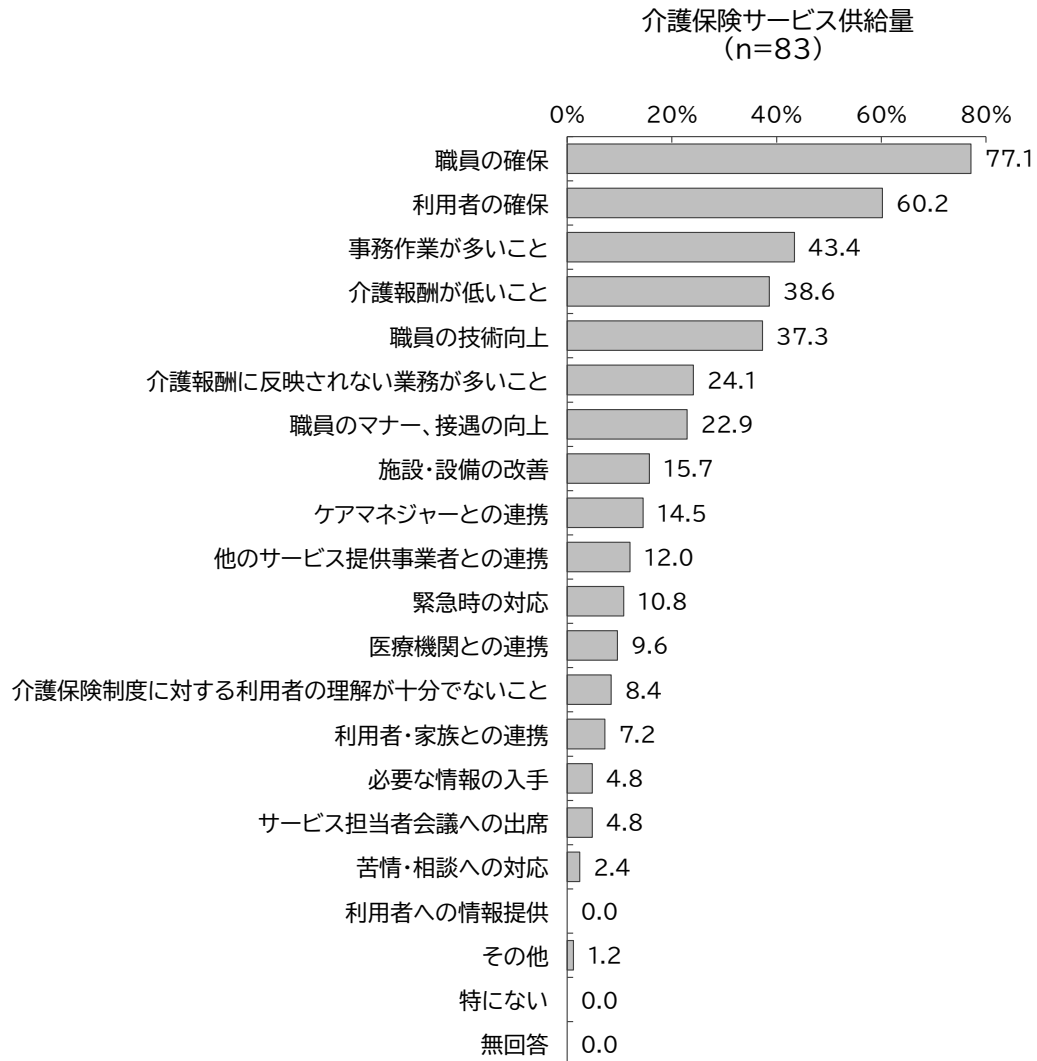
3 事業所の経営状況について

《介護保険サービス供給量：問 10》

法人が介護保険事業を運営していくうえでの課題を教えてください。

（複数回答可：5つまで）

【単純集計】

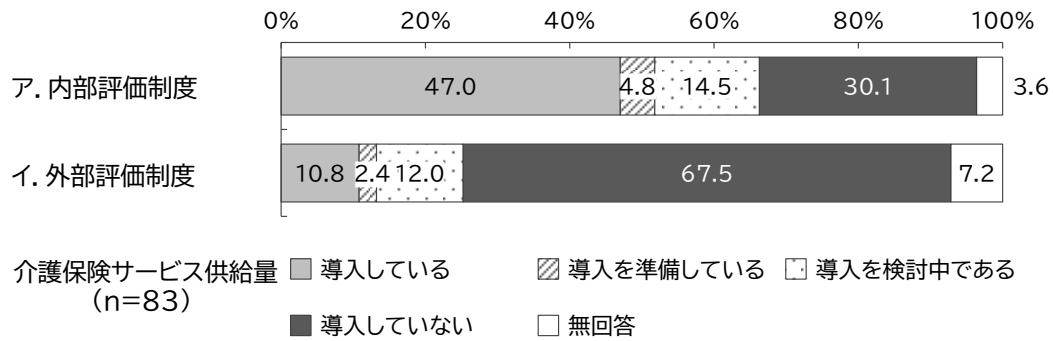


介護保険事業を運営していくうえでの課題は、「職員の確保」が77.1%と最も多く、次いで「利用者の確保」が60.2%、「事務作業が多いこと」が43.4%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問11》

事業所では、評価制度を導入していますか。(それぞれ単数回答)

【単純集計】

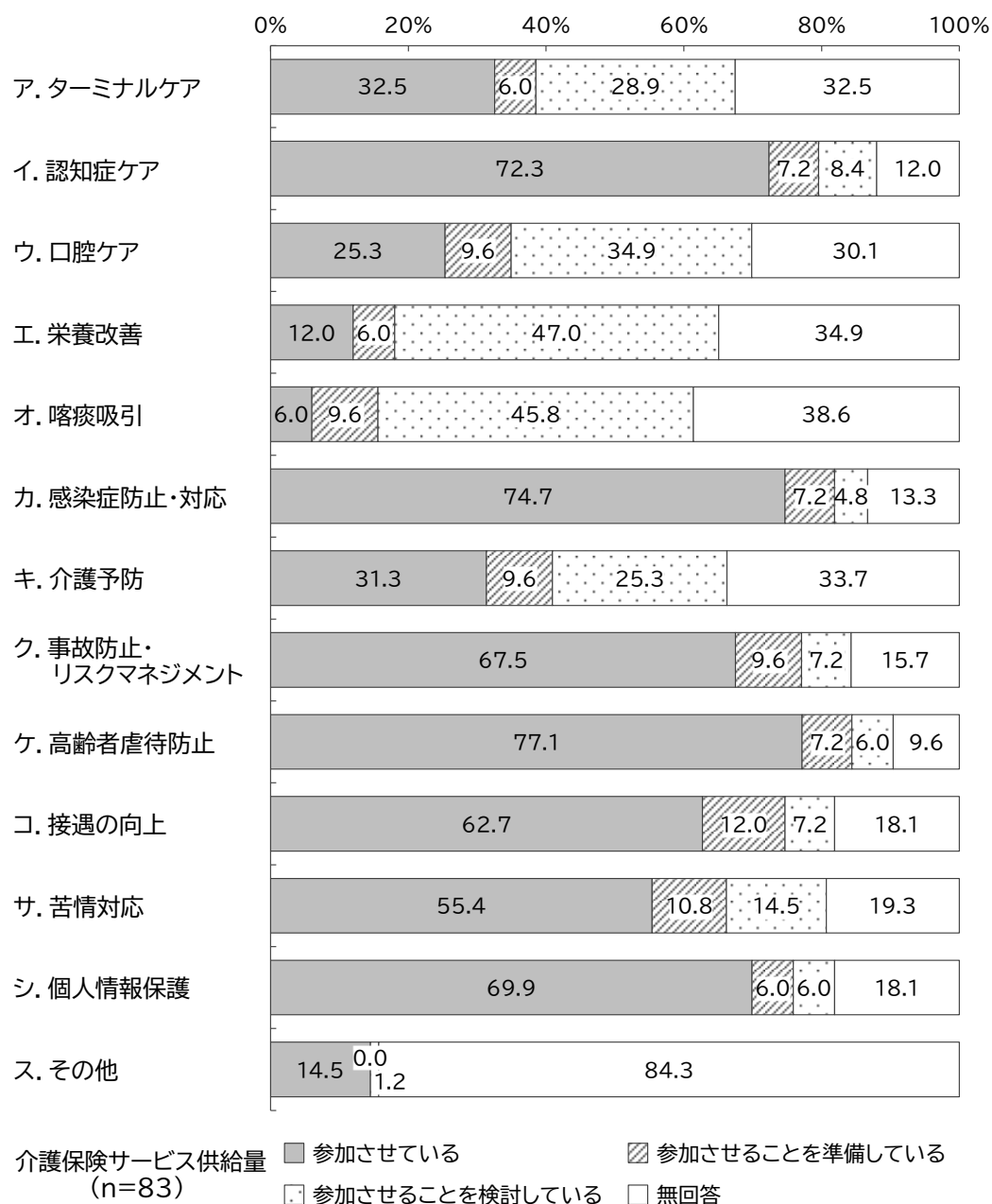


評価制度の導入状況は、《ア. 内部評価制度》で「導入している」が47.0%と最も多くなっているのに対し、《イ. 外部評価制度》では「導入していない」が67.5%と最も多くなっている。

《介護保険サービス供給量：問 12》

令和7年度における事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定を教えてください。
(それぞれ単数回答)

【単純集計】



令和7年度における事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定は、《イ. 認知症ケア》・《カ. 感染症防止・対応》・《ケ. 高齢者虐待防止》で「参加させている」が7割を超えて多くなっている。また、「参加させている」は、《オ. 喀痰吸引》で6.0%と最も少なくなっている。

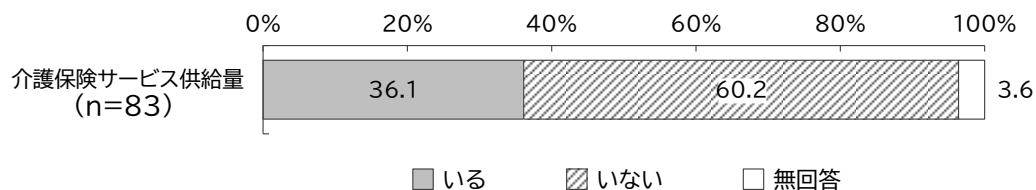
《介護保険サービス供給量：問13・問13-1》

事業所には喀痰吸引ができる介護職員はいますか。(単数回答)

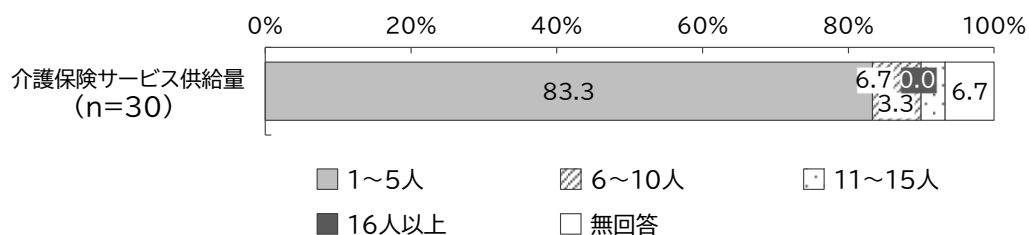
喀痰吸引ができる介護職員は何人いますか。(数値回答)

【単純集計】

喀痰吸引ができる介護職員の有無

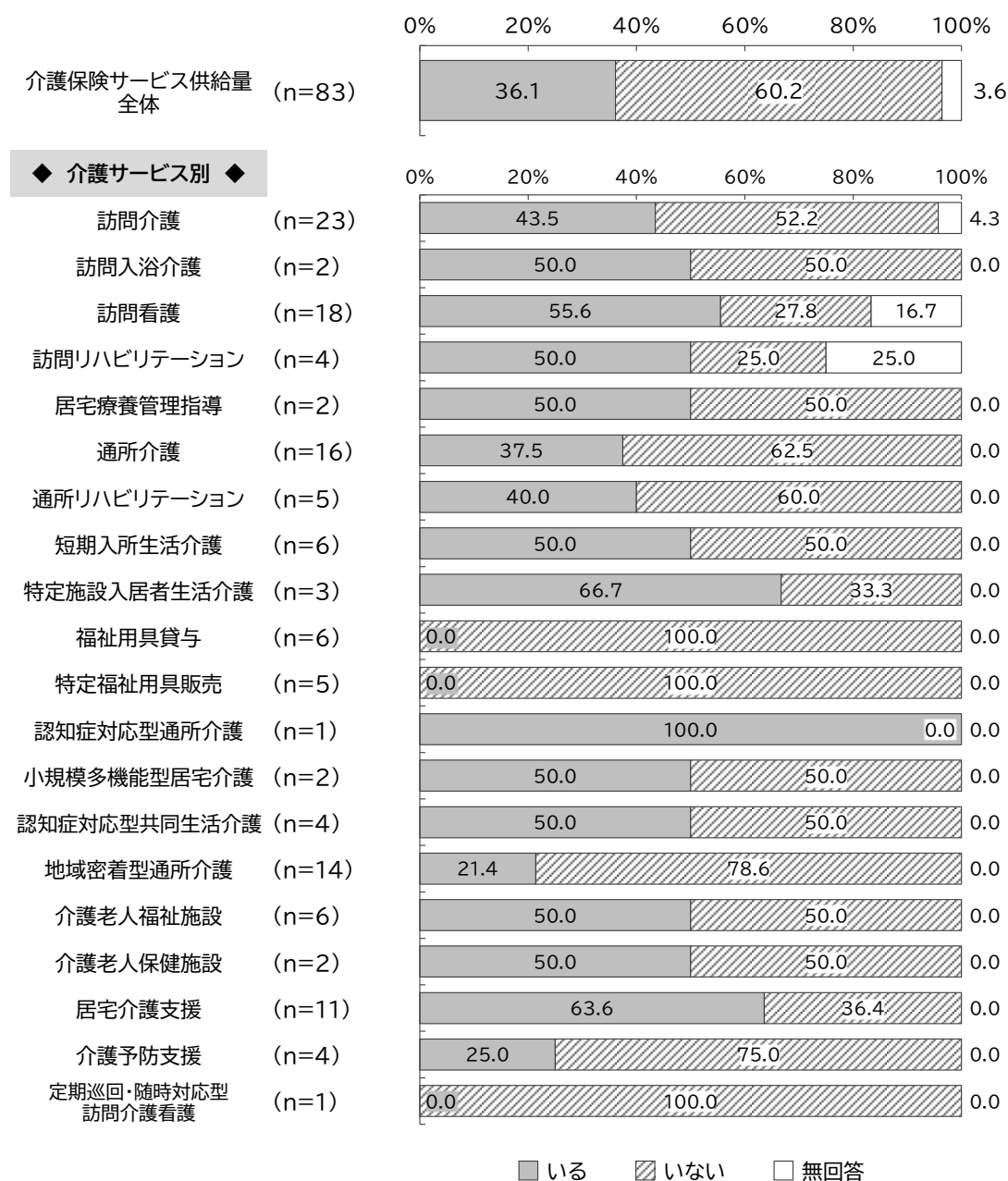


喀痰吸引ができる介護職員の人数



喀痰吸引ができる介護職員の有無は、「いる」が36.1%、「いない」が60.2%となっている。
 喀痰吸引ができる介護職員の人数は、「1～5人」が83.3%と突出している。

【クロス集計：提供している介護サービス別 喀痰吸引ができる介護職員の有無】



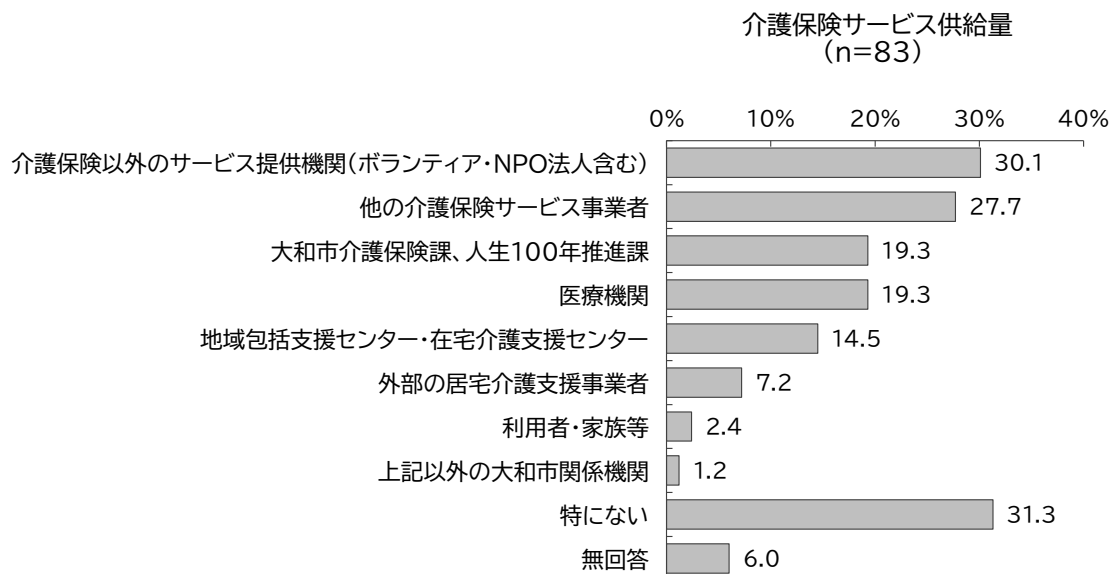
喀痰吸引ができる介護職員の有無を提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《特定施設入居者生活介護》・《居宅介護支援》で「いる」が6割を超えて他の介護サービスより多くなっている。

《介護保険サービス供給量：問14》

連携が不十分とお考えの外部の諸機関等を教えてください。

(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



連携が不十分と考える外部の諸機関等は、「特にない」が31.3%と最も多く、次いで「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO法人含む）」が30.1%、「他の介護保険サービス事業者」が27.7%などとなっている。

【クロス集計：提供している介護サービス別】

		調査数（人）	連携が不十分と考える外部の諸機関等（％）									
			法人機関（ボランティア・NPO含む）	介護保険以外のサービス提供者	大和市介護保険課、人生100年推進課	医療機関	地域包括支援センター・在宅介護支援センター	外部の居宅介護支援事業者	利用者・家族等	左記以外の大和市関係機関	特にない	無回答
全体		83	30.1	27.7	19.3	19.3	14.5	7.2	2.4	1.2	31.3	6.0
提供している介護サービス別	訪問介護	23	26.1	17.4	21.7	17.4	4.3	8.7	0.0	0.0	43.5	4.3
	訪問入浴介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	訪問看護	18	27.8	27.8	16.7	16.7	22.2	5.6	0.0	5.6	22.2	22.2
	訪問リハビリテーション	4	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	居宅療養管理指導	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	通所介護	16	43.8	25.0	18.8	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
	通所リハビリテーション	5	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	短期入所生活介護	6	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	3	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	福祉用具貸与	6	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	特定福祉用具販売	5	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	認知症対応型通所介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	小規模多機能型居宅介護	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型通所介護	14	21.4	57.1	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	介護老人福祉施設	6	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0
	介護老人保健施設	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	居宅介護支援	11	36.4	0.0	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0
	介護予防支援	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

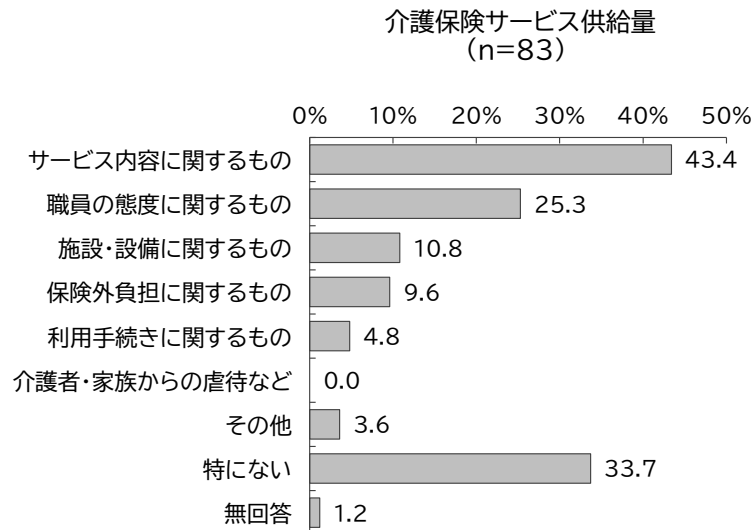
※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）、サンプル数が1桁の項目については識別していない

提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、「通所介護」で「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO法人含む）」、「特定施設入居者生活介護」で「医療機関」、「地域包括支援センター・在宅介護支援センター」、「地域密着型通所介護」で「他の介護保険サービス事業者」が多く、提供している介護サービスによって連携が不足していると考えている機関が異なることがうかがえる。

《介護保険サービス供給量：問15》

利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



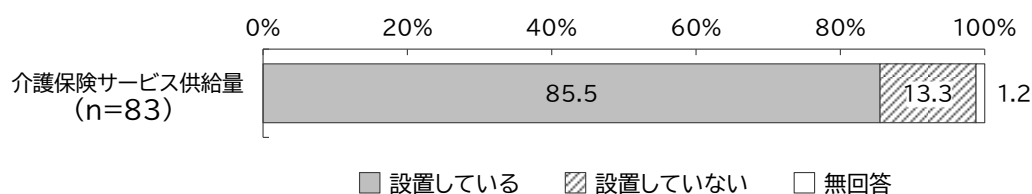
利用者・契約者やその家族からの苦情や相談で多いものは、「サービス内容に関するもの」が43.4%と最も多く、次いで「特にない」が33.7%、「職員の態度に関するもの」が25.3%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問 16》

事業所では、苦情や相談の解決のために特別な機関等を設置していますか。

（単数回答）

【単純集計】



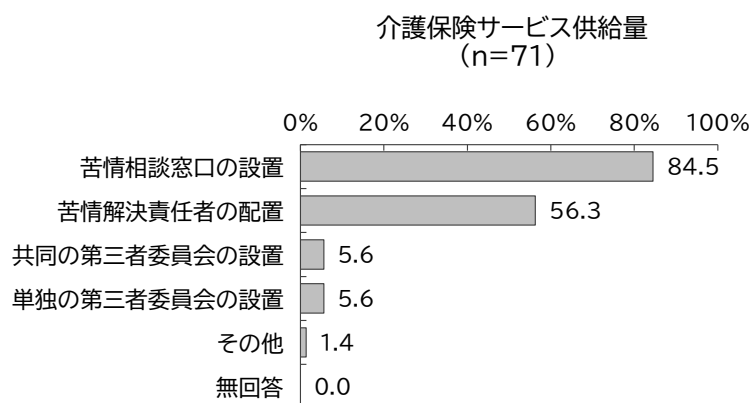
苦情や相談の解決のための特別な機関等の設置状況は、「設置している」が 85.5%、「設置していない」が 13.3%となっている。

問 16 で「設置している」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 16－1》

特別機関はどのようなものですか。（複数回答可）

【単純集計】



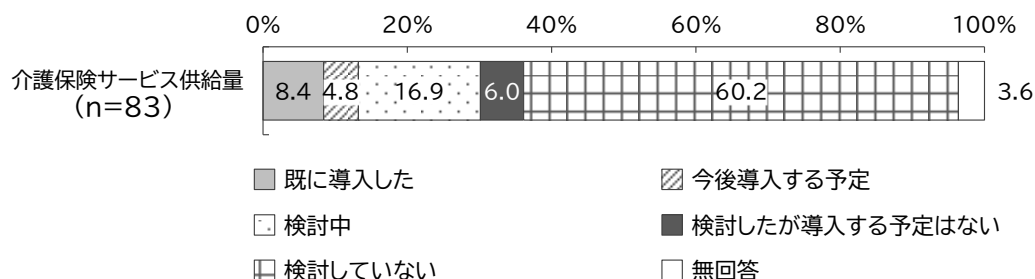
苦情や相談の解決のための特別機関は、「苦情相談窓口の設置」が 84.5%と最も多く、次いで「苦情解決責任者の配置」が 56.3%、「共同の第三者委員会の設置」、「単独の第三者委員会の設置」がそれぞれ 5.6%などとなっている。

4 介護ロボット・ICTの導入について

《介護保険サービス供給量：問17》

介護ロボットの導入を検討したことがありますか。(単数回答)

【単純集計】



【クロス集計：提供している介護サービス別】

		調査数（人）	介護ロボットの導入を検討した経験（％）					
			既に導入した	今後導入する予定	検討中	検討したが導入する予定はない	検討していない	無回答
全体		83	8.4	4.8	16.9	6.0	60.2	3.6
提供している介護サービス別	訪問介護	23	0.0	8.7	26.1	4.3	60.9	0.0
	訪問入浴介護	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	訪問看護	18	0.0	5.6	22.2	5.6	61.1	5.6
	訪問リハビリテーション	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	居宅療養管理指導	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	通所介護	16	18.8	6.3	18.8	0.0	56.3	0.0
	通所リハビリテーション	5	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	短期入所生活介護	6	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	特定施設入居者生活介護	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	福祉用具貸与	6	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7
	特定福祉用具販売	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	認知症対応型通所介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小規模多機能型居宅介護	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	地域密着型通所介護	14	0.0	7.1	0.0	7.1	85.7	0.0
	介護老人福祉施設	6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	介護老人保健施設	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	11	27.3	9.1	18.2	0.0	45.5	0.0
	介護予防支援	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

介護ロボットの導入の検討経験の有無は、「検討していない」が60.2%と最も多く、次いで「検討中」が16.9%、「既に導入した」が8.4%などとなっている。

提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《短期入所生活介護》・《認知症対応型共同生活介護》・《介護老人福祉施設》・《介護予防支援》で「既に導入した」が半数を超えて他の介護サービスより多くなっている。

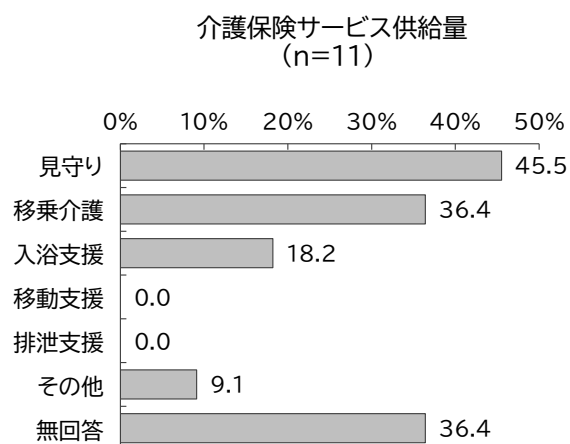
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）サンプル数が1桁の項目については識別していない

問 17 で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-1》

導入、または導入予定の介護ロボットの用途を教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



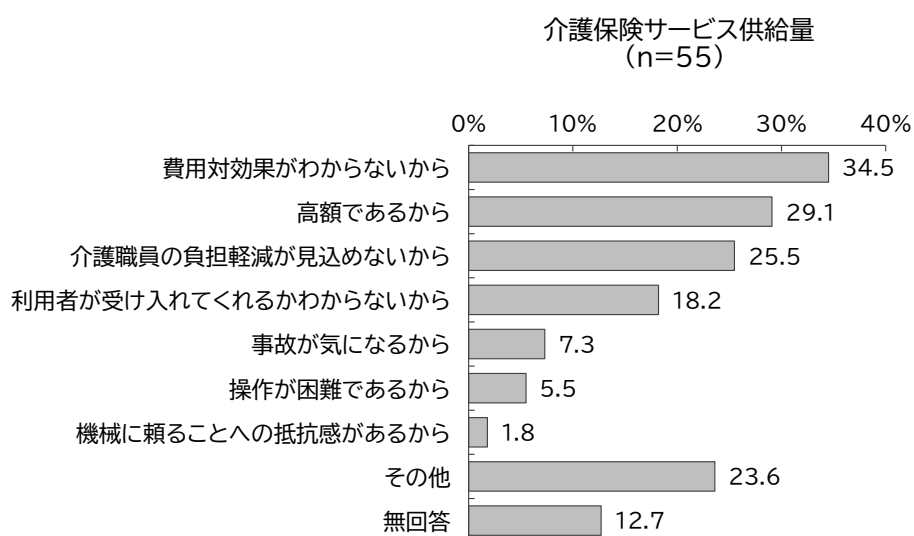
導入、または導入予定の介護ロボットの用途は、「見守り」が 45.5% と最も多く、次いで「移乗介護」が 36.4%、「入浴支援」が 18.2% などとなっている。

問 17 で「検討したが導入する予定はない」または「検討していない」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-3》

介護ロボットを導入しない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



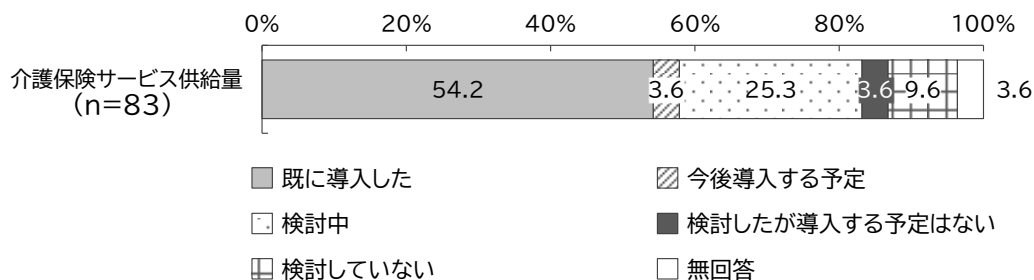
※その他の具体的な内容（抜粋）：必要ない、活用できるものがない 等

介護ロボットを導入しない理由は、「費用対効果がわからないから」が 34.5% と最も多く、次いで「高額であるから」が 29.1%、「介護職員の負担軽減が見込めないから」が 25.5% などとなっている。

≪介護保険サービス供給量：問18≫

ICTの導入を検討したことがありますか。(単数回答)

【単純集計】



【クロス集計：提供している介護サービス別】

	調査数(人)	ICTの導入を検討した経験 (%)					
		既に導入した	今後導入する予定	検討中	検討したが導入する予定はない	検討していない	無回答
全体	83	54.2	3.6	25.3	3.6	9.6	3.6
提供している介護サービス別	訪問介護	23	69.6	0.0	26.1	4.3	0.0
	訪問入浴介護	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	訪問看護	18	55.6	5.6	22.2	0.0	11.1
	訪問リハビリテーション	4	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
	居宅療養管理指導	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	通所介護	16	56.3	6.3	37.5	0.0	0.0
	通所リハビリテーション	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	短期入所生活介護	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福祉用具貸与	6	33.3	0.0	50.0	0.0	16.7
	特定福祉用具販売	5	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0
	認知症対応型通所介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小規模多機能型居宅介護	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	地域密着型通所介護	14	7.1	7.1	35.7	7.1	28.6
	介護老人福祉施設	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護老人保健施設	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	11	63.6	0.0	36.4	0.0	0.0
	介護予防支援	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

ICTの導入の検討経験の有無は、「既に導入した」が54.2%と最も多く、次いで「検討中」が25.3%、「検討していない」が9.6%などとなっている。

提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、≪短期入所生活介護≫・≪特定施設入居者生活介護≫・≪介護老人福祉施設≫で「既に導入した」が10割で他の介護サービスより多くなっている。

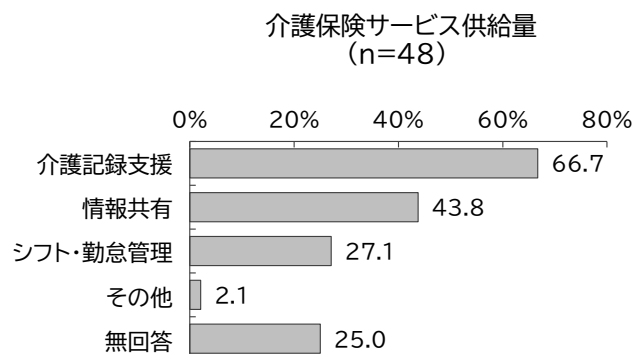
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）サンプル数が1桁の項目については識別していない

問 18 で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した事業所のみ

＜介護保険サービス供給量：問 18－１＞

導入、または導入予定のＩＣＴの用途を教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



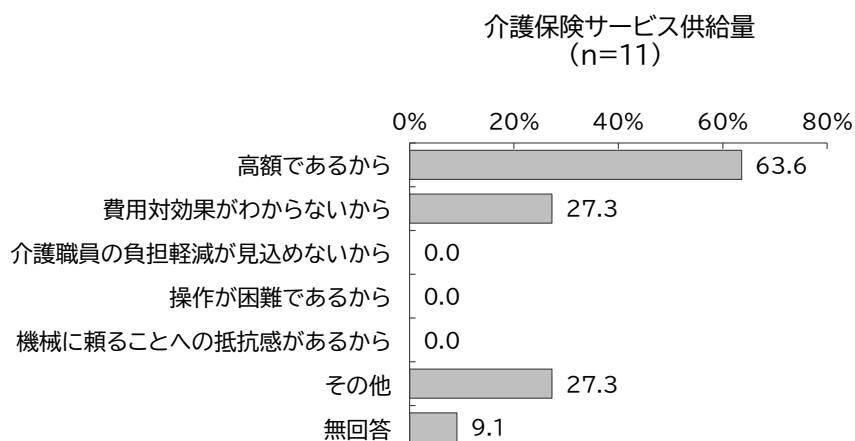
導入、または導入予定のＩＣＴの用途は、「介護記録支援」が66.7%と最も多く、次いで「情報共有」が43.8%、「シフト・勤怠管理」が27.1%などとなっている。

問 18 で「検討したが導入する予定はない」または「検討していない」と回答した事業所のみ

＜介護保険サービス供給量：問 18－３＞

ＩＣＴを導入しない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



※その他の具体的な内容（抜粋）：必要ない、活用できるものがない 等

ＩＣＴを導入しない理由は、「高額であるから」が63.6%と最も多く、次いで「費用対効果がわからないから」、「その他」がそれぞれ27.3%となっている。

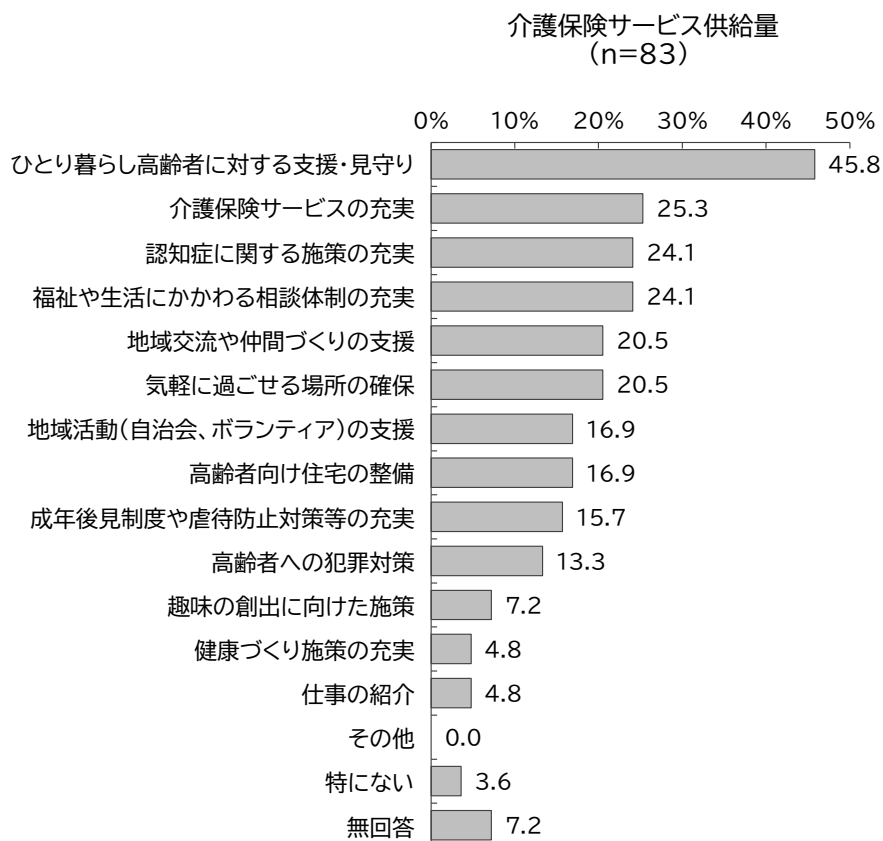
5 高齢者施策等について

《介護保険サービス供給量：問19》

大和市で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等を教えてください。

(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



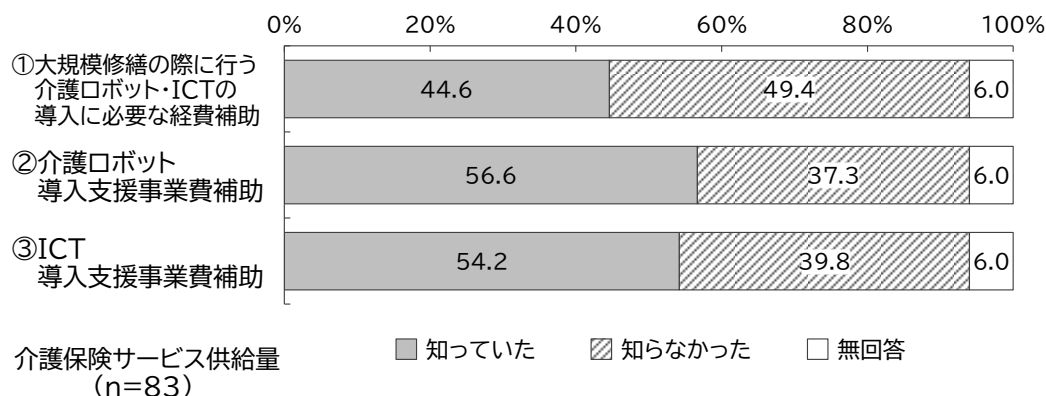
大和市で充実すべきであるとお考える高齢者施策等は、「ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り」が45.8%と最も多く、次いで「介護保険サービスの充実」が25.3%、「認知症に関する施策の充実」、「福祉や生活にかかわる相談体制の充実」がそれぞれ24.1%などとなっている。

≪介護保険サービス供給量：問 20≫

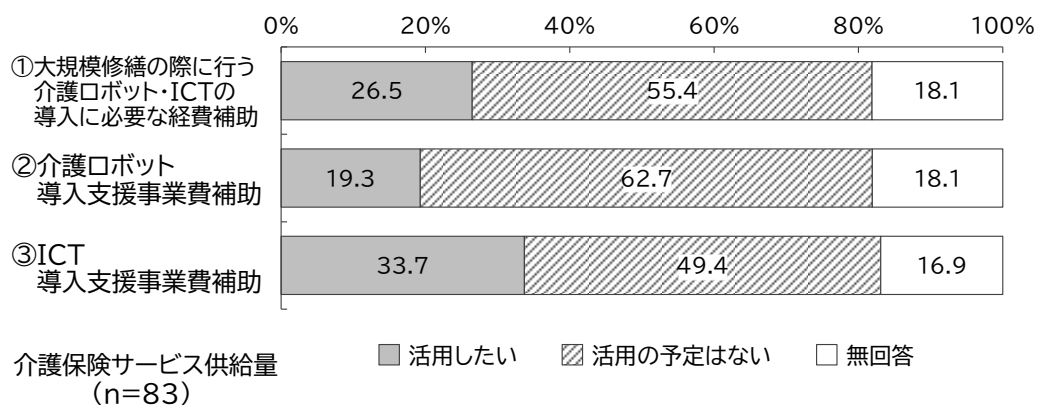
人材不足に対応するため行われている以下の神奈川県補助事業について、それぞれの認知と活用意向について教えてください。（それぞれ単数回答）

【単純集計】

認知状況



活用意向



人材不足に対応するために行われている神奈川県補助事業の認知状況は、≪①大規模修繕の際に行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費補助≫で「知らなかった」の方が「知っていた」より多くなっているのに対し、≪②介護ロボット導入支援事業費補助≫・≪③ICT導入支援事業費補助≫では「知っていた」が半数を超えて多くなっている。

人材不足に対応するために行われている神奈川県補助事業の活用意向は、いずれの補助においても「活用の予定はない」の方が「活用したい」より多くなっている。また、「活用したい」は、≪③ICT導入支援事業費補助≫で33.7%と最も多くなっている。

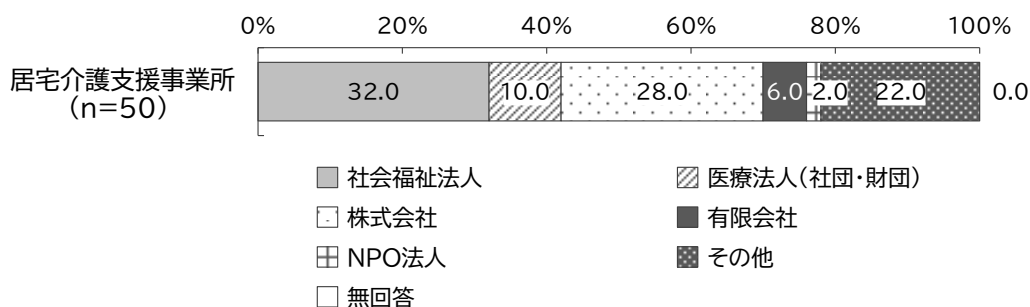
V 調査の結果（居宅介護支援事業所調査）

1 事業所の概要について

《居宅介護支援事業所：事前設問》

法人の種類（単数回答）

【単純集計】



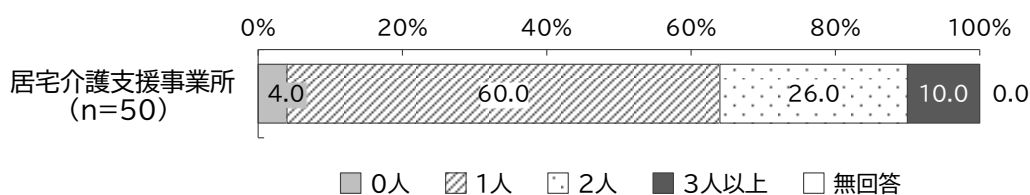
※その他の具体的な内容（抜粋）：合同会社 等

法人の種類は、「社会福祉法人」が32.0%と最も多く、次いで「株式会社」が28.0%、「その他」が22.0%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：事前設問》

主任ケアマネジャーの人数（単数回答）

【単純集計】



主任ケアマネジャーの人数は、「1人」が60.0%と最も多く、次いで「2人」が26.0%、「3人以上」が10.0%などとなっている。

2 ケアプラン作成について

《居宅介護支援事業所：問1》

事業者の職員数と、担当している利用者数は何人ですか。（数値回答）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=45)	ケアマネジャー数	担当利用者数	ケアマネジャー 1人あたりの担当 利用者数
常勤	130 人	4,166 人	32.0 人
非常勤	26 人	488 人	18.8 人

常勤のケアマネジャーは130人、担当利用者数は4,166人となっている。
 非常勤のケアマネジャーは26人、担当利用者数は488人となっている。
 ケアマネジャー1人あたりの担当利用者数は、常勤32.0人、非常勤18.8人と、常勤が非常勤の1.7倍となっている。

《居宅介護支援事業所：問2》

担当している利用者のうち、喀痰吸引、胃瘻、人工透析が必要な方は何人いますか。
 （数値回答）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=45)	担当利用者数	必要な利用者数	割合
喀痰吸引	4,654 人	28 人	0.6%
胃瘻		23 人	0.5%
人工透析		68 人	1.5%

担当利用者のうち、喀痰吸引が必要な利用者数は28人（0.6%）、胃瘻が必要な利用者数は23人（0.5%）、人工透析が必要な利用者数は68人（1.5%）となっている。

《居宅介護支援事業所：問3》

担当している利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。(数値回答)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=45)	担当利用者数	区分支給限度額を 超えている利用者数	割合
	4,654 人	79 人	1.7%

担当利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している利用者数は、79 人 (1.7%) となっている。

《居宅介護支援事業所：問4》

担当している利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある方は何人いますか。
(数値回答)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=45)	担当利用者数	訪問型サービスA の利用意向がある 利用者数	割合
	4,654 人	122 人	2.6%

担当利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある利用者数は、122 人 (2.6%) となっている。

《居宅介護支援事業所：問5・問6》

担当している利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。

（数値回答）

施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。（数値回答）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=45)	担当利用者の意向		ケアマネジャーの視点	
	人数	割合	人数	割合
担当利用者数	4,654 人	—	4,654 人	—
入所希望者数	206 人	4.4%	166 人	3.6%
希望する施設の種類の別				
介護老人福祉施設	95 人	2.0%	89 人	1.9%
介護老人保健施設	10 人	0.2%	8 人	0.2%
介護医療院	0 人	0.0%	0 人	0.0%
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	23 人	0.5%	20 人	0.4%
特定施設 (介護付有料老人ホーム)	33 人	0.7%	25 人	0.5%
高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅含む)	45 人	1.0%	24 人	0.5%

担当利用者のうち、施設等への入所を希望している利用者数は 206 人（4.4%）となっているのに対し、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる利用者数は 166 人（3.6%）とやや少なく、担当利用者とケアマネジャーとで若干の乖離がみられる。

希望施設別にみると、「介護老人福祉施設」への入所希望が多く、95 人（2.0%）となっている。

<<居宅介護支援事業所：問7>>

施設等への入所を希望している方のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。また、上記のうち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。(数値回答)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=36)	人数	割合
入所希望者数	206 人	—
地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者数	49 人	23.8%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者数	42 人	20.4%

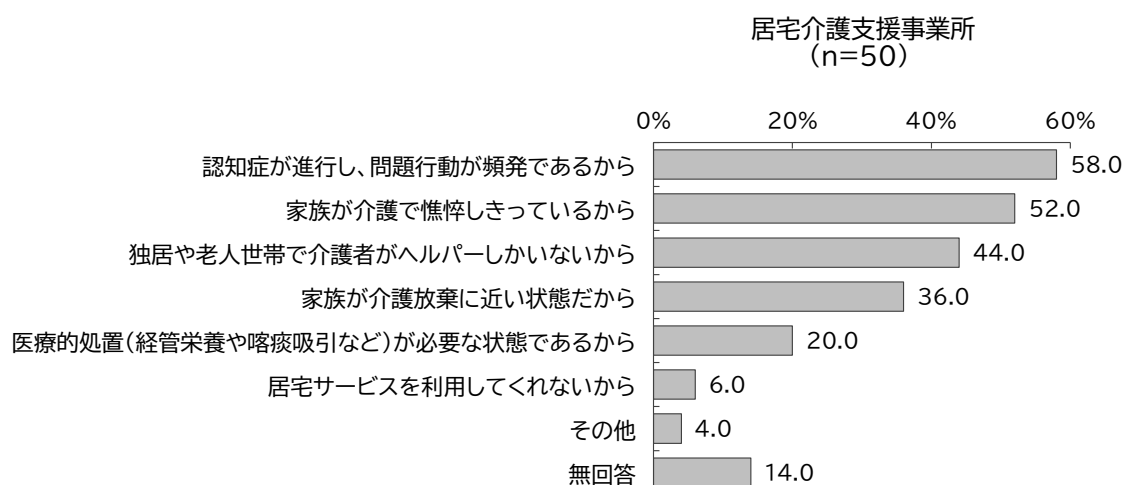
施設等への入所を希望している担当利用者のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者数は、49 人 (23.8%) となっている。

特に定期巡回・随時対応型訪問介護を充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者数は、42 人 (20.4%) となっている。

<<居宅介護支援事業所：問8>>

地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



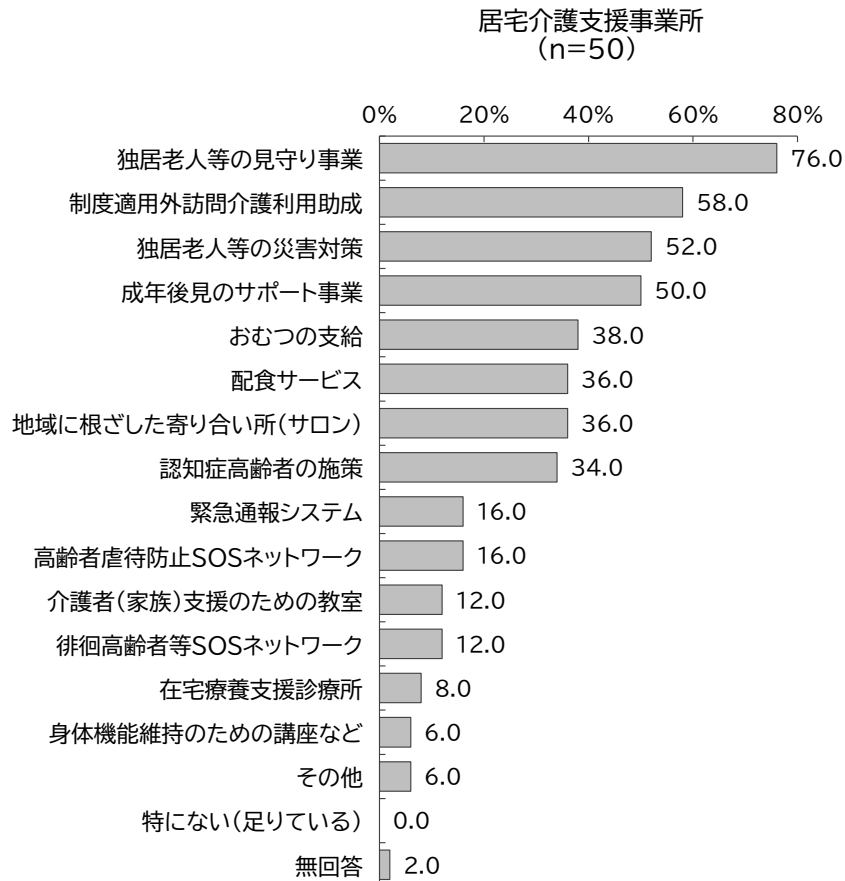
地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由は、「認知症が進行し、問題行動が頻発であるから」が58.0%と最も多く、次いで「家族が介護で憔悴しきっているから」が52.0%、「独居や老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから」が44.0%などとなっている。

3 高齢者施策等について

《居宅介護支援事業所：問9》

今後充実した方が良い または 新規に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。（複数回答可）

【単純集計】

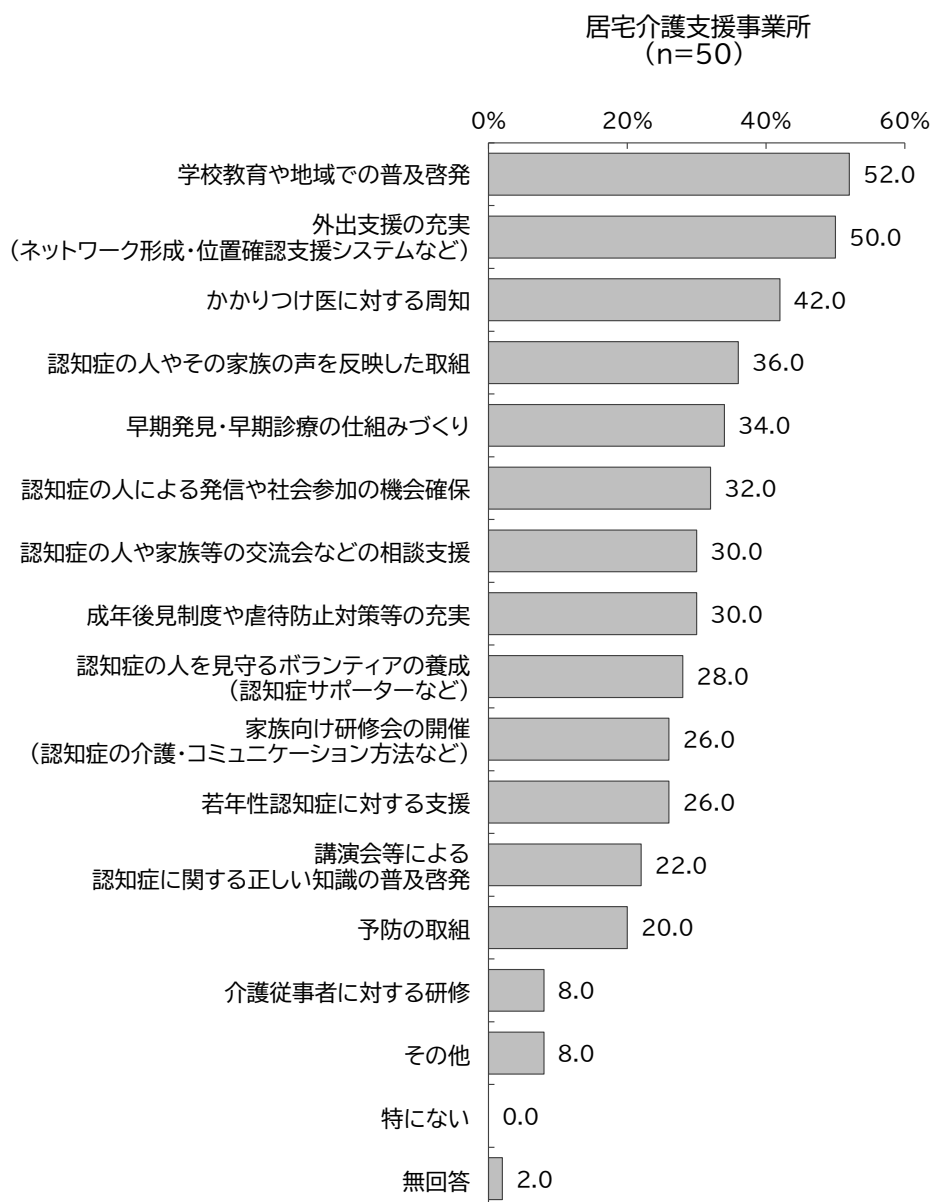


今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスは、「独居老人等の見守り事業」が76.0%と最も多く、次いで「制度適用外訪問介護利用助成」が58.0%、「独居老人等の災害対策」が52.0%などとなっている。

≪居宅介護支援事業所：問10≫

大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。(複数回答可：5つまで)

【単純集計】



認知症施策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、「学校教育や地域での普及啓発」が52.0%と最も多く、次いで「外出支援の充実（ネットワーク形成・位置確認支援システムなど）」が50.0%、「かかりつけ医に対する周知」が42.0%などとなっている。

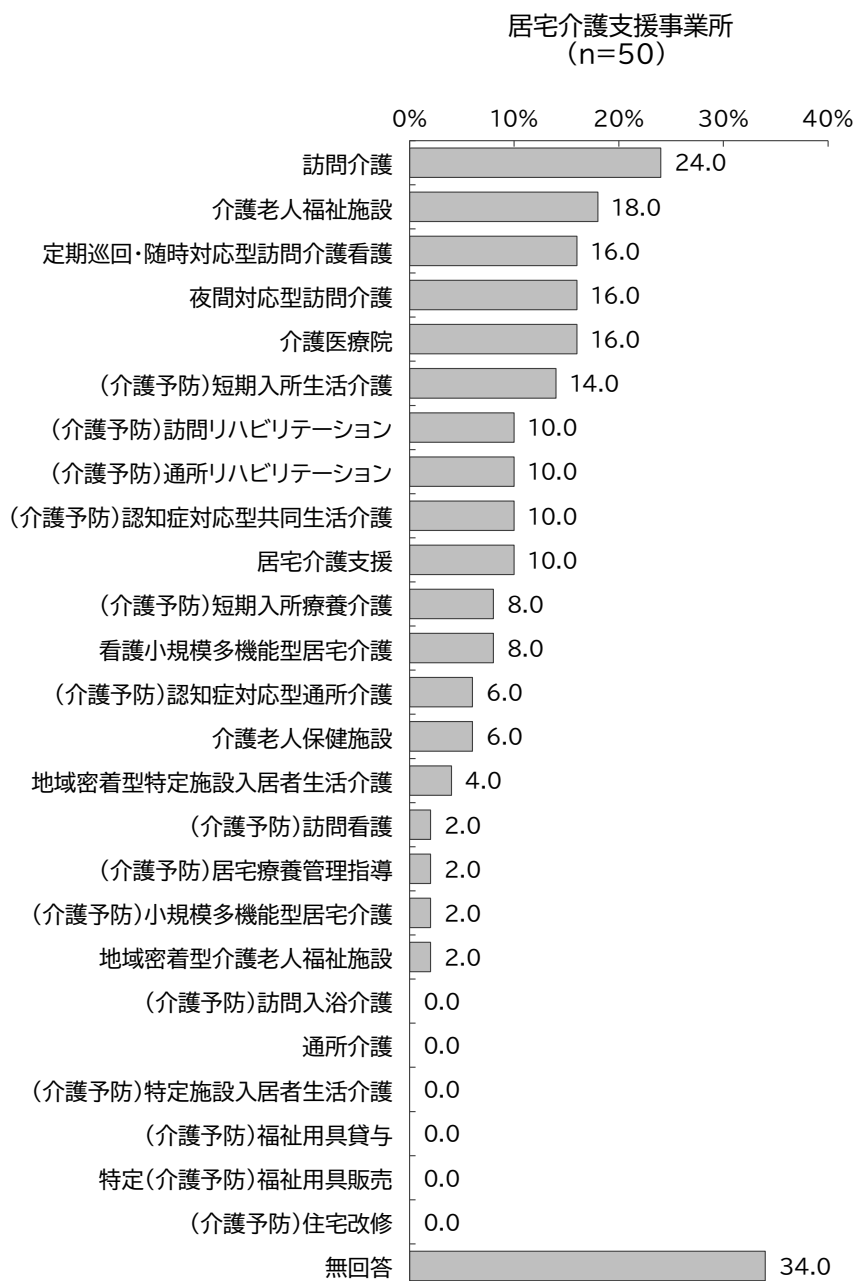
高齢者全般の調査結果（121 ページ）と比較すると、高齢者全般は「認知症の人やその家族の声を反映した取組」や「早期発見・早期診療の仕組みづくり」、「認知症の人を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）」、「講演会等による認知症に関する正しい知識の普及啓発」が多く、立場による差がみられる。

4 本市の介護サービスについて

《居宅介護支援事業所：問 11》

大和市で、事業所が不足していると思う介護（介護予防）サービスはありますか。市全体で不足していると思うサービスの番号を次ページの地図下段に、地区によって不足していると思うサービスがある場合はA～K地区それぞれのカッコ内に番号で書き込んでください。（それぞれ複数回答可）

【単純集計：市全体で不足していると思うサービス】



※「居宅介護支援」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢である。

大和市全体で不足していると思うサービスは、「訪問介護」が24.0%と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」が18.0%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」、「介護医療院」がそれぞれ16.0%などとなっている。

【単純集計：日常生活圏域別で不足していると思うサービス】



居宅支援事業所（n=50）

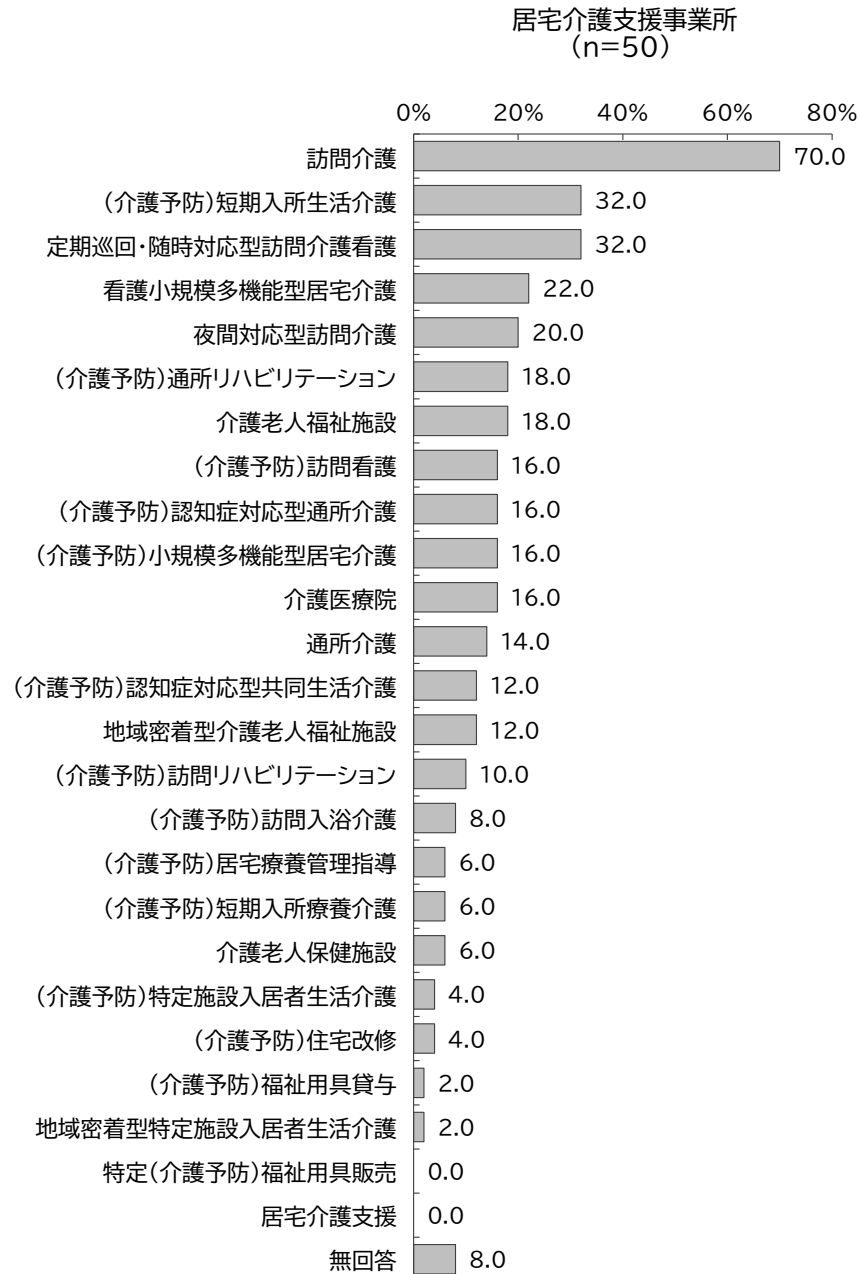
※数値は、不足を指摘した事業所数（3事業所以上を掲載）

日常生活圏域別で不足していると思うサービスは、A～D地区・K地区において5種類以上と多くなっているのに対し、E～F地区においては1種類のみと、日常生活圏域による差がみられる。また、最も不足を指摘する声が多いのは、K地区における訪問介護（10事業所）となっている。全体的に「訪問介護」や「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」が多いことから、訪問系の不足が問題視されていることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 12》

それでは、今後の大和市で、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスはどれだと考えますか。（複数回答可：5つまで）

【単純集計】



※「居宅介護支援」は、問 11 でその他の具体的内容として多く記載されていたため、同じ選択肢を設けているこの問にも集計時に追加した選択肢である。

今後の大和市で特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスは、「訪問介護」が 70.0%と最も多く、次いで「(介護予防)短期入所生活介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」がそれぞれ 32.0%、「看護小規模多機能型居宅介護」が 22.0%などとなっている。また、不足していると思われるサービス（221 ページ）と同じく、「訪問介護」が第 1 位となっている。

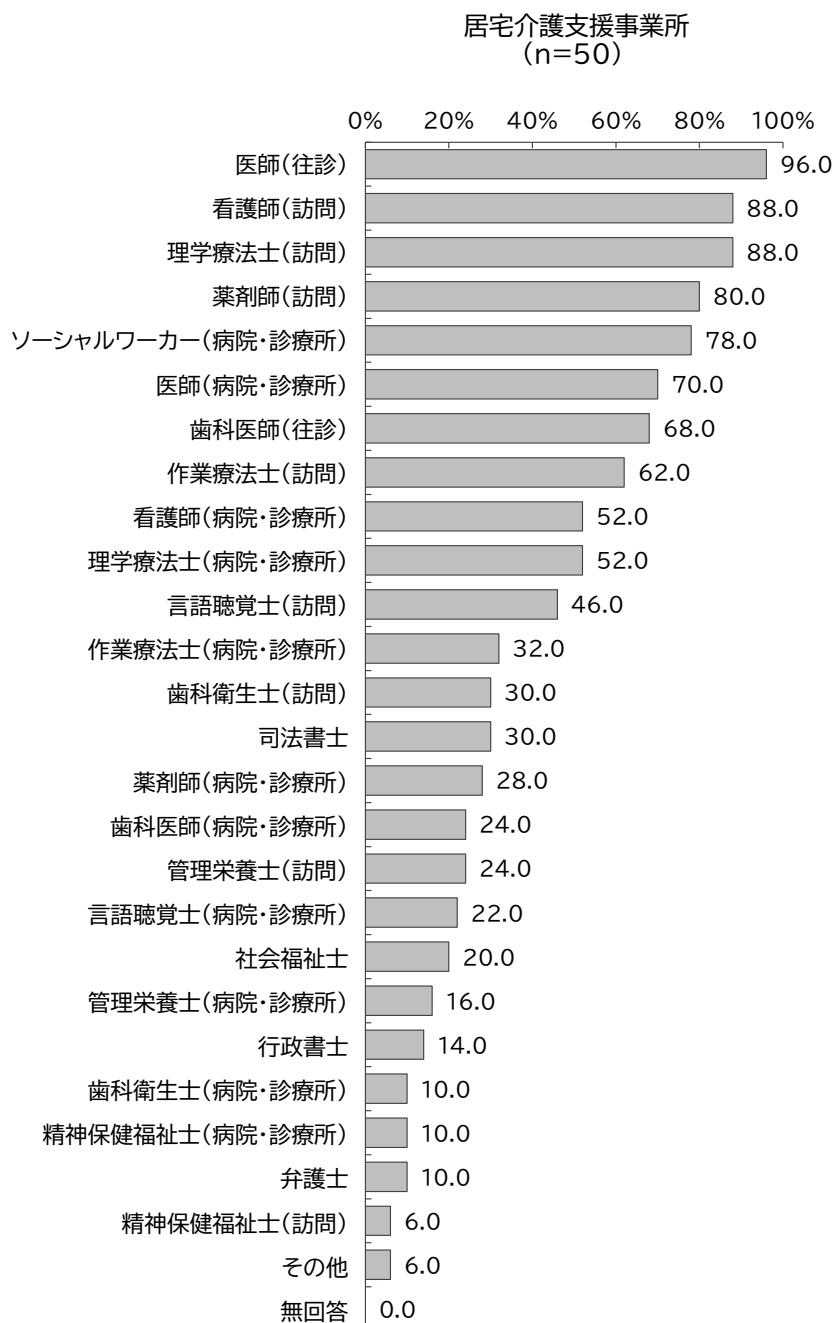
5 医療・介護関係者との情報共有について

《居宅介護支援事業所：問13》

現在、利用者を支援する際に連携している職種はどのような職種ですか。

(複数回答可)

【単純集計】



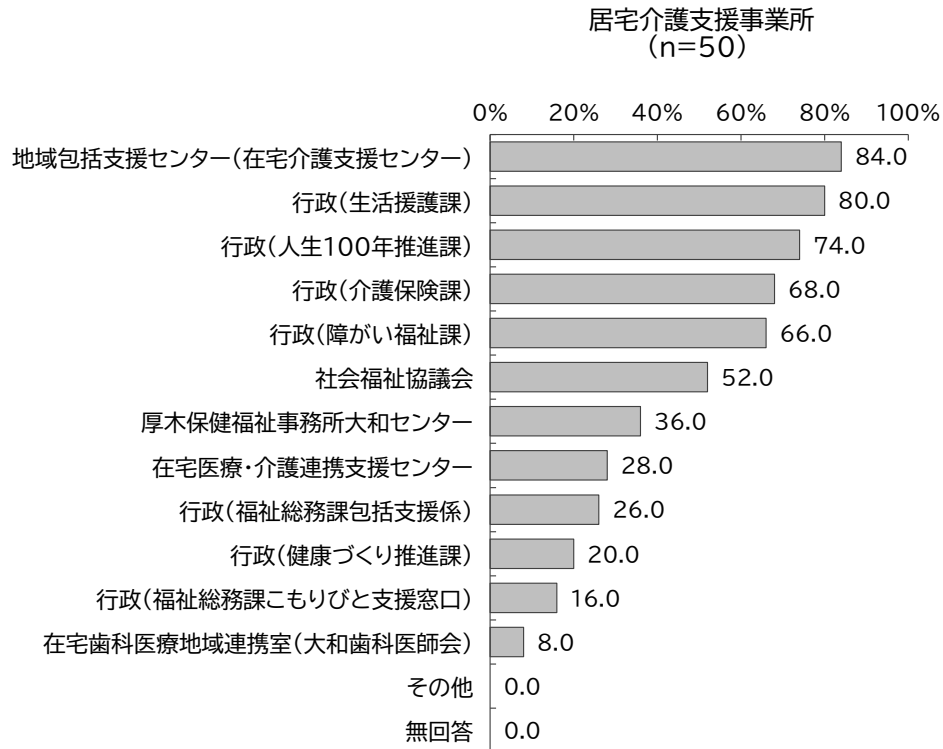
利用者を支援する際に連携している職種は、「医師（往診）」が96.0%と最も多く、次いで「看護師（訪問）」、「理学療法士（訪問）」がそれぞれ88.0%、「薬剤師（訪問）」が80.0%などと、半数を超える職種が25項目のうち10項目あり、多方面で連携していることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 14》

現在、利用者を支援する際に連携している機関はどのような機関ですか。

（複数回答可）

【単純集計】

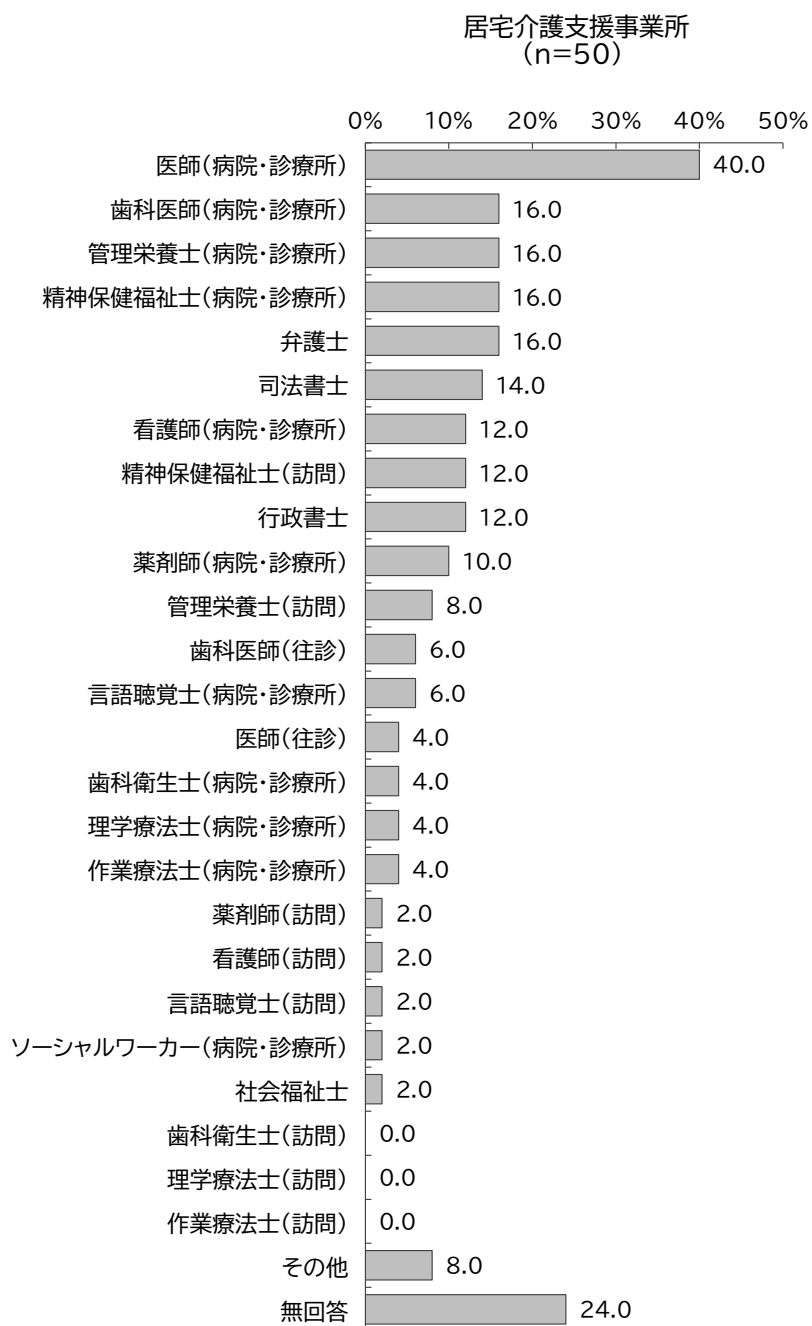


利用者を支援する際に連携している機関は、「地域包括支援センター（在宅介護支援センター）」が 84.0%と最も多く、次いで「行政（生活援護課）」が 80.0%、「行政（人生 100 年推進課）」が 74.0%などと、半数を超える機関が 12 項目のうち 6 項目あり、機関においても多方面で連携していることがうかがえる。

≪居宅介護支援事業所：問15≫

現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種はどのような職種ですか。
(複数回答可)

【単純集計】

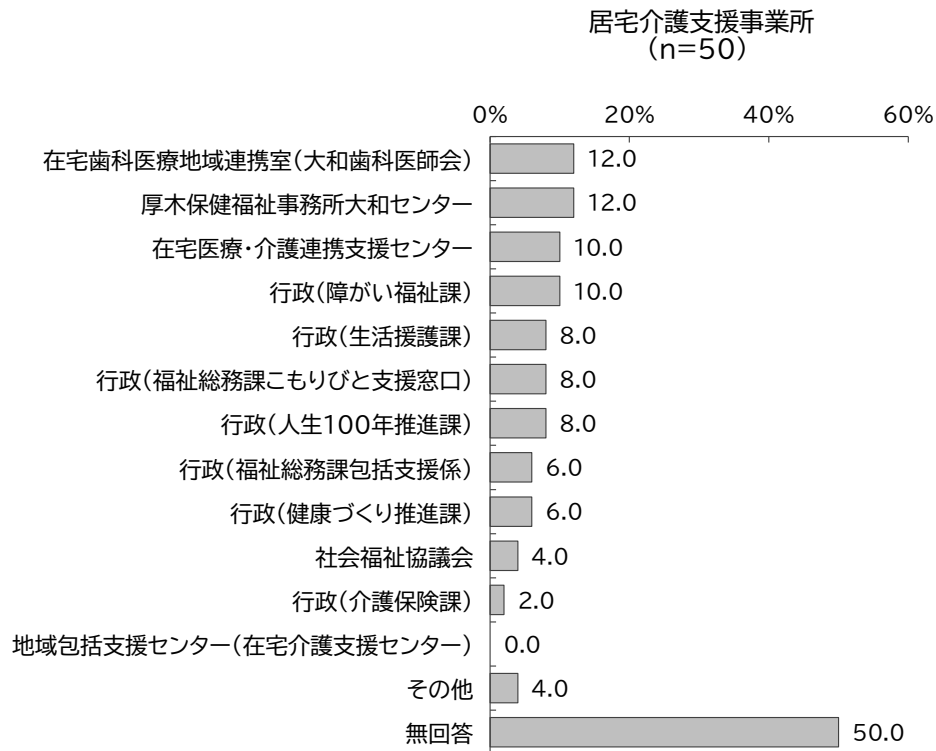


連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種は、「医師(病院・診療所)」が40.0%と最も多く、次いで「歯科医師(病院・診療所)」、「管理栄養士(病院・診療所)」、「精神保健福祉士(病院・診療所)」、「弁護士」がそれぞれ16.0%、「司法書士」が14.0%などとなっている。

「居宅介護支援事業所：問 16」

現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関はどのような機関ですか。
（複数回答可）

【単純集計】

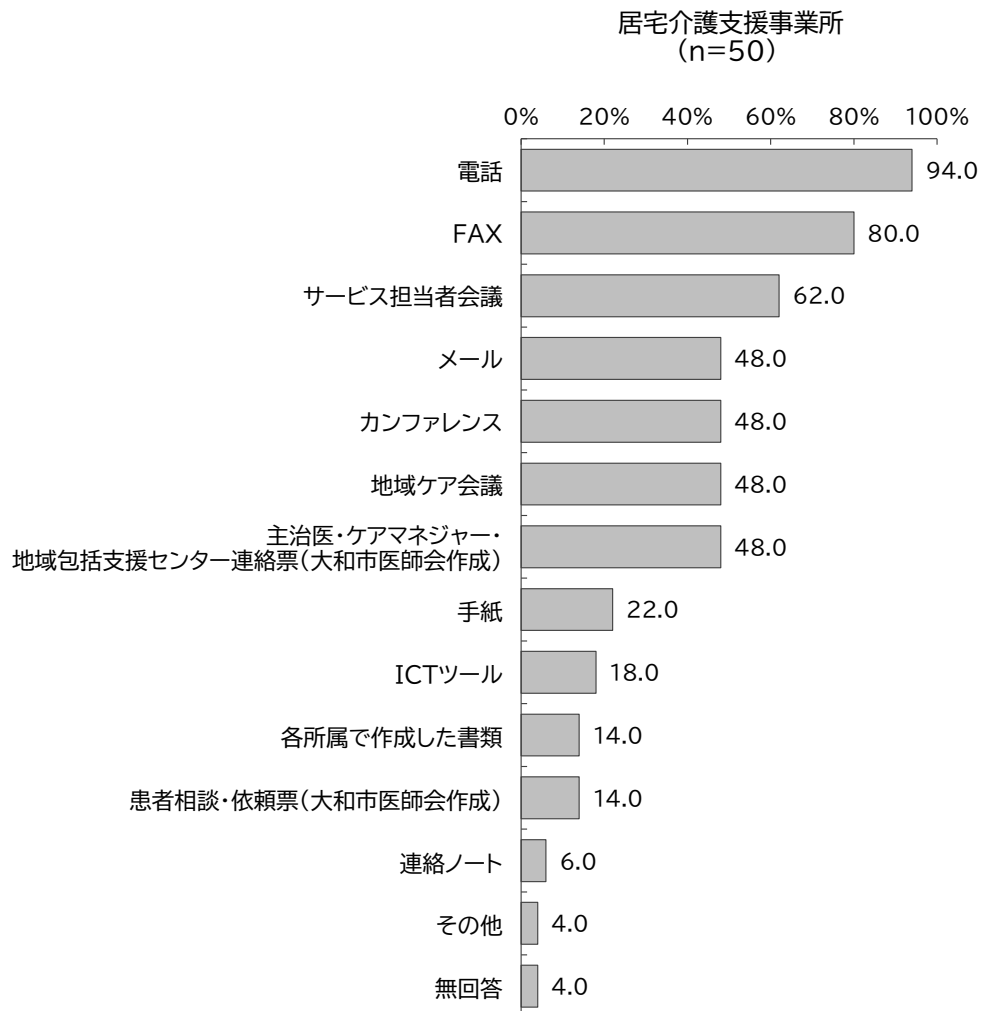


連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関は、「在宅歯科医療地域連携室（大和歯科医師会）」、「厚木保健福祉事務所大和センター」がそれぞれ 12.0% と最も多く、次いで「在宅医療・介護連携支援センター」、「行政（障がい福祉課）」がそれぞれ 10.0%、「行政（生活援護課）」、「行政（福祉総務課こもりびと支援窓口）」、「行政（人生 100 年推進課）」がそれぞれ 8.0% などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問17》

連携している機関と、どのような手段で情報を共有していますか。(複数回答可)

【単純集計】

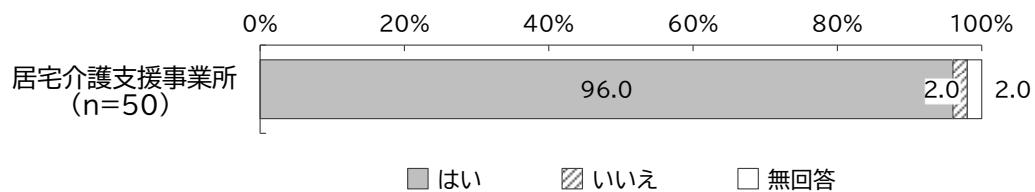


連携している機関と情報を共有する手段は、「電話」が94.0%と最も多く、次いで「FAX」が80.0%、「サービス担当者会議」が62.0%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 18》

在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等に参加したことがありますか。（単数回答）

【単純集計】

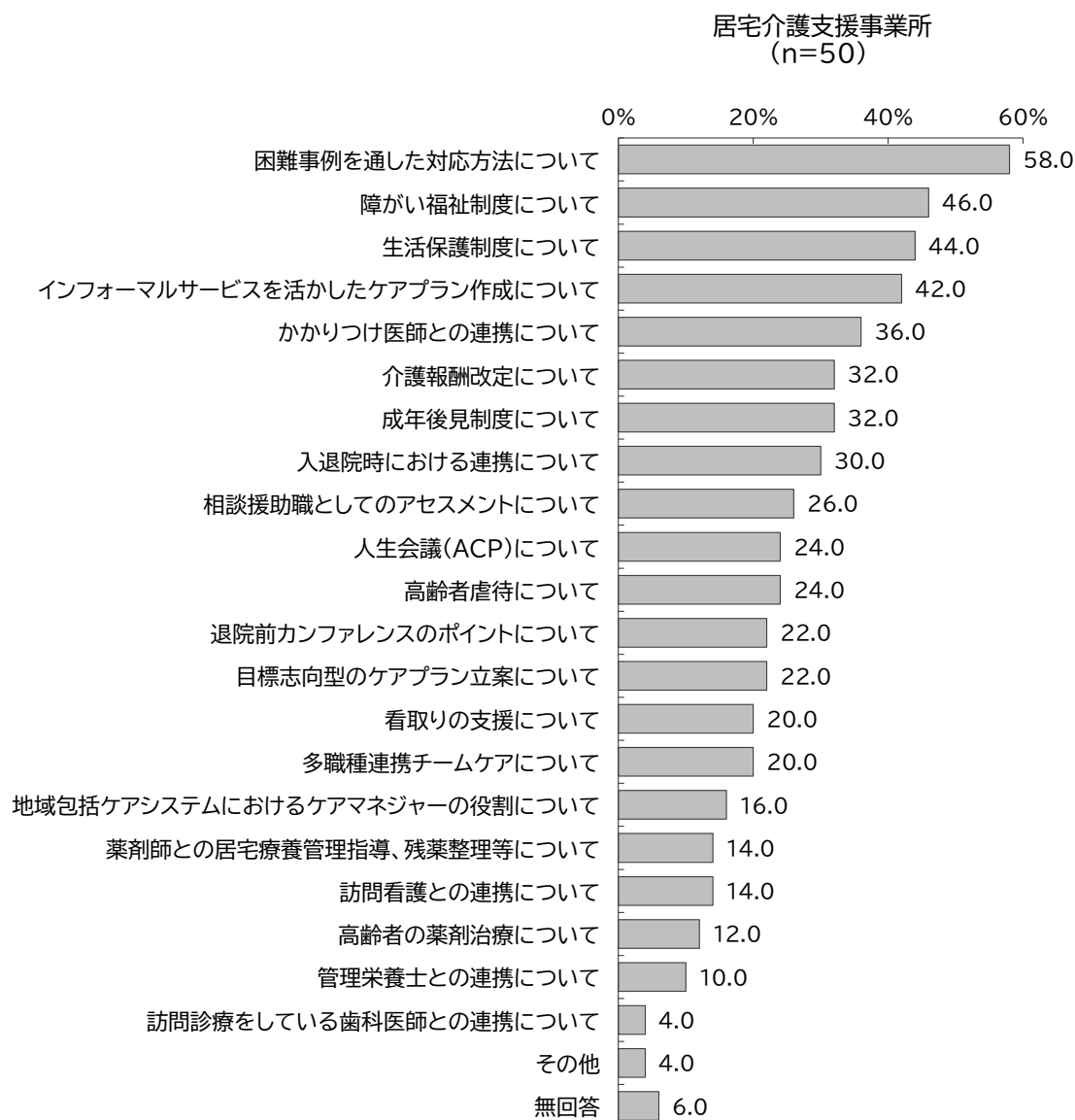


在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等への参加経験の有無は、「はい」が96.0%と突出している。

≪居宅介護支援事業所：問19≫

今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたり、どのような研修・会議等があればよいと思いますか。(複数回答可)

【単純集計】

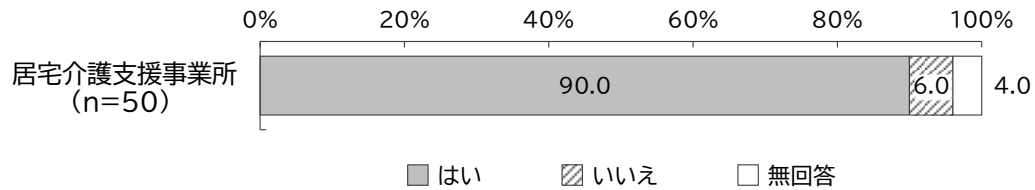


今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたってあればよいと思う研修・会議等は、「困難事例を通した対応方法について」が58.0%と最も多く、次いで「障がい福祉制度について」が46.0%、「生活保護制度について」が44.0%などと、3割を超える機関が21項目のうち8項目あり、研修・会議等に対するニーズが多岐にわたっていることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 20》

看取りの支援をされたことはありますか。（単数回答）

【単純集計】

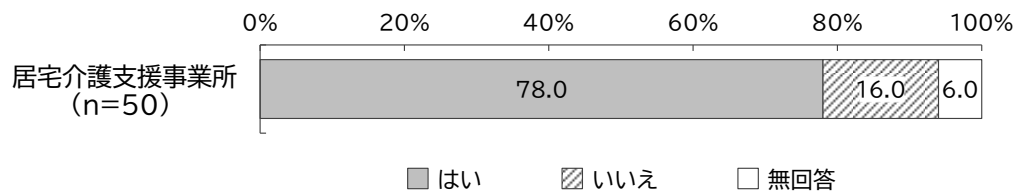


看取りの支援経験の有無は、「はい」が90.0%と突出している。

《居宅介護支援事業所：問 21》

統一した入退院支援マニュアルがあるといいと思いますか。（単数回答）

【単純集計】

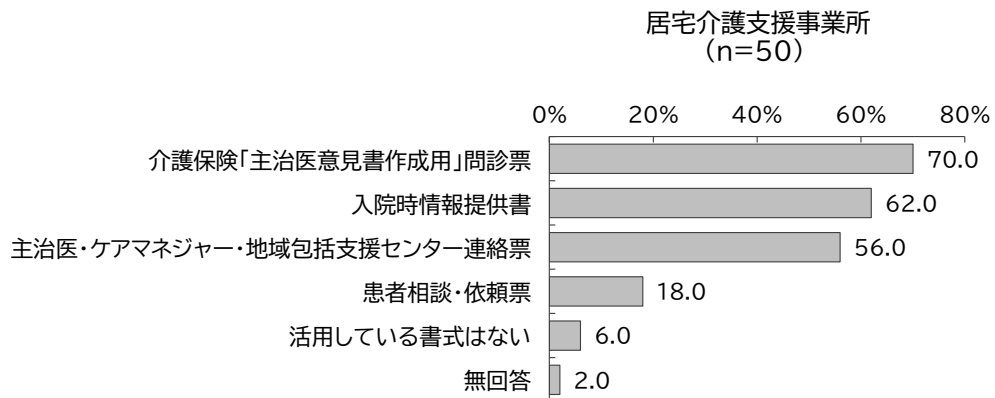


統一した入退院支援マニュアルがあると思うかは、「はい」が78.0%、「いいえ」が16.0%となっている。

《居宅介護支援事業所：問22》

活用している書式は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



活用している書式は、「介護保険『主治医意見書作成用』問診票」が70.0%と最も多く、次いで「入院時情報提供書」が62.0%、「主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票」が56.0%などとなっている。

6 介護ロボット（自動排泄処理装置）について

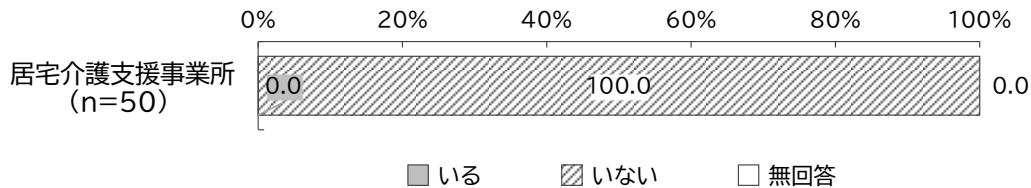
《居宅介護支援事業所：問 24・問 24－1》

受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。
（単数回答）

（いる場合）その人数は、何人ですか。（数値回答）

【単純集計】

受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方の有無



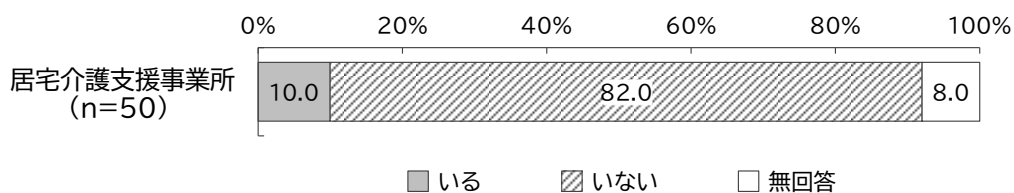
自動排泄処理装置を利用している担当利用者の有無は、「いない」が100.0%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 25・問 25－1》

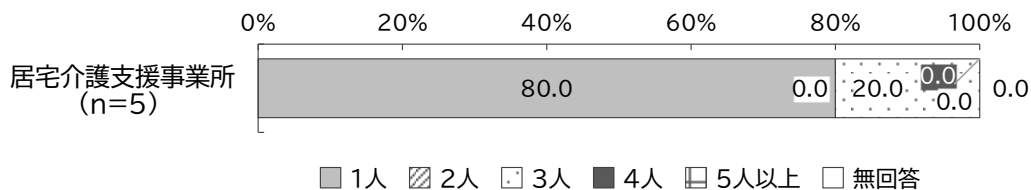
受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい（介護者の負担が軽減される）と思う利用者はいますか。（単数回答）
（いる場合）その人数は、何人ですか。（数値回答）

【単純集計】

今後自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の有無



今後、自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の人数



受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい（介護者の負担が軽減される）と思う利用者の有無は、「いる」が10.0%、「いない」が82.0%となっている。

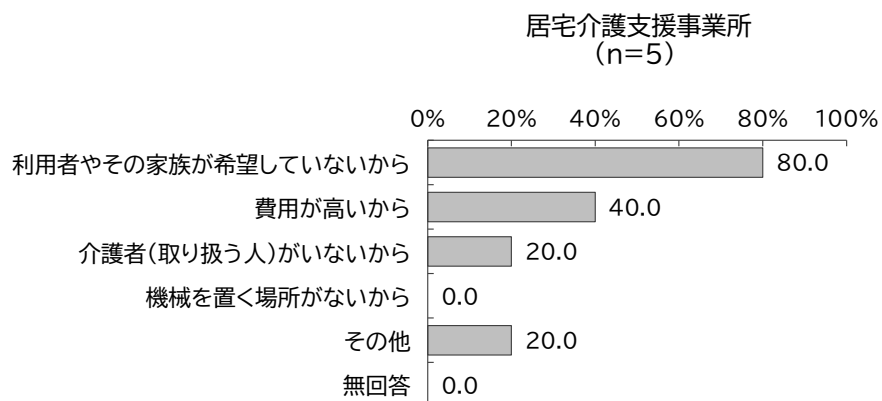
その人数は、「1人」が80.0%と最も多く、次いで「3人」が20.0%となっている。

問25で「いる」と回答した事業所のみ

《居宅介護支援事業所：問25-2》

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



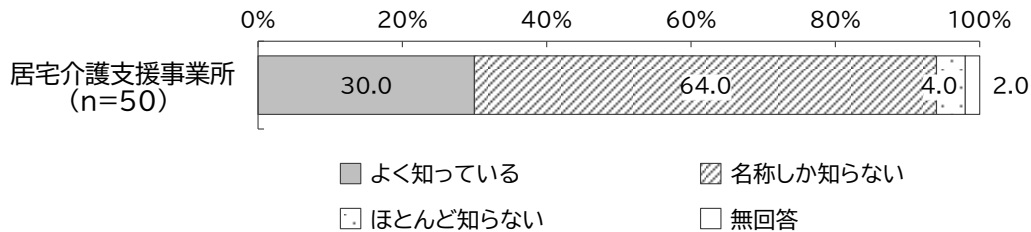
※その他の具体的な内容(抜粋)：利用経験があり、ホース等の洗浄が大変だったとのこと

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は、「利用者やその家族が希望していないから」が80.0%と最も多く、次いで「費用が高いから」が40.0%、「介護者(取り扱う人)がいないから」、「その他」がそれぞれ20.0%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 26》

ケアマネジャーは、自動排泄処理装置のことをどの程度知っていますか。（単数回答）

【単純集計】



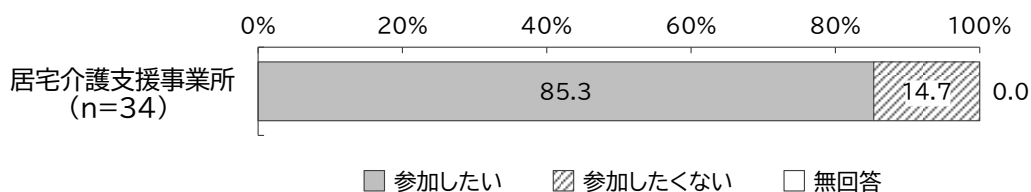
自動排泄処理装置についてのケアマネジャーの認知状況は、「名称しか知らない」が64.0%と最も多く、次いで「よく知っている」が30.0%、「ほとんど知らない」が4.0%となっている。

問 26 で「名称しか知らない」または「ほとんど知らない」と回答した事業所のみ

《居宅介護支援事業所：問 26－1》

自動排泄処理装置の説明会・体験会等が開催されれば、参加したいと思いますか。
（単数回答）

【単純集計】



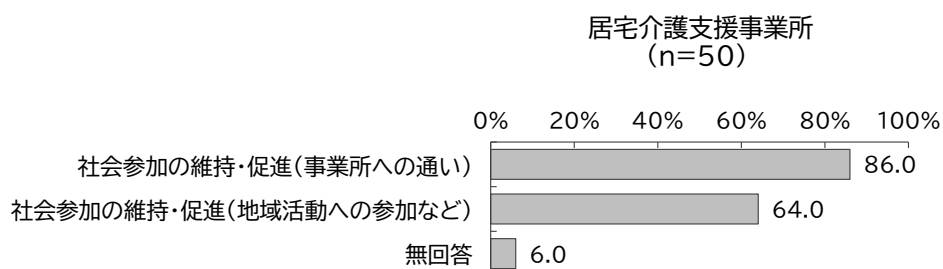
自動排泄処理装置の説明会・体験会等への参加意向は、「参加したい」が85.3%、「参加したくない」が14.7%となっている。

7 生活期リハビリテーション対象者への重度化防止に向けた取り組みについて

《居宅介護支援事業所：問 27》

通所型、訪問型リハビリテーションの提供が中心となる生活期リハビリテーションでは、地域社会への参加にも目を向けたリハビリの実践が重要です。ケアプランの作成において目標設定をしているものは何ですか。(複数回答可)

【単純集計】

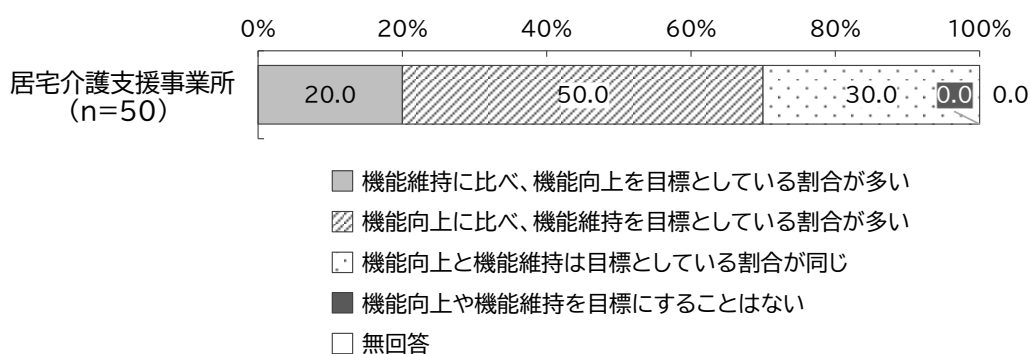


ケアプランの作成において目標設定しているものは、「社会参加の維持・促進(事業所への通い)」が86.0%、「社会参加の維持・促進(地域活動への参加など)」が64.0%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 28》

ケアプランの短期目標の状況はいかがですか。(単数回答)

【単純集計】

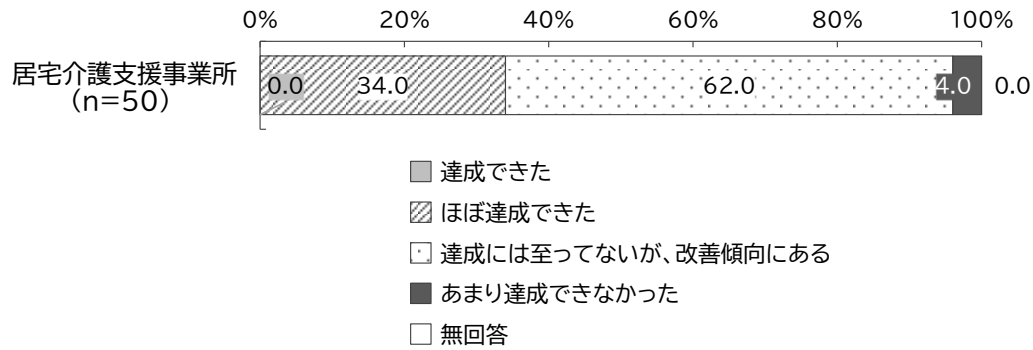


ケアプランの短期目標の状況は、「機能向上に比べ、機能維持を目標としている割合が多い」が50.0%と最も多く、次いで「機能向上と機能維持は目標としている割合が同じ」が30.0%、「機能維持に比べ、機能向上を目標としている割合が多い」が20.0%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 29》

機能維持や機能向上を短期目標とした場合の達成状況はいかがですか。（単数回答）

【単純集計】



機能維持や機能向上を短期目標とした場合の達成状況は、「達成には至ってないが、改善傾向にある」が62.0%と最も多く、次いで「ほぼ達成できた」が34.0%、「あまり達成できなかった」が4.0%となっている。

VI 調査の結果（居所変更実態調査）

《居所変更実態調査：問1》

該当するサービス種別を、ご回答ください。（単数回答）

【単純集計】

	件数	構成割合
合計	24 件	100.0%
住宅型有料老人ホーム	9 件	37.5%
軽費老人ホーム	1 件	4.2%
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	58.3%

サービス種別は、「サービス付き高齢者向け住宅」が58.3%と最も多く、次いで「住宅型有料老人ホーム」が37.5%、「軽費老人ホーム」が4.2%となっている。

《居所変更実態調査：問2》

施設等の概要について、ご回答ください。（数値回答）

住宅戸数

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

	件数	合計住宅戸数	平均住宅戸数
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	415 戸	29.6 戸

平均住宅戸数は、29.6 戸となっている。

居室数

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

	件数	合計居室数	平均居室数
合計	5 件	273 室	54.6 室
住宅型有料老人ホーム	5 件	273 室	54.6 室
軽費老人ホーム	0 件	－	－

平均居室数は、54.6 室となっている。

定員数

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

	件数	合計定員数	平均定員数
合計	24 件	922 人	38.4 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	473 人	52.6 人
軽費老人ホーム	1 件	15 人	15.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	434 人	31.0 人

平均定員数は 38.4 人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で 52.6 人と多くなっている。

入居者数**【単純集計・クロス集計：サービス種別】**

合計	件数	合計入居者数	平均入居者数
合計	23 件	785 人	34.1 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	420 人	46.7 人
軽費老人ホーム	1 件	15 人	15.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	350 人	26.9 人

市民	件数	合計入居者数	平均入居者数
合計	23 件	418 人	18.2 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	199 人	22.1 人
軽費老人ホーム	1 件	13 人	13.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	206 人	15.9 人

市民以外	件数	合計入居者数	平均入居者数
合計	23 件	367 人	16.0 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	221 人	24.6 人
軽費老人ホーム	1 件	2 人	2.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	144 人	11.1 人

市民と市民以外を合わせた平均入居者数は 34.1 人となっており、サービス種別にみると「住宅型有料老人ホーム」で 46.7 人と多くなっている。

待機者数

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

合計	件数	合計待機者数	平均待機者数
合計	24 件	41 人	1.7 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	20 人	2.2 人
軽費老人ホーム	1 件	5 人	5.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	16 人	1.1 人

市民	件数	合計待機者数	平均待機者数
合計	24 件	21 人	0.9 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	9 人	1.0 人
軽費老人ホーム	1 件	2 人	2.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	10 人	0.7 人

市民以外	件数	合計待機者数	平均待機者数
合計	24 件	20 人	0.8 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	11 人	1.2 人
軽費老人ホーム	1 件	3 人	3.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	6 人	0.4 人

市民と市民以外を合わせた平均待機者数は 1.7 人となっており、サービス種別にみると「軽費老人ホーム」で 5.0 人と多くなっている。

特別養護老人ホームへの待機者数(申込者数)

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

合計	件数	合計 特養待機者数	平均 特養待機者数
合計	24 件	2 人	0.1 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	1 人	0.1 人
軽費老人ホーム	1 件	0 人	0.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	1 人	0.1 人

市民	件数	合計 特養待機者数	平均 特養待機者数
合計	24 件	2 人	0.1 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	1 人	0.1 人
軽費老人ホーム	1 件	0 人	0.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	1 人	0.1 人

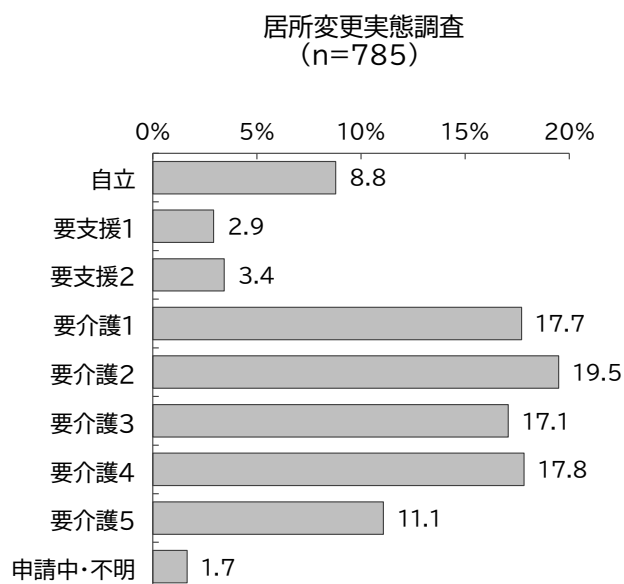
市民以外	件数	合計 特養待機者数	平均 特養待機者数
合計	24 件	0 人	0.0 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	0 人	0.0 人
軽費老人ホーム	1 件	0 人	0.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	14 件	0 人	0.0 人

市民と市民以外を合わせた平均特養待機者数は 0.1 人となっており、サービス種別にみると「住宅型有料老人ホーム」・「サービス付き高齢者向け住宅」で 0.1 人と多くなっている。

《居所変更実態調査：問3》

現在の入居者の要支援・要介護度の人数について、ご回答ください。（数値回答）

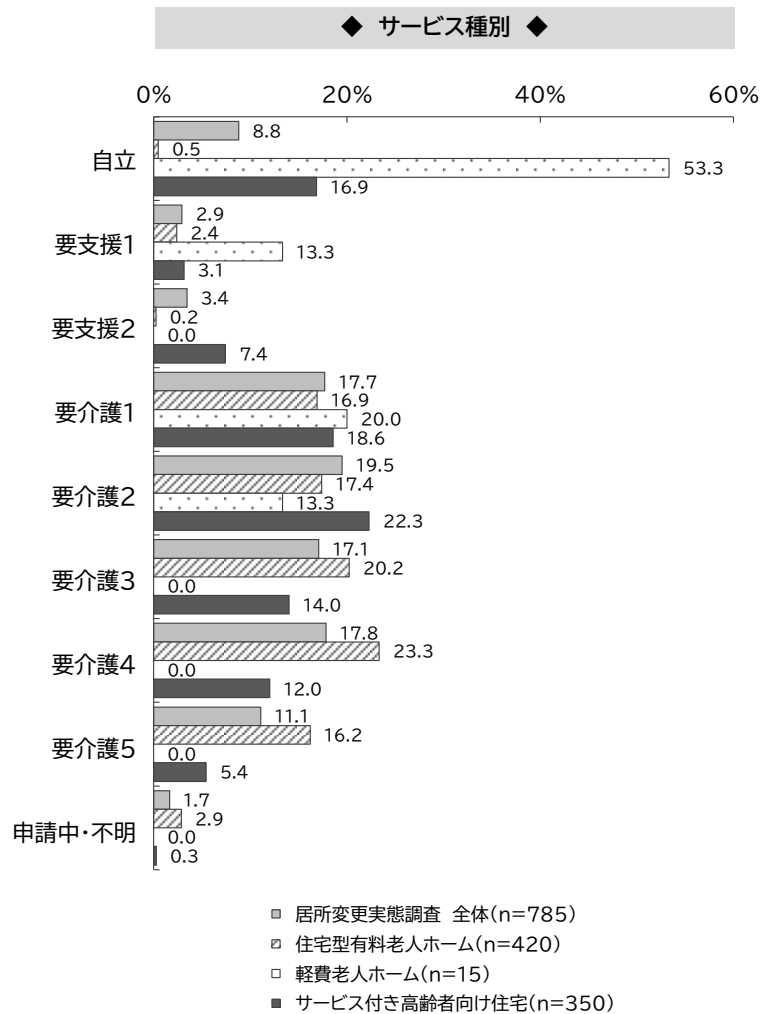
【単純集計】



※事業所が問2で回答した合計入居者数を母数として要介護度の構成割合を算出した。（クロス集計も同様）

要支援・要介護度別現在の入居者数の構成割合は、「要介護2」が19.5%と最も多く、次いで「要介護4」が17.8%、「要介護1」が17.7%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「要介護3」、「要介護4」、「要介護5」が「サービス付き高齢者向け住宅」より多く、「サービス付き高齢者向け住宅」では「自立」、「要支援2」が「住宅型有料老人ホーム」より多くなっている。

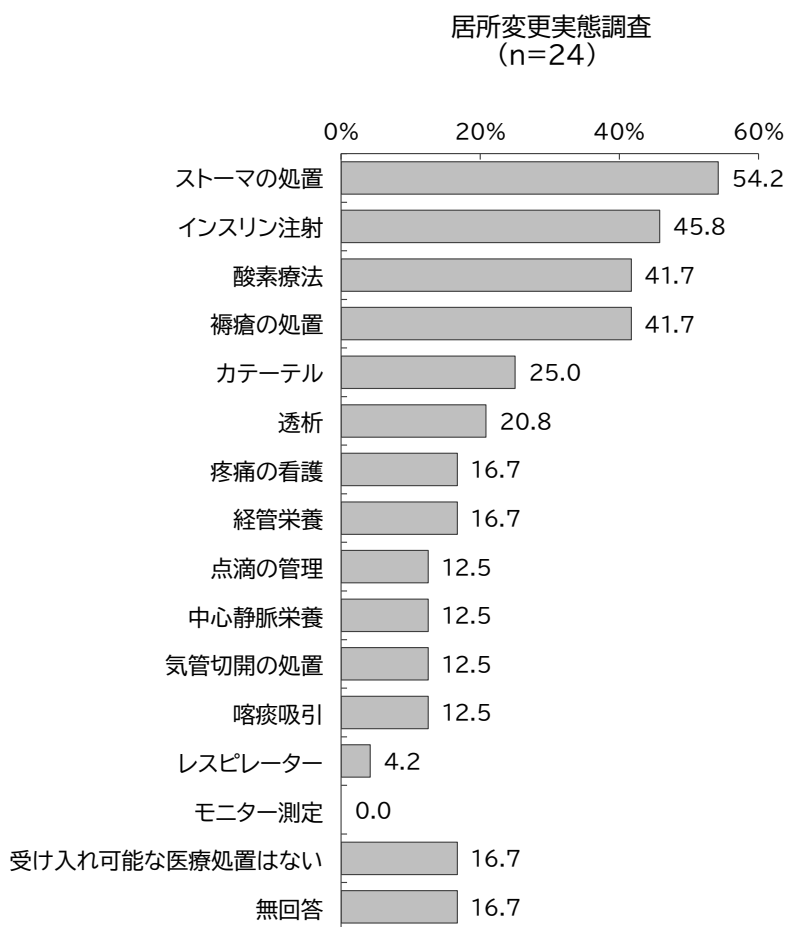
《居所変更実態調査：問4》

貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。受け入れ可能であれば、現在受け入れている人数について、ご回答ください。

（受け入れ可能な医療処置は複数回答可、受け入れている人数は数値回答）

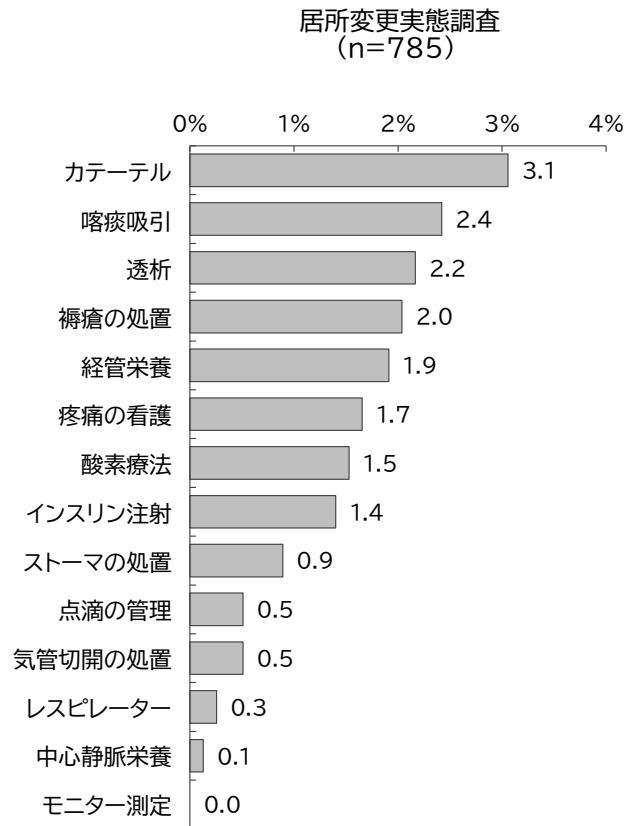
【単純集計】

受け入れ可能な医療処置



受け入れ可能な医療処置は、「ストーマの処置」が54.2%と最も多く、次いで「インスリン注射」が45.8%、「酸素療法」、「褥瘡の処置」がそれぞれ41.7%などとなっている。

受け入れている医療処置

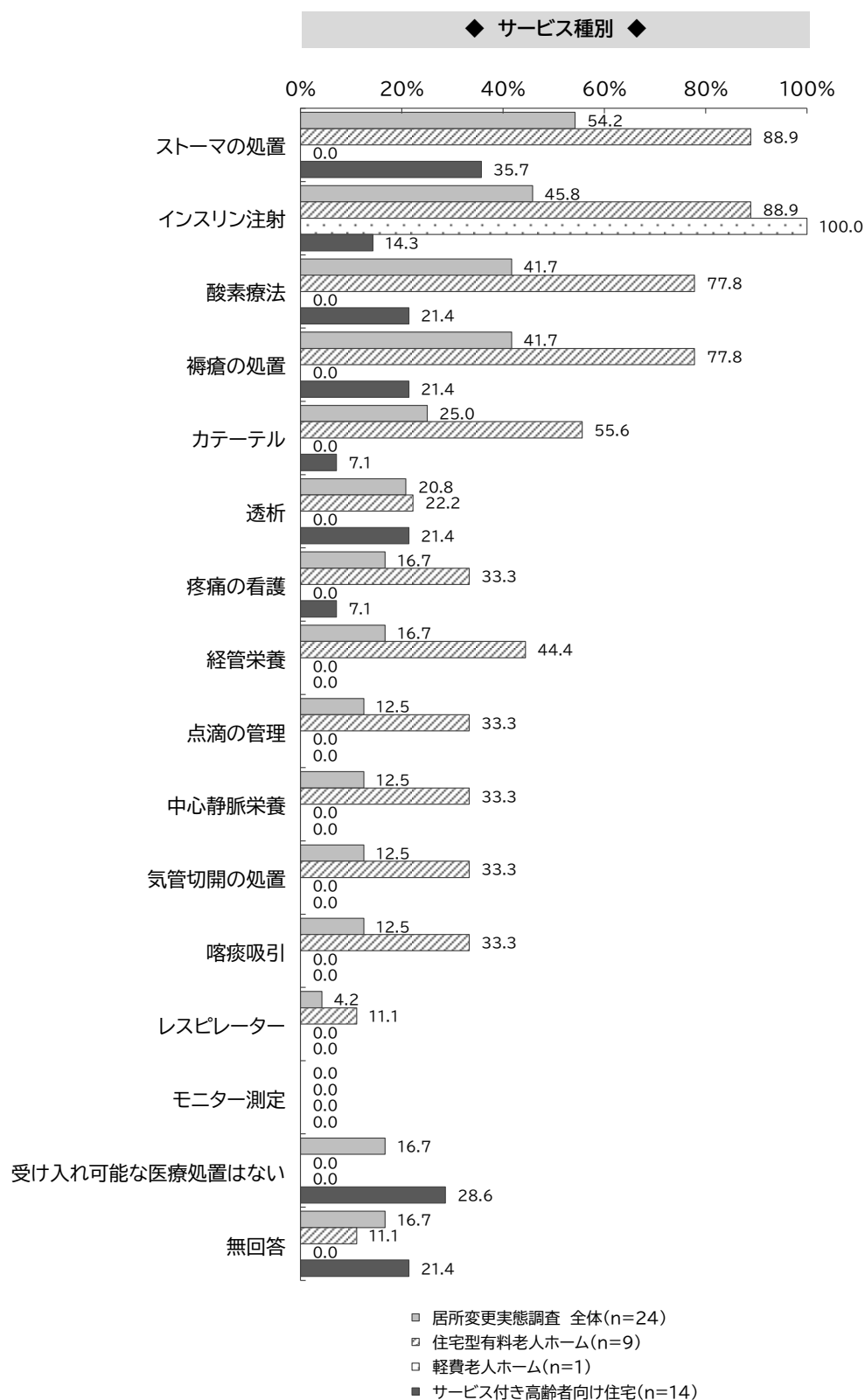


※事業所が問2で回答した合計入居者数を母数として、医療処置の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

受け入れている医療処置は、「カテーテル」が3.1%と最も多く、次いで「喀痰吸引」が2.4%、「透析」が2.2%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】

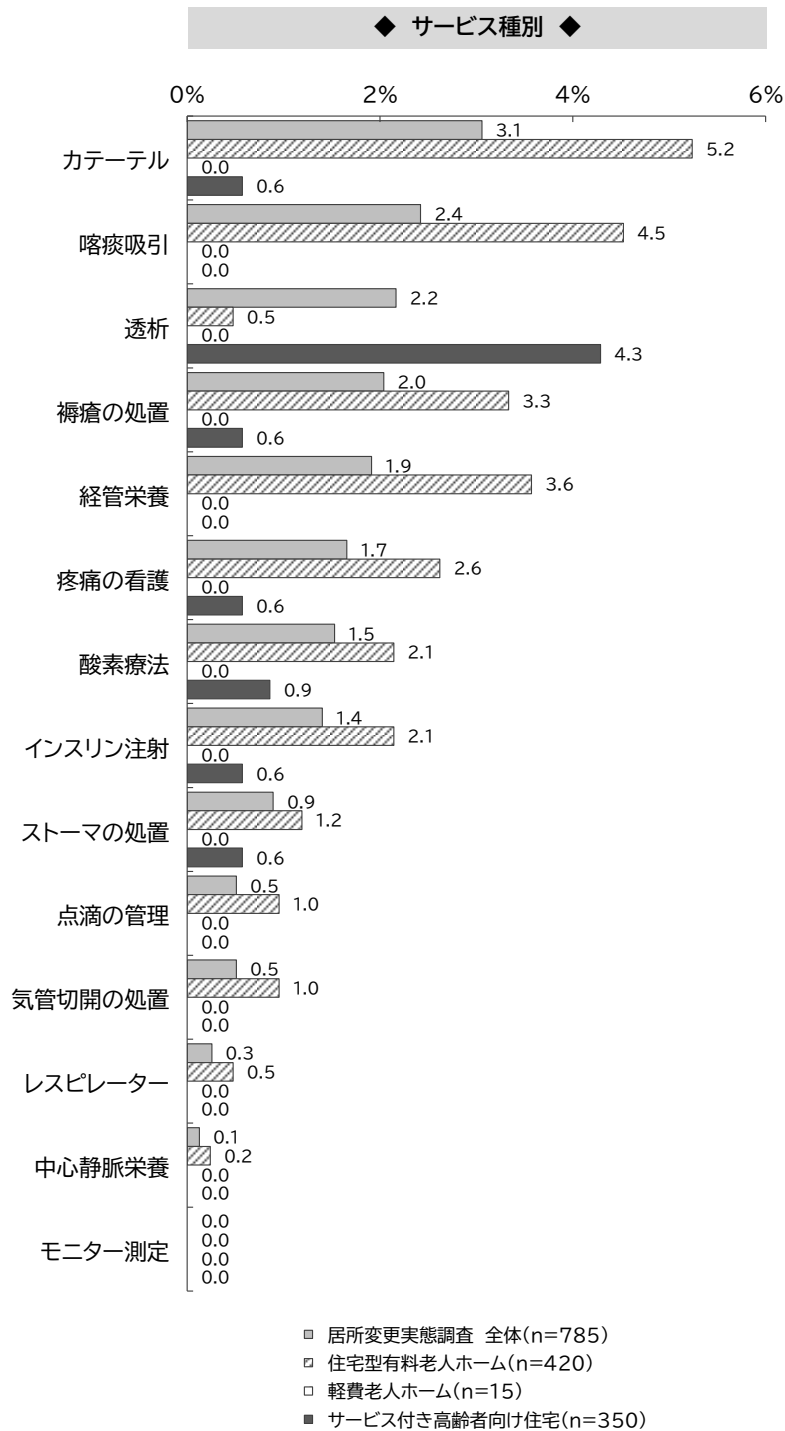
受け入れ可能な医療処置



サンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

【クロス集計：サービス種別】

受け入れている人数



サービス種別にみると、大きな差異はみられない。

ここからは、過去1年間の新規の入居者についてお伺いします。

《居所変更実態調査：問5》

過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）に、貴施設等に新規で入居した人の人数をご回答ください。（数値回答）

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

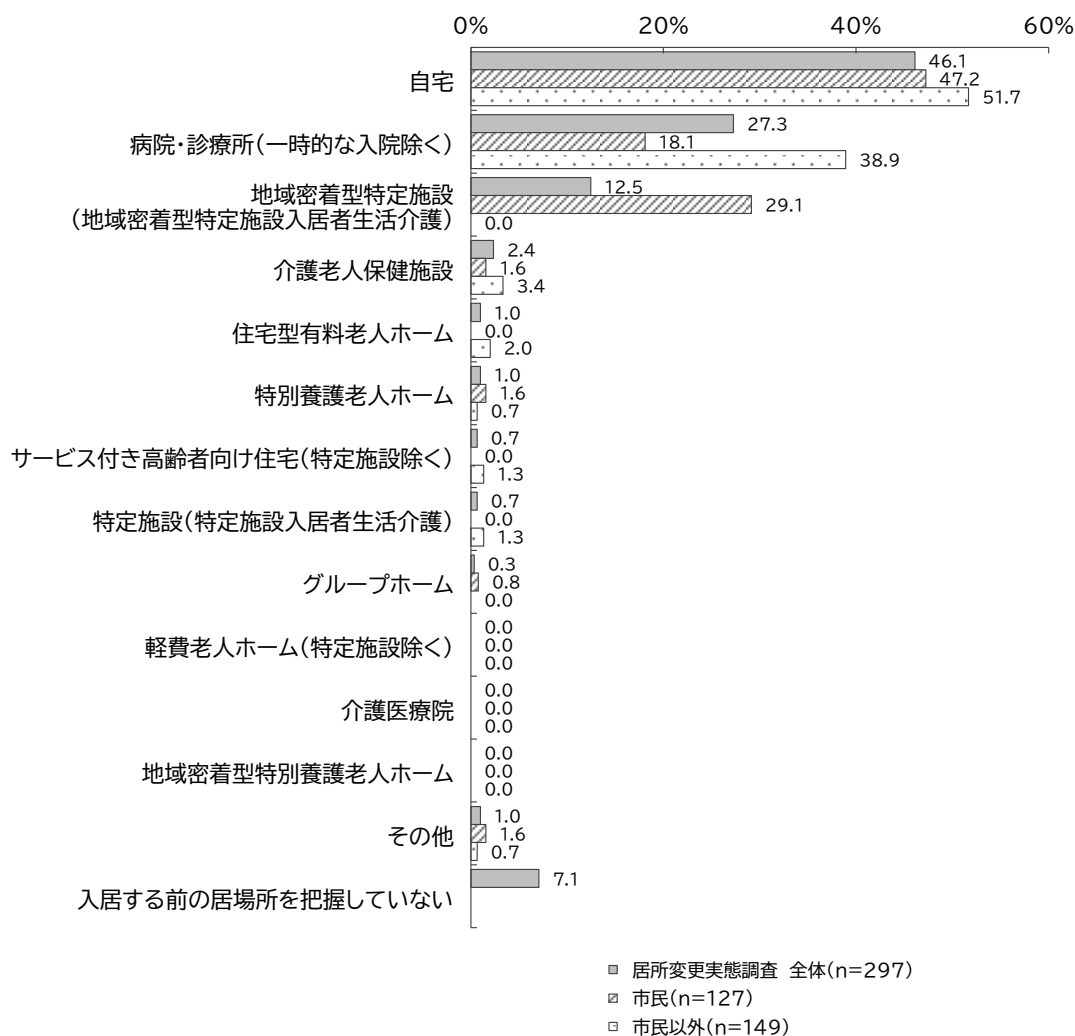
	件数	合計 新規入居者数	平均 新規入居者数
合計	23 件	297 人	12.9 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	229 人	25.4 人
軽費老人ホーム	1 件	2 人	2.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	66 人	5.1 人

平均新規入居者数は12.9人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で25.4人と多くなっている。

≪居所変更実態調査：問6≫

問5でご回答いただいた過去1年間の新規の入居者について、入居する前の居所別の人数をご回答ください。(数値回答)

【単純集計】

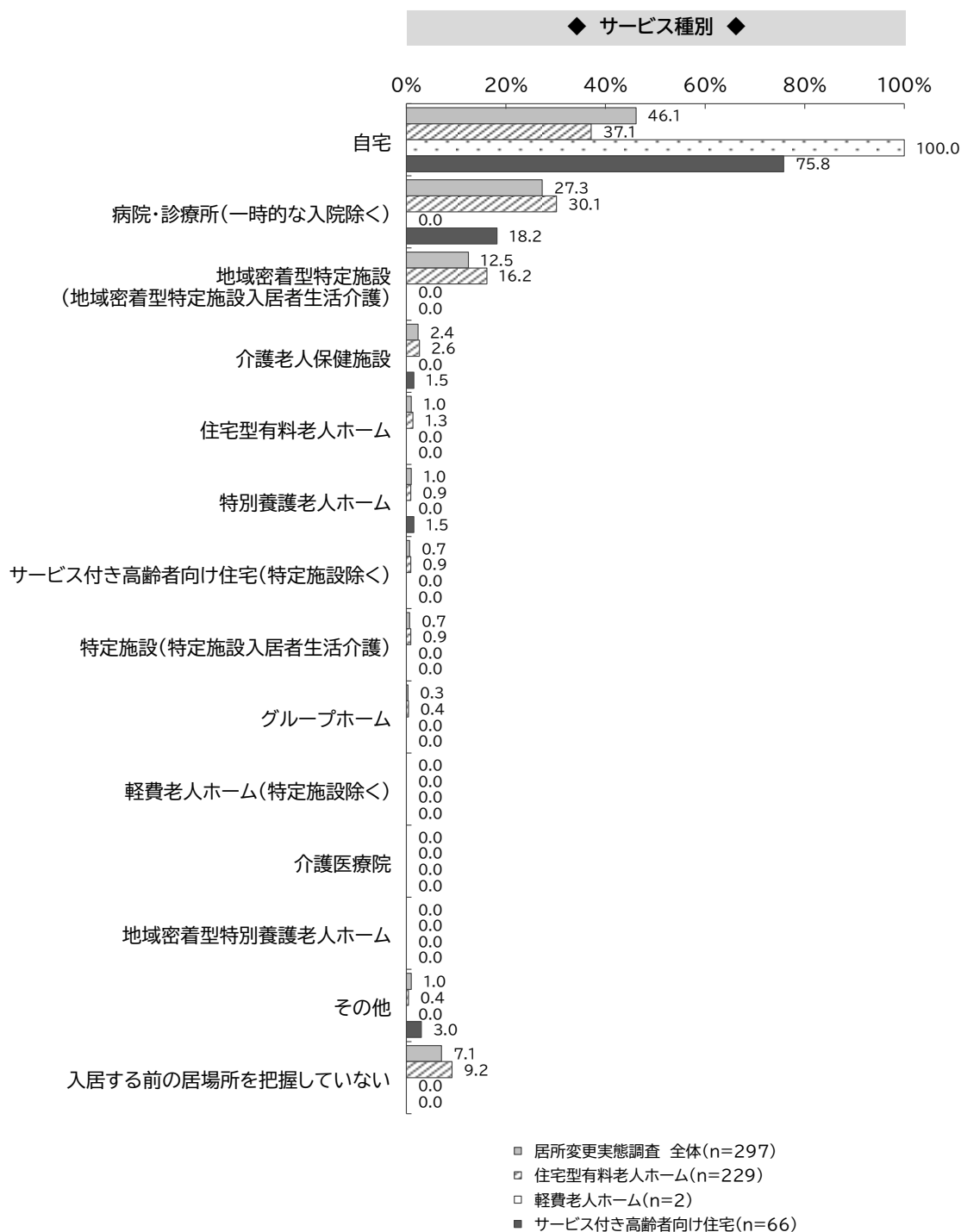


※事業所が問5で回答した合計新規入居者数を母数として、入居する前の居所の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

入居する前の居所別過去1年間の新規の入居者の構成割合は、「自宅」が46.1%と最も多く、次いで「病院・診療所(一時的な入院除く)」が27.3%、「地域密着型特定施設(地域密着型特定施設入居者生活介護)」が12.5%などとなっている。

市民・市民以外別にみると、≪市民以外≫で「病院・診療所(一時的な入院除く)」が38.9%と≪市民≫より20.8ポイント高くなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「病院・診療所（一時的な入院除く）」、「地域密着型特定施設（地域密着型特定施設入居者生活介護）」、「入居する前の居場所を把握していない」が「サービス付き高齢者向け住宅」より多く、「サービス付き高齢者向け住宅」では「自宅」が75.8%と「住宅型有料老人ホーム」より38.7ポイント高くなっている。

ここからは、過去 1 年間の退去者についてお伺いします。

《居所変更実態調査：問 7》

過去 1 年間（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）に、貴施設等を退去した人の人数をご回答ください。（数値回答）

【単純集計・クロス集計：サービス種別】

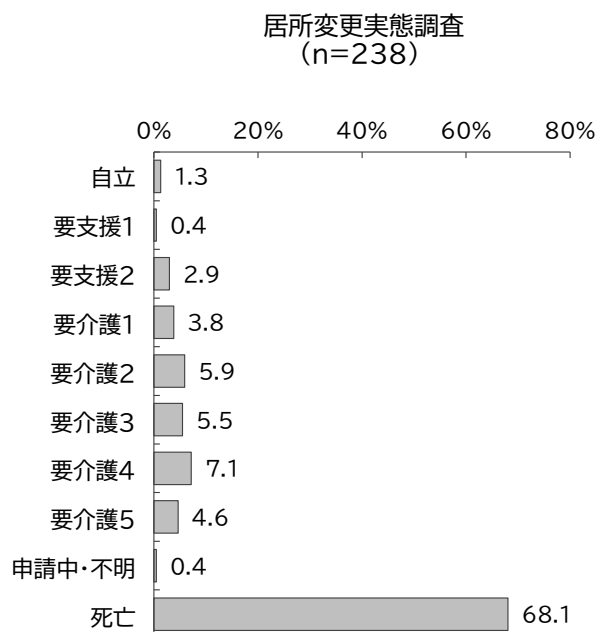
	件数	合計退去者数	平均退去者数
合計	23 件	238 人	10.4 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	172 人	19.1 人
軽費老人ホーム	1 件	2 人	2.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	64 人	4.9 人

平均退去者数は 10.4 人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で 19.1 人と多くなっている。

≪居所変更実態調査：問8≫

問7でご回答いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご回答ください。（数値回答）

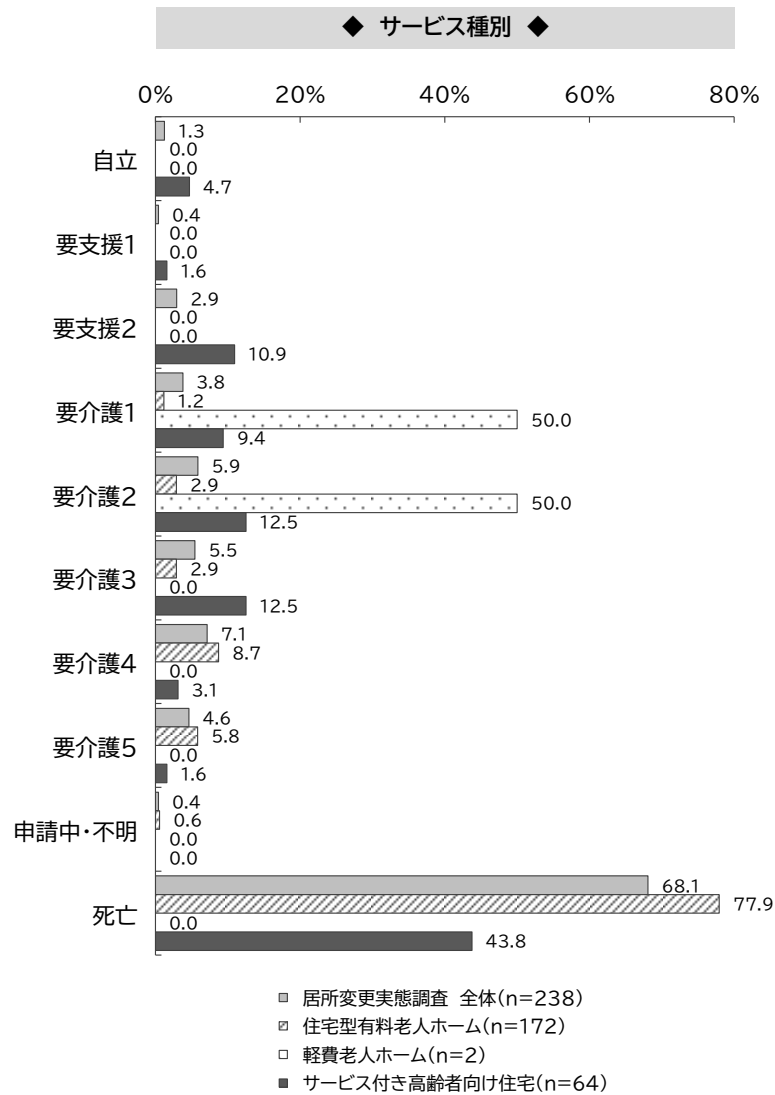
【単純集計】



※事業所が問7で回答した合計退去者数を母数として、要介護度の構成割合を算出した。（クロス集計も同様）

要介護度別過去1年間の退去者の構成割合は、「死亡」が68.1%と突出している。

【クロス集計：サービス種別】

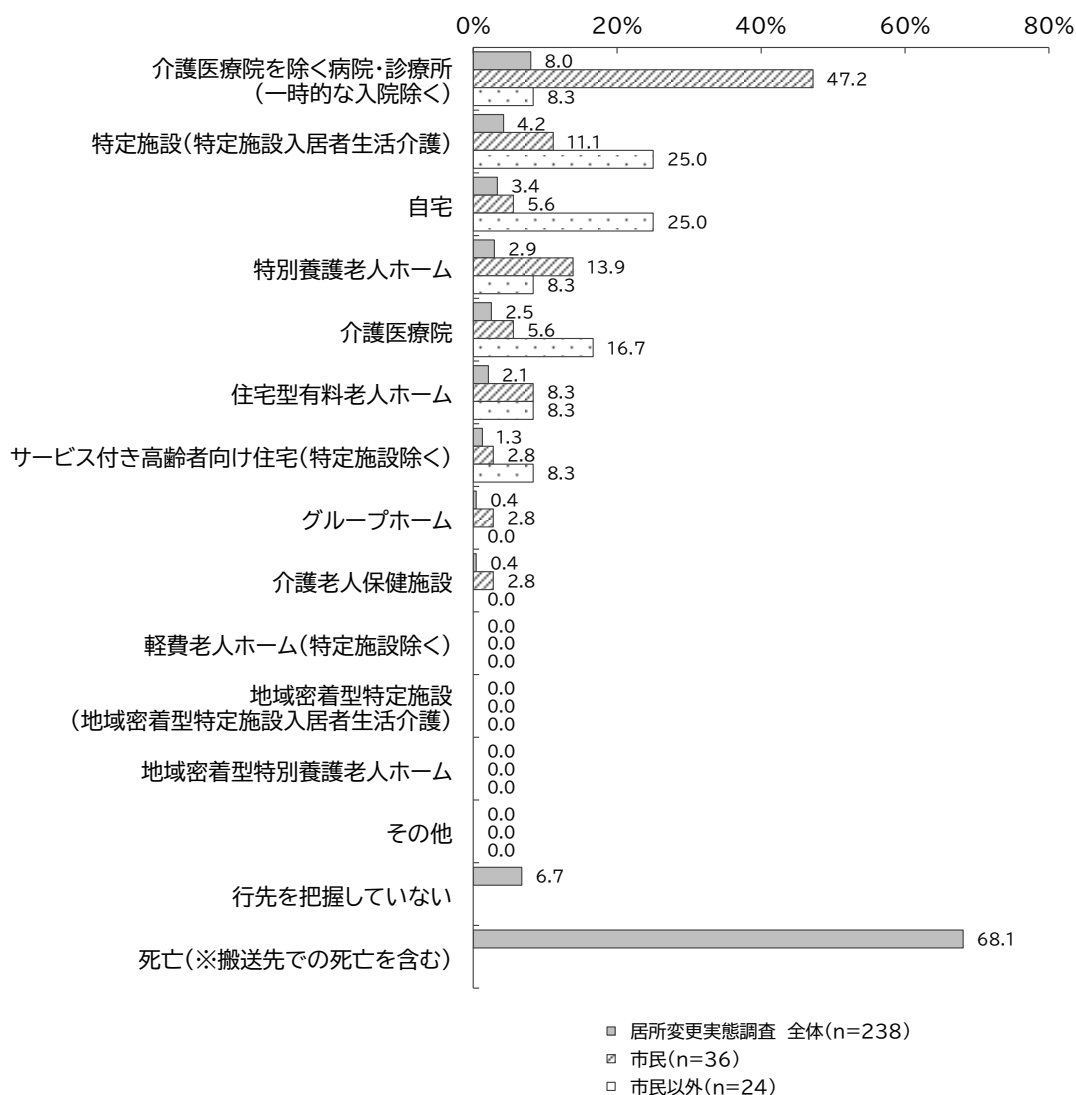


サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「要介護4」、「死亡」が「サービス付き高齢者向け住宅」より多く、「サービス付き高齢者向け住宅」では「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」が「住宅型有料老人ホーム」より多くなっている。

≪居所変更実態調査：問9≫

問7でご回答いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご回答ください。（数値回答）

【単純集計】

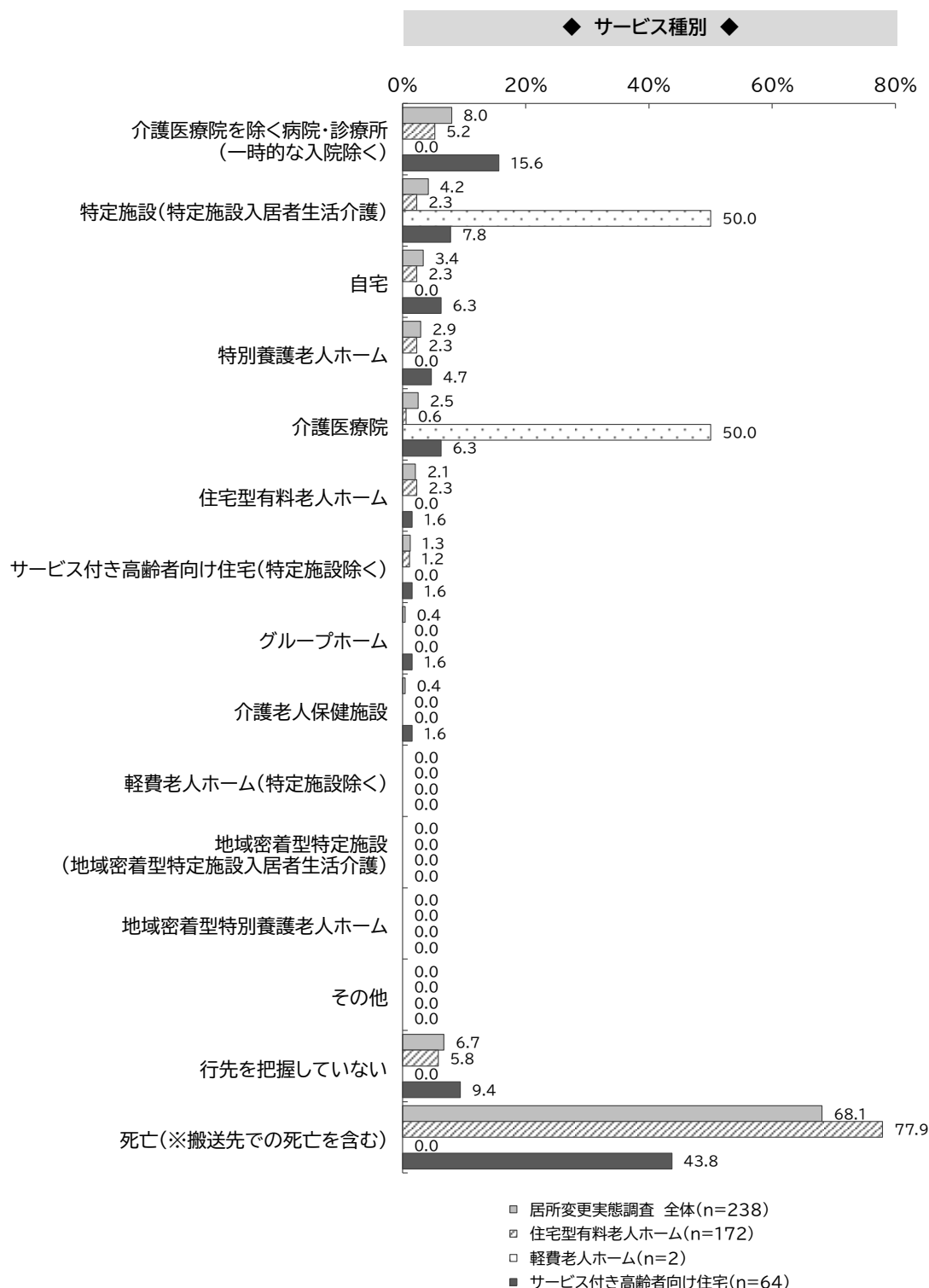


※事業所が問7で回答した合計退去者数を母数として、退去先の構成割合を算出した。（クロス集計も同様）

退去先別過去1年間の退去者の構成割合は、「死亡（※搬送先での死亡を含む）」が68.1%と突出している。

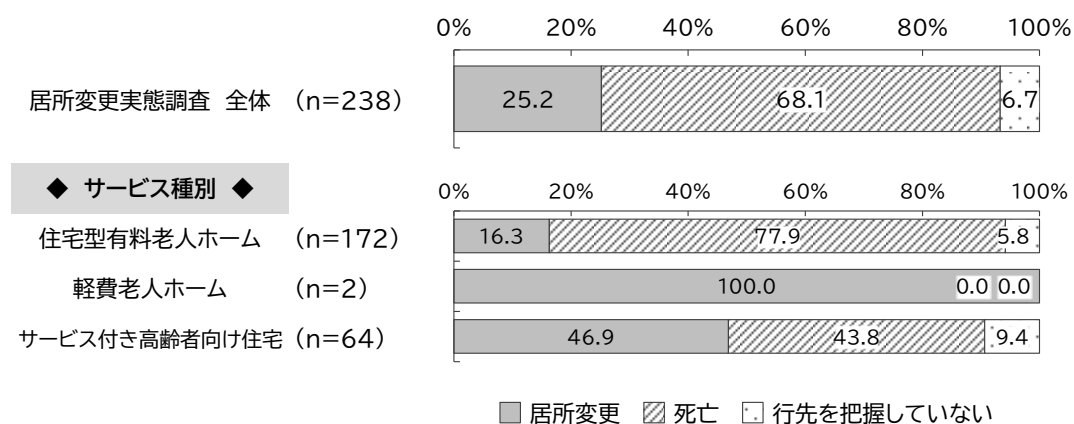
市民・市民以外別にみると、≪市民≫で「介護医療院を除く病院・診療所（一時的な入院除く）」、「特別養護老人ホーム」が≪市民以外≫より多く、≪市民以外≫では「特定施設（特定施設入居者生活介護）」、「自宅」、「介護医療院」、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が≪市民≫より多くなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「死亡(※搬送先での死亡を含む)」が77.9%と「サービス付き高齢者向け住宅」より34.1ポイント高く、「サービス付き高齢者向け住宅」では「介護医療院を除く病院・診療所(一時的な入院除く)」、「特定施設(特定施設入居者生活介護)」、「介護医療院」が「住宅型有料老人ホーム」より多くなっている。

【参考：退去の理由】



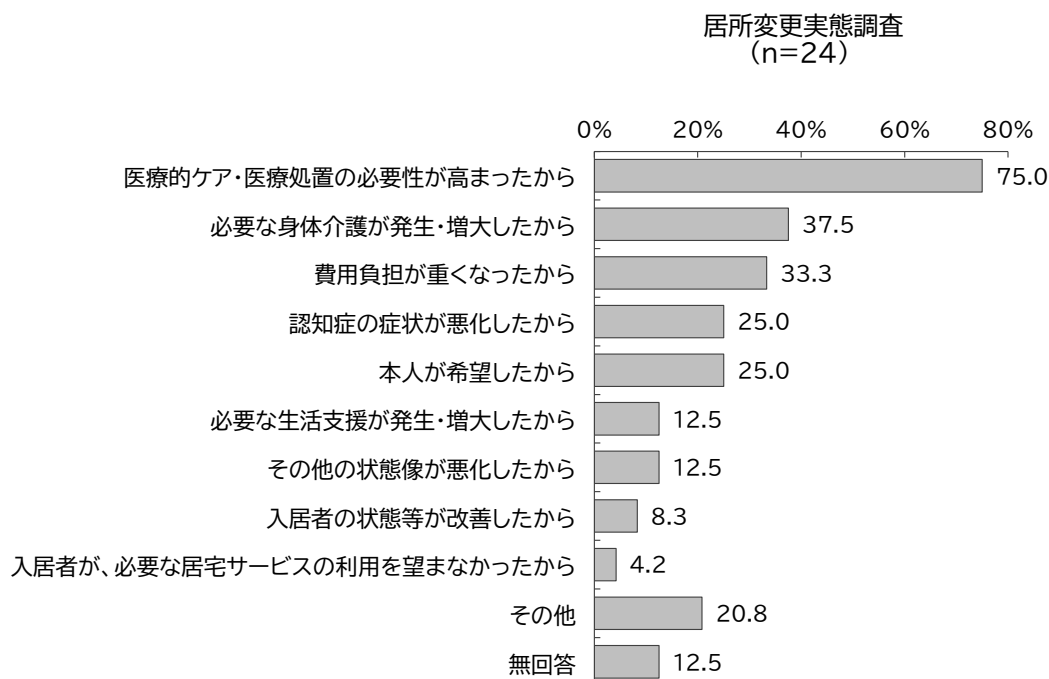
退去の理由は、「居所変更」が25.2%、「死亡」が68.1%となっている。

サービス種別にみると、《住宅型有料老人ホーム》で「死亡」が77.9%と《サービス付き高齢者向け住宅》より34.1ポイント高く、《サービス付き高齢者向け住宅》では「居所変更」が46.9%と《住宅型有料老人ホーム》より30.6ポイント高くなっている。

≪居所変更実態調査：問10≫

貴施設等の入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。(複数回答可：3つまで)

【単純集計：第1位～第3位合計】



※上位3項目を回答してもらい、それらを順位不問でまとめて集計した。順位別の割合は下表参照。

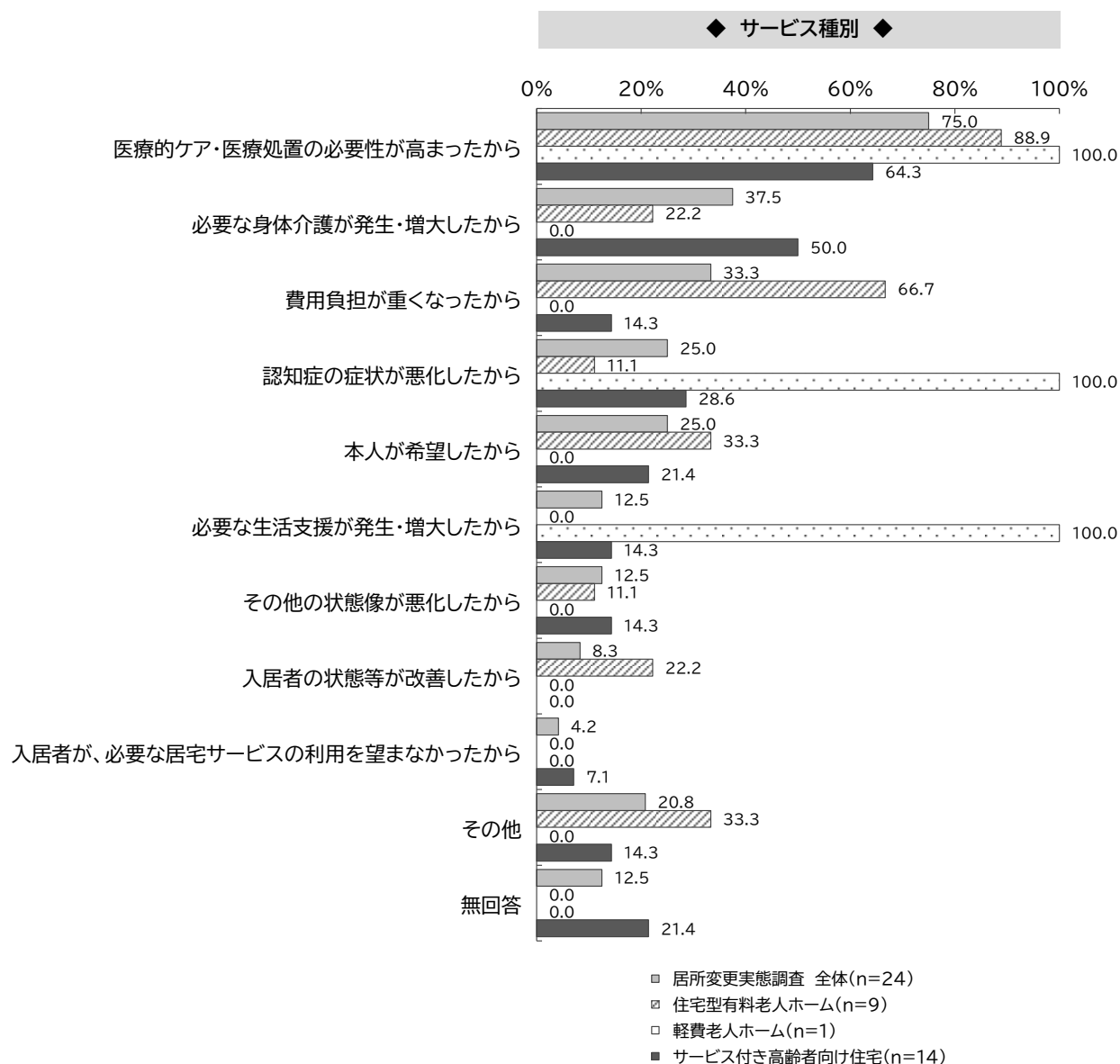
【単純集計：第1位～第3位】

	調査数 (施設)	多い退去理由 (%)									
		医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	必要な身体介護が発生・増大したから	費用負担が重くなったから	認知症の症状が悪化したから	本人が希望したから	必要な生活支援が発生・増大したから	その他の状態像が悪化したから	入居者の状態等が改善したから	入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	その他
単位：%											
合計	24	75.0	37.5	33.3	25.0	25.0	12.5	12.5	8.3	4.2	20.8
第1位	24	54.2	8.3	4.2	0.0	4.2	12.5	0.0	4.2	0.0	12.5
第2位	24	12.5	20.8	16.7	12.5	8.3	0.0	8.3	0.0	4.2	12.5
第3位	24	8.3	8.3	12.5	12.5	12.5	0.0	4.2	4.2	0.0	16.7

入居者が退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が75.0%と最も多く、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」が37.5%、「費用負担が重くなったから」が33.3%などとなっている。

順位別にみると、順位が高くなるほど「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」、「必要な生活支援が発生・増大したから」が多くなっている。

【クロス集計：サービス種別：第1位～第3位合計】



サンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

Ⅶ 資料編

大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
実態調査の実施について

令和8年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組みむべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第9期計画)を令和6年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところである。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和9年度から令和11年度までの第10期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの65歳以上の皆さまの福祉計画に対する考え方や生活環境などを把握するための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方の中から、随作員に5,000人を抽出し、ご協力をお願いします(要介護・要支援の認定を受けている方については、別途調査をお願いしています)。

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長 古谷田 力

【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和8年1月1日現在の状況**でお答えください。
- 2 ご本人様にご記入することが難しい場合は、ご家族 または 介護を行っている方、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入居等により一時的にご不在の場合は、ご自宅に居られることを前提にご回答ください。必ずようにお願いたします。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでいただき、「その他」を選択された場合は具体的な内容を記入してください。
- 4 一添の方にお答えいただく欄がございいます。その場合は、あてはまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、開封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月27日(金)までに投函**してください。また、調査票以外のはがき封筒などにはご記入いたしません。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市あんしん福祉課 生涯福祉係 電話：260-5611 FAX：260-1156
大和市あんしん福祉課 介護保険課 総務係 電話：260-5168 FAX：260-5158

調査票用紙 001

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりです。ご確認ください。
本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとして扱われます。

記

■個人情報の保護及び活用目的について

本調査は、本市における第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定に外には利用いたしません。
なお、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に際し、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定に外には利用いたしません。

本調査で得られた情報は、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定に外には利用いたしません。

ただし、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定に際し、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定に外には利用いたしません。

また、本調査で得られたデータを活用するにあたり、調査結果の活用目的や活用範囲を明らかにし、必要に応じて集計・分析することがあります。

■調査票の返送内容の取り扱いについて

調査票にご回答いただいた情報は、適切に管理させていただきます。

■本調査の結果と介護保険制度で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付添すること、無作為に抽出された方の中から回答された調査票が抽出されるようにしています。介護保険制度で保有している個人データと、本調査の調査票を紐づけることで得られるデータも、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として活用させていただきます。当該データも、ご本人の許可なく、目的以外に使用することはありません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)に基づき、国が作成した説明書そのまゝ実施しています。

事前説明書 お住まいの地域は、次のどれですか。【□は1つ】

- 1 下鶴間・つきみ野地区(下鶴間、つきみ野)
- 2 中央林間地区(中央林間西、中央林間)
- 3 南林間地区(南林間、林間)
- 4 鶴間地区(鶴間、西鶴間)
- 5 深見・大和地区(深見、深見東、深見西、大和東、大和南)
- 6 上野和・中央地区(上野和、中央、草津、下草津、草津1・4丁目)
- 7 鶴間北地区(鶴間2・3・5丁目、鶴間1～8丁目)
- 8 鶴間南地区(代官、終谷、鶴田1～8丁目、終谷～終谷1、55歳～56歳を除く)
- 9 桜丘・和地区(上和田、下和田、鶴田23～28丁目、鶴田5504～5506を除く)
- 10 その他(市外など)

はしめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家族の世帯構成は、次のどれですか。【Oは1つ】

- 1 ひとり暮らし 2 夫婦二人暮らし（配偶者は55歳以上）
 3 夫婦二人暮らし（配偶者は54歳以下） 4 子と同居（本人を含め、計____人）
 5 その他（具体的に：_____）

問2 あなたは、他段の生活でどのような介護・介助が必要ですか。【Oは1つ】

- 1 介護・介助は必要ない
 2 どのような介護・介助が必要だが、現在は受けていない
 3 現在、どのような介護を受けている
 （介護認定を受けていない、家族などの介護を受けている場合も含む）

問3-1 問2で3、現在、どのような介護を受けていると回答した方にお答えします。
 介護・介助が必要になった主な理由は何か。【Oはいくつでも】

- 1 脳卒中（脳出血・脳梗塞など） 2 心臓病
 3 がん（悪性新生物） 4 呼吸器の病気（肺炎、肺気腫・肺気腫など）
 5 関節の病気（リウマチなど） 6 認知症（アルツハイマー病など）
 7 パーキンソン病 8 糖尿病
 9 腎臓病（透析） 10 提足・聴覚障がい
 11 骨折・転倒 12 骨格異常
 13 高齢による衰弱 14 その他
 15 不明（具体的に：_____）

問3-2 問2で3、現在、どのような介護を受けていると回答した方にお答えします。
 主にどのような介護・介助を受けていますか（受けたいですか）。【Oはいくつでも】

- 1 配偶者（夫・妻） 2 息子 3 娘
 4 子の配偶者（夫・妻） 5 孫 6 兄弟・姉妹
 7 その他（具体的に：_____）

問3 現在の暮らしの状況を経済的にどのような感じていますか。【Oは1つ】

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう
 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

問4 ご自宅は、次のどれですか。【Oは1つ】

- 1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅）
 3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅（一戸建て）
 5 民間賃貸住宅（集合住宅） 6 社宅・宿舍
 7 その他（具体的に：_____）

3

からだを動かすことについておたずねします。

問5 階段をすべりや足を滑らせたことがありますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問6 椅子に降った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問7 15分位続けて歩いていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問8 過去1年間に数人足腰が痛みますか。【Oは1つ】

- 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか。【Oは1つ】

- 1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

問10 外出の頻度を教えてください。【Oは1つ】

- 1 はほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

問11 昨年と比べて、外出の頻度が減っていますか。【Oは1つ】

- 1 とても減っている 2 減っている
 3 あまり減っていない 4 減っていない

食べることにについておたずねします。

問12 身長と体重を教えてください。【数字を記入】

身長: _____ 体重: _____

問13 半年前に比べて重いものが食べにくくなりましたか。【Oは1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問14 お茶や汁類でもほせることがありますか。【Oは1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問15 口の渇きが強くなりましたか。【Oは1つ】

- 1 はい 2 いいえ

3

問16 身の回し入れ物の利用状況を教えてください。

(本人の身の回し入れ物の利用状況は、要知らずを答えて32本です)【○は1つ】

- 1 自分の物は本人以上、かつ入れ物を利用 2 自分の物は本人以上、入れ物の利用なし
3 自分の物は19本以下、かつ入れ物を利用 4 自分の物は19本以下、入れ物の利用なし
5 その他

→ 問16-1 問16-5 その他の説明をお願いします。

その物を本人が利用していますか。【○はいくつでも】

- 1 物の本数がわからないから
2 入れ物はあるが使わないから(買いや、買戻しから、なくとも壊れるから)
3 使はない または 壊れて動いてうまく使えないから
4 その他 (具体的に)

問17 6か月間で2-3kg以上の体重減少がありましたか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問18 どのような食事をする機会がありますか。【○は1つ】

- 1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある
4 年に何度かある 5 ほとんどない

毎日の生活についてお答えください。

問19 機忘れが多いと感じますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問20 周りの人からいつも同じことを聞くなどの情報があるといわれますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問21 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問22 今日が毎月何日かわからない場合がありますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問23 バスや電車を乗って一人で外出していますか(同乗利用でも可)。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問24 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問25 自分で食事の用意をしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問26 自分で読書の支払いをしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問27 自分で預貯金の出入れをしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問28 友人の家に泊まっていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問29 家族や友人の家に泊まっていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問30 連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。

【○はいくつでも】

- 1 スマートフォン 2 タブレット型端末
3 携帯電話 (スマートフォン以外) 4 パソコン
5 固定電話・FAX 6 その他 (具体的に)
7 利用していない

→ 問30-1 問30-7で(3)～(7)と回答した方にお答えします。

スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。

【○はいくつでも】

- 1 使い方がわからない・難しいから 2 費用が高いから
3 必要がないから 4 その他 (具体的に)
5 他にない

【例31】日常会話で聞いていることや不安に感じていることはありますが、【〇は1つ】

From 2

問31-1 問31で「ア」は正しいと回答した方にお答えします。
これは、問体的にどのようなことですか。【〇はいくつでも】

それは、同様のことのようだが、【〇はいくつても】

- | | | |
|-------------------------------|------------------|-------------|
| 1 買い物 | 2 ゴミ出し | 3 部屋の掃除 |
| 4 花壇干し | 5 食卓の整理 | 6 食卓の片付け |
| 7 洗濯 | 8 車洗いや車の簡単な修理等 | 9 家具の移動 |
| 10 季節の衣類・着具の出し入れ | 11 着むしりなど服の手入れ | 12 通院回などの送迎 |
| 13 外出時の支障 | 14 文書の見やり | 15 話し相手がない |
| 16 暖むやむいせ等暖く室内の調整、手すりがないなど | 17 現金の出し入れ | |
| 18 身元保証 | 19 財産整理 | 20 相続準備 |
| 21 家の処分（賃貸はもの整理、持ち家の売却など） | 22 介護・教育、医療の準備など | |
| 23 契約トラブルや訴訟（契約とは関係なく、電話販売など） | | |
| 24 その他（ほか表紙に） | | |

問31-1-1 問31-1で「15」と誤植した方にお知らせします。

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金を負担が
適当と考えますか。【〇は1つ】

選出と考へますか。【○は1つ】

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1 無料 | 2 100円程度 | 3 300円程度 |
| 4 500円程度 | 5 1,000円程度 | 6 千円以上 |

地域での活動についておたずねします。

例3.2 以下のような金・グループ等にとのくらの頻度で参照しています。【Oは「オ」】

[illegible]

5

図3.3 地域住民の存在によって、顔ぶづくり活動や団体等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりに果めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

[161101]

- 1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

問34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や造林等のグループ活動を行っている、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企業・機関(お世帯)として参加してみたいと思いますか。【はい】→

- 1 是非参加したい
- 2 参加してちよい
- 3 参加したくない
- 4 断固参加している

問 34-1 問33 または 問34 で「1」または「2」と回答した方にお答えします。
どのような活動に参加したい(参加してもよい)ですか。【○はいくつでも】

[illegible]

- 1 出ラシエスのグループ
- 2 スポーツ関係のグループやクラブ
- 3 建築関係のグループ
- 4 学園・教育サークル
- 5 シニアクラブ（老人クラブ）
- 6 同好会
- 7 収入のある仕事
- 8 地区社会福祉協議会（ユニサロン）
- 9 その他（任意）

問 34-1-1 問 34-1-7 で、ボランティアのグループと認識した方がよいでしょう。
家賃支援(30 分程度)のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、
どの程度の対価が妥当と考えますか。【〇は 1 つ】

- | | | | | | |
|---|--------|---|----------|---|--------|
| 1 | 婦科 | 2 | 100円程度 | 3 | 300円程度 |
| 4 | 500円程度 | 5 | 1,000円程度 | 6 | それ以上 |

たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についておねがいします。

問 35 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、どこにいますか。【〇はいくつでも】

- | | | | | | |
|---|-------------|---|-----------|---|--------|
| 1 | 配属者 (夫・妻) | 2 | 同僚の子ども | 3 | 別居の子ども |
| 4 | 豆柴姉妹・親戚・親・祖 | 5 | 近隣 | 6 | 友人 |
| 7 | その他 (具体的に) | 8 | そのよな人はいない | | |

■36 あなたが心配や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、どんなですが、【〇はいくつでも】

- 1 配達者（夫・妻）
2 同居の子ども
3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5 近隣
6 友人
7 その他（具体的に）
8 そのよきなはいない

問37 あなたが病気や寝たきりになったときに、看護や介護をしてくれる人は、どんなですか。
【〇はいくつでも】

1 配偶者（夫・妻）	2 同居の子ども	3 同居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他（具体的に）		8 そのような人はいない

問38 反対に、看護や世話をしてくれる人は、どんなですか。【〇はいくつでも】

1 配偶者（夫・妻）	2 同居の子ども	3 同居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他（具体的に）		8 そのような人はいない

健康についてお答えします。

問39 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【〇は1つ】

1 とてもよい	2 まあよい
3 あまりよくない	4 よくない

問40 現在の活動量をお答えください。

【1とても平常/10点として、ご記入ください】【〇は複数に1つ】									
とても平常	←	→	とても						
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点 10点

問41 この1か月間、気分がふんわり、ゆううつな気持ちになったりすることはありませんか。
【〇は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問42 この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいはむかぬ感じが
ありましたか。【〇は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問43 フレイル[※]という言葉を知っていますか。【〇は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

※フレイルとは、個人として体の心身の働き、社会がもたらすつながりが弱くなった状態を指します。
足に力をつけて、適切な運動を行うことで健康な状態になることができます。

問44 タバコは吸っていますか。【〇は1つ】

1 ほぼ毎日吸っている	2 時々吸っている
3 吸っていたが、やめた	4 もともと吸っていない

8

問45 現在治療中 または 経過観察のある病状はありますか。【〇はいくつでも】

1 ない	2 高血圧
3 脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	4 心臓病
5 糖尿病	6 高脂血症（脂質異常）
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎など）	8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気	10 腎臓病（透析）
11 筋骨格の病気（骨粗しょう症、骨密度低下など）	12 変形性関節症
13 膠原病（関節リウマチ含む）	14 外傷（転倒・骨折など）
15 がん（悪性新生物）	16 血液・免疫の病気
17 うつ病	18 認知症（アルツハイマー病など）
19 パーキンソン病	20 肥満（パーキンソン病を除く）
21 目の病気	22 耳の病気
23 口の病気（飲み込み困難、嚥下機能低下）	24 歯の病気（歯周病、むし歯など）
25 その他（具体的に）	

介護保険制度等についてお答えします。

問46 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

1 負担に感じる	2 やや負担に感じる
3 あまり負担に感じない	4 負担とは感じない

問47 介護保険料の額は、市税の利用が算入される介護保険サービスの額によって決まります。
今後の増減料とサービスの取り方について、あなたはどのように考えますか。【〇は1つ】

1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
2 保険料も介護保険サービスも現状のままでよい
3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
4 その他（具体的に）
5 わからない

問48 現在、どこで暮らしていますか。【〇は1つ】

1 自宅	2 親族の家
3 高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅含む）	
4 有料老人ホームなど	
5 修養老人ホーム・ケアハウス	
6 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	
7 病院	
8 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老健）、介護医療院	
9 その他（具体的に）	

9

問 49 介護が必要になったときに、どこで暮らしていきたいですか。【○は1つ】

- 1 自宅
2 親族の家
3 高齢者用の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
ア 高齢者向けの賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）や有料老人ホームなど
イ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護施設
ウ その他（具体的に：）
4 わからない

ひとり暮らしの方への施策についておたずねします。

問 50 大和市がひとり暮らしの方への施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【○は3つまで】

- 1 終活情報提供制度（要介護認定などの登録と、医療機関などへの情報提供）
2 葬儀や行政手続き（葬儀準備）代行に関する相談（制度や専門家の紹介など）
3 相続相談（制度や専門家の紹介など）
4 市職員が終活準備会や法律の専門家を招いた講演会の実施
5 外出促進を目的としたイベント実施（高齢者委員会など）
6 高齢のひとり暮らし向けサービス提供の情報発信（ガイドブック作成など）
7 日常生活のサポート（電話訪問などの軽作業、草刈りなど）
8 見守り（防犯カメラ、センサーなど緊急通報装置の設置など）
9 居場所づくり（交流会やイベントの開催など）
10 入居・施設入所・介護老人福祉の支援（身元保証会社や任意連帯についての相談など）
11 金融管理の支援（口座管理、請求書等支払管理など）
12 その他（具体的に：）

問 51 あなたは市に終活相談窓口があることを知っていますか（希望に応じて電話書士の紹介も行っていきます）。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

認知症施策等についておたずねします。

問 52 認知症の症状がある または 家族に認知症の症状がある人がいますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 53 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 54 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。【○は1つ】

- 1 認知症になったら、できないことを自ら工夫して闘いながら、住み慣れた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2 認知症になったら、医療・介護などのサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活することができ
3 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5 認知症になると、何もできなくなってしまう

問 55 あなたや家族に「認知症かな？」と思う症状が現れたら、主にどうしますか。【○は1つ】

- 1 誰にも言わず黙っておく
2 家族や地域に相談する
3 友人に相談する
4 かかりつけ医に相談する
5 市や地域包括支援センターに相談する
6 その他（具体的に：）
7 どうすればいいかわからない

問 56 もしあなたが認知症になったら、主にどうしたいですか。【○は1つ】

- 1 誰にも知られたい
2 今と同じ住まいで暮らし続けたい
3 今までの仕事や趣味などを続けたい
4 友人や近所の人とのつきあいを続けたい
5 認知症の人が入る施設で暮らしたい
6 その他（具体的に：）
7 わからない

問57 同知恵の人やその家族が暮らしやすい社会を得くため、あなたができると思うことは何ですか。
【0はいくつでも】

- 1 認知型について正しい説明や理解を持つ
- 2 日常生活の中で、受やりや受否確認をする
- 3 あいさつや声かけ、顔し相手や配役相手になる
- 4 買い物物の置き場いやゴミ出しの手助けをする
- 5 通話の送話や外出の付き添いをする
- 6 緊急時、避難窓口や緊急連絡先に連絡する
- 7 地域の集まりや活動に参加する時に、配慮したり手助けをしたりする
- 8 職場や仕事で困る時に配慮したり、手助けをしたりする
- 9 困りに思うなど、困っているところを見かけたら、声かけやサポート等に連絡する
- 10 その他（具体的には）
- 11 自分ができることは何もない
- 12 できるだけ関わりたいくない

【0457まで】

- 1 講演会等による認知症に対する正しい知識の普及啓発
- 2 学校教育や地域での普及啓発
- 3 認知症の人や家族等の交流会などの支援
- 4 外出支援の充実（ネットワーク形成、任意乗認運転システム、車かけ運転など）
- 5 認知症の人やその家族の声を反映した取組
- 6 認知症の人による発信や社会参加の機会確保
- 7 認知症の人を関与するボランティアの養成（認知症ササゲーターなど）
- 8 成年後見制度や遺贈助上対策等の充実
- 9 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）
- 10 かかりつけ医に対する周知
- 11 介護従事者に対する研修
- 12 早期発見、早期診断の仕組みづくり
- 13 予防の取組
- 14 若年性認知症に対する支援
- 15 その他（県民性）
- 16 特になし

ご自由にご意見をお書きください。

問59 大和町の運動若者団や介護保険などについて、ご意見をお聞かせください。

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月27日(金)までに
郵便ポストに投函してください。なるべくお早めにお返しいたします(回手は不要です)。

大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和8年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第9期計画)を令和6年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和9年度から令和11年度までの第10期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要介護認定を受けている皆さん及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者(以下「事業対象者」という)の皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」「家族等介護者の負担軽減」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、令和8年1月1日現在で要介護認定を受けている方及び事業対象者の方の中から無作為に2,000人の方を抽出し、ご協力をお願いしています。

ご送迎いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市 古谷田 力

【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和8年1月1日現在**の状況でお答えください。
- 2 ご本人様がご記入することが難しい場合は、ご家族 または 介護を行っている方、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入居等により一時的にご不在の場合は、ご自宅に戻られることをお説にご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。*その他を選択された場合は具体的な内容を○で記入してください。
- 4 一層の方にお答えいただく質問がございます。その場合は、あてはまる方のみ、お答えください。
- 5 **2月27日(金)までに**投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市あんしん福祉部民生・高齢福祉課 電話：260-5611 FAX：260-1156
大和市あんしん福祉部介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158
調査票用紙 0001

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとして扱われます。

記

■個人情報の保護及び活用目的について
本調査は、本市における第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に際し、調査票の作成に際して、調査票の作成に必要となる情報を収集することを目的として行います。

本調査で得られた情報は、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と関係する資料以外には利用いたしません。

ただし、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び策定後、時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、匿名加工処理の徹底する等のプライバシーの保護を怠り、必要に応じて集計・分析することがあります。

■調査票の調査内容の取り扱いについて
調査票にご回答いただいた情報は、適切に管理させていただきます。

■本調査の結果と介護保険制度で保有している個人データの活用について
本調査では、調査票に付随すること、無作為に抽出された方の中から回答された調査票が抽出されるようにしています。介護保険制度で保有している個人データと、本調査の調査内容を照らし合わせることで得られるデータも、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として活用させていただきます。

※調査票を、ご本人の許可なく、目的以外に使用することはありません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「介護予防・高齢者保健福祉ニーズ調査」に準じており、国の作成した調査票をそのまま活用しています。

事前質問1 この調査票に記入される方は、どなたですか。【○は1つ】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 調査対象者 ご本人 | 2 主な介護者となっている家族・親類 |
| 3 主な介護者以外の家族・親類 | 4 その他(具体的に：) |

事前質問2 お住まいの地域は、次のどれですか。【○は1つ】

- | |
|---|
| 1 下鶴岡・つぎみ野地区(下鶴岡、つぎみ野) |
| 2 中央林間地区(中央林間西、中央林間) |
| 3 南林間地区(南林間、林間) |
| 4 鶴岡地区(鶴岡、西鶴岡) |
| 5 深沢・大和地区(深沢西、深沢東、深沢、深沢西、大和東、大和南) |
| 6 上草柳・中央地区(上草柳、草柳、中央、草柳、下草柳、草柳1・4丁目) |
| 7 鶴岡北地区(鶴岡2・3・5丁目、鶴岡1・8丁目) |
| 8 鶴岡南地区(代谷、渋谷、鶴岡1・8丁目、2539～2817、2539～2817を除く) |
| 9 桜丘・相田地区(上相田、下相田、鶴岡2539～2817、鶴岡2539～2817を除く) |
| 10 その他(市外など) |

1

はしめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家族の世帯構成は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 ひとり暮らし 2 夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）
3 夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下） 4 子と同居（本人を含め、計__人）
5 その他（具体的に：__）

問2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。【○は1つ】

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう
4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

問3 ご自宅は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅）
3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅（一戸建て）
5 民間賃貸住宅（集合住宅） 6 社宅・寄舎
7 その他（具体的に：__）

問4 現在、どこで暮らしていますか。【○は1つ】

- 1 自宅
2 親族の家
3 高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅含む）
4 有料老人ホームなど
5 介護老人ホーム・ケアハウス
6 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
7 病院
8 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老健）、介護医療院
9 その他（具体的に：__）

問5 今後、どこで暮らしていきたいですか。【○は1つ】

- 1 自宅
2 親族の家
3 高齢者対応の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
ア 高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）や有料老人ホームなど
イ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設
ウ その他（具体的に：__）
4 わからない

2

からだを動かすことについておたずねします。

問6 階段をすりや登をつたわらずに昇っていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問7 椅子に降った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問8 15分位続けて歩いていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問9 過去1年間に数人た足腰が痛みますか。【○は1つ】

- 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問10 転倒に対する不安は大きいですか。【○は1つ】

- 1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

問11 外出の頻度を教えてください。【○は1つ】

- 1 はほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

問12 昨年と比べて、外出の頻度が減っていますか。【○は1つ】

- 1 とても減っている 2 減っている
3 あまり減っていない 4 減っていない

食べることについておたずねします。

問13 身長と体重を教えてください。【数字を記入】

身長: □□□□ cm 体重: □□□□ kg

問14 半年前に比べて飲みものが食べにくくなりましたか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問15 お茶や汁物等でむせることがありますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問16 口の周りが乾きますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

3

問 17 毎月の収入と支出の差額を教えてください。

(収入の欄は月収、支出の欄は毎月支払う金額を記入してください。【○は1つ】)

- 1 収入が10万円以上、かつ支出が10万円未満 2 収入が10万円以上、支出が10万円以上、収入が支出を上回る
3 収入が10万円以上、支出が10万円以上、収入が支出とほぼ同じ 4 収入が10万円未満、支出が10万円以上、支出が収入を上回る
5 その他

問 17-1 収入と支出の差額を教えてください。

(収入の欄は月収、支出の欄は毎月支払う金額を記入してください。【○は1つ】)

- 1 収入が10万円以上、かつ支出が10万円未満 2 収入が10万円以上、支出が10万円以上、収入が支出を上回る
3 収入が10万円以上、支出が10万円以上、収入が支出とほぼ同じ 4 収入が10万円未満、支出が10万円以上、支出が収入を上回る
5 その他

問 18 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 19 どのような病気や症状がありますか。【○は1つ】

- 1 糖尿病 2 高血圧 3 月に何回かある
4 年に何回かある 5 ほとんどない

毎日の生活についてお答えください。

問 20 毎日の生活が忙しすぎますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 21 周りの人から「いつも同じことを繰り返す」といわれますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 22 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 23 今日が毎月何日かわかりませんか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 24 バスや電車を乗って1人で外出していますか(同乗者も可)。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 25 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 26 自分で食料の買物をしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 27 自分で読書の支払いをしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 28 自分で読書の申し込みをしていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

問 29 友人の家に泊まっていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 30 家族や友人の家に泊まっていますか。【○は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問 31 連絡や相談、情報をとるときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。【○はいくつでも】

- 1 スマートフォン 2 タブレット型端末
3 携帯電話 (スマートフォン以外) 4 パソコン
5 固定電話・FAX 6 その他 (具体的に)
7 利用していない

問 31-1 問 31-1で「1」が選択された方にお答えください。
スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

- 1 使い方がわからない・難しいから 2 費用が高いから
3 必要がないから 4 その他 (具体的に)
5 他にない

問34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っている、いまいましい活動づくりを進めようとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。【〇は1つ】

1 是非参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 参加していい

問35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っている、いまいましい活動づくりを進めようとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。【〇は1つ】

1 是非参加したい	2 参加してもよい
3 参加したくない	4 参加していい

問35-1 問34 または 問35 で「1」または「2」に回答した方にお聞きします。どのような活動に参加したいですか。【〇はいくつでも】

1 ボランティアのグループ	2 スポーツ関係のグループやクラブ
3 趣味関係のグループ	4 学習・教養サークル
5 シニアクラブ（老人クラブ）	6 自協会
7 収入のある仕事	8 地区社会福祉協議会（ミニサロン）
9 その他（具体的に）	

問35-1-1 問35-1で「1」 ボランティアのグループは回答した方にお聞きします。家事支援（30 分程度）のボランティアを行う場合、1回の参加につき、どの程度の対価が支払われますか。【〇は1つ】

1 無料	2 100 円程度	3 300 円程度
4 300 円程度	5 1,000 円程度	6 その他

問32 日曜生活で困っていることや不安に感じていることはありますか。【〇は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問32-1 問32 で「1」を選び回答した方にお聞きします。それは、具体的にどのようなことですか。【〇はいくつでも】

1 買い物	2 ゴミ出し	3 居間の掃除
4 洗濯干し	5 食器の整理	6 食卓の片付け
7 洗濯	8 趣味活動や健康な趣味	9 家具の移動
10 季節の準備・整理のし入れ	11 車むしりなど車の手入れ	12 通院時などの送迎
13 外出時の支援	14 衣類の足切り	15 話し相手がない
16 転びやすい・世帯内（室内）の段差、手すりがないなど	17 現金の出し入れ	
18 身元保証	19 財産管理	20 相続準備
21 家の処分（賃貸住宅の売却、持ち家の相続など）	22 節電・節水、交換の手続きなど	
23 契約トラブルや詐欺（強引な訪問販売・電話販売など）		
24 その他（具体的に）		

問32-1-1 問32-1で「1」または「2」に回答した方にお聞きします。これらの支援を受ける場合、1回の参加につき、どの程度の参加費がかかりますか。【〇は1つ】

1 無料	2 100 円程度	3 300 円程度
4 500 円程度	5 1,000 円程度	6 その他

地域での活動についてお答えください。

問33 以下のような会・グループ等にとのくわいの頻度で参加していますか。【〇は1つずつ】

頻度	週4回以上	週3回	週2回	週1回	月に1回	年に数回	参加していない
例 ●●活動	1	2	3	4	5	6	
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	
⑤ 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6	
⑥ シニアクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6	
⑦ 自治会	1	2	3	4	5	6	
⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）	1	2	3	4	5	6	
⑨ 地区社会福祉協議会（ミニサロン）	1	2	3	4	5	6	

たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についておたずねします。

問 36 あなたの家事や面倒(べち)を助けてくれる人は、どなたですか。【○はいくつでも】

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

問 37 あなたの悩み事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、どなたですか。【○はいくつでも】

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

問 38 あなたが病気や高齢で動けなくなるときに、看病や世話をしてくれる人は、どなたですか。【○はいくつでも】

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

問 39 反対に、看病や世話をしてくれる人は、どなたですか。【○はいくつでも】

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

9

健康についておたずねします。

問 40 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【○は1つ】

- | | |
|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい |
| 3 あまりよくない | 4 よくない |

問 41 現在の生活の満足度は、どの程度ですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)【○は5数に1つ】



問 42 この1か月間、気分が落ち込んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。【○は1つ】

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 43 この1か月間、どうしても物事にに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。【○は1つ】

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 44 タバコは吸っていますか。【○は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 は毎日吸っている | 2 時々吸っている |
| 3 吸っていたが、やめた | 4 ちともと吸っていない |

問 45 現在治療中、または 療養院のある病院に入院していますか。【○はいくつでも】

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞など) | 4 心臓病 |
| 5 糖尿病 | 6 高脂血症(脂質異常) |
| 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎など) | 8 腎臓・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 腎臓・前立腺の病気 | 10 腎臓病(透析) |
| 11 新骨格の病気(骨粗しょう症、骨密度低下など) | 12 変形性関節炎 |
| 13 膠原病(関節リウマチ含む) | 14 外傷(転倒・骨折など) |
| 15 がん(悪性新生物) | 16 血液・免疫の病気 |
| 17 うつ病 | 18 認知症(アルツハイマー病など) |
| 19 パーキンソン病 | 20 難病(パーキンソン病を除く) |
| 21 目の病気 | 22 耳の病気 |
| 23 口の病気(飲み込み困難、嚥下障害など) | 24 歯の病気(歯周病、むし歯など) |
| 25 その他(具体的に:) | |

9

介護保険制度等についておたずねします。

問46 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

- 1 負担に感じる 2 やや負担を感じる
3 おまじ負担に感じない 4 負担とは感じない

問47 介護保険料の額は、市民の利用が算込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスの在り方について、あなたはどのように考えますか。【〇は1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
2 保険料も介護保険サービスも現状のままでよい
3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
4 その他（具体的に）
5 わからない

問48 介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。【〇は3つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大
（種類や内容などを具体的に）
2 在宅での介護を支えるための施策の充実
3 グループホームなどの地域に定着した介護施設を増設
4 特別養護老人ホームなどの入所施設の増設
5 介護保険サービスを担う人材の資力の向上
6 介護保険サービスについての情報提供の充実
7 介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実
8 介護予防の施策の推進
9 ケアマネジャーなどの職員の向上
10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支えあいの充実
11 介護人材確保のために、職場の処遇改善施策の充実
12 その他（具体的に）
13 特になし

問49 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【〇は1つ】

- 1 入所・入居は検討していない
2 入所・入居を検討している
3 すでに入所・入居申し込みをしている

10

認知症施策等についておたずねします。

問50 認知症の症状があるまたは、家族に認知症の症状がある人がいますか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問51 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問52 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。【〇は1つ】

- 1 認知症になってから、できないことを自ら工夫して闘いながら、住み慣れた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2 認知症になってから、医療・介護などのサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活することができ
3 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5 認知症になると、何もできなくなってしまう

問53 あなたや家族は、「認知症かな？」と思う症状が現れたら、主にどうしますか。【〇は1つ】

- 1 誰にも言わず黙っておく
2 家族や地域に相談する
3 友人に相談する
4 かかりつけ医に相談する
5 市や地域包括支援センターに相談する
6 その他（具体的に）
7 どうすればいいのかわからない

問54 もしあなたが認知症になったら、主にどうしたいですか。【〇は1つ】

- 1 誰にも知られたい
2 今と同じ住まいで暮らし続けたい
3 今までの仕事や趣味などを続けたい
4 友人や近所の人とつきあいを続けたい
5 認知症の人が入る施設で暮らしたい
6 その他（具体的に）
7 わからない

11

問55 認知症の人やその家族が暮らしやすい社会を築くため、あなたができると思うことは何ですか。
【〇はいくつでも】

1 認知症について正しい知識や理解を持つ	
2 日常生活の中で、更年りや認知症を予防する	
3 あいさつや声かけ、話し相手や相談相手になる	
4 買い物や食事、お風呂や洗濯などの手助けをする	
5 認知症の予防や外出の付き添いをする	
6 緊急時に、認知症の人や家族と連絡先を連絡する	
7 地域の集まりや活動に参加する時に、配慮したり手助けをしたりする	
8 職場や仕事で接する時に配慮したり、手助けをしたりする	
9 車に誘うなど、困っているところを見かけたら、声をかけや警察等に連絡する	
10 その他（具体的に）	
11 自分にできることは何もない	
12 できるだけ関わりたくない	

問56 本和町が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。
【〇は5つまで】

1 講演会等による認知症に関する正しい知識の普及啓発	
2 学校教育や地域での普及啓発	
3 認知症の人や家族等の交流会などの相談支援	
4 外出支援の充実（ネットワーク形成、位置情報支援システム・声かけ運転など）	
5 認知症の人やその家族の声を反映した施策	
6 認知症の人による集まりや社会参加の機会確保	
7 認知症の人を関与するボランティアの養成（認知症サポーターなど）	
8 成年後見制度や遺言・相続等に関する支援	
9 認知症の予防・認知症の介護・コミュニケーション方法など	
10 かかりつけ医に対する関係	
11 介護保険サービスに対する関係	
12 民間企業・福祉団体の仕組みづくり	
13 予防の取組	
14 若年性認知症に対する支援	
15 その他（具体的に）	
16 特になし	

12

介護保険サービス等についてお答えをお願いします。

問57 令和7年12月の1か月の間に、任意訪問、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを
利用しましたか。（介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、
訪問型サービスA、介護予防訪問型サービスBを含む）【〇はいっ】

1 利用した	2 利用していない
--------	-----------

問57-1 問57で「利用した」と回答した方にお答えします。
現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や
光熱費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合計した1か月の負担
金額の範囲を教えてください。【〇はいっ】

1 5千円未満	2 5千円～1万円未満
3 1万円台	4 2万円台
5 3万円～5万円未満	6 5万円～10万円未満
7 10万円～15万円未満	8 15万円～20万円未満
9 20万円～25万円未満	10 25万円～30万円未満
11 30万円～35万円未満	12 35万円以上

問57-2 問57で「利用した」と回答した方にお答えします。
利用者負担の支払額について、どのように感じていますか。【〇はいっ】

1 負担に感じる	2 やや負担に感じる
3 あまり負担に感じない	4 負担とは感じない

問57-3 問57で「利用した」と回答した方にお答えします。
現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。
【〇はいっ】

1 満足	2 ほぼ満足	3 どちらともいえない
4 やや不満	5 不満	

問57-4 問57で「利用した」と回答した方、任意サービスをご利用している方がお答えします。
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。
【〇は3つまで】

1 自分で身の回りのことができ、生活に満足ができた	3 精神的に楽になった
2 体調がよくなった	5 外出する機会が増えた
4 家族に対する気持が楽になった	7 体調が悪くなった
6 自分で身の回りのことましくなくなった	9 家族に対する気持が楽になった
8 精神的ストレスが増えた	11 その他
10 外出する機会が減った	(具体的に)
12 特に変化はない	

13

介護の状況についてお答えください。

問58 あなたは、普段の生活でどんなかの介護・介助が必要ですか。【○は1つ】

- 1 介護・介助は必要ない
2 なたかからの介護・介助は必要だが、現在は受けていない。お読みください。
3 現在、なたかからの介護を受けている
(介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む)

→ 問59-1 問58で3、現在、なたかからの介護を受けていると回答した方にお読みします。
介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【○はいくつでも】

- 1 脳卒中（脳出血・脳梗塞など）
2 心臓病
3 がん（悪性新生物）
4 呼吸器の病気（肺炎、肺気腫・肺気腫など）
5 関節の病気（リウマチなど）
6 認知症（アルツハイマー病など）
7 パーキンソン病
8 糖尿病
9 腎疾患（透析）
10 視覚・聴覚障害
11 骨折・転倒
12 骨質減薄
13 高齢による衰弱
14 その他
15 不明
(両側に「」)

ここからは、主な介護者についてお答えください。

問59 主な介護者の方は、なたですか。【○は1つ】

- 1 配偶者（夫・妻）
2 子
3 子の配偶者（夫・妻）
4 孫
5 兄弟・姉妹
6 その他（両側に「」）

問60 主な介護者の方は、ご本人（介護対象者）と関係されていますか。【○は1つ】

- 1 同居している
2 同居していない

→ 問60-1 問60で2、同居していないと回答した方にお読みします。
ご本人（介護対象者）の室に寝つけると、どのくらい100時間がかりですか
(休憩手前は含みません)。【○は1つ】

- 1 同じ敷地内
2 15分未満
3 15分～30分未満
4 30分～1時間未満
5 1時間～1時間30分未満
6 1時間30分～2時間未満
7 2時間以上

14

問61 介護を受けている方の認知症はどの程度ですか。【○は1つ】

- 1 何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している
2 多少日常生活における支障（道に迷う、金銭の計算を誤るなど）はあるが、
誰かが注意していれば自立して生活できる
3 日常生活に支障をきたす症状（はいかい、失禁、火の不始末など）や意思の疎通が
困難である時がときとき見られ、介護を必要とする
4 日常生活に支障をきたす症状（はいかい、失禁、火の不始末など）や意思の疎通が
困難である時が頻りに見られ、常に目を離すことができない
5 著しい精神症状や徘徊行動（妄想、興奮、自傷など）、あるいは重篤な身体疾患が
見られ、専門医療を必要とする
6 上記1～5のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）

問62 主な介護者の方が特に困っていることは何ですか。【○は3つまで】

- 1 介護の方法がわからない
2 介護疲れが強い
3 自分の時間が取れない
4 相談相手がいらない
5 家族の協力や理解が足りない
6 経済などの理解が足りない
7 全体的に負担である
8 その他
9 特にない
(両側に「」)

皆様にお伺いします。ご自由にご意見をお書きください。

問63 大和市の高齢者医療や介護保険などについて、ご意見を自由に書きください。

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月27日(金)までに
郵便ポストに投函してください。お読みいたします(留守は可也です)。

15

大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和8年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期計画）」を令和6年3月に策定し、現在、計画の遂行に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和9年度から令和11年度までの第10期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要介護認定を受けている皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の確保」「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のため調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、令和8年1月1日現在で要介護認定を受けている方の中から無作為に2,500人の方を抽出し、ご協力をお願いします。

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまに迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長 古谷田 力

【ご記入のお願い】

- この調査は、**令和8年1月1日現在の状況**でお答えください。
- ご本人様にご記入することが難しい場合は、ご家族 または 介護を行っている方に、ご本人様の立場でご記入いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入居等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に置かれることを前提にご返送くださいますようお願いいたします。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでいただき、“その他”を選択された場合は具体的な内容を記入してください。
- 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は、あてはまる方のみ、お答えください。
- ご記入いただきました調査票は、開封の直後使用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月27日（金）まで**に投函してください。また、調査票以外のはがき封筒などにはご記入いたしません。
- 調査内容や記入の仕方など、ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市あんしん福祉部介護保険課 船井 勇 電話：260-5168 FAX：260-5158
調査票等 3頁

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

記

■個人情報の保護及び活用目的について
お調査は、本市における第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、福祉の増進策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施計画の策定には利用いたしません。

ただし、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定時及び実施計画時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、匿名化等の処理を行う等のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

■調査票の返送内容の取り扱いについて

調査票にご回答いただいた情報は、適切に管理させていただきます。

■本調査の結果と介護保険費で算出している個人データの利用について

本調査では、調査票に付随すること、制作時に集計された中での個人情報が漏れ、また調査票が失窃されるようにしていません。介護保険費で算出している個人データと、本調査の回答内容とを組み合わせることによって得られるデータを、第10期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として活用させていただきます。当該データも、ご本人の許可なく、目的以外に使用することはありません。

以上

事前説明1 この調査票に記入される方は、どこですか。【○は1つ】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 調査対象者 ご本人 | 2 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3 主な介護者以外の家族・親族 | 4 その他（具体的に： ） |

事前説明2 調査対象者様のお住まいの地域は、次のどれですか。【○は1つ】

- | |
|---|
| 1 下鶴岡・つしまみ野地区（下鶴岡、つしまみ野） |
| 2 中央林間地区（中央林間西、中央林間） |
| 3 南林間地区（南林間、林間） |
| 4 鶴岡地区（鶴岡、西鶴岡） |
| 5 深見・大和地区（深見東、深見西、深見台、大和東、大和南） |
| 6 上草郷・中央地区（上草郷、紙森、中央、草郷、下草郷、草郷1・4丁目） |
| 7 現田北地区（新郷2・3・5丁目、現田1～8丁目） |
| 8 現田南地区（代官、新谷、現田（1～8丁目、2133～2617、2506～2556を除く）） |
| 9 桜丘・現田地区（上現田、下現田、現田（2131～2617、現田（2506～2556）を除く）） |
| 10 その他（市外など） |

1

はしめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家族の世帯構成は、次のどれですか。【○はいっつ】

- 1 ひとり暮らし 2 夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）
3 夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下） 4 子と同居（本人を含め、計__人）
5 その他（具体的に：_____）

問2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。【○はいっつ】

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう
4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

問3 ご自宅は、次のどれですか。【○はいっつ】

- 1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅）
3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅（一戸建て）
5 民間賃貸住宅（集合住宅） 6 社宅・寄舎
7 その他（具体的に：_____）

問4 現在、どこで暮らしていますか。【○はいっつ】

- 1 自宅
2 親族の家
3 高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅含む）
4 有料老人ホーム
5 経費老人ホーム・ケアハウス
6 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
7 病院
8 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老健）、介護医療院
9 その他（具体的に：_____）

問5 今後、どこで暮らしていきたいですか。【○はいっつ】

- 1 自宅
2 親族の家
3 高齢者対応の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
ア 高齢者対応の賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅）や有料老人ホームなど
イ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設
ウ その他（具体的に：_____）
4 わからない

2

問6 連絡や相談、情報を利用するときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。【○はいっつでも】

- 1 スマートフォン 2 タブレット型端末
3 携帯電話（スマートフォン以外） 4 パソコン
5 固定電話・FAX 6 その他（具体的に：_____）
7 利用していない

→ 問6-1 携帯でインターネットは使っていますか。【○はいっつでも】

スマートフォン、タブレット型端末を利用していない場合は問7です。

- 1 使い方がわからない・困るから 2 費用が高いから
3 必要がないから 4 その他（具体的に：_____）
5 知らない

問7 現在治療中、または 療養院のある病気はありますか。【○はいっつでも】

- 1 ない 2 高血圧
3 脂血中（脂血、脂質異常など） 4 心臓病
5 糖尿病 6 高脂血症（脂質異常）
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎など） 8 腎臓・肝臓・胆のうの病気
9 腎臓・前立腺の病気 10 腎疾患（透析）
11 気管支の病気（喘息） 12 肥満性関節炎
13 膠原病（関節リウマチ含む） 14 外傷（転倒・骨折など）
15 がん（悪性新生物） 16 血液・形成の病気
17 うつ病 18 認知症（アルツハイマー病など）
19 パーキンソン病 20 難病（パーキンソン病を除く）
21 目の病気 22 耳の病気
23 口の病気（飲み込み困難、嚥下嚥下） 24 歯の病気（歯周病、むし歯など）
25 その他（具体的に：_____）

3

介護保険制度等についておたずねします。

問8 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

- 1 負担に感じる 2 やや負担を感じる
3 おまじ負担に感じない 4 負担とは感じない

問9 介護保険料の額は、希望の利用が買込まれる介護保険サービスの額によって決まります。今後の保険料とサービスの組み合わせについて、あなたはどのように考えますか。【〇は1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
4 その他（具体的に）
5 わからない

問10 介護保険料をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。【〇は3つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大
（種類や内容などを具体的に）
2 在宅での介護を支えるための施策の充実
3 グループホームなどの地域に定着した介護施設の増設
4 特別養護老人ホームなどの入所施設の増設
5 介護保険サービスを担う人材の資質の向上
6 介護保険サービスについての情報提供の充実
7 介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実
8 介護予防の施策の推進
9 ケアマネジャーなどの職員の向上
10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支えあいの充実
11 介護人材確保のために、職場の処遇改善施策の充実
12 その他（具体的に）
13 特になし

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【〇は1つ】

- 1 入所・入居は検討していない
2 入所・入居を検討している
3 すでに入所・入居申し込みをしている

4

認知症施策等についておたずねします。

問12 認知症の症状がある または 家族に認知症の症状がある人がいますが、【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問13 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問14 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。【〇は1つ】

- 1 認知症になったら、できないことをあらためて断りながら、住み慣れた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2 認知症になったら、医療・介護などのサポートを利用しながら、住み慣れた地域で生活することができ
3 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5 認知症になると、何もできなくなってしまう

問15 あなたや家族に「認知症かな？」と思う症状が見られたら、主にどうしますか。【〇は1つ】

- 1 誰にも言わず黙っておく
2 家族や親戚に相談する
3 友人に相談する
4 かかりつけ医に相談する
5 市や地域包括支援センターに相談する
6 その他（具体的に）
7 どうすればいいかわからない

問16 もしあなたや家族が認知症になったら、主にどうしたいですか。【〇は1つ】

- 1 誰にも知られたくない
2 今と同じ住まいで暮らし続けたい
3 今までの仕事や趣味などを続けたい
4 友人や近所の人とのつきあいを続けたい
5 認知症の人が入る施設で暮らしたい
6 その他（具体的に）
7 わからない

5

問17 認知症の人やその家族の暮らしやすい社会を築くため、あなたができると思うことは何ですか。
【〇はいくつでも】

- 1 認知症について正しい知識や理解を持つ
- 2 日常生活の中で、聞き取りや学習支援をする
- 3 あいさつや声かけ、話し相手や相談相手になる
- 4 買い物や食事、洗濯や掃除などの手助けをする
- 5 通院の送迎や外出の付き添いをする
- 6 緊急時に、相談窓口や緊急連絡先に連絡する
- 7 地域の集まりや活動に参加する時に、配慮したり手助けをしたりする
- 8 職場や仕事で接する時に配慮したり、手助けをしたりする
- 9 通に送らなと、困っているところを見かけたら、声かけや相談等に連絡する
- 10 その他（具体的に）
- 11 自分にできることは何もない
- 12 できるだけ関わりたい

問18 大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。
【〇は3つまで】

- 1 講演会等による認知症に関する正しい知識の普及啓発
- 2 学校教育や地域での普及啓発
- 3 認知症の人や家族等の交流会などの相談支援
- 4 外出支援の充実（ネットワーキング形成・位置情報支援システム・声かけ運動など）
- 5 認知症の人やその家族の声を反映した取組
- 6 認知症の人による発信や社会参加の機会確保
- 7 認知症の人を支援するボランティアの養成（認知症サポーターなど）
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）
- 10 かかりつけ医に対する研修
- 11 介護従事者に対する研修
- 12 早期発見・早期診断の仕組みづくり
- 13 予防の取組
- 14 若年性認知症に対する支援
- 15 その他（具体的に）
- 16 特にない

6

介護保険サービス等についてお答えをお願いします。

問19 令和7年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。【〇はい】

- 1 利用した
- 2 利用していない

問19-1 問19で「はい」と回答した方にお答えします。
現在、利用している介護保険サービスに付する利用者の負担額と施設における居住費や光熱水費、通信費（インターネット）などにおける費用等を合わせた1か月の合計の支払総額の範囲を教えてください。【〇はい】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 5千円未満 | 2 5千円～1万円未満 |
| 3 1万円台 | 4 2万円台 |
| 5 3万円～5万円未満 | 6 5万円～10万円未満 |
| 7 10万円～15万円未満 | 8 15万円～20万円未満 |
| 9 20万円～25万円未満 | 10 25万円～30万円未満 |
| 11 30万円～35万円未満 | 12 35万円以上 |

問19-2 問19で「はい」と回答した方にお答えします。
利用者の負担の支払額について、どのように感じていますか。【〇はい】

- 1 負担に感じる
- 2 やや負担に感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担とは感じない

問19-3 問19で「はい」と回答した方にお答えします。
現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。【〇はい】

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問19-4 問19で「はい」と回答した方、介護サービスを受ける期間をいふお答えをお願いします。
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。
【〇は3つまで】

- 1 自分で身の回りのことができ、生活に満足ができた
- 2 体調がよくなった
- 3 精神的に楽になった
- 4 家族に対する気遣いが減った
- 5 外出する機会が増えた
- 6 自分で身の回りのことしなくなった
- 7 体調が悪くなった
- 8 精神的ストレスが増えた
- 9 家族に対する気遣いが減った
- 10 外出する機会が減った
- 11 その他
- 12 特に変化はない

（具体的に）

7

00

以上で稿間は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月27日(金)までに
郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします(宛手は不詳です)。

54

3. 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(複数選択)可能な項目は○を、お願ひ致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に準拠しない、わからない

問2～問6へ

問7(裏面)へ

※「パートタイム」とは、1) 通常の勤務時間外に、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて低い方が雇用されます(パートタイム労働法)、「短時間労働者」等の方を指します。日雇、パートタイム等の場合も、勤務時間・勤務先から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選擇してください。

問2 問1で「1」「2」と回答した方にお使いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業無し、短時間勤務、退出・早退・半日休等)」している
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取っている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしている、働いている
6. 主な介護者に準拠しない、わからない

問3 問1で「1」「2」と回答した方にお使いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 日雇、パートタイム等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休業給付制度の充実
3. 調整を利用しやすい環境づくり
4. 労働時間の柔軟な調整(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特になし
11. 主な介護者に準拠しない、わからない

問4 問1で「1」「2」と回答した方にお使いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていくつもりですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていく
2. 問題はあるが、何とか続けていく
3. 続けていくのは、かなり難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に準拠しない、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

問11 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている課題について、ご回答ください(複数選択可)

1. 調査対象者(ご本人)
2. 介護(介護)
3. 介護(介護)
4. 介護(介護)
5. 介護(介護)
6. 介護(介護)
7. 介護(介護)
8. 介護(介護)
9. 介護(介護)
10. 介護(介護)
11. 介護(介護)
12. 介護(介護)
13. 介護(介護)
14. その他
15. なし

問12 ご本人(調査対象者)が、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問診療の受診や検査管理費等は含まれません。

問13 現在、(在宅医療、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問13で「2」と回答した場合は、問14も回答してください。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の意思がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 医療、利用しているサービスに不満がある
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したサービスが利用できない、身元がない
7. 在宅医療、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けた回数・回数や利用方法が分からない
9. その他

● 問2で「2」「3」「4」「5」と回答し、さらに「主な介護者」が調査に同意している場合は、「主な介護者」の方に8番へのご回答・ご記入をお願いいたします。

● 「主な介護者」の方が同意されていない場合は、ご本人(調査対象者)の方に「ご回答・ご記入をお願いします」とご回答・ご記入をお願いいたします。同意しない場合は、質問書で結構です。

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているお返事は問いません)(はつまで選択可)

【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べしめ)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の散歩・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 創傷	10. 認知症等への対応
11. 居場所での対応(認知症、スリパー等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活に必要なお金管理	
【その他】	
15. その他	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しなかった、わからない	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

大和市 介護保険サービス供給量調査

ご協力をお願い

日頃、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、大和市では令和6年3月に策定した「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）」に基づき、介護保険をはじめとして、高齢者の保健福祉施策を推進しているところですが、この計画期間を令和8年度までとしていることから、現在、第10期の新たな計画策定に向けた取組を進めています。

令和8年2月

つきましては、新たな計画の策定に向けて、大和市内の介護保険サービスを提供している介護事業者（みなし指定や給付事業者は除く）の現状や今後の意向把握のために、この際、「大和市 介護保険サービス供給量調査」を実施させていただきます。また、国定介護支援事業の登録がある事業者につきましては、介護サービスを提供されている方の実態などを把握するための「大和市 居宅介護支援事業所調査」を併せて実施させていただきます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の運営をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお、ご回答いただいた調査内容は、計画策定・計画実施のために活用するものであり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。また、居介護・居支援（事業利用者）の調査を受けている方には、別途、「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査」を行っております。利用者からお問い合わせがあった場合は、介護保険課へご案内いただくようご説明いただければ幸いです。

1 質問には、令和6年1月1日現在についてお答えください。
2 この調査票は、1法人に対して1表送付いたします。第一法人で複数の介護保険のサービスを実施している場合は、実施しているすべてのサービスについて、ご回答ください。
3 回答は、あくまでも各サービスで提供しているサービスについて、記入ください。
4 ご記入いただきました調査票は、調査の速報用資料に入れ、2月27日（金）までに郵便ポストに投入くださいますようお願いいたします。
5 調査内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記の担当までご連絡ください。

大和市 あんしん福祉部 介護保険課 事業推進係 電話 046(260)5170 FAX 046(260)1351

～ ご回答にあたってのお願い ～

1 質問には、令和6年1月1日現在についてお答えください。
2 この調査票は、1法人に対して1表送付いたします。第一法人で複数の介護保険のサービスを実施している場合は、実施しているすべてのサービスについて、ご回答ください。
3 回答は、あくまでも各サービスで提供しているサービスについて、記入ください。
4 ご記入いただきました調査票は、調査の速報用資料に入れ、2月27日（金）までに郵便ポストに投入くださいますようお願いいたします。
5 調査内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記の担当までご連絡ください。

1 貴法人の概要をおたずねします

法人名		
電話番号		連絡先 (担当部署)
法人の種類【○は1つ】		
1 社会福祉法人		
2 医療法人(社団・財団)		
3 株式会社		
4 有限会社		
5 法人個人		
6 その他（具体的に）		

※この欄に記入しなくてもいい場合は、無記入のままで結構です。

欄2 介護保険サービスについておたずねします。サービスごとの令和7年度の平均報酬率と収支見込み及び今後の事業予定を教えてください。【〇はいくつでも・数字を記入】

- ① 現在実施しているサービスと令和9年度から令和11年度の3年間（新たに事業開始を予定しているサービスの番号（一重の列に〇をつけてください）。
- ② 「平均報酬率」は、令和7年度の見込みで教えてください。なお、届け出されている施設職員数（利用・入所者数）が同時に届け出されている場合は、算出している施設でサービス提供できる最大の利用人数等を算出した見込みを100%とし、それ以上の利用希望を届け、サービス提供ができずに残っている（利用希望を超過している）場合を100%超過とさせていただきます。
- ③ 「収支見込み」は、介護サービスの当該サービスと合併し、令和7年度の見込みでお答えください。
- ④ 「今後の事業予定」は、令和9年度から令和11年度の3年間の予定をお答えください。【拡大】「縮小」「廃止」「中止」と回答した場合は、その実施時期が明らかでなければ事業計画も記入ください（予定の場合は記入不要です）。

※「今後の事業予定」は、何らその予定を拘束するものではありません。また、事業計画を固めるものでもありません。

サービス種類 (介護保険サービス)	令和7年度		令和9年度～令和11年度	
	平均報酬率	収支見込み	今後の事業予定	
	1. 100%超 2. 90～100% 3. 70～90%未満 4. 50～70%未満 5. 30～50%未満 6. 30%未満	1. 拡大 2. 増設増設 3. 増小 4. 増設増設 5. 増設増設 6. 増設増設	1. 拡大 2. 増設増設 3. 増小 4. 増設増設 5. 増設増設 6. 増設増設	その他の 予定時期
1 介護介護				令和7年度
2 施設入所介護				令和7年度
3 訪問介護				令和7年度
4 訪問介護（介護サービス）				令和7年度
5 居宅介護支援				令和7年度
6 通所介護				令和7年度
7 通所介護（介護サービス）				令和7年度
8 施設入所介護				令和7年度
9 訪問介護				令和7年度
10 特定施設入居者生活介護				令和7年度
11 福祉用具貸与				令和7年度
12 特定福祉用具販売				令和7年度
13 介護相談支援				令和7年度
14 認知症対応型通所介護				令和7年度
15 小規模多機能型居宅介護				令和7年度
16 認知症対応型通所介護				令和7年度
17 介護支援（認知症対応型通所介護）				令和7年度
18 認知症対応型通所介護				令和7年度
19 認知症対応型通所介護				令和7年度
20 認知症対応型通所介護				令和7年度
21 認知症対応型通所介護				令和7年度
22 介護老人福祉施設				令和7年度
23 介護老人福祉施設				令和7年度
24 介護施設				令和7年度
25 介護介護				令和7年度

欄3 介護予防サービスについておたずねします。サービスごとの令和7年度の平均報酬率と今後の事業予定を教えてください。【〇はいくつでも・数字を記入】

- ① 現在実施しているサービスと令和9年度から令和11年度の3年間（新たに事業開始を予定しているサービスの番号（一重の列に〇をつけてください）。
- ② 「平均報酬率」は、令和7年度の見込みで教えてください。なお、届け出されている施設職員数（利用・入所者数）が同時に届け出されている場合は、算出している施設でサービス提供できる最大の利用人数等を算出した見込みを100%とし、それ以上の利用希望を届け、サービス提供ができずに残っている（利用希望を超過している）場合を100%超過とさせていただきます。
- ③ 「今後の事業予定」は、令和9年度から令和11年度の3年間の予定をお答えください。【拡大】「縮小」「廃止」「中止」と回答した場合は、その実施時期が明らかでなければ事業計画も記入ください（予定の場合は記入不要です）。

※「今後の事業予定」は、何らその予定を拘束するものではありません。また、事業計画を固めるものでもありません。

サービス種類 (介護予防サービス)	令和7年度		令和9年度～令和11年度	
	平均報酬率	収支見込み	今後の事業予定	
	1. 100%超 2. 90～100% 3. 70～90%未満 4. 50～70%未満 5. 30～50%未満 6. 30%未満	1. 拡大 2. 増設増設 3. 増小 4. 増設増設 5. 増設増設 6. 増設増設	1. 拡大 2. 増設増設 3. 増小 4. 増設増設 5. 増設増設 6. 増設増設	その他の 予定時期
1 総合事業（訪問型サービス）				令和7年度
2 訪問介護				令和7年度
3 訪問看護				令和7年度
4 訪問介護（介護サービス）				令和7年度
5 訪問看護指導				令和7年度
6 総合事業（通所型サービス）				令和7年度
7 通所介護（介護サービス）				令和7年度
8 訪問介護				令和7年度
9 施設入所介護				令和7年度
10 特定施設入居者生活介護				令和7年度
11 福祉用具貸与				令和7年度
12 特定福祉用具販売				令和7年度
13 認知症対応型通所介護				令和7年度
14 小規模多機能型居宅介護				令和7年度
15 認知症対応型通所介護				令和7年度
16 介護老人福祉施設				令和7年度
17 介護老人福祉施設				令和7年度
18 介護施設				令和7年度
19 介護介護				令和7年度

1

2

Ⅱ 貴事業所の経営状況についておたずねします

問 10 貴法人が介護福祉事業を運営しているうえでの課題を教えてください。【○は3つまで】

1 利用者の確保	2 利用者への情報提供
3 職員の確保	4 職員の技術向上
5 職員のマナー・接遇の向上	6 利用者・家族との連携
7 他のサービス提供事業者との連携	8 ケアマネジャーとの連携
9 区画増設との連携	10 施設・設備の改善
11 介護報酬が低いこと	12 介護報酬に反映されない業務が多いこと
13 事務作業が多いこと	14 苦情・相談への対応
15 緊急時の対応	16 必要な情報の入手
17 介護保険制度に対する利用者の理解が十分でないこと	19 その他
18 サービス担当者会議への出席	(具体的に)
20 特になし	

問 11 貴事業所では、評価制度を導入していますか。【ア・イそれぞれ○は1つ】

ア 内部評価制度	1 導入している	2 導入を準備している	3 導入を検討中である	4 導入していない
イ 外部評価制度	1 導入している	2 導入を準備している	3 導入を検討中である	4 導入していない

問 12 全国7年連続における貴事業所の業務の開始への参加状況と今後の予定を教えてください。
【それぞれ○は1つ】

項目	参加している	準備している	検討している
ア ケアマネジメント	1	2	3
イ 認知症ケア	1	2	3
ウ コミュニティ	1	2	3
エ 在宅医療	1	2	3
オ 福祉施設	1	2	3
カ 福祉施設との連携	1	2	3
キ 介護予防	1	2	3
ク 認知症・リスクマネジメント	1	2	3
ク 高齢者虐待防止	1	2	3
コ 介護の向上	1	2	3
ク 苦情対応	1	2	3
シ 個人情報保護	1	2	3
ス その他(具体的に)	1	2	3

8

問 13 貴事業所には常設委員会がありますか。【○は1つ】

1 いち	2 いち
------	------

問 13-1 第13条で定められていると回答した方にお答えします。
常設委員会が設置されている介護職員は和人数ですか。【数字を記入】

常設委員会が設置されている介護職員の人数 ()人

問 14 選任が十分とお考えの外部の機関等を教えてください。【○は3つまで】

1 利用者・家族等	2 大和市介護保険課、人権108年特設課
3 2以外の大和市関係機関 (具体的に)	
4 認知症支援センター・生活介護支援センター	5 外部の居宅介護支援事業者
6 他の介護保険サービス事業者	7 医療機関
8 介護保険以外のサービス提供機関 (ボランティア・民間法人含む)	
9 特になし	

問 15 利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。
【○は3つまで】

1 サービス内容に関するもの	2 利用手段に関するもの
3 職員の態度に関するもの	4 施設・設備に関するもの
5 保険外負担に関するもの	6 介護者・家族からの虐待など
7 その他 (具体的に)	8 特になし

問 16 貴事業所では、苦情や相談の解決のために常設な機関等を設置していますか。【○は1つ】

1 設置している	2 設置していない
----------	-----------

問 16-1 第16条で定められていると回答した方にお答えします。
特別機関はどのようなものですか。【○はいくつでも】

1 苦情解決責任者の配置	2 苦情相談窓口の設置
3 共同の第三者委員会の設置	4 単独の第三者委員会の設置
5 その他 (具体的に)	

問 16-2 第16条で定められていると回答した方にお答えします。
苦情・相談はどのような対応をしていますか。【自由記述】

--

9

IV 介護ロボット・ICTの導入についておたずねします

問17 介護ロボットの導入を検討したことがありますか。【○はい】

- 1 既に導入した 2 今後導入する予定
3 検討中
4 検討したが導入する予定はない 5 検討していない

→ 問17-1 問17で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した方にお聞きします。
導入または 導入予定の介護ロボットの機種を教えてください。【○はい/くつても】

- 1 移動介護 2 移動支援
3 排泄支援 4 更衣
5 入浴支援 6 その他（具体的に）

→ 問17-2 問17で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した方にお聞きします。
導入または 導入予定の介護ロボットの機種を教えてください。【自由記載】

- メーカー（ ） 製品名（ ）
メーカー（ ） 製品名（ ）
メーカー（ ） 製品名（ ）

→ 問17-3 問17では 導入したか導入する予定があり または 「5 検討していない」と回答した方にお聞きします。
介護ロボットを導入しない理由は何ですか。【○はい/くつても】

- 1 高価であるから
2 費用対効果がわからないから
3 介護職員の負担軽減が見込めないから
4 事故が気になるから
5 操作が困難であるから
6 価格に耐えることへの抵抗感があるから
7 利用者を受け入れてくれるさすわからないから
8 その他（具体的に）

10

問18 ICTの導入を検討したことがありますか。【○はい】

- 1 既に導入した 2 今後導入する予定
3 検討中
4 検討したが導入する予定はない 5 検討していない

→ 問18-1 問18で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した方にお聞きします。
導入または 導入予定のICTの用途を教えてください。【○はい/くつても】

- 1 介護記録支援 2 情報共有
3 シフト・勤怠管理 4 その他（具体的に）

→ 問18-2 問18で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した方にお聞きします。
導入または 導入予定のICTの機種を教えてください。【自由記載】

- メーカー（ ） 製品名（ ）
メーカー（ ） 製品名（ ）
メーカー（ ） 製品名（ ）

→ 問18-3 問18では 導入したか導入する予定があり または 「5 検討していない」と回答した方にお聞きします。
ICTを導入しない理由は何ですか。【○はい/くつても】

- 1 高価であるから
2 費用対効果がわからないから
3 介護職員の負担軽減が見込めないから
4 操作が困難であるから
5 価格に耐えることへの抵抗感があるから
6 その他（具体的に）

※ 大市では情報通信技術のことで、介護の分野では、介護サービスの提供の向上や事務の効率化を
目的とした機器やソフトウェアを指します。具体的には、介護ソフトによる介護記録支援、ケアプラ
ンデータ連携システムの活用やタブレット端末・ペンカラム等を用いた情報共有、さらにソフト・機器
管理システムの導入による業務の効率化などが挙げられます。

11

V 高齢者施策等についておたずねします

問 19 大田市でお考えの施策等とあわせて、高齢者施策等を教えてください。【〇は3つまで】

1 地域の進出にむけた施策	2 地域活動（ほろみ、ボランティア）の支援
3 ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り	4 高齢者向け住宅の整備
5 地域交流や仲間づくりの支援	6 家族に適切な介護の提供
7 健康づくり施策の充実	8 認知症に関する施策の充実
9 仕事の紹介	10 高齢者への雇用対策
11 成年後見制度や虐待防止対策等の充実	12 福祉や生活にかかわる相談体制の充実
13 介護保険サービスの充実	14 その他
15 特になし	（別紙に記す）

問 20 人材不足に対応するために行われている、以下の神奈川県の補助事業について、それぞれの認知状況と活用目的を教えてください。

【事業・制度ごと、認知状況・活用目的をそれぞれ〇は1つ】

事業名・制度名	認知状況		活用目的	
	知っていた	知らなかった	活用したい	活用しない
ア 【施設型認知症対応型事業】 介護施設等の大規模修繕等に合わせ、行う介護ロボットへの導入に必要な経費補助	1	2	1	2
イ 【介護ロボット導入支援事業】 介護ロボット導入支援事業費補助	1	2	1	2
ウ 【介護ロボット導入支援事業】 ICT導入支援事業費補助	1	2	1	2

問 21 大田市の高齢者施設や介護施設などについて、ご意見を自由に教えてください。

【自由記載】

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月27日（金）までに郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします（切手は不要です）。

大和市 居宅介護支援事業所調査

※以下は、令和8年1月1日現在でお答えください。

Ⅰ 貴事業所の概要をおたずねします

事業所名	連絡先 (担当者)
電話	

法人の種類【○は1つ】 ※この欄は記入しなくてもいい場合は、欄記名のままで結構です。

- 1 社会福祉法人
- 2 医療法人(社団・財団)
- 3 株式会社
- 4 有限会社
- 5 NPO 法人
- 6 その他(具体的に)

主任ケアマネジャーの人数 ()人【数字を記入】

Ⅱ ケアプラン作成についておたずねします

第1 貴事業所の職員数と、担当している利用者数は何人ですか。【数字を記入】

ケアマネジャー数	()人	によって	利用者()人
ケアマネジャー非常勤	()人	によって	利用者()人

第2 担当している利用者のうち、障壁認知、障壁、人工透析が必要な方は何人いますか。【数字を記入】

障壁認知が必要な利用者数	()人
障壁が必要な利用者数	()人
人工透析が必要な利用者数	()人

第3 担当している利用者のうち、区分差額超過額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。【数字を記入】

区分差額超過額を超えてサービスを利用している利用者数	()人
----------------------------	------

第4 担当している利用者のうち、訪問型サービスの利用意向がある方は何人いますか。【数字を記入】

訪問型サービスの利用意向がある利用者数	()人
---------------------	------

第5 担当している利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。【数字を記入】

施設等への入所を希望している利用者数	()人
--------------------	------

内訳

①介護老人福祉施設	()人
②介護老人保健施設	()人
③介護療養病棟	()人
④認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	()人
⑤特定施設(介護付き有料老人ホーム)	()人
⑥高齢者対応の介護住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)	()人

第6 施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの観点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。【数字を記入】

第5で回答した入所を望む方のある利用者のうち、ケアマネジャーの観点からも施設入所が望ましいと思われる利用者数	()人
--	------

内訳

①介護老人福祉施設	()人
②介護老人保健施設	()人
③介護療養病棟	()人
④認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	()人
⑤特定施設(介護付き有料老人ホーム)	()人
⑥高齢者対応の介護住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)	()人

第7 施設等への入所を希望している人のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることでは生活が継続できそうな利用者はい人いますか。また、上記のうち、特に地域巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者はい人いますか。【数字を記入】

①入所希望者のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者数	()人
②上記の在宅生活が継続できそうな利用者のうち、特に地域巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者数	()人

第8 地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由は何ですか。【○はいくつでも】

1 認知症が進行し、問題行動が頻発であるから
2 居宅サービスを利用してくれないから
3 医師の処置(経管栄養や呼吸器など)が必要な状態であるから
4 独居や老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから
5 家族が介護で疲弊しているから
6 家族が介護放棄に近い状態だから
7 その他(具体的に)

Ⅲ 高齢者施策等についておたずねします

問9 今後実施した方がよい または 新様に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。
【〇はい、×いいえ】

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 配食サービス | 2 在宅療養支援診療所 |
| 3 独居老人等の災害対策 | 4 独居老人等の見守り事業 |
| 5 おむつの支給 | 6 地域に根ざした寄り合い所（サロン） |
| 7 介護者（家族）支援のための教室 | 8 身体機能維持のための課題など |
| 9 制度運用外訪問介護利用助成 | 10 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク |
| 11 認知症見守りサポート事業 | 12 緊急通報システム |
| 13 高齢者虐待防止 SOS ネットワーク | 14 認知症高齢者の施策 |
| 15 その他（具体的に） | 16 特になし（記入している） |

問10 大和市の認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。
【〇は5つまで】

- | |
|--|
| 1 講演会等による認知症に関する正しい知識の普及啓発 |
| 2 学校教育や地域での普及啓発 |
| 3 認知症の人や家族等の交流会などの相談支援 |
| 4 外出支援の充実（ネットワーク形成・位置情報支援システム・声かけ連動など） |
| 5 認知症の人やその家族の声を反映した政策 |
| 6 認知症の人による自治や社会参加の機会確保 |
| 7 認知症の人を関与するボランティアの養成（認知症サポーターなど） |
| 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実 |
| 9 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など） |
| 10 かかりつけ医に対する周知 |
| 11 介護従事者に対する研修 |
| 12 早期発見・早期診断の仕組みづくり |
| 13 予防の取組 |
| 14 若年性認知症に対する支援 |
| 15 その他（具体的に） |
| 16 特になし |

3

Ⅳ 本市の介護サービスについておたずねします

問11 大和市で、介護サービスが不足していると思う介護（介護予防）サービスはありますか。

※全体で不足していると思うサービスの番号を決まわす。地図上段に、地区によって不足していると思うサービスがある場合はA-K地区それぞれのカッコ内に番号を書き込んでください。



問11 は番号に〇をつける形式ではなく、次のページの枠内に数字を記入する形式です。
※お見逃しないうえ、ご注意ください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 訪問介護 | 2 (介護予防)訪問入浴介護 |
| 3 (介護予防)訪問看護 | 4 (介護予防)訪問リハビリテーション |
| 5 (介護予防)認知症管理指導 | 6 通所介護 |
| 7 (介護予防)通所リハビリテーション | 8 (介護予防)短期入所生活介護 |
| 9 (介護予防)短期入所療養介護 | 10 (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11 (介護予防)福祉用具貸与 | 12 特定(介護予防)福祉用具販売 |
| 13 (介護予防)住宅改修 | 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 15 夜間対応型訪問介護 | 16 (介護予防)認知症対応型通所介護 |
| 17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護 | 18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護 |
| 19 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 20 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 21 看護小規模多機能型居宅介護 | 22 介護老人福祉施設 |
| 23 介護老人保健施設 | 24 介護医療院 |

ここからは、選択は番号に〇をつける形式になります。

問12 それでは、今後の大和市で、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスは何だと考えますか。【〇は5つまで】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 訪問介護 | 2 (介護予防)訪問入浴介護 |
| 3 (介護予防)訪問看護 | 4 (介護予防)訪問リハビリテーション |
| 5 (介護予防)認知症管理指導 | 6 通所介護 |
| 7 (介護予防)通所リハビリテーション | 8 (介護予防)短期入所生活介護 |
| 9 (介護予防)短期入所療養介護 | 10 (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11 (介護予防)福祉用具貸与 | 12 特定(介護予防)福祉用具販売 |
| 13 (介護予防)住宅改修 | 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 15 夜間対応型訪問介護 | 16 (介護予防)認知症対応型通所介護 |
| 17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護 | 18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護 |
| 19 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 20 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 21 看護小規模多機能型居宅介護 | 22 介護老人福祉施設 |
| 23 介護老人保健施設 | 24 介護医療院 |

4

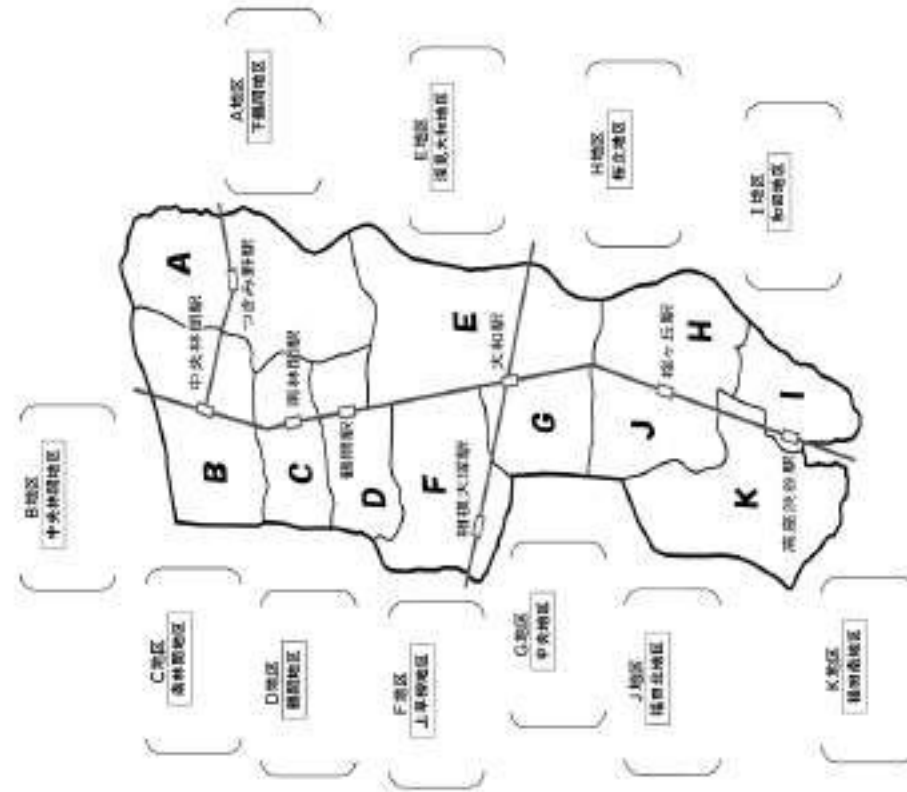
V 医療・介護関係者との情報共有についておたずねします

問13 現在、利用者を支える際に連携している機関はどのような機関ですか。〔〇はい、いつでも〕

1 医師（病院・診療所）	2 医師（在宅）
3 歯科医師（病院・診療所）	4 歯科医師（在宅）
5 歯科衛生士（病院・診療所）	6 歯科衛生士（訪問）
7 薬剤師（病院・診療所）	8 薬剤師（訪問）
9 看護士（病院・診療所）	10 看護士（訪問）
11 理学療法士（病院・診療所）	12 理学療法士（訪問）
13 作業療法士（病院・診療所）	14 作業療法士（訪問）
15 言語聴覚士（病院・診療所）	16 言語聴覚士（訪問）
17 管理栄養士（病院・診療所）	18 管理栄養士（訪問）
19 精神保健福祉士（病院・診療所）	20 精神保健福祉士（訪問）
21 ソーシャルワーカー（病院・診療所）	22 介護士
23 司法書士	24 社会福祉士
25 行政書士	26 その他（具体的に）

問14 現在、利用者を支える際に連携している機関はどのような機関ですか。〔〇はい、いつでも〕

1 在宅高齢者地域連携型（大和市高齢者会）
2 地域包括支援センター（在宅介護支援センター）
3 社会福祉協議会
4 厚木保健福祉事業所大和センター
5 在宅医療・介護連携支援センター
6 行政（生活保護課）
7 行政（福祉・福祉課）
8 行政（福祉施設課包括支援係）
9 行政（福祉施設課こもりびと支援窓口）
10 行政（健康づくり推進課）
11 行政（介護保険課）
12 行政（人生100年推進課）
13 その他（具体的に）



大和市全体で対応していると思う介護サービス

問 15 現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関はどのような機関ですか。【〇はいくつでも】

1 医師（病院・診療所）	2 医科（住診）
3 産科医師（病院・診療所）	4 産科医師（住診）
5 産科衛生士（病院・診療所）	6 産科衛生士（住診）
7 薬剤師（病院・診療所）	8 薬剤師（住診）
9 看護師（病院・診療所）	10 看護師（住診）
11 理学療法士（病院・診療所）	12 理学療法士（住診）
13 作業療法士（病院・診療所）	14 作業療法士（住診）
15 言語聴覚士（病院・診療所）	16 言語聴覚士（住診）
17 管理栄養士（病院・診療所）	18 管理栄養士（住診）
19 精神保健福祉士（病院・診療所）	20 精神保健福祉士（住診）
21 ソーシャルワーカー（病院・診療所）	22 弁護士
23 司法書士	24 社会福祉士
25 行政書士	26 その他（具体的に：）

問 16 現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関はどのような機関ですか。【〇はいくつでも】

1 在宅高齢者地域連携協議会（大和学区協議会）
2 地域包括支援センター（在宅介護支援センター）
3 社会福祉協議会
4 厚木保健福祉事務所大和センター
5 在宅医療・介護連携支援センター
6 行政（生活支援課）
7 行政（障がい福祉課）
8 行政（福祉総務課加給支援係）
9 行政（福祉総務課こもりびと支援窓口）
10 行政（健康づくり推進課）
11 行政（介護保険課）
12 行政（人生100年推進課）
13 その他（具体的に：）

問 17 連携している機関は、どのような手段で情報を共有していますか。【〇はいくつでも】

1 電話	2 FAX
3 メール	4 手紙
5 オンライン会議	6 サービス担当者会議
7 地域ケア会議	8 ICTツール（Zoom等）
9 地域ノート	10 各所属で作成した書類
11 主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡網（大和市医師会作成）	
12 患者相談・体験談（大和市医師会作成）	
13 その他（具体的に：）	

問 18 在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等に参加したことがありますか。【〇はいくつ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 19 今後、要支援・要介護認定を受けたための支援をしていくにあたり、どのような研修・会議等があればよいと思いますか。【〇はいくつでも】

1 入退院時における連携について
2 かかりつけ医師との連携について
3 訪問診療をしている産科医師との連携について
4 訪問診療士との連携について
5 薬剤師との在宅療養管理指導、処方調整等について
6 高齢者の療養治療について
7 訪問看護との連携について
8 通院前カンファレンスのポイントについて
9 人生会議（ACP）について
10 看取りの支援について
11 困難事例を通じた対応方法について
12 日帰り型でのケアプラン立案について
13 相談援助職としてのアセスメントについて
14 多職種連携チームケアについて
15 インフォーマルサービスを活かしたケアプラン作成について
16 地域包括ケアシステムにおけるケアマネジャーの役割について
17 介護報酬改定について
18 生活保護制度について
19 障がい・福祉制度について
20 成年後見制度について
21 高齢者虐待について
22 その他（具体的に：）

問 20 看取りの支援をされたことはありますか。【○は1つ】

1 はい 2 いいえ

問 21 統一した入退院支援マニュアルがあるかと思うか。【○は1つ】

1 はい 2 いいえ

→ 問 21-1 問 21 で「2」を選んだ回答した事業所にお聞きします。
その理由をご記入ください。【自由記載】

問 22 活用している書式はありますか。【○はいくつでも】

- 1 主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票
- 2 患者相談・依頼票
- 3 入退院情報提供書
- 4 介護福祉「生活支援見書作成用」問診票
- 5 活用している書式はない

問 23 問 22 の選択項にある書式のほかにある良い書式はありますか。【自由記載】

Ⅴ 介護ロボット(自動排泄処理装置)についておたずねします

近年、介護の負担を軽減する様々な器具や機器(介護ロボット)が開発されています。例えば、介護の負担が大きいと言われる排泄処理については、便も尿も自動で排泄処理することが出来る自動排泄処理装置が開発されています。

令和元年度に実施した調査によると、問 24、5 の方の回答の介護で負担になっていることは、「排泄の介護」という回答が最も多くなっています。そこで、便と尿が自動的に吸引される自動排泄処理装置についてお聞きします。

自動排泄処理装置とは・・・この装置では、介護保険の要介護利用料の対等となる便と尿を吸引するもの(要介護 4、5 の人が対象)を指すこととします。

利用料：装置を導入することでもありますが、介護保険制度の要介護利用料として、レンタルすることでも出来ます(主に医療に移送作務区や福祉センターが必要となります)。お持ち込みの場合は、50 万円程度、本体レンタル料は月額 5 千円程度(本人負担 1 割の場合)。

イメージ図



資料：「家の介護はホームヘルパー」

問 24 受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。【○は1つ】

1 はい 2 いいえ

→ 問 24-1 問 24 で「1」を選んだ回答した事業所にお聞きします。
その人数は、何人ですか。【数字を記入】

自動排泄処理装置を利用している利用者数 ()人

問 25 受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用する
とよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者はいますか。【○は1つ】

1 はい 2 いいえ

→ 問 25-1 問 25 で「1」を選んだ回答した事業所にお聞きします。
その人数は、何人ですか。【数字を記入】

今後自動排泄処理装置を利用すると思う利用者数 ()人

→ 問 25-2 問 25 で「1」を選んだ回答した事業所にお聞きします。
現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

- 1 費用が高いから
- 2 利用者やその家族が希望していないから
- 3 介護者(取り扱う人)がいないから
- 4 機材を置く場所がないから
- 5 その他(具体的に)

1 よく知っている
2 名前しか知らない
3 ほとんど知らない

[Out: 7]

I 参加した人)

問 27 通所型、訪問型ハビリテーションの提唱が中心となる生涯ハビリテーションでは、地域社会への参加にも目を向けたハビリテーションの実践が重要で、ケアプランの作成において、目標設定をしているものは何ですか。【〇はい/×いいえ】

例) ザイの中で投票を作る。定期的に通所に通い、投票と交際する、気持ちよく入館するなど

例) 社会的な関わりや機会を確保する、毎週一度は良い歌に接できるなど

- 1 荷役業務に占める割合が多い
- 2 郵便業務に占める割合が多い
- 3 郵便業務に占める割合が多い
- 4 郵便業務に占める割合が多い

- 1 達成できた
- 2 はほぼ達成できた
- 3 意図には至っていないが、改善傾向にある
- 4 あまり達成できなかった

Abstract

あんしん福祉サービス 事業本部 電話 046(260)5170 FAX 046(260)1351
あんしん福祉サービス 100 年計画課 電話 046(260)5611 FAX 046(260)1356

214

100

問10 貴施設等の入居者が、満たする理由は何ですか、理由欄として多いものをおよそ3つまで選択してください。(下記より選択し、該当する理由を回答)

理由1	理由2	理由3

- 1. 必要な介護が提供・増大したから
 - 2. 必要な食料の提供・増大したから
 - 3. 認知症の症状が重くなったから
 - 4. 医療ケア・生活介護の必要性が高まったから
 - 5. 1～4以外の状態が変化し、よりから
 - 6. 入居者の健康状態が悪化したから
 - 7. 入居者が、必要な介護サービスの内容を望まなくなったから
 - 8. 費用負担が重くなったから
 - 9. 本人が希望したから
 - 10. その他
- ※ 例として記入している。理由欄について2箇所まで記入。
※ 選択した理由が3つまでで、同じ理由を選択しないようお願いします。

調査は以上です。ご回答いただき、ありがとうございます。

**大和市 高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画(第10期)
策定のための実態調査**

報 告 書

令和8年8月

発行：大和市 人生100年推進課 ／ 介護保険課 ／ 健康づくり推進課

《人生100年推進課》

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間一丁目31番7号
大和市保健福祉センター内
TEL:046-260-5611 ／ FAX:046-260-1156

《介護保険課》

〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号
TEL:046-260-5169 ／ FAX:046-260-5158

《健康づくり推進課》

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間一丁目31番7号
大和市保健福祉センター別館内
TEL:046-260-5803 ／ FAX:046-260-1350